

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化 改修工事

図 面 目 録									
建 築 工 事		建 築 工 事		建 築 工 事		建 築 工 事		建 築 工 事	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-001	特記仕様書（新営） 1	A-038	B 1 ・ 1 階 平面図 【改修前】	A-075	1 階 展開図 5 【改修前・後】	A-112	法チェック図 1 （採光・換気・排煙）	A-148	展開図 4 【改修前・改修後】
A-002	特記仕様書（新営） 2	A-039	B 1 ・ 1 階 平面図 【改修後】	A-076	2 階 展開図 1 【改修前・後】	A-113	法チェック図 2 （採光・換気・排煙）	A-149	展開図 5 【改修前・改修後】
A-003	特記仕様書（新営） 3	A-040	2 階 平面図 【改修前】	A-077	2 階 展開図 2 【改修前・後】	A-114	法チェック図 3 （採光・換気・排煙）	A-150	展開図 6 【改修前・改修後】
A-004	特記仕様書（新営） 4	A-041	2 階 平面図 【改修後】	A-078	2 階 展開図 3 【改修前・後】	A-115	法チェック図 4 （採光・換気・排煙）	A-151	展開図 7 【改修前・改修後】
A-005	特記仕様書（新営） 5	A-042	3 階 平面図 【改修前】	A-079	2 階 展開図 4 【改修前・後】	A-116	法チェック図 5 （消防 有窓・無窓検討）	A-152	E X P . J 詳細図
A-006	特記仕様書（新営） 6	A-043	3 階 平面図 【改修後】	A-080	2 階 展開図 5 【改修前・後】	A-117	各部詳細図 1	A-153	仮設計画図 1
A-007	特記仕様書（新営） 7	A-044	P H 階・屋根平面図 【改修前】	A-081	2 階 展開図 6 【改修前・後】	A-118	各部詳細図 2	A-154	仮設計画図 2
A-008	特記仕様書（新営） 8	A-045	P H 階・屋根平面図 【改修後】	A-082	3 階 展開図 1 【改修前・後】	A-119	各部詳細図 3	A-155	特別教室棟防水詳細図
A-009	特記仕様書（改修） 1	A-046	北面立面図・南面立面図 【改修前】	A-083	3 階 展開図 2 【改修前・後】	A-120	各部詳細図 4		
A-010	特記仕様書（改修） 2	A-047	北面立面図・南面立面図 【改修後】	A-084	3 階 展開図 3 【改修前・後】	A-121	各部詳細図 5		
A-011	特記仕様書（改修） 3	A-048	東面立面図・西面立面図 【改修前】	A-085	3 階 展開図 4 【改修前・後】	A-122	各部詳細図 6		
A-012	特記仕様書（改修） 4	A-049	東面立面図・西面立面図 【改修後】	A-086	B 1 ・ 1 階 天井伏図 【改修前】	A-123	各部詳細図 7		
A-013	特記仕様書（改修） 5	A-050	東面立面図 【改修前・後】	A-087	B 1 ・ 1 階 天井伏図 【改修後】	A-124	各部詳細図 8		
A-014	特記仕様書（改修） 6	A-051	断面詳細図 1 【改修前】	A-088	2 階 天井伏図 【改修前】	A-125	各部詳細図 9	S-001	構造特記仕様書
A-015	特記仕様書（改修） 7	A-052	断面詳細図 1 【改修後】	A-089	2 階 天井伏図 【改修後】	A-126	防水平面図 1	S-002	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（ 1 ）
A-016	配置図・付近見取図（改修前）	A-053	断面詳細図 2 【改修前】	A-090	3 階・P H 天井伏図 【改修前】	A-127	防水平面図 2	S-003	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（ 2 ）
A-017	配置図・付近見取図（改修後）	A-054	断面詳細図 2 【改修後】	A-091	3 階・P H 天井伏図 【改修後】	A-128	防水詳細図 1	S-004	鉄骨工作標準図（ 1 ）
A-018	仕上表（増築部）	A-055	断面詳細図 3 【改修前】	A-092	B 1 ・ 1 階 建具配置図 【改修前】	A-129	防水詳細図 2	S-005	鉄骨工作標準図（ 2 ）
A-019	改修前・改修後 仕上表 1（改修部）	A-056	断面詳細図 3 【改修後】	A-093	B 1 ・ 1 階 建具配置図 【改修後】	A-130	外構平面図 【改修前】	S-006	鋼管杭標準図（ 1 ）
A-020	改修前・改修後 仕上表 2（改修部）	A-057	断面詳細図 4 【改修前】	A-094	2 階 建具配置図 【改修前】	A-131	外構平面図 【改修後】	S-007	柱脚標準図
A-021	改修前・改修後 仕上表 3（改修部）	A-058	断面詳細図 4 【改修後】	A-095	2 階 建具配置図 【改修後】		< E V 棟増築 >	S-008	合成スラブ標準図
A-022	改修前・改修後 仕上表 4（改修部）	A-059	1 階 平面詳細図 1 【改修前・後】	A-096	3 階 建具配置図 【改修前】	A-132	B 1 階 平面詳細図 【改修前】	S-009	A L C 標準図
A-023	改修前・改修後 仕上表 5（改修部）	A-060	1 階 平面詳細図 2 【改修前・後】	A-097	3 階 建具配置図 【改修後】	A-133	B 1 階 平面詳細図 【改修後】	S-010	ボーリング柱状図
A-024	敷地面積求積図・敷地内建物面積表 ・敷地内建物面積表	A-061	1 階 平面詳細図 3 【改修前・後】	A-098	P H 階 建具配置図 【改修前】	A-134	1 階 平面詳細図 【改修前】	S-011	梁伏図、基礎詳細図・地中梁リスト 雑配筋図
A-025	棟別面積図 1	A-062	1 階 平面詳細図 4 【改修前・後】	A-099	P H 階 建具配置図 【改修後】	A-135	1 階 平面詳細図 【改修後】	S-012	部材リスト、スラブ配筋図
A-026	棟別面積図 2	A-063	2 階 平面詳細図 1 【改修前・後】	A-100	B 1 ・ 1 階 消防開口建具配置図 【改修後】	A-136	2 階 平面詳細図 【改修前】	S-013	軸組図 1
A-027	棟別面積図 3	A-064	2 階 平面詳細図 2 【改修前・後】	A-101	2 階 消防開口建具配置図 【改修後】	A-137	2 階 平面詳細図 【改修後】	S-014	鉄骨詳細図
A-028	棟別面積図 4	A-065	2 階 平面詳細図 3 【改修前・後】	A-102	3 階 消防開口建具配置図 【改修後】	A-138	3 階 平面詳細図 【改修前】		
A-029	棟別面積図 5	A-066	2 階 平面詳細図 4 【改修前・後】	A-103	P H 階 消防開口建具配置図 【改修後】	A-139	3 階 平面詳細図 【改修後】		
A-030	日影図 1	A-067	3 階 平面詳細図 1 【改修前・後】	A-104	建具表 1	A-140	P H 階 平面詳細図 【改修前】	EV-01	エレベーター詳細図 1
A-031	日影図 2	A-068	3 階 平面詳細図 2 【改修前・後】	A-105	建具表 2	A-141	P H 階 平面詳細図 【改修後】	EV-02	エレベーター詳細図 2
A-032	平均地盤面算定図 1	A-069	3 階 平面詳細図 3 【改修前・後】	A-106	建具表 3	A-142	断面図、E V ホール建具表 【改修後】	EV-03	エレベーター詳細図 3
A-033	平均地盤面算定図 2	A-070	P H 階 平面詳細図 1 【改修前・後】	A-107	建具表 4	A-143	矩計図 【改修前】	EV-04	エレベーター詳細図 4
A-034	平均地盤面算定図 3	A-071	1 階 展開図 1 【改修前・後】	A-108	建具表 5	A-144	矩計図 【改修後】	EV-05	エレベーター詳細図 5
A-035	平均地盤面算定図 4	A-072	1 階 展開図 2 【改修前・後】	A-109	建具表 6	A-145	展開図 1	EV-06	エレベーター詳細図 6
A-036	平均地盤面算定図 5	A-073	1 階 展開図 3 【改修前・後】	A-110	1 階・2 階 区画壁位置図	A-146	展開図 2 【改修前・改修後】	EV-07	エレベーター詳細図 7
A-037	平均地盤面算定図 6	A-074	1 階 展開図 4 【改修前・後】	A-111	3 階 区画壁位置図 各室面積計算表	A-147	展開図 3 【改修前・改修後】	EV-08	エレベーター詳細図 8

[illegible]

工事特記仕様書

I. 工 事 名	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事
II. 工事概要	
1. 工事場所	津市 河芸町千里ヶ丘 地内
2. 敷地面積	18,407.48㎡
3. 工事内容	
棟名称	昇降機棟・普通教室棟A・普通特別教室棟・普通教室棟B・特別教室棟
構 造	昇降機棟 S造 普通教室棟A・普通特別教室棟・普通教室棟B・特別教室棟 R C造
建築面積	昇降機棟 13.06㎡ 普通教室棟A・普通特別教室棟・普通教室棟B・特別教室棟 3,407.29㎡
延べ面積	昇降機棟 56.48㎡ 普通教室棟A・普通特別教室棟・普通教室棟B・特別教室棟 6,715.79㎡
工事項目	昇降機棟 新築工事 普通教室棟A・普通特別教室棟・普通教室棟B・特別教室棟 改修工事

Ⅲ. 建築工事仕様

1. 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」令和4年版）（以下「標準仕様書」）及び公共建築改修工事標準仕様書（「建築工事編」令和4年版）による。
2. 特記仕様
- 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 - 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
 - 3) 項目に記載の（ ）内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項 目	特 記 事 項
①	①適用基準等	<p>本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修（令和4年版） 2) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修（令和4年版） 3) 津市木材利用方針
	②施工条件	<p>施工方法及び検査に関する事項</p> <p>※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。</p> <p>※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。</p> <p>※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。</p> <p>※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし、また、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。</p> <p>※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。</p> <p>※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。</p> <p>※ 工事車両の入出については、安全確保に十分配慮すること。</p> <p>※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。</p> <p>※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。</p> <p>※ 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立合いのもと写真に記録しておくこと。</p> <p>※ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。</p> <p>※ 工事作業については、学校運営に支障をきたさないよう工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。</p> <p>※ 撤去工事等の騒音及び振動が生じる作業は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うこと。</p> <p>※ 外部足場の設置及び解体は、原則、夏休み中もしくは休日等の授業が行われていない時に行うこと。</p> <p>※ 夏休み中等の学校休校日であっても地域の団体が利用する場合は、そのため、安全に十分注意すること。</p> <p>※ 作業後の校舎等の施設については学校側と十分協議を行うこと。</p> <p>※ 原則として、撤去工事等の現場への本格着手は7月19日からとする但し、学校及び監督員との協議により承諾を得た場合は、この限り</p>

- ※ 本工事は、通常授業時に限らず夏休み中であっても部活動等の利用をしながらの改修工事となるため、施工に先立ち、学校及び市監督員と協議の上、施工工程を作成し、市監督員の承諾を得て工事を行うこと。
- ※ 外壁補修（浮き部、ひび割れ補修等）は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うものとする。
- ※ 外周鉄部塗替えにおいて、下地調整ケレン時に集じん機付きディスクグラインダーの使用又は湿潤化し飛散養生するなど粉塵の飛散防止に努めること。
- ※ 防火戸等の特定防火設備の改修は、原則、お盆期間を利用し作業を行うこと。
- ※ 高所等の施工箇所で完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査（書類を含む）を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。
- ※ 工事用水、電力については校内既存の施設を無償で利用できる。但し、学校行事に影響しないよう事前に打合せのうえ計画し、施工すること。
- ※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ※ 既設入研及びSUS製手洗い改修については、2学期以降の学校運用に支障が無いよう、夏休みを利用し市検査課の中間検査（書類を含む）を受け、引き渡すこと。但し、学校との協議により運用に支障がない範囲であれば、施工範囲を変更できるものとする。
- ※ 作業着手までの校内調査は事前に学校及び市監督員の承認を得るものとし、学校終了後、休校日等の学校運営に影響を与えない範囲とする。

※ 人研ぎ手洗い撤去に起源する断水作業については原則 7 月末までに行い、8 月以降の施設運営に支障がないように努めること。ただし、当施設が選挙会場となった場合、選挙当日に水の利用が可能な状態にすること。

※ 8 月以降の駐車場エリアは夜間においても屋内運動場一般開放利用者が使用する為、安全に努めること。

※ 下記に示す諸室の改修工事について、2 学期または 3 学期以降の学校運用に支障が無いよう、市検査課の中間検査（書類を含む）を受け、引き渡すこと。なお、下記に中間検査対象箇所及び引渡し計画時期を示す。但し、学校との協議により運営に支障がない範囲であれば、施工範囲を変更できるものとする。

（8 月中引渡） <普通教室棟 A・普通特別教室棟>

- ・内部改修部（普通教室、廊下（手洗い改修含む）、階段室）
- ・外壁 南面
- ・建具改修

<普通教室棟 B>

- ・内部改修部（普通教室、廊下）
- ・建具改修

<特別教室棟>

- ・建具改修

※ 各諸室（１クラス３０名程度）について、作り付け家具のほか、
机等の備品があるため、作業に際し移設及び養生を適宜行うこと。
（平面詳細図参照）

なお、下記に各諸室の主要な備品を明記する。

- ・普通教室：机、椅子及び教卓
- ・昇降口：足入れ、掲示板、案内板等
- ・廊下：掲示板、タブレット保管庫、スチール棚等

・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であつて、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件にない難い場合は、監督員と協議するものとする。

・ 分別解体等の方法		
工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
上部構造部分・ 外装	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用
屋根	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用
その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用

- ・引渡を要するもの () 無
- ・特別管理産業廃棄物 () 処理方法 ()
- ・石綿含有成形板等解体時の留意点
 1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
 2. 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。
 3. 飛散されない様にすること。
 4. 保護具及び作業着を着用すること。
 5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
 6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。
- ・再資源化を図るもの ()
 - ・コンクリート塊
 - ・アスファルトコンクリート塊
 - ・建設発生木材
 - ・ ()

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調査を作成し監督員へ提出すること。

引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェスタ、B2、B票を提示すること。

<p>④建設副産物 情報交換 システムの 利用</p>	<p>受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。</p> <p>また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。</p>
---	--

⑤ 三重県産業廃棄物税 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。

なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

- | | |
|-----------------------------|--|
| <p>⑥電気保安技術者
(1.3.3)</p> | <p>○ 配置する</p> |
| <p>⑦技能士
(1.5.2)</p> | <p>職種別に可能なものについては積極的に活用のこと</p> |
| <p>⑧建築材料等</p> | <p>1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。</p> <p>2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。</p> |

[illegible]

9. 化学物質の濃度測定 (1.5.9)

測定対象化学物質 (●で示したものととする。)

適用	施設用途 アルデヒド	ホルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
学校 教育施設	●	●	●	●	●	●
住宅	●	●	●	●	●	●
その他	●	●	●	●	●	●

対象箇所（・図示(図面番号：) ・()）
測定方法（・パッシブ法 ・アクティブ法 ）
測定時期 （ ）
報告書提出部数 2部

⑩ 特別な材料 の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の 指定工法による。
----------------	--

(11) 騒音・振動の防止	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。
---------------	---

⑫ 工事写真
(1.2.4)
営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
監修（最新版））に従い撮影する。
提出部数1部 用紙は上質紙とする。
なお、デジタル工事写真の黒板情報電子化を行う場合は、「デ
ジタル工事写真の黒板情報電子化について（令和5年3月1日付
国営建技第14号）」による。

- ⑬ 完成図等
- (1.7.1) ① 作成する ② 完成図 ③ 保全に関する資料 ・ ())
 - (1.7.2) ④ 完成図作図範囲 (設計図を訂正)
 - (1.7.3) 完成図はCADにより作成することとし、著作権 (著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む) は発注者に移譲するも

のとする。また、製本2部（図面サイズについては監督員と協議による。）により提出すること。

- ⑭ 完成写真
- デジタルカメラで撮影し、全てA版相当サイズで印刷する。
- （A4版用紙に1ページあたり1枚3枚） 1部
- 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。
- 写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なして撮影すること。

⑮ 設備工事
との取合い

施工範囲

- 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
- 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
- 駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ

施工図

- 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

- ⑬ 設計GL ・ 図示（図面番号： A-017 、A-133 ）

⑰ 養生その他 工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならない補修すること。

⑬ 事故の発生時 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。

また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

- 19 消防法関係の手続き
- 1) 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成
- 本工事
 - 建築工事
 - 電気設備工事
 - 機械設備工事
 - ・ 別途工事
- 2) 防火対象物使用開始届出書
- 書類の作成（建築図面の作成及び建築に関する部分の記入）を行うこと。

20 労働安全衛生
法に基づく
労働災害防止
措置

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。



設計事務所
監理建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日	2025.	2.	21.	設計者
管理建築士	設計者			変更・訂正	.	.	.	
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛				.	.	.	津市

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考	図面名称	縮尺	図面 No A-00 原
	建築工事特記仕様書 1（新営）	S=NS	
		.	
		.	

②不正軽油の使用の禁止

1) 一般事項
工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
2) 調査の協力
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3) 是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

②②屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

②

仮設工事

1. 監督員事務所
(2. 3. 1)

・設置する。
監督員事務所の規模（単位：㎡）

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

2. 監督員事務所の設備・備品
(2. 3. 1)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数量	個	個	台	台	台

監督員職員事務所の仕上げ					
部 位 等	仕 上 げ				
床	合板張り又はビニル床シート張り				
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り				
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り				

③仮設便所

構内既存の施設
・利用できる
・利用できない

④工事用水

構内既存の施設
・利用できる（・有償
・無償）
・利用できない

⑤工事用電力

構内既存の施設
・利用できる（・有償
・無償）
・利用できない
本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。

⑥足場

内部足場の種別（参考）
・脚立
・棚足場
・（シャフト内足場）
外部足場の種別（参考）
・手摺先行据置枠組本足場
・その他（
・防護シート等による養生
・適用する
・適用しない
設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
・足場（つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものに限る）の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。
1）足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者
2）労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者

⑦交通誘導警備員

③土工事

④地業工事

①杭の施工管理

②適用基準

③施工記録

④根拠資料

5. 試験杭及び試験掘(4.2.2)

⑥支持層

7. 水平方向の位置ずれ(4.3.4)(4.5.5)

8. 杭の載荷試験(4.2.3)

9. 地盤の載荷試験(4.2.4)

10. 既製コンクリート杭(4.3.1)(表4.3.1)(4.3.3)(4.3.4)(4.3.5)(4.3.6)(4.3.8)

3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者

配置
・図示(図面番号：A-157、A-158)

種別
・A種
・B種
・C種
・D種
・処分地指定
処分地（
・処分地未定につき相互協議する。
暫定運搬距離
・8km
・4km
・（
）km
鋼矢板等の抜き跡の処理
・砂充填
・（
）
山留め壁等
・撤去
・存置

杭工事特記仕様書による。
本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」（平成28年3月4日）
受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。
なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。
特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項（第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から10年とする。
また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

・試験杭
位置、本数及び寸法
図示(図面番号：)
・試験掘
位置、本数及び寸法
図示(図面番号：)

支持層の位置、土質
・図示(図面番号：S-10)
・（
）

（
）mm以下

試験方法
・鉛直載荷
・水平載荷
・（長期設計耐力の3倍を確認する）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置、本数
・図示(図面番号：)
載荷荷重（
kN）
報告書
・提出部数
2部

試験方法
・平板載荷
・（
）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置
・図示(図面番号：)
載荷荷重（
kN）
報告書
・提出部数
2部

・PHC杭
・A種
・B種
・C種
・SC杭
・PRC杭
・上記以外の建築基準法に基づく杭

(参考表)

種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考

先端形状
・開放型
・閉そく型
施工方法
・セメントミルク工法
・オーガーの支持層への掘削深さ
・（
）m
・図示(図面番号：)
・杭の支持層への根入れ深さ
・（
）m
・図示(図面番号：)
・根固め液及び杭周固定液の管理試験
・標準仕様書[4.3.4(6)(ロ)]
・（
）
・特定埋込杭工法
・杭の根入れ深さ
・（
）m
・図示(図面番号：)
継手
・アーク溶接
・無溶接継手(工法：)
杭頭の処理
・行う
・行わない

⑪鋼杭地業(4.4.3)(4.4.4)(4.4.5)(4.4.6)(4.3.5)(4.3.8)(7.2.5)

・鋼管杭
・SKK400
・SKK490
・STK490
・H形鋼杭
・SHK400
・SHK490M
径
・φ300
・φ350
・φ400
・φ450
・φ(190.7)
長さ
（13）m
継手の工法
・現場溶接
・機械式継手
溶接材料
・標準仕様書[7.2.5](1)(2)以外（
）
・特定埋込杭工法
・杭の根入れ深さ
・（
）m
・図示(図面番号：S-11)
杭頭処理の方法
・ガス切断
・（
）

12. 場所打ちコンクリート杭地業(表4.5.1)

施工方法
・アースドリル工法
・リバース工法
・オールケーシング工法
・鋼管コンクリート杭工法
拡底
・行わない
・行う（
）
杭の根入れ深さ
・（
）m
・図示(図面番号：)
孔壁の超音波測定
・行う
・行わない
帯筋の加工及び組立
・図示(図面番号：)
鉄筋の最小かぶり厚さ
（
）mm
鉄筋かごの補強
・図示(図面番号：)
継手
・重ね継手
・（
）
コンクリートの種別
・A種
・B種
設計基準強度
（
）N/mm²
セメントの種類
・高炉セメントB種
・（
）
スランブ(cm)
・18
・（
）
構造体強度補正值(S)
・3N/mm²
・（
）

13. 地盤改良

・（
）工法
・六価クロム溶出試験
・室内配合試験
・一軸圧縮試験

⑭砂及び砂利地業(4.6.2)(4.6.3)

砂利
・再生クラッシャーラン
・切込砂利
・切込碎石
・（
）
砂
・シルト
・山砂
・川砂
・砕砂
・（
）
施工範囲
・図示(図面番号:S-01,S-11,S-12)
厚さ(mm)
・60
・（80）
・（150）
・仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑮浚コンクリート地業(4.6.4)

厚さ(mm)
・50
・（
）
施工範囲
・図示(図面番号:S-01,S-11,S-12)
・仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑯床下防湿層(4.6.2)(4.6.5)

施工範囲
・図示(図面番号:S-12)
ポリエチレンフィルム厚さ
・0.15mm以上
・（
）
・防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。

⑤鉄筋工事

①鉄筋の種類(5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	径	備考
・SD295A	・D16以下	
・SD345	・D19以上	

・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの

②溶接金網(5.2.2)

網目の形状、寸法
鉄線の径(mm)
・4
・5
・6
・（
）
寸法(mm)
・100×100
・150×150
・（
）

③内法直径(5.3.2)

90°未満の折曲げの内法直径
・図示(図面番号：S-02)

④継手(5.3.4)(表5.3.2)(表5.3.3)

	径	部 位
・重ね継手	D16以下	
・ガス圧接	D19以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
・標準仕様書[5.3.4](3)(7)
・図示(図面番号：)
継手位置
・各部配筋参考図による
・図示(図面番号：)
鉄筋定着
・標準仕様書[表5.3.4]
・図示(図面番号：)
・標準仕様書[図5.3.3]
・図示(図面番号：)

⑤鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(5.3.5)(表5.3.6)

⑥各部配筋(5.3.7)

⑦圧接完了後の試験(5.4.10)

抜取試験方法
・超音波探傷試験
・引張試験
引張試験方法
・標準仕様書[5.4.10](4)(b)
・（
）

8.機械式継手及び溶接継手(5.5.3)(5.5.5)(5.6.3)(5.6.5)

・機械式継手
適用箇所（
）
種類（
）
性能（
）
施工完了後の継手部の試験（
）
不合格となった継手部への措置（
）
鉄筋相互のあき（
）mm
・溶接継手
適用箇所（
）
工法（
）
性能（
）
施工完了後の溶接部の試験（
）
不合格となった溶接部への措置（
）
鉄筋相互のあき（
）mm

設計
監理

類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士 設計者

一級建築士 第306854号 田中 召剛

製図年月日 2025. 2. 21.

変更・訂正

設計番号 No

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

図面 No

建築工事特記仕様書2（新営）

S=NS

原因：A 2

A-002

コンクリート工事

①コンクリートの使用骨材による種類及び強度(6.2.1)(6.2.2)(6.2.4)(6.10.1)(6.10.2)(6.10.3)(6.11.1)(6.11.3)(表6.2.2)(表6.10.1)

②コンクリートの種類(6.2.1)(表6.2.1)

③コンクリートの仕上り(6.2.5)(表6.2.4)(表6.2.5)

④セメント(6.3.1)(表6.3.1)

⑤骨材(6.3.1)

⑥コンクリートの材料(6.3.1)(6.3.2)(表6.3.2)

⑦打継ぎ(6.6.4)

8.養生(6.7.2)

⑨型枠(6.6.4)(6.8.1)(6.8.2)(表6.8.1)

⑩寒中コンクリート(6.11.1)

⑪暑中コンクリート(6.12.2)

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランプ
・24 (N/mm²)	基礎		・18 (cm)
・24 (N/mm²)	デッキ上		・18 (cm)
・21 (N/mm²)	土間		・18 (cm)

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランプ
・ (N/mm²)			・ t/m³	・ (cm)
・				
・				

・ 常時土又は水に直接接する部分 図示 (図面番号:)

②コンクリートの種類 Ⅰ類 Ⅱ類
・ 大臣認定品 図示 (図面番号:)

③コンクリート合板せき板を用いる場合の打放し仕上りの種類
・ A種 B種 C種

仕上りの平たんさ
a種 b種 c種

④セメントの種類
普通ポルトランドセメント、混合セメントA種
・ ()

高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種
・ 適用箇所 図示 (図面番号:)

⑤骨材アルカリシリカ反応性による区分
A
B

・ 特殊な骨材の使用
・ フェロニッケルスラグ細骨材
・ 銅スラグ細骨材
・ 電気炉酸化スラグ骨材
・ 再生骨材H

⑥コンクリートの材料
混和材料 図示 (図面番号:)
混和剤の種類、使用方法、使用量
標準仕様書 [6.3.1] (4) (a)、標準仕様書 [6.3.2] (f) (f)
・ ()
混和材の種類、使用方法、使用量
標準仕様書 [6.3.1] (4) (b)、標準仕様書 [6.3.2] (f) (f)
・ ()
構造体強度補正値 (S) 標準仕様書[表6.3.2] ・ ()

⑦打継ぎ
位置 標準仕様書 [6.6.4] (1) ・ 図示 (図面番号:)

8.養生
・ 普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 () 日以上

⑨型枠
材料 複合合板 (厚さ (mm) 12 ・ ())
打増し厚さ 図示 (図面番号:)
誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法
図示 (図面番号:)
・ 断熱材の兼用
・ MCR工法用シート
スリーブの材質、規格等
・ 鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板
・ つば付き鋼管 図示 (図面番号:)
型枠存置期間及び取外し
・ 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 () 日
適用期間 ()
構造体強度補正値 (S)は積算温度を基に定める

⑪暑中コンクリート
構造体強度補正値 (S)
6 N/mm² ・ ()

12. マスコンクリート(6.13.1)(6.13.2)(表6.13.1)

⑬無筋コンクリート(6.14.1)

14. 流動化コンクリート(6.15.1)

⑦鉄骨工事

①施工管理技術者(7.1.4)

②製作工場(7.1.3)

③鋼材(7.2.1)(表7.2.1)

④高力ボルト(7.2.2)(7.3.2)(7.4.2)(7.4.7)

5. 普通ボルト(7.2.3)(表7.2.3)(7.3.2)

6. 溶融亜鉛めっき高力ボルト(7.3.2)(7.4.2)(7.12.5)

⑦アンカーボルト(7.2.4)(7.3.2)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)

適用箇所 図示 (図面番号:)
セメントの種類
普通ポルトランドセメント
中庸熟ポルトランドセメント
低熟ポルトランドセメント
高炉セメントB種
フライアッシュセメントB種
シリカセメント
スランプ 15cm ・ ()
混和剤の種類 標準仕様書 [6.13.2] (2) (7) ・ ()
混和材の種類 標準仕様書 [6.13.2] (2) (4) ・ ()
構造体強度補正値 (S) 標準仕様書 [表16.3.1] ・ ()
コンクリートの種類 普通コンクリート ・ ()
適用箇所 標準仕様書 [6.14.1]
・ (7) ・ (4) (4) (イ) ・ (オ) ・ (カ)
・ 上記以外の適用箇所 ()
設計基準強度 18 (N/mm²) ・ () (N/mm²)
スランプ 15cm 18cm
適用箇所 図示 (図面番号:)

①配置する
(株) 日本鉄骨評価センター又は (株) 全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
J R M H S
種類、形状及び寸法 図示 (図面番号: S-01、S-04、S-05、S-11～S-14)
種類
トルシア形高力ボルト (S10T)
・ JIS形高力ボルト2種 (F10T)
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当)
・ ()
高力ボルトのねじの呼び
図示 (図面番号: S-01、S-12)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
図示 (図面番号:)
すべり試験の試験方法 ・ ()
JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合
・ 回転量 () °

5. 普通ボルト
ボルト及びナットの材料等、ボルトのねじの呼び
図示 (図面番号:)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
図示 (図面番号:)
6. 溶融亜鉛めっき高力ボルト
プラスト処理 (表面粗度 50 μ mRz 以上)
りん酸塩処理
すべり試験の試験方法 ・ ()
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
図示 (図面番号:)
種類
構造用 ABR400B (S-01)
建方用 SS400 ・ ()
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み
A種 B種
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上りの程度
標準仕様書 [表7.2.3]
図示 (図面番号:)
構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法
図示 (図面番号: S-07)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
図示 (図面番号: S-07)

⑧溶接材料(7.2.5)

⑨ターンバックル(7.2.6)

⑩デッキプレート(7.2.7)(7.7.8)

11. スタッド(7.2.8)

⑫柱底均しモルタル(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)

13. 材料試験等(7.2.10)

14. ねじの孔径(7.3.8)

⑮仮組(7.3.10)

⑯溶接作業における技能資格者(7.6.3)

⑰溶接部の開先(7.6.4)

⑱溶接施工(7.6.7)

⑲溶接部の試験(7.6.12)

⑳錆止め塗装(7.8.2)(7.8.4)

材料
標準仕様書 [7.2.5] (1) (2) 以外の溶接材料 ()
種類及びねじの呼び等
図示 (図面番号: S-12)
建築用ターンバックル胴 割枠式 ・ ()
建築用ターンバックルボルト 羽子板ボルト ・ ()
材質、形状及び寸法 図示 (図面番号: S-01、S-08、S-12)
溶接方法 図示 (図面番号: S-01、S-08、S-12)
種類等 図示 (図面番号:)
柱底均しモルタルの工法、厚み
A種 (30) mm B種 () mm
無収縮モルタルの材料及び割合
標準仕様書 [7.2.9] (2) ・ ()
板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験
JIS G 0901により行う
普通ボルトの孔径 (母屋又は胴縁の取付け)
ねじの呼び径±1.0mm ・ ()
行わない 行う
仮組を行う範囲 図示 (図面番号:)
溶接作業の技量付加試験
行わない 行う
開先の形状
図示 (図面番号: S-04、S-05)
鋼製エンドタブの切除
適用及び切断範囲 図示 (図面番号:)
切断面の仕上げ
標準仕様書 [7.6.7] (1) (a) (b)] ・ 図示 (図面番号:)
鋼製エンドタブに代わるその他の工法
鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はフラックスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方を満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。
1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場の製作であること。
2. 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習終了者 (溶接技能者・A級以上) 、又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。また、製作工場がH、Sグレードの場合は溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。
板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部
・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号:)
スカラップの形状 図示 (図面番号: S-04、S-05、S-14)
試験の種類
溶接部の外観試験方法 (目視試験 全数)
超音波探傷試験 ・ ()
溶接区分 AOQL (%) 検査水準 備考
現場溶接 全数試験
工場溶接 2.5 4.0 6
耐火被覆材の接着する面への塗装
塗装範囲 図示 (図面番号: S-01)
種別
標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] (A) 種
標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.2] () 種

⑧コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板

③ALCパネル(8.4.2)(8.4.3)(表8.4.2)(8.4.5)(表8.4.3)

4. 押出成形セメント板(8.5.2)(8.5.3)(8.5.4)(表8.5.1)(8.5.5)(表8.5.2)

耐火被覆材の接着する面以外への塗装
塗装範囲 図示 (図面番号:)
鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スラブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る)
標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] () 種
部位 種類 材料 工法 耐火性能
柱・梁 耐火被覆 ロックウール 吹付 60分耐火
接合部 (ボルト接合の場合)
普通ボルト接合 ()
種類
空洞ブロック16
図示 (図面番号:)
正味厚さ、モジュール呼び寸法
図示 (図面番号:)
各部の配筋
図示 (図面番号:)
目地仕上げ
押し目地 化粧目地
モルタルの調合
標準仕様書 [8.2.3] ・ ()
モルタル又はコンクリートの充填範囲
図示 (図面番号:)
ブロックの種類
標準仕様書 [表8.3.1]
図示 (図面番号:)
正味厚さ、モジュール呼び寸法、ブロックの厚さ
図示 (図面番号:)
モルタルの調合
標準仕様書 [8.2.3] ・ ()
化粧
有り 無し
塀の厚さ H ≤ 2.0m 120mm ・ ()
H > 2.0m 150mm ・ ()
各部の配筋
図示 (図面番号:)
モルタル又はコンクリートの充填範囲
図示 (図面番号:)
区分 単位荷重 (N/mm²) 呼び寸法 厚さ (mm) 幅 (mm) 長さ (mm) 構法 耐火性能
外壁パネル ・ () 100 () (600) ・ () A種 B種 ・ (1) 時間 ・ 無し
間仕切壁パネル ・ () 100 () ・ () ・ C種 E種 D種 ・ () 時間 ・ 無し
屋根パネル ・ () 100 () ・ () ・ F種 ・ () 時間 ・ 無し
床パネル ・ () 100 120 150 ・ () ・ F種 ・ () 時間 ・ 無し
パネル幅を300mm以下とする部分 適用あり
外壁、屋根及び床パネル構法
風圧力に対応した工法 適用あり
パネル短編小口相互の伸縮目地幅 (mm) ・ ()
出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅 (mm) ・ ()
伸縮目地への耐火目地材の充填 適用する (材料: ロックウール)
種類 表面形状及び原料区分 板厚 (mm) 働き幅 (mm) 工法
外壁パネル ・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル ・ () A種 B種
間仕切壁パネル ・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル ・ () ・ () B種 C種
パネル幅を300mm以下とする部分 適用あり
パネル相互の目地幅 (mm)
・ 長辺 8以上、短辺 15以上 ・ ()
出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅 (mm) ・ 15 ・ ()
目地及び隙間の処理 ・ ()
外壁パネル構法
風圧力に対応した工法 適用あり
間仕切壁パネル構法
パネルに欠き込みを行う場合
・ パネル開口の限度 図示 (図面番号:)

設計監理

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号

TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士 設計者

一級建築士 第306854号 田中 召剛

変更・訂正

・ ・ ・

・ ・ ・

・ ・ ・

製図年月日 2025. 2. 21.

設計番号 No

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称 縮尺

図面 No

建築工事特記仕様書3 (新営) ・ S-NS

・

・

・

A-003

原因: A 2

⑨

防水工事

1. アスファルト防水
（表9.2.3）
～（表9.2.8）
（9.2.2）
（9.2.3）

改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・標準仕様書[表9.2.3] ～[表9.2.8] ・図示（ ）
厚さ ・標準仕様書[表9.2.3] ～[表9.2.8] ・図示（ ）
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・標準仕様書[表9.2.5] ～[表9.2.8] ・図示（ ）
厚さ ・標準仕様書[表9.2.5] ～[表9.2.8] ・図示（ ）
絶縁用シート
・ポリエチレンフィルム（厚さ 0.15mm以上）
・フラットヤーンクロス（70g/m²）
押え金物
・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・図示（図面番号： ）
断熱材
・屋根保護防水断熱工法
厚さ （ ） mm
・屋根露出防水断熱工法
種類 （ ） 厚さ （ ） mm
（表9.2.3）
～（表9.2.6）

立上り部の保護工法 ・図示(図面番号：)
乾式保護材 ・使用する
立上り部保護れんが ・JIS R 1250 ・（ ）
断熱工法における立上り部への断熱材及び絶縁ｼｰﾄ ・設置する
脱気装置
・設置数量 図示(図面番号：) 種類（ ）
（表9.2.8）
（表9.2.7）
（表9.2.8）
（表9.2.7）
（表9.2.8）
（表9.2.9）
屋内防水密着工法における保護層
・図示（図面番号： ）
E-1の工程3 ・行う ・行わない
（9.2.4）
防水層の下地モルタル塗り
・図示（図面番号： ）
立上りのコンクリート打放し仕上げの種類
種別 ・B種 ・（ ）
屋根露出防水絶縁断熱工法
ルーフトレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置
・図示(図面番号：)
（9.2.5）
保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ・水下 80mm以上 ・（ ）
床タイル張り ・水下 60mm以上 ・（ ）
立上り部の保護方法
・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内等） ・（ ）
屋上排水溝
・図示(図面番号：)

種 別	施 工 箇 所

（9.3.2）
（9.3.3）
（表9.3.1）
～（表9.3.3）
粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ及び部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ
種類 ・標準仕様書[表9.3.2]、[表9.3.3] ・図示（ ）
厚さ ・標準仕様書[表9.3.2]、[表9.3.3] ・図示（ ）
押え金物の材質、形状、寸法
・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・（ ）
仕上塗料
・図示（図面番号： ） 種類（ ） 使用量（ ）
脱気装置 ・設置数量 図示（図面番号： ） 種類（ ）
（表9.3.3）
断熱材
・屋根露出防水絶縁断熱工法
種類 （ ） 厚さ（ ） mm
防湿用シートの設置 ・有り ・無し

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水
（9.4.2）
（9.4.3）
（9.4.4）
（表9.4.1）
（表9.4.2）
（表9.4.3）

ルーフィングシート
種類 ・標準仕様書[表9.4.1] ～[表9.4.3] ・図示（ ）
厚さ ・標準仕様書[表9.4.1] ～[表9.4.3] ・図示（ ）
可塑性移行防止用シート
・発砲ポリエチレンシート ・（ ）
固定金具 材質、寸法形状（ ）
・図示（図面番号： ）
断熱材 種類、厚さ
・機械的固定工法 図示（図面番号： ）
・接着工法 図示（図面番号： ）

仕上塗料
・図示（図面番号： ） 種類（ ） 使用量（ ）
防湿用フィルムの設置 ・有り ・無し

屋内保護密着工法
モルタル塗り厚さ ・（ ） mm
立上り部の保護モルタル塗厚さ ・7mm以下 ・（ ） mm
目地処理(接着工法)
PC下地 ・図示（図面番号： ）
増張り（S-F1、SI-F1）
PC入隅部 ・図示（図面番号： ）
機械的固定工法
風圧力に対応した工法 ・図示(図面番号：)
脱気装置
・設置数量 図示（図面番号： ） 種類（ ）

施 工 箇 所	種 別
平場	X-1
立上	X-2
	Y-1
	Y-2

脱気装置（X-1）
○設置数量 図示（図面番号：A-126） 種類（ ）
保護層（Y-2） ・保護コンクリート ・保護モルタル
仕上塗料（X-1、X-2）
○図示（図面番号：A-126） 種類（フッ素） 使用量（ ）

④塗膜防水
（9.5.3）
（表9.5.1）
（表9.5.2）

⑤ケイ酸質系塗布防水
（9.6.4）

⑥シーリング
（9.7.2）
（9.7.3）
（表9.7.1）
（9.7.5）

⑦保証書

10. 石工事

1. 共通
（10.1.3）
2. 天然石
（10.2.1）
（表10.2.1）
（表10.2.2）

割付 ・図示(図面番号：)

使用部位	種類(名称)	寸法(mm)	表面仕上げ	工法	形状
床			・粗磨き ・（ ）		
壁			・水磨き ・（ ）		

ジェットバーナー仕上面 バフ仕上 ・あり ・なし

3. テラゾ
（10.2.1）
（表10.2.2）

テラゾタイル

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上
	・大理石	・1.5～12mm	・300型 ・400型	・（ ）

テラゾブロック

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上
	・大理石	・1.5～12mm	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・（ ） ・（ ）	

4. その他の材料
（10.2.3）

取付用モルタル ・図示(図面番号：)
目地用モルタル ・図示(図面番号：)
浸透性吸水防止剤 ・図示（図面番号： ）
石裏面処理材 ・図示(図面番号：)
裏打ち処理材 ・図示(図面番号：)
充填材料 ・図示(図面番号：)

5. 外壁湿式工法
（10.2.2）
（10.2.3）
（10.3.2）
（10.3.3）

受金物の材質、形状、寸法
・図示（図面番号： ）
アンカーの材質及び寸法
材質 ・SS400 ・（ ） 寸法（ ）
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・（ ）
ドレンパイプの材質
・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ
・（ ）
石材の厚さ ・25mm以上 ・（ ）
石裏面処理 ・適用する
裏打ち処理 ・適用する
下地ごしらえ
・流し筋工法 ・あと施工アンカー工法
・あと施工アンカー横筋流し工法
目地 一般目地
目地幅 ・6mm以上 ・（ ）
シーリング材の有無 ・有り ・無し
伸縮調整目地
位置 ・標準仕様書[表11.1.1] ・図示（図面番号： ）
シーリング材の目地寸法
・幅、深さととも10mm以上 ・図示（図面番号： ）

6. 内壁空積工法
（10.2.2）
（10.3.3）
（10.4.2）
（10.4.3）

受金物の材質、形状、寸法
・図示（図面番号： ）
アンカーの材質及び寸法 材質 ・ SS400 ・（ ） 寸法（ ）
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・（ ）
石材の厚さ ・20mm以上 ・（ ）
下地ごしらえ
・あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法
目地 一般目地
目地幅 ・6mm以上 ・（ ）
伸縮調整目地
位置 ・6mごと ・図示(図面番号：)
シーリング材の目地寸法
・幅、深さととも10mm以上 ・図示（図面番号： ）

7. 外壁乾式工法
（10.2.2）
（10.5.2）
（10.5.3）
（表10.2.4）

金物の種類、形状、寸法 ・図示（図面番号： ）
取り付け工法
・スライド方式 ・ロッキング方式
アンカーの材質及び寸法 材質 ・ SUS304 ・（ ） 寸法（ ）
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・（ ）
石材の厚さ ・30mm以上(外壁) ・25mm以上(内壁) ・（ ）
たば用穴の位置 ・図示（図面番号： ）
裏打ち処理 ・適用する
風圧力に対応した工法 ・図示（図面番号： ）
目地
目地幅 ・8mm以上 ・（ ）
シーリング材 ・適用する

8. 床及び階段の石張り
（10.3.3）
（10.6.2）
（10.6.3）

石材の厚さ ・（ ） mm
石裏面処理 ・適用する（浸透性吸水防止剤）
裏打ち処理 ・適用する（浸透性吸水防止剤）
目地 一般目地
目地幅 ・ 屋内4mm以上、屋外3～6mm
・ 図示(図面番号：)
伸縮調整目地
位置 ・標準仕様書[10.6.2](5)(4)(a)後段
・図示（図面番号： ）
シーリング材の目地寸法
・幅、深さととも10mm以上 ・図示（図面番号： ）

9. 笠木、甲板等
（10.2.2）
（10.3.3）
（10.5.3）
（10.7.2）

取付け金物
・標準仕様書[10.2.2](3)(7)の各後段 ・（ ）
アンカーの材質及び寸法
材質 ・ SUS304 ・（ ） 寸法（ ）
あと施工アンカーの材質及び寸法 ・（ ）
取付工法 ・湿式工法 ・乾式工法
石材の厚さ ・（ ） mm
石裏面処理 ・適用する
取付け代(乾式工法の場合)
・標準仕様書[10.5.3](2) ・（ ）mm
石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合)
・適用する 図示(図面番号：)
目地 一般目地
目地幅 ・（ ）mm
伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合)
位置 ・図示(図面番号：)
シーリング材の目地寸法
・幅、深さととも10mm以上 ・図示（図面番号： ）

10. 隔て板
（10.7.3）

石材の厚さ ・40mm ・（ ）

11. タイル工事

1. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
（11.1.3）
位置 ・標準仕様書[表11.1.1]
・図示(図面番号：)

2. タイル張り
（11.1.4）
（表11.2.3）
（11.2.2）
（11.

工事特記仕様書（改修）

I. 工事名称 _____ 以下、A-001による

II. 工事概要 _____

1 工事場所 _____

2 敷地面積 _____

3 工事内容 _____

標名称 _____

構造 _____

建築面積 _____

延べ面積 _____

工事項目 _____

III. 建築改修工事仕様

1 共通仕様 _____

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。

2 特記仕様 _____

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修仕の該当項目等を示す。

一般共通事項

①適用基準等

②施工条件

③発生材の処理等
(1.3.12)

特記事項

1) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）
2) 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）
3) 建築物解体工事共通仕様書
国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）
4) 建築工事標準詳細図
国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）

施工方法及び検査に関する事項
※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。
※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。
※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手すること。
※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。
※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。
※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。
※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
※ 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立合いのもと写真に記録しておくこと。
※ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。
※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。
なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
※ 高所等の施工箇所で完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前にも市検査課による随時検査（書類を含む）を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。

本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号、以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

・分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・ 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・ 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
屋根	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
その他 ()	・ 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用

☒ 引き渡しを要するもの ☒ 無 ☐ ()
・ 特別管理産業廃棄物 ☒ 有 ☐ (PCBを含む機器類 ・ 炭油、廃酸、廃アルカリ ・ ダイオキシン類
・ 水銀を含む特別管理産業廃棄物 ・ 廃水銀等)

処理方法 ()
・ 水銀使用製品産業廃棄物 ☒ 有 ☐ (蛍光灯ランプ ・ HIDランプ ・ ())
「水銀廃棄物ガイドライン」（第2版）（平成31年3月 環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課）に基づき適切に処理すること。

☒ 石綿含有成形板等解体時の留意点
1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
2. 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。
3. 飛散されない様にする。
4. 保護具及び作業着を着用すること。
5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。

・ 現場において再利用を図るもの ()
☒ 再資源化を図るもの ☒ コンクリート塊
・ ☒ アスファルトコンクリート塊
・ ☒ 建設発生木材
()

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調査を作成し、監督員へ提出すること。
引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

4	建設副産物情報交換システムの利用	受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。 なお、各計画書及び実施書の作成等は、JAGICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。																																	
5	三重県産業廃棄物税	本工事に係る産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェスト）の数量の集計）を超えて請求することはできない。																																	
6	電気保安技術者 (1.3.3)	○ 配置する																																	
7	技能士 (1.7.2)	職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。																																	
8	施工数量調査 (1.6.2)	調査範囲及び調査方法 ○ 工種別の特記による																																	
9	調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)	補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）																																	
10	建築材料等	1） 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。 2） 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。																																	
11	化学物質の濃度測定 (1.6.9)	測定対象化学物質（●で示したものとする。） <table><tr><th>適用</th><th>施設用途</th><th>ホルムアルデヒド</th><th>トルエン</th><th>キシレン</th><th>エチルベンゼン</th><th>スチレン</th><th>パラジクロロベンゼン</th></tr><tr><td>○</td><td>学校・教育施設</td><td>●</td><td></td><td>●</td><td></td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td></td><td>住宅</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td></td></tr><tr><td></td><td>その他</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td></td></tr></table> 測定対象室及び測定箇所数 ○ 図示（図面番号：A-038～043 ） ・ （ ） 測定方法（○ パッシブ法 ・ アクティブ法） 測定時期 ・ （ ） 報告書提出部数 2部		適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン	○	学校・教育施設	●		●		●	●		住宅	●	●	●	●	●			その他	●	●	●	●	●	
適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン																												
○	学校・教育施設	●		●		●	●																												
	住宅	●	●	●	●	●																													
	その他	●	●	●	●	●																													
12	特別な材料の工法	改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。																																	
13	騒音・振動の防止	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。																																	
14	工事写真 (1.2.4)	営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部（最新版））に従い撮影する。 提出部数1部 用紙は上質紙とする。 なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（令和5年3月1日国営建技14号）」による。																																	
15	完成図等 (1.8.2) (1.8.3)	作成する（○ 完成図 ・ 保全に関する資料 ・ （ ）） 完成図作図範囲（設計図を訂正） 完成図はC A Dにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる著作権は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。																																	
16	完成写真	○ デジタルカメラで撮影し、全て1版相当サイズで印刷する。 （A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。																																	
17	設備工事との取合い	施工範囲 ○ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ○ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ○ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ○ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ○ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。 工事施工に際し、既存部分を汚損した場合は又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて原状に準じて補修する。																																	
18	既存部分等への処置 (1.3.13)																																		
19	事故の発生時	工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事務所事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。																																	
20	消防提出書類	1） 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ○ 本工事（○ 建築工事 ○ 電気設備工事 ○ 機械設備工事） ・ 別途工事 2） 防火対象物使用開始届出書 書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。																																	
21	労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置	労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。																																	
22	不正軽油の使用の禁止	1） 一般事項 工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入・搬出車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。 2） 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。 3） 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。																																	
23	屋外広告物	屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。																																	

[illegible]

④

塗り仕上げ
(4. 5. 2)
(表4. 5. 1 (その1)
(その2))

種 類	呼び名	仕上げ形状	工 法
薄付け仕上塗材	○ 外装薄塗材 E	○ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状	吹付け
		・ ゆず肌状 ・ さざ波状	ローラー
		・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け ・ こて
		・ ()	・ ()
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材 C	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて
	・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材 E	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し	・ こて ・ ローラー
複層仕上塗材	○ 複層塗材 E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材 E ・ 防水形複層塗材RE	・ ゆず肌状	ローラー
		・ 凸部処理	吹付け
		○ 凹凸状	吹付け
		・ ()	・ ()
可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE	・ 平たん状 ・ さざ波状	ローラー
		・ ゆず肌状	吹付け

・ 外装厚塗 C の上塗材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量 (kg/m2)

・ マスチック塗材塗り ・ A 種 ・ B 種

複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外 観
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
・ アクリル シリコン系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
○ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	○ 水系	○ 艶有 ・ 艶無

(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法

種類	仕上げの形状	工 法
外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 吹付け
	・ 凸部処理	
	・ ゆず肌状	・ ローラー
	・ さざ波状	

既存塗膜等の除去及び下地処理

工 法	処理範囲
・ サンダー工法	
○ 高圧水洗工法	
・ 塗膜はく離剤工法	
○ 水洗い工法 (○ 高圧ポンプ (10～15MPa) ・ デッキブラシ)	
下地調整	
○ C-1 ○ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()	

⑤

建 具
改 修 工 事

①

改修工法
(5. 1. 3)

○ かぶせ工法
○ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法

○ 撤去工法
○ はつり工法 ・ 引抜き工法

②

防火戸
(5. 1. 4)

○ 例示仕様 ・ 個別認定 (認定番号:)
・ 自動閉鎖機構 ○ 図示 (図面番号: A-104, 105)

③

見本の製作
(5. 1. 5)

・ 製作する ○ 製作しない

4

防犯建物部品
(5. 1. 7)

・ 図示 (図面番号:)

5

ブラインドボックス等
(5. 1. 6) (3)

・ 再使用する ・ 再使用しない

⑥

アルミニウム製
建具
(5. 2. 2)
(5. 2. 4)
(表5. 2. 1)

(表5. 2. 2)

外部建具の性能等級等 ・ A 種 ○ B 種 ・ C 種

○ 枠の見込み寸法 ○ 70mm ・ ()
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号:)

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別
・ 外部に面する建具 (過酷な環境の屋外)
・ BA-1 ・ BA-2 ・ ()
○ 外部に面する建具 (一般的な環境の屋外)
○ BB-1 ・ BB-2 ・ ()
・ 内部に面する建具
・ BC-1 ・ BC-2 ・ ()

環境配慮改修工事

地盤の載荷試験
試験方法 ・ 平板載荷 ・ ()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・ 図示(図面番号:) 載荷荷重 (kN)
報告書 ・ 提出部数 2部
杭地業の工法、寸法
・ 図示(図面番号:)
杭頭処置
・ 行う ・ 行わない
砂利及び砂地業
範囲 ・ 図示(図面番号:) 厚さ(mm) ・ 60 ・ ()
捨てコンクリート地業
範囲 ・ 図示(図面番号:) 厚さ(mm) ・ 50 ・ ()

⑨

①

石綿含有建材の除去工事
(9.1.1)

・ 石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点
・	測定 2		・ 調査対象室外部の付近 ・ 処理作業室外(敷地境界)	計 4 点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点
・	測定 4		負圧・除じん装置の排出吹き出し口 以下位置	計 点
・	測定 5	処理作業後 (シート養生中)	・ 処理作業室内 ・ 処理作業室外(敷地境界)	計 4 点
・	測定 6		・ 処理作業室内 ・ 処理作業室外	計 点
・	測定 7	処理作業後シート除去後 1 週間以降	処理作業室内	計 点
・	測定 8		調査対象室外部の付近	計 点

測定方法	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()
試料の吸引時間(min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()

(9.1.3)

・ 石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:)
除去工法 ・ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・ ()
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止
・ 湿潤化 ・ 固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(熔融又は無害化による)

(9.1.4)

・ 石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:)
除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.4(1)による ・ ()
除去した石綿含有保温材等の処分
・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(熔融又は無害化による)

(9.1.5)

・ 石綿含有成形板の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号: A-19)
石綿含有せっこうボードの処分
・ 埋立処分(管理型最終処分場)
石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分
・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(熔融又は無害化による)

(9.1.6)

・ 石綿含有仕上塗材の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号: A-46、A-48)
除去した石綿含有仕上塗材等の処分
・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(熔融又は無害化による)
※大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル(令和3年3月)」に基づき適切に処理すること。
・ 除去等作業の結果報告
除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。

2

断熱アスファルト防水改修工事
(9.2.1)~(9.2.3)

3

外断熱改修工事
(9.3.2)

4

断熱・防露改修工事
(9.5.2)

5

屋上緑化改修工事
(9.6.1)(9.6.2)(9.6.3)

改修特記仕様書 3 章による

断熱材

種類	厚さ[mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ロックウール断熱材	
・ グラスウール断熱材	
・ ()	

施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

外装材

種類	防火性能	備考
・		

(9.3.3) 既存外壁の措置
既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし
下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない
欠損部の改修工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ ()

(9.3.4) 工法
通気層の有無 ・ あり(mm) ・ なし
断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ ()
外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ ()
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法)
・ 適用しない
不陸等の下地調整 ・ 行う

・ 断熱材打込み工法

種類	厚さ[mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ()	

施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

(9.5.3) ・ 断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ・ A 種 1 ・ A 種 1 H ・ ()
厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 ・ ()
施工箇所 ・ 図示(図面番号:)

・ 現場発泡断熱材
(品質・性能)
工事建築材料等品質性能表による
(試験方法)
工事建築材料等品質性能表による

(9.5.4) ・ 断熱材後張り工法

種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ [mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有	・ 無
・ フェノールフォーム断熱材	・ 有	・ 無
・ ()	・ 有	・ 無

施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム
・ 適用する ・ 適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示(図面番号:) ・ ()
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

(9.6.3) 工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・ 適用しない

かん水装置 ・ 設置する(種類 ・)
既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない

6

透水性アスファルト舗装改修工事
(9.5.2)~(9.5.7)(9.5.9)

既存舗装の撤去及び再利用 ・ 図示(図面番号:) ・ ()
路床
路床の材料

種別	材料	厚さ[mm]
・ 盛土	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示(図面番号:) ・ ()
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシャーラン ・ クラッシャーラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下) ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()
・ フィルター層	・ 砂 ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()

路床安定処理
・ 添加材料による安定処理
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰(・特号 ・ 1号) ・ 消石灰(・特号 ・ 1号)
添加量(kg/m2) (目標CBR ・ 5以上 ・)

・ ジオテキスタイル
単位面積質量 ・ 60g/m2以上 ・ ()
厚さ[mm] ・ 0.5~1.0 ・ ()
引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・ ()
透水係数 ・ 1.5×10⁻²~1cm/sec 以上 ・ ()

試験
路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う ・ 行わない
路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない
現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ ・ 図示(図面番号:) ・ ()
路盤材料 ・ 再生材のクラッシャーラン
・ クラッシャーラン鉄鋼スラグ
・ 図示(図面番号:)
・ ()

試験
路盤締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない

舗装

材料	厚さ[mm]
・ ストレートアスファルト	・ 図示(図面番号:) ・ ()

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない
舗装の平坦性 ・ 著しい不陸がないもの ・ ()

設計
監理

類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士

設計者

一級建築士
第306854号
田中 召剛

一級建築士
第306854号
田中 召剛

変更・訂正 . . .

. . .
 . . .
 . . .

設計番号 No

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

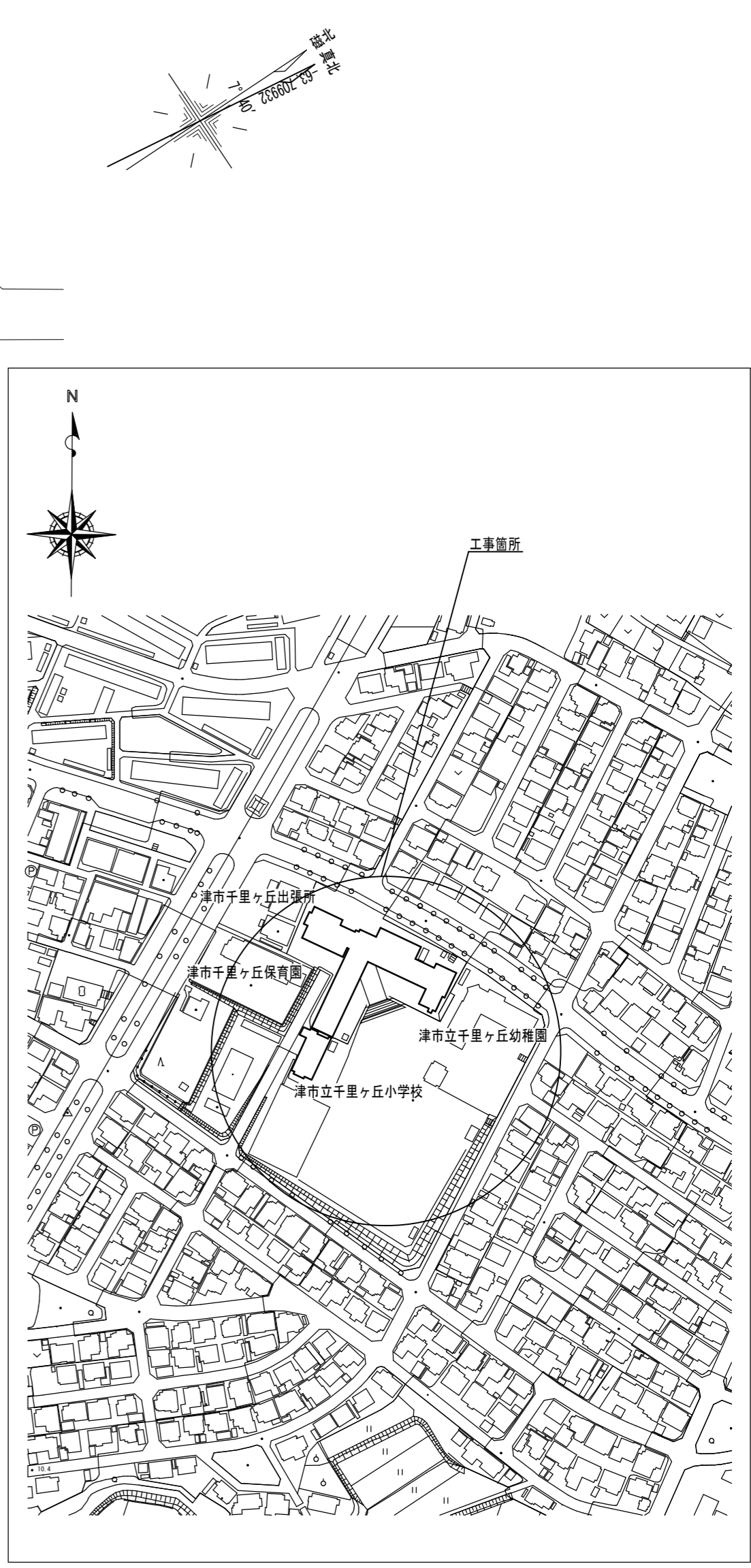
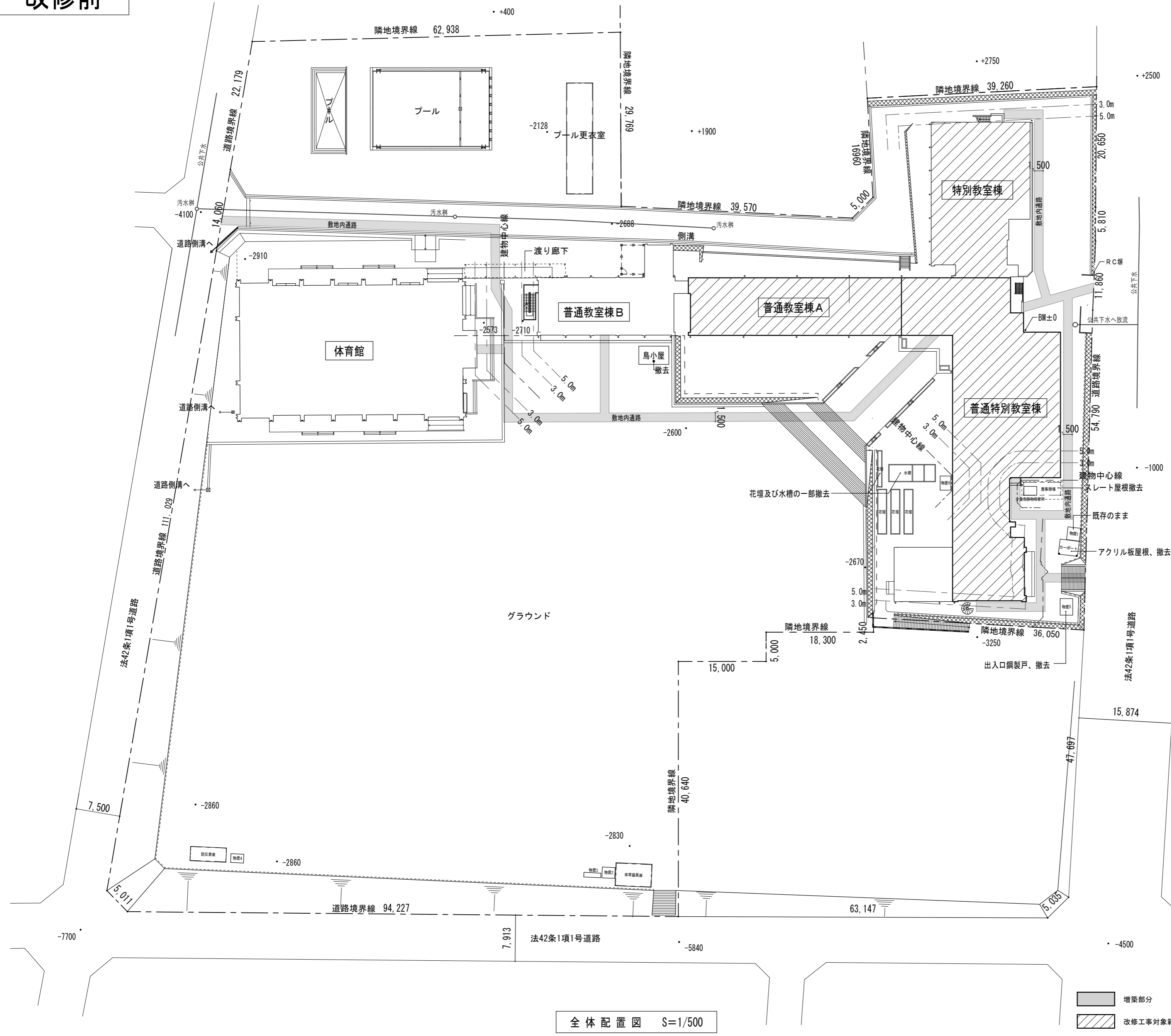
図面名称 縮尺

建築工事特記仕様書7(改修) S=NS

図面 No
A-015

原因: A 2

改修前



全 体 配 置 図 S=1/500

付近見取図



設計 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

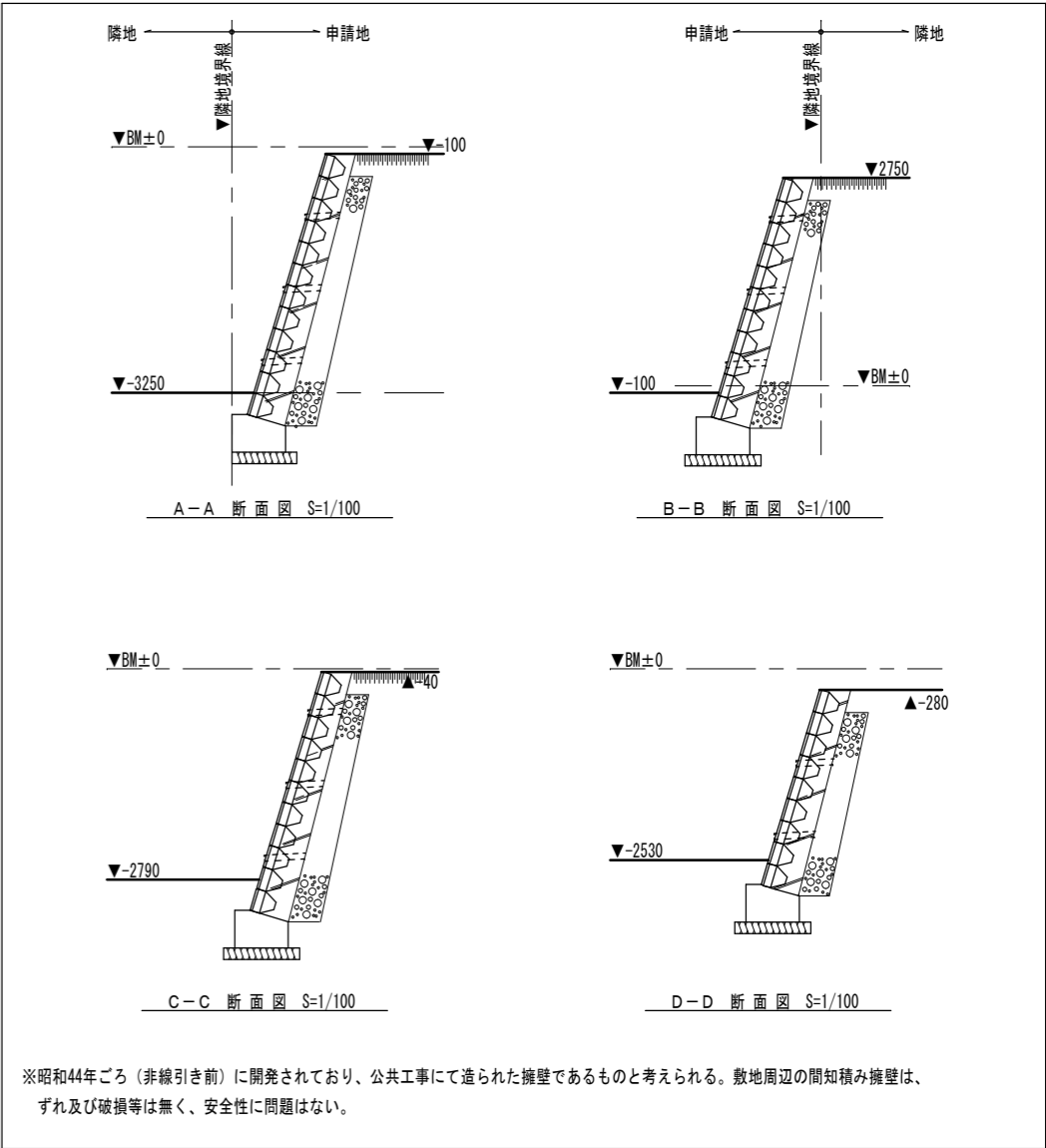
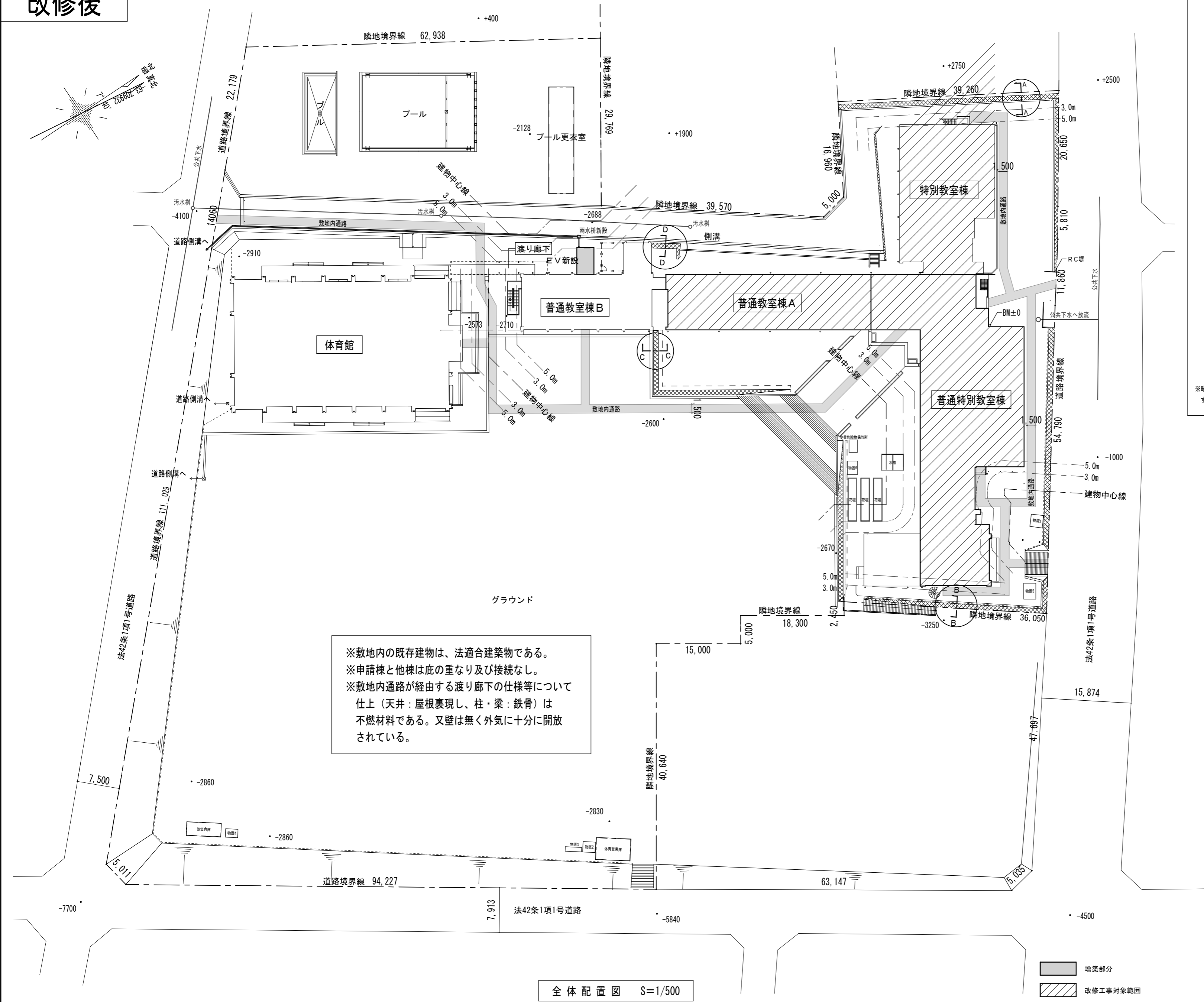
一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.
管理建築士	設計者			変更・訂正
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

設計番号 No	備考
津市立千ヶ丘小学校長寿命化改修工事	

図面名称	縮尺
全体配置図 (改修前)	S=1/500 (A3 : 1/705)
付近見取図	S=NS

図面 No	A-016
原因 : A 2	

改修後



設計 類 建築設計事務所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.
管理建築士	設計者			変更・訂正
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

設計番号 No.	備考
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事	

図面名称	縮尺
全体配置図 (改修後)	・ S=1/500 (A3 : 1/705)
	・ S=NS
	・
	・

図面 No.
A-017
原因: A 2

設 計 概 要					外 部 仕 上 表【増 築 部】					主 要 構 造 部 (増 築 部)										
工 事 名 称		津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事			部 位		仕 上			部 位		仕 上			部 位		使 用 材 料		認 定	
工 事 場 所		津市河芸町千里ヶ丘13番			屋 根	平場：ウレタン塗膜防水 通気暖衛工法 (X-1) 遮熱仕様 (フッ素)			外 壁		ALC-厚100 複層塗材 E吹付 (フッ素)			屋 根	合成スラブ用デッキプレート 71.2		FP060FL-0100			
用 途 地 域		第一種低層住居専用地域				立上り：ウレタン塗膜防水新設 密着工法 (X-2) 遮熱仕様 (フッ素)			EXP. J		アルミ製 (1時間耐火仕様)				デッキ高 50 コンクリート 厚80					
防 火 地 域		指定なし				合成スラブデッキプレート 厚1.2 溶接金網：6φ-100×100			根廻り		コンクリート打放し補修 誘発目地@3000				溶接金網：6φ-100×100					
そ の 他		22条区域				コンクリート金コテ押え 厚80+50								外壁 非耐力壁 ALC-厚100		平12建告1399号第1 ト				
						アルミ笠木 W：350 (コーナー共)									床	合成スラブ用デッキプレート 厚1.2		FP060FL-0100		
敷 地 面 積		面積図参照			オーバーフロー管 (塩ビ製 φ40) 2箇所									デッキ高 50 コンクリート 厚80						
建 築 面 積					铸铁製横引ドレン φ100用									溶接金網：6φ-100×100						
延 べ 面 積					縦 樋 ：硬質塩化ビニル製 (カラー) φ100			柱		鉄骨柱 ロックウール吹付 厚25			FP060CN-9460							
					掃除口 ：硬質塩化ビニル製 (カラー) φ100			梁		鉄骨梁 ロックウール吹付 厚25			FP060BM-9408							
					掴み金物：SUS製@1200															


内 部 仕 上 表【増 築 部】																			
	階	内装制限	室 名	床			巾 木			壁			天 井			廻縁	天井高さ	室名札	備 考
				記号	下地	仕上	記号	仕上	高さ	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上				
E V 棟	各階	準	E V ホール	B1Fのみ モルタル金こて押え 他階 セルフレベリング	ビニル床シート厚2.0張り		ビニル巾木	100		LGS下地	PB-12.5 EP塗		LGS下地	化粧PB-9.5張り	塩ビ	2500			
											既設モルタル、下地調整（RB種）の上 EP塗								
											耐火中空二重壁 EP塗								
			E V シャフト		コンクリート金こて押え	ケイ酸質系塗布防水塗（C-U1）		ケイ酸質系塗布防水塗（C-U1）				ALC-厚100 現し		――	デッキ現し	――	――	――	
												耐火中空二重壁 現し							

【特 記 事 項】	【シックハウス対応策】	【仕上記号略号】			【耐火認定番号】			【内装制限凡例】	
・壁ボード張り部分は、ジョイントレス大壁工法とする。 (寒冷紗・ジョイントテープ張り処理)	・仕様建材：F☆☆☆☆ (天井、壁、建具仕上材、接着剤、下地共)	記号	J I S 番号		P B 厚12.5	: NM-8619	<不燃>	Ⓐ 仕上、下地共不燃材	
・ボード類 壁コーナー処理は特記なき限りコーナー保護金物の上 ジョイントコンパウンド塗とする。	・内部塗料は、F☆☆☆☆品	E P	K5663	合成樹脂エマルジョンペイント	塗料一般 (E P)	: NM-8585	<不燃>	Ⓐ 仕上不燃材	
・土間コンクリート下は、ポリエチレンフィルム厚0.15敷き タテ、ヨコ重ね部分 L=200以上とする。	・クロルピリボス使用なし	O P	K5658	耐候性塗料	化粧 P B 厚9.5	: QM-0524	<準不燃>	Ⓑ 仕上、下地共準不燃材 以上	
・参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。								Ⓑ 仕上準不燃材 以上	
・使用建築材料：特記なき限りJIS・JAS認定品を使用する事。		【記号略号】						Ⓒ 仕上難燃材 以上	
・E V棟に石綿・ホルムアルデヒドの使用はないものとする。		記号	名称		【認定番号】				
		P B	石膏ボード		耐火中空二重壁 L G S 下地 強化 P B 厚21+強化 P B 厚21 (両面)			耐火構造 FP060NP-0197	
		L G S	軽量鉄骨下地						

外 部 仕 上 表【既 設 改 修 部】																	
部 位			仕 上			部 位			仕 上			部 位			仕 上		
屋 上	改修前	平 場：アスファルト防水 撤去（アスベスト含有） 脱気筒撤去、目地材撤去、既設ドレン撤去	シーリング 防水	改修前	建具周囲シーリング 撤去	縦樋	改修前	縦樋：硬質塩ビ管 φ100 撤去 養生管：φ125 撤去 縦樋：硬質塩ビ管 φ114 撤去 飾り柵：塩ビ製 撤去									
		立上り：側溝・笠木：既設アスファルト防水（アスベスト含有）及びシート防水 撤去 脱気筒撤去 パラペット部：塗布防水		改修後	建具周囲シーリング MS-2 新設		改修後	縦樋：硬質塩ビ管 φ100 新設 飾り柵：塩ビ製 新設									
	改修後	平 場：ウレタン塗膜防水新設（通気緩衝工法 X-1工法） ケレン清掃、伸縮目地ガラス発砲骨材入り樹脂モルタル充填、エチレン酢酸ビニル系ポリマーセメント 仮防水、 ドレン廻り補修、改修用ドレン設置、脱気筒設置	玄関庇	改修前	平 場：ウレタン塗膜防水 立上り：ウレタン塗膜防水 軒裏：銅板製スバンドレル	建具	改修前	アルミ製建具（外部サッシ）									
		立上り：ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法） ケレン清掃の上、エチレン酢酸ビニル系ポリマーセメント 仮防水 パラペット部：高圧洗浄、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメント ノロ引き、ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法）		改修後	平 場：高圧洗浄、ケレン清掃の上、ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法） 立上り：高圧洗浄、ケレン清掃の上、ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法） 軒裏：下地処理ＲＢ種の上 ＤＰ塗り		改修後	清掃の上飛散防止フィルム貼り 新設 一部、カバー工法による改修（一般サッシ及び防火設備）									
屋 上 （平屋部）	改修前	平 場：既設シート防水（平面：断熱工法） 撤去 断熱材撤去、既設ドレン撤去	庇	改修前	吹付タイル	屋外階段 （螺旋階段）	改修前	ＯＰ塗り									
		立上り：既設シート防水 撤去 押え金物撤去 パラペット部：防水モルタル		改修後	高圧洗浄、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメント ノロ引き ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法）		改修後	下地処理ＲＢ種の上 ＤＰ塗り									
	改修後	平 場：ウレタン塗膜防水新設（断熱機械固定工法 X-1工法） ケレン清掃、エチレン酢酸ビニル系ポリマーセメント 仮防水 ドレン廻り補修、改修用ドレン設置、脱気筒設置、平場端末押え金物設置	外壁	改修前	外壁：モルタル塗りの上、吹付タイル 外壁：モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有） 腰壁：カラコンモザイクタイル貼り 鉄板巻き補強部：ポリウレタンエナメル塗装（2-UE）												
		立上り：ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法） ケレン清掃の上、エチレン酢酸ビニル系ポリマーセメント 仮防水 パラペット部：高圧洗浄、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメント ノロ引き、ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法）		改修後	高圧洗浄、下地調整塗材（0-1）の上、複層塗材E吹付（フッ素系） 湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材（0-2）の上、複層塗材E吹付（フッ素系） 腰壁：カラコンモザイクタイル貼り【既存のまま】 鉄板面：下地処理ＲＢ種の上、ＤＰ塗装												
屋 上 （ベントウ）	改修前	平 場：アスファルト防水 撤去（アスベスト含有） 脱気筒撤去、目地材撤去、既設ドレン撤去	軒裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付 モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付（アスベスト含有）												
		立上り・側溝・笠木：既設アスファルト防水（アスベスト含有）及びシート防水 撤去 押え金物撤去		改修後	高圧洗浄、下地調整塗材（0-1）の上、外装薄塗材E吹付 湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材（0-2）の上、外装薄塗材E吹付												
	改修後	平 場：ウレタン塗膜防水新設（通気緩衝工法 X-1工法） ケレン清掃、伸縮目地ガラス発砲骨材入り樹脂モルタル充填、エチレン酢酸ビニル系ポリマーセメント 仮防水、 ドレン廻り補修、改修用ドレン設置、脱気筒設置	巾木	改修前	モルタル塗りこて押え												
		立上り：ウレタン塗膜防水新設（密着工法 X-2工法） ケレン清掃の上、エチレン酢酸ビニル系ポリマーセメント 仮防水		改修後	水洗い												

内 部 仕 上 表【既 設 改 修 部】													
	階	室名		床	巾木	H	腰壁	H	壁	天井	廻縁	CH	備考
特 別 普 通 教 室 棟	1	玄関ホール	改修前	長尺シート貼り	人研ぎ	100	――	――	モルタル 金こて仕上 E P 塗り	化粧PB-9.5 張り	塩ビ	3000	
									タイル貼り	モルタル 金こて仕上 E P 塗り			
			改修後	【既設のまま】	【既設のまま】	――	――	――	モルタル面：下地処理ＲＢ種の上 E P 塗り	化粧PB-9.5 張り【既設のまま】	【既設のまま】	――	
									タイル貼り【既設のまま】	モルタル面：下地処理ＲＣ種の上 E P 塗り			
		昇降口	改修前	長尺シート貼り	モルタル E P 塗り	100	――	――	モルタル 金こて仕上 E P 塗り	石綿セメント板 厚5 目透かし張りE P 塗り	塩ビ	3000 ～ 3150	
					人研ぎ								
改修後	【既設のまま】	モルタル面：下地処理ＲＢ種の上 E P 塗り	――	――	――	下地処理ＲＢ種の上 E P 塗り	下地処理ＲＣ種の上 E P 塗り	【既設のまま】	――				
		人研ぎ【既設のまま】											

内 部 仕 上 表【既 設 改 修 部】													
	階	室名		床	巾木	H	腰壁	H	壁	天井	廻縁	CH	備考
特別普通教室棟	1	廊下	改修前	長尺シート貼り	ラワン材 厚18 OP塗り	100	――	――	モルタル 金こて仕上 EP塗り	PB 厚9 目透かし張り EP塗	塩ビ	2400	
					木製 SOP塗り				既調合モルタル薄塗り 厚5				
					既調合モルタル薄塗り 厚5				難燃ベニヤ 厚5.5目透かし張り OP				
									ラワン合板 厚5.5目透かし張り SOP				
	改修後	【既設のまま】		木部：下地処理RB種の上 EP-G塗り	――	――	――	モルタル面：下地処理RB種の上 EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	塩ビ製撤去 塩ビ製新設	――	掲示作品、掲示板 脱着 掃除入れ、スチール棚 脱着	
								モルタル面：下地処理RB種の上 EP塗り	木部：下地処理RB種の上 EP-G塗り				ジョイントボード撤去の上、化粧PB 厚9.5張り
	2	廊下	改修前	長尺シート貼り	木製 SOP塗り	100	[教室側] ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	[教室側] ラスボード下地、プラスター塗り	PB 厚9 目透かし張り EP塗	塩ビ	2480	ステンレス製手洗い 撤去
						[窓側] RC下地、モルタル塗りVP		[窓側] RC下地、プラスター塗り 柱部：鉄板巻き SOP					
		改修後	【既設のまま】	木部：下地処理RB種の上 EP-G塗り	――	[教室側] 下地処理RB種の上 EP塗り	――	[教室側] プラスター面：下地処理RB種の上EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	――	タブレット充電BOX移設・再据付 掲示板 脱着 ステンレス製手洗い 新設	
						[窓側] 下地処理RB種の上 EP塗り		[窓側] プラスター面：下地処理RB種の上EP塗り 鉄板面：下地処理RB種の上 EP-G塗り					
		教室（2-3）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	――	
		教室（6-1）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	化粧石膏ボード 厚9.5 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	【既設のまま】	【既設のまま】	――	
		教室（6-2）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	化粧石膏ボード 厚9.5 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	【既設のまま】	【既設のまま】	――	
		教室（6-3）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	――	
	3	廊下	改修前	長尺シート貼り	木製 SOP塗り	100	[教室側] ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	[教室側] ラスボード下地、プラスター塗り	PB 厚9 目透かし張り EP塗	塩ビ	2480	ステンレス製手洗い 撤去
						[窓側] RC下地、モルタル塗りVP		[窓側] RC下地、プラスター塗り 柱部：鉄板巻き SOP					
		改修後	【既設のまま】	木部：下地処理RB種の上 EP-G塗り	――	[教室側] 下地処理RB種の上 EP塗り	――	[教室側] プラスター面：下地処理RB種の上 EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	――	タブレット充電BOX移設・再据付 スチール棚移設・再据付 ステンレス製手洗い 新設	
						[窓側] 下地処理RB種の上 EP塗り		[窓側] プラスター面：下地処理RB種の上 EP塗り 鉄板面：下地処理RB種の上 EP-G塗り					※一部撤去、天井下地不陸調整の上 PB-9.5張り EP塗り
		教室（4-3）	改修前	ナラフローリングブロックOSW	木製 OP塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りVP	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理RB種の上 EP-G塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	――	下地処理RB種の上 EP塗り	下地処理RC種の上 EP塗り	【既設のまま】	――	掲示板 シート張替え

	設計 監理	類 建 築 設 計 事 務 所	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 No	津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事	備考	図面名称 縮尺		図面 No A-020 原図：A 2		
			管理建築士	設計者							変更・訂正 . . .	改修前・改修後 仕上表2（改修部）・ S=NS			
			一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛							.				
											.				
											.				
〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754															

内 部 仕 上 表【既 設 改 修 部】													
	階	室名		床	巾木	H	腰壁	H	壁	天井	廻縁	CH	備考
特別普通教室棟	1 2 3 P H	階段室B	改修前	踏面：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り 蹴上げ：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	100	モルタル塗りV P	――	モルタル塗りV P	天井面：モルタル塗り E P 塗 ----- 段 裏：モルタル塗りE P 塗	――	――	
			改修後	【既設のまま】	【既設のまま】	――	下地処理R B種の上 E P 塗り	――	下地処理R B種の上 E P 塗り	天井面：【既存のまま】 ----- 段 裏：下地処理R B種の上 E P 塗	――	――	
		階段室C	改修前	踏面：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り 蹴上げ：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	100	モルタル塗りV P	――	モルタル塗りV P	天井面：P B 厚9 目透かし張り E P 塗 ----- 段 裏：モルタル塗りE P 塗	塩ビ	――	
			改修後	【既設のまま】	【既設のまま】	――	下地処理R B種の上 E P 塗り	――	下地処理R B種の上 E P 塗り	天井面：下地処理R B種の上 E P 塗 ----- 段 裏：下地処理R B種の上 E P 塗	【既設のまま】 ――	――	
	1 2 3												
普通教室棟 A	1	廊下	改修前	長尺シート貼り	木製 S O P 塗り	100	[教室側] ラスボード下地、モルタル塗りV P	1500	[教室側] ラスボード下地、プラスター塗り	P B 厚9 目透かし張り E P 塗	塩ビ	2480	人研ぎ手洗い（ステンレス巻き）撤去
							[窓側] R C下地、モルタル塗りV P		[窓側] R C下地、プラスター塗り 柱部：鉄板巻き S O P				
			改修後	【既設のまま】	木部：下地処理R B種の上 E P－G 塗り	――	[教室側] 下地処理R B種の上 E P 塗り	――	[教室側] プラスター面：下地処理R B種の上 E P 塗り 鉄板面：下地処理R B種の上 E P－G 塗り	下地処理R C種の上 E P 塗り	【既設のまま】	――	掲示板 シート張替え ステンレス製手洗い 新設
							[窓側] 下地処理R B種の上 E P 塗り		[窓側] プラスター面：下地処理R B種の上 E P 塗り				
		教室（あゆみ1）	改修前	ナラフローリングブロックO S W	木製 O P 塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りV P ----- スチールパーティション	1500 ――	ラスボード下地、プラスター塗り ----- スチールパーティション	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理R B種の上 E P－G 塗り	――	下地処理R B種の上 E P 塗り ----- パーティション：【既設のまま】	―― ――	プラスター面：下地処理R B種の上 E P 塗り ----- パーティション：【既設のまま】	下地処理R C種の上 E P 塗り	【既設のまま】	――	
		教室（あゆみ2）	改修前	ナラフローリングブロックO S W	木製 O P 塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りV P ----- スチールパーティション	1500 ――	ラスボード下地、プラスター塗り ----- スチールパーティション	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理R B種の上 E P－G 塗り	――	下地処理R B種の上 E P 塗り ----- パーティション：【既設のまま】	―― ――	プラスター面：下地処理R B種の上 E P 塗り ----- パーティション：【既設のまま】	下地処理R C種の上 E P 塗り	【既設のまま】	――	
		教室（あゆみ3）	改修前	ナラフローリングブロックO S W	木製 O P 塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りV P ----- スチールパーティション	1500 ――	ラスボード下地、プラスター塗り ----- スチールパーティション	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理R B種の上 E P－G 塗り	――	下地処理R B種の上 E P 塗り ----- パーティション：【既設のまま】	―― ――	プラスター面：下地処理R B種の上 ----- パーティション：【既設のまま】	下地処理R C種の上 E P 塗り	【既設のまま】	――	
		教室（あゆみ4）	改修前	ナラフローリングブロックO S W	木製 O P 塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りV P ----- スチールパーティション	1500 ――	ラスボード下地、プラスター塗り ----- スチールパーティション	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理R B種の上 E P－G 塗り	――	下地処理R B種の上 E P 塗り ----- パーティション：【既設のまま】	―― ――	プラスター面：下地処理R B種の上 E P 塗り ----- パーティション：【既設のまま】	下地処理R C種の上 E P 塗り	【既設のまま】	――	
		教室（1－3）	改修前	ナラフローリングブロックO S W	木製 O P 塗り	100	ラスボード下地、モルタル塗りV P	1500	ラスボード下地、プラスター塗り	吸音テックス 厚9 張り	塩ビ	2920	
			改修後	【既設のまま】	下地処理R B種の上 E P－G 塗り	――	下地処理R B種の上 E P 塗り	――	下地処理R B種の上 E P 塗り	下地処理R C種の上 E P 塗り	【既設のまま】	――	



設計 類 建 築 設 計 事 務 所
監 理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士 設計者

一級建築士 一級建築士
第306854号 第306854号
田中 召剛 田中 召剛

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

改修前・改修後 仕上表3（改修部） S-NS

.

.

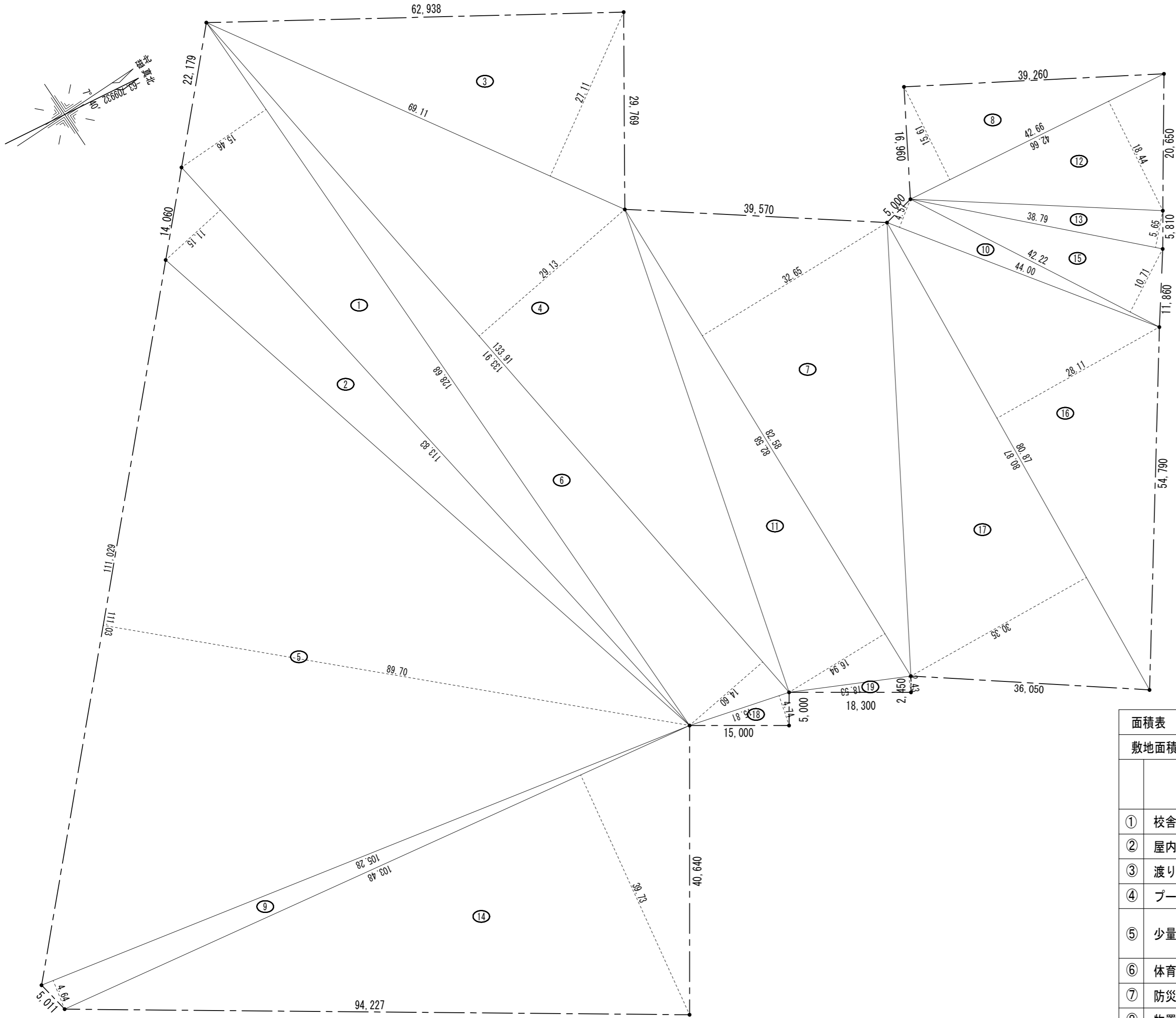
図面 No

A-021

原図：A 2

[illegible]

内 部 仕 上 表【E V 棟 増 築 による 既 設 改 修 部】													
	階	室名		床	巾木	H	腰壁	H	壁	天井	廻縁	CH	備考
普通教室棟B	B 1	ピロティ	改修前	土間コンクリート厚120	――	――	――	――	壁・柱：モルタル塗りの上、複層塗材E	スラブ・梁：コンクリート打放しの上、複層塗材E	――		
			改修後	一部土間研り、グレーチング設置の上 モルタル補修	――	――	――	――	【既設のまま】	【既設のまま】	――		
	1	廊下	改修前	長尺シート貼り	ラワン材 OP塗り	100	――	――	モルタル塗りVP ラワン合板厚12+有孔合板厚4張り SOP塗り	化粧石膏ボード 厚9.5	塩ビ	2500	収納家具 撤去
			改修後	【既設のまま】 EV棟増築よる壁撤去に伴い一部撤去 モルタル補修の上、新設	【既設のまま】 EV棟増築よる木製家具撤去に伴い、一部新設	―― 100	――	――	【既設のまま】 EV棟増築よる腰壁及び建具撤去に伴い 柱型部モルタル補修の上、EP塗り	【既設のまま】 EV棟増築よる腰壁及び建具撤去に伴い、一部撤去 下地調整の上、化粧石膏ボード 厚9.5張り 新設	【既設のまま】 塩ビ製撤去 塩ビ製新設	――	SUS製手洗い移設 収納家具（教室1年 1組、1年2組）新設
	2	廊下	改修前	長尺シート貼り	ラワン材 OP塗り	100	――	――	モルタル塗りVP ラワン合板厚12+有孔合板厚5.5張り SOP塗り ラワン合板厚12+シナ合板厚4張り SOP塗り	化粧石膏ボード 厚9.5	塩ビ	3040 ～ 2680	収納家具 撤去
			改修後	【既設のまま】 EV棟増築よる壁撤去に伴い一部撤去 モルタル補修の上、新設	【既設のまま】 EV棟増築よる木製家具撤去に伴い、一部新設	―― 100	――	――	【既設のまま】 EV棟増築よる腰壁・垂壁及び建具撤去に伴い 一部撤去、柱型部モルタル補修の上、EP塗り	【既設のまま】 EV棟増築よる腰壁及び建具撤去に伴い、一部撤去 下地調整の上、化粧石膏ボード 厚9.5張り 新設	【既設のまま】 塩ビ製撤去 塩ビ製新設	――	SUS製手洗い移設 緩降機移設 収納家具（教室3年 1組、3年2組）新設
	3	廊下	改修前	長尺シート貼り	ラワン材 OP塗り	100	――	――	モルタル塗りVP ラワン合板厚12+有孔合板厚5.5張り SOP塗り	化粧石膏ボード 厚9.5	塩ビ	2500	収納家具 撤去
			改修後	【既設のまま】 EV棟増築よる壁撤去に伴い一部撤去 モルタル補修の上、新設	【既設のまま】 EV棟増築よる木製家具撤去に伴い、一部新設	―― 100	――	――	【既設のまま】 EV棟増築よる腰壁及び建具撤去に伴い 一部撤去、柱型部モルタル補修の上、EP塗り	【既設のまま】 EV棟増築よる腰壁及び建具撤去に伴い、一部撤去 下地調整の上、化粧石膏ボード 厚9.5張り 新設	【既設のまま】 塩ビ製撤去 塩ビ製新設	――	SUS製手洗い移設 緩降機移設 収納家具（教室5年 1組、5年2組）新設



敷地求積図 S=1/500

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	128.68	15.46	1,989.3928	994.69640
2	113.83	11.15	1,269.2045	634.60225
3	69.11	27.11	1,873.5721	936.78605
4	133.91	29.13	3,900.7983	1,950.39915
5	111.03	89.70	9,959.3910	4,979.69550
6	133.91	14.60	1,955.0860	977.54300
7	82.58	32.65	2,696.2370	1,348.11850
8	42.66	15.61	665.9226	332.96130
9	105.28	4.64	488.4992	244.24960
10	44.00	4.57	201.0800	100.54000
11	82.58	16.94	1,398.9052	699.45260
12	42.66	18.44	786.6504	393.32520
13	38.79	5.65	219.1635	109.58175
14	103.48	39.73	4,111.2604	2,055.63020
15	42.22	10.71	452.1762	226.08810
16	80.87	28.11	2,273.2557	1,136.62785
17	80.87	30.35	2,454.4045	1,227.20225
18	15.81	4.74	74.9394	37.46970
19	18.53	2.43	45.0279	22.51395
合 計				18,407.48335
敷地面積				18,407.48 m ²

面積表								単位: m ²
敷地面積								18,407.48
	棟名	構造	建築面積			床面積		
			既存部分	増築部分	合計	既存部分	増築部分	合計
①	校舎	RC造3F+PH	2,076.16	13.06	2,089.22	5,328.42	56.48	5,384.90
②	屋内運動場	RC造2F	1,120.24	0.00	1,120.24	1,174.10	0.00	1,174.10
③	渡り廊下	S造1F	41.04	0.00	41.04	0.00	0.00	0.00
④	プール更衣室	CB造1F	81.99	0.00	81.99	81.99	0.00	81.99
⑤	少量危険物保管所	S造1F	3.30	0.00	3.30	3.30	0.00	3.30
⑥	体育器具庫	S造1F	32.98	0.00	32.98	32.98	0.00	32.98
⑦	防災倉庫	S造1F	14.31	0.00	14.31	14.31	0.00	14.31
⑧	物置1	S造1F	4.84	0.00	4.84	4.84	0.00	4.84
⑨	物置2	S造1F	4.07	0.00	4.07	4.07	0.00	4.07
⑩	物置3	S造1F	2.32	0.00	2.32	2.32	0.00	2.32
⑪	物置4	S造1F	3.30	0.00	3.30	3.30	0.00	3.30
⑫	物置5	CB造1F	5.36	0.00	5.36	5.36	0.00	5.36
⑬	物置6	S造1F	4.32	0.00	4.32	4.32	0.00	4.32
合計			3,394.23	13.06	3,407.29	6,659.31	56.48	6,715.79



設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	

設計番号 N o

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

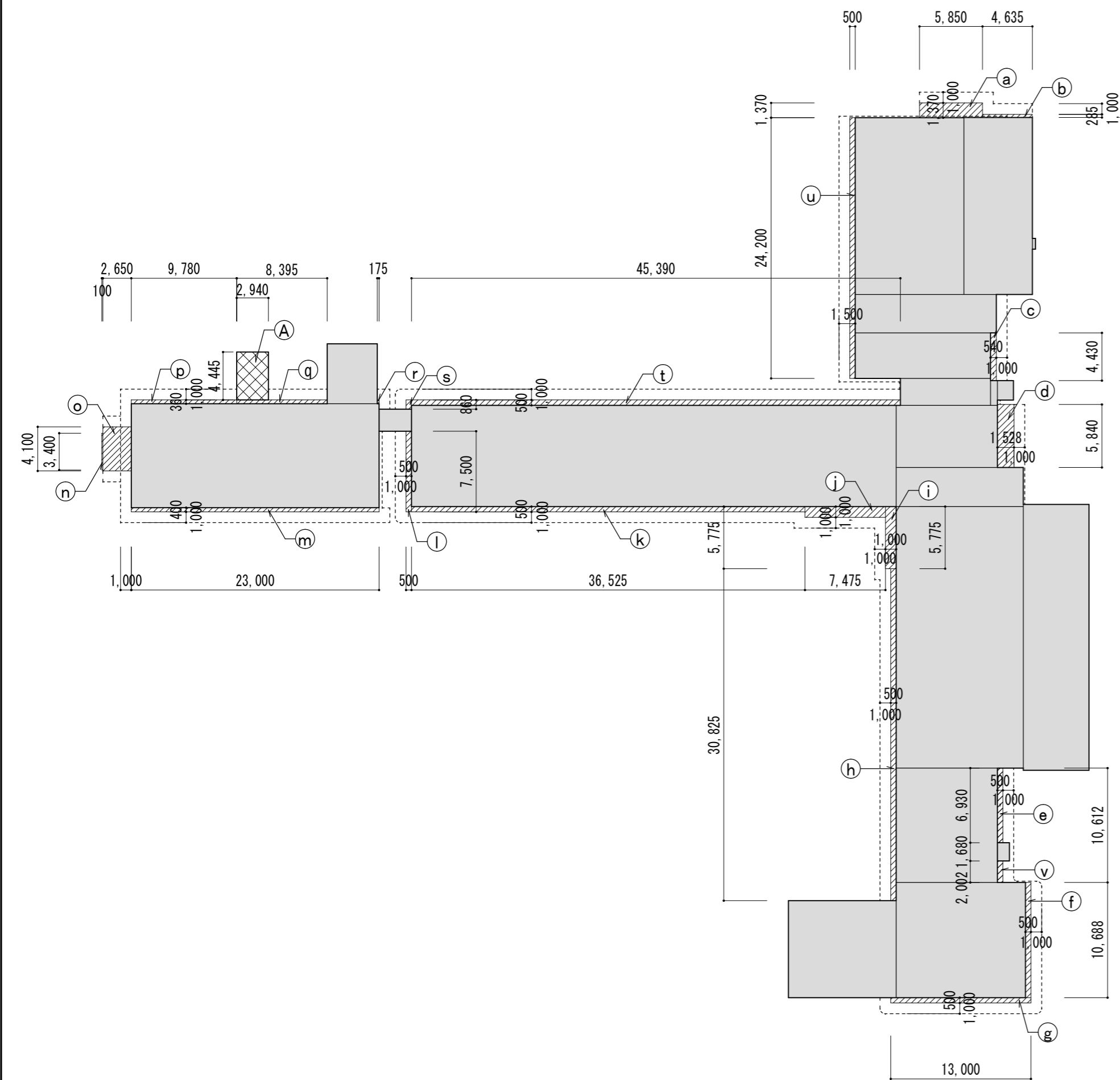
図面名称 縮尺

敷地面積求積図	S=1/500 (A3:1/705)
敷地面積計算表	S=NS
敷地内建物面積表	S=NS

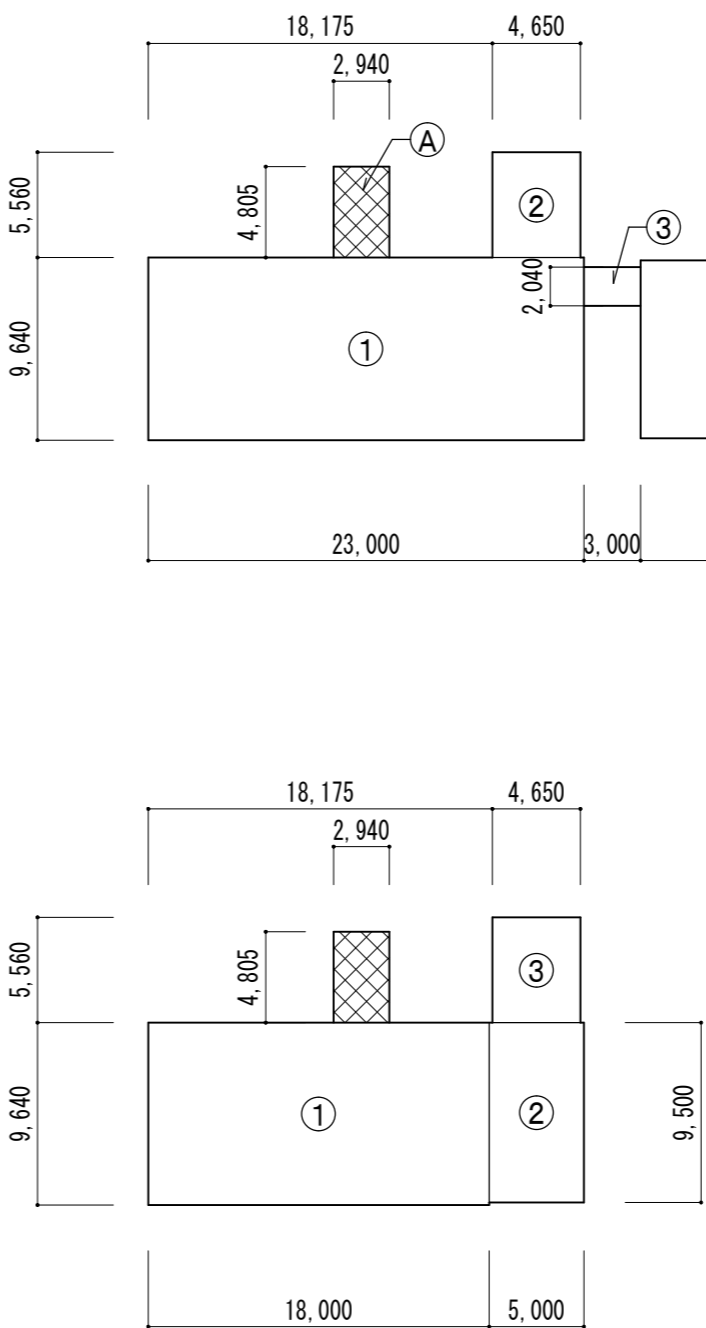
図面 No

A-024

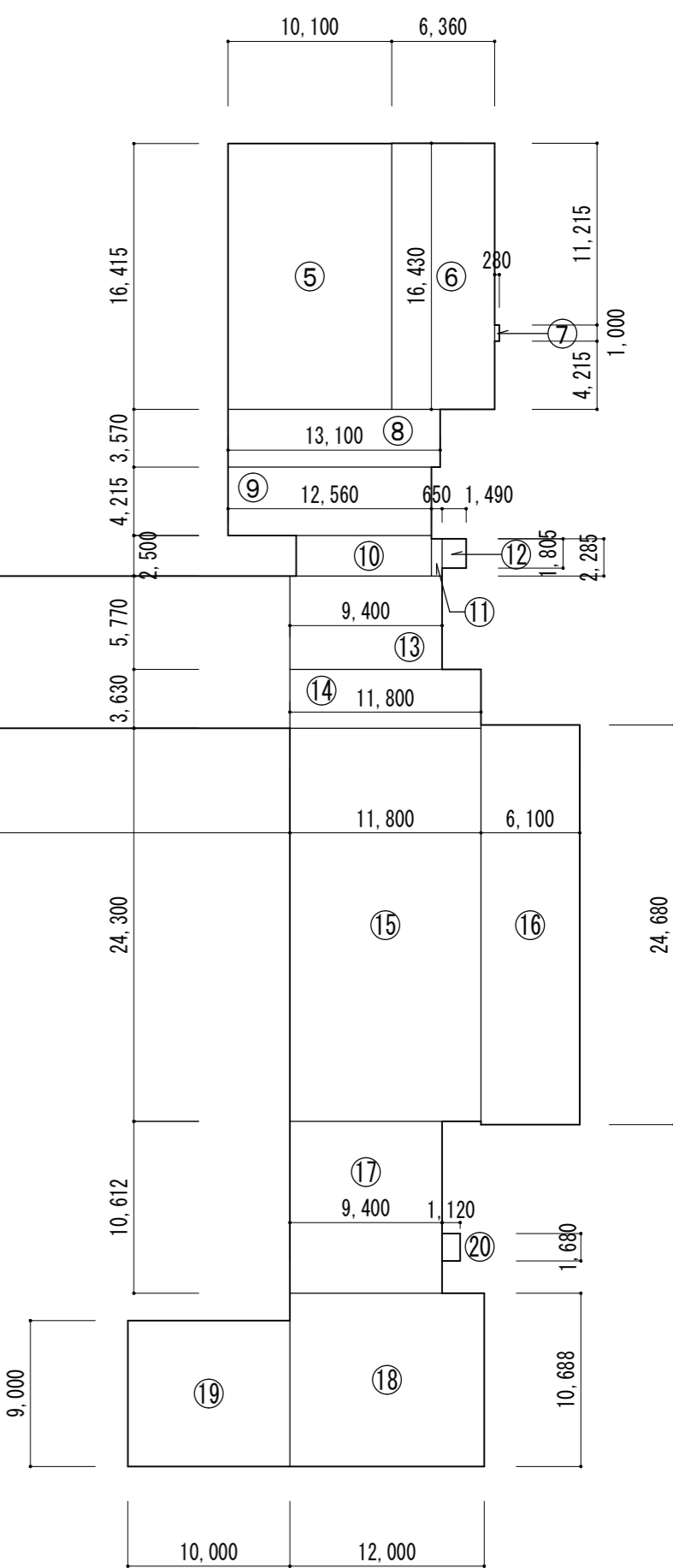
原図: A 2



建築面積図 S=1/400



B1階 面積図 S=1/400



1階 面積図 S=1/400



設計 類 建築設計事務所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称 縮尺
棟別面積図 1 S=1/400 (A3:1/564)

図面 No

A-025

原図: A 2



普通特別教室棟、特別教室棟、普通教室棟【既設増築】

■ 建築面積求積表					【単位：㎡】	
	エリア	記号	面積計算式		小計	合計
建築面積	既存部分		既存部分 1階床面積計算による		1,926.292800	1,926.29
		a	1.370 × 5.850	8.014500		
		b	0.285 × 4.635	1.320975		
		c	4.430 × 0.540	2.392200		
		d	5.840 × 1.528	8.923520		
		e	6.930 × 0.500	3.465000		
		f	10.688 × 0.500	5.344000		
		g	0.500 × 13.000	6.500000		
		h	30.825 × 0.500	15.412500		
		i	5.775 × 1.000	5.775000		
		j	1.000 × 7.475	7.475000		
		k	0.500 × 36.525	18.262500		
		l	7.500 × 0.500	3.750000		
		m	0.400 × 23.000	9.200000		
		n	3.400 × 0.100	0.340000		
		o	4.100 × 2.650	10.865000		
		p	0.360 × 9.780	3.520800		
		q	0.360 × 8.395	3.022200		
		r	0.360 × 0.175	0.063000		
		s	0.860 × 0.500	0.430000		
		t	0.500 × 45.390	22.695000		
		u	24.200 × 0.500	12.100000		
		v	2.002 × 0.500	1.001000	149.872195	149.87
	増築部分	A	4.445 × 2.940	13.068300	13.068300	13.06
	合計					2,089.22

■ B1階 床面積求積表					【単位：㎡】	
階数	エリア	記号	面積計算式		小計	合計
B1階	既存部分	①	9.640 × 18.000	173.520000	246.874000	246.87
		②	9.500 × 5.000	47.500000		
		③	5.560 × 4.650	25.854000		
	増築部分	A	4.805 × 2.940	14.126700	14.126700	14.12
合計					260.99	

■ 1階 床面積求積表					【単位：㎡】		
階数	エリア	記号	面積計算式		小 計	合 計	
1階	既存部分	①	9.640	× 23.000	221.720000	1,926.292800	1,926.29
		②	5.560	× 4.650	25.854000		
		③	2.040	× 3.000	6.120000		
		④	9.400	× 45.000	423.000000		
		⑤	16.415	× 10.100	165.791500		
		⑥	16.430	× 6.360	104.494800		
		⑦	1.000	× 0.280	0.280000		
		⑧	3.570	× 13.100	46.767000		
		⑨	4.215	× 12.560	52.940400		
		⑩	2.500	× 8.360	20.900000		
		⑪	2.285	× 0.650	1.485250		
		⑫	1.805	× 1.490	2.689450		
		⑬	5.770	× 9.400	54.238000		
		⑭	3.630	× 11.800	42.834000		
		⑮	24.300	× 11.800	286.740000		
		⑯	24.680	× 6.100	150.548000		
		⑰	10.612	× 9.400	99.752800		
		⑱	10.688	× 12.000	128.256000		
		⑲	9.000	× 10.000	90.000000		
		⑳	1.680	× 1.120	1.881600		
	増築部分	A	4.805	× 2.940	14.126700	14.126700	14.12
合計					1,940.41		

■ 2階 床面積求積表					【単位：m ² 】		
階数	エリア	記号	面積計算式		小 計	合 計	
2階	既存部分	①	9.640	× 23.000	221.720000	1,551.733480	1,551.73
		②	5.560	× 4.650	25.854000		
		③	2.040	× 3.000	6.120000		
		④	9.400	× 45.000	423.000000		
		⑤	16.415	× 10.100	165.791500		
		⑥	16.430	× 2.460	40.417800		
		⑦	3.570	× 13.100	46.767000		
		⑧	4.215	× 12.560	52.940400		
		⑨	2.500	× 8.360	20.900000		
		⑩	2.285	× 0.650	1.485250		
		⑪	1.805	× 1.490	2.689450		
		⑫	44.312	× 9.400	416.532800		
		⑬	1.688	× 11.110	18.753680		
		⑭	9.000	× 12.000	108.000000		
		⑮	0.680	× 1.120	0.761600		
	増築部分	A	4.805	× 2.940	14.126700	14.126700	14.12
	合計						1,565.85

■ 3階 床面積求積表					【単位：㎡】		
階数	エリア	記号	面積計算式		小 計	合 計	
3階	既存部分	①	9.640	× 23.000	221.720000	1,551.733480	1,551.73
		②	5.560	× 4.650	25.854000		
		③	2.040	× 3.000	6.120000		
		④	9.400	× 45.000	423.000000		
		⑤	16.415	× 10.100	165.791500		
		⑥	16.430	× 2.460	40.417800		
		⑦	3.570	× 13.100	46.767000		
		⑧	4.215	× 12.560	52.940400		
		⑨	2.500	× 8.360	20.900000		
		⑩	2.285	× 0.650	1.485250		
		⑪	1.805	× 1.490	2.689450		
		⑫	44.312	× 9.400	416.532800		
		⑬	1.688	× 11.110	18.753680		
		⑭	9.000	× 12.000	108.000000		
		⑮	0.680	× 1.120	0.761600		
	増築部分	Ⓐ	4.805	× 2.940	14.126700	14.126700	14.12
	合計					1,565.85	

■ P H階 床面積求積表					【単位：㎡】	
階数	エリア	記号	面積計算式		小 計	合 計
R 階	既存部分	①	7.400 × 7.000	51.800000	51.800000	51.80
	合計					51.80

■ 延べ床面積計算表							【単位：㎡】
	エリア	B1階	1階	2階	3階	P H階	合 計
延べ床面積	既存部分	246.87	1,926.29	1,551.73	1,551.73	51.80	5,328.42
	増築部分	14.12	14.12	14.12	14.12	——	56.48
	合 計	260.99	1,940.41	1,565.85	1,565.85	51.80	5,384.90

■ 建築面積計算表		【単位：㎡】
	エリア	合 計
建築面積	既存部分	2,076.16
	増築部分	13.06
	合 計	2,089.22

体育器具庫【既設】

7,250

①

4,550

面積図 S=1/400

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	4.550 × 7.250	32.987500	32.987500	32.987500
	合計	32.98			

防災倉庫【既設】

6,090

①

2,350

面積図 S=1/400

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	2.350 × 6.090	14.311500	14.311500	14.311500
	合計	14.31			

少量危険物保管所及び塵集積場【既設】

2,200

①

1,500

面積図 S=1/200

■ 建築面積・床面積求積表

3.300000【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	1.500 × 2.200	3.300000	3.300000	3.300000
	合計	3.30			

物置 1【既設】

2,200

①

2,200

面積図 S=1/200

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	2.200 × 2.200	4.840000	4.840000	4.840000
	合計	4.84			

物置 2【既設】

2,200

①

1,850

面積図 S=1/200

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	1.850 × 2.200	4.070000	4.070000	4.070000
	合計	4.07			

物置 3【既設】

2,900

①

1,800

面積図 S=1/200

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	0.800 × 2.900	2.320000	2.320000	2.320000
	合計	2.32			

物置 4【既設】

2,200

①

1,500

面積図 S=1/200

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	1.500 × 2.200	3.300000	3.300000	3.300000
	合計	3.30			

物置 5【既設】

2,680

①

2,000

面積図 S=1/200

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	2.000 × 2.680	5.360000	5.360000	5.360000
	合計	5.36			

物置 6【既設】

2,400

①

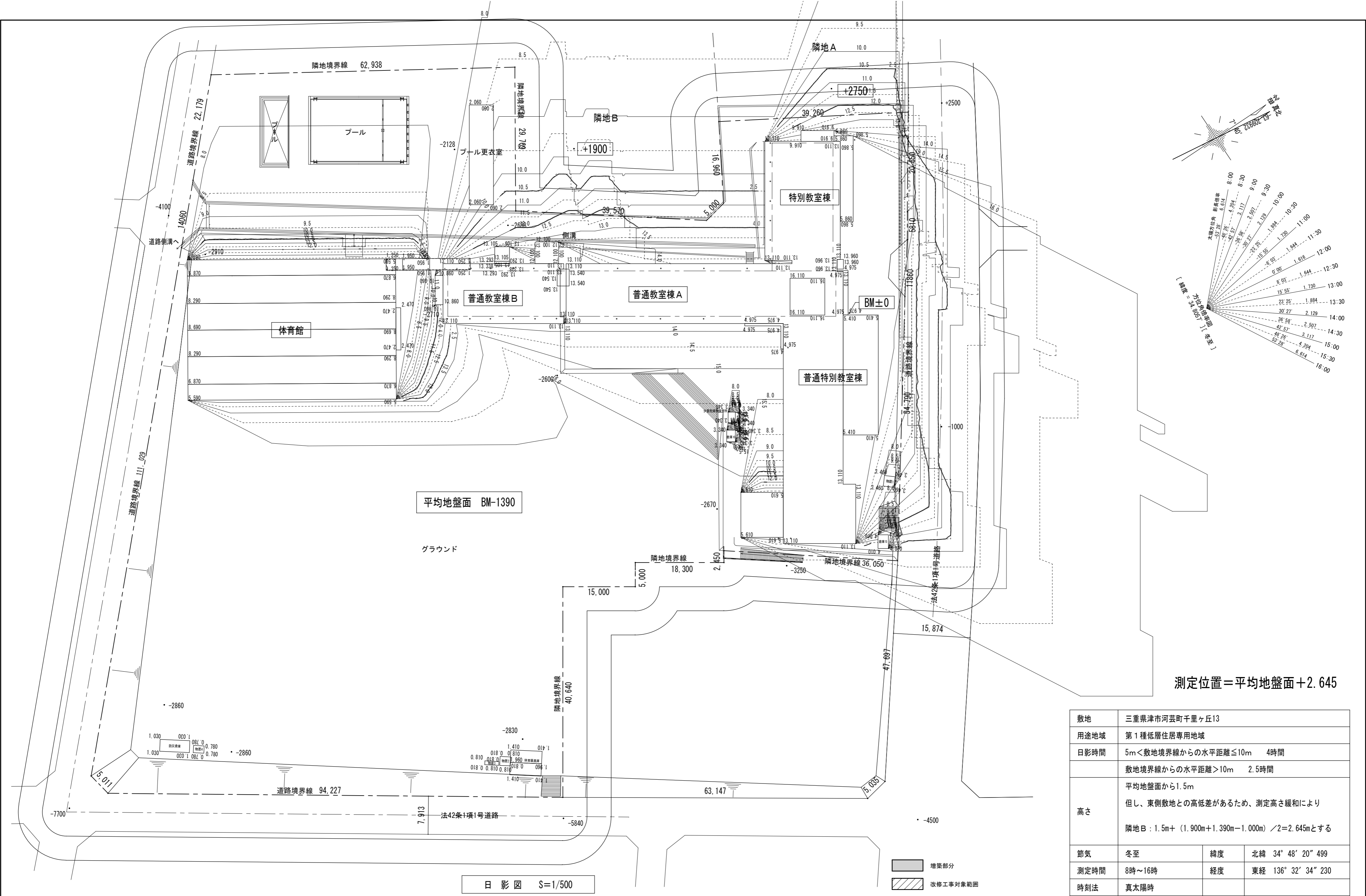
1,800

面積図 S=1/200

■ 建築面積・床面積求積表

【単位 : m²】

	記号	面積計算式		小 計	合 計
建築面積 床面積	①	1.800 × 2.400	4.320000	4.320000	4.320000
	合計	4.32			



測定位置＝平均地盤面＋2.645

敷地	三重県津市河芸町千里ヶ丘13		
用途地域	第1種低層住居専用地域		
日影時間	5m＜敷地境界線からの水平距離≤10m 4時間		
	敷地境界線からの水平距離＞10m 2.5時間		
高さ	平均地盤面から1.5m 但し、東側敷地との高低差があるため、測定高さ緩和により 隣地B：1.5m＋（1.900m＋1.390m－1.000m）／2＝2.645mとする		
節気	冬至	緯度	北緯 34° 48′ 20″ 499
測定時間	8時～16時	経度	東経 136° 32′ 34″ 230
時刻法	真太陽時		

影倍率表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]

時 刻	太陽 高度	太陽方位角	影長倍率	X 倍 率	Y 倍 率
8:00	8°36'	−53°28'	6.614	−5.315	3.937
8:30	13°23'	−48°26'	4.204	−3.145	2.789
9:00	17°47'	−42°57'	3.117	−2.123	2.282
9:30	21°45'	−36°58'	2.507	−1.508	2.003
10:00	25°10'	−30°27'	2.129	−1.079	1.835
10:30	27°57'	−23°25'	1.884	−0.749	1.729
11:00	30°02'	−15°55'	1.730	−0.474	1.664
11:30	31°19'	−8°03'	1.644	−0.230	1.628
12:00	31°45'	0°00'	1.616	0.000	1.616
12:30	31°19'	8°03'	1.644	0.230	1.628
13:00	30°02'	15°55'	1.730	0.474	1.664
13:30	27°57'	23°25'	1.884	0.749	1.729
14:00	25°10'	30°27'	2.129	1.079	1.835
14:30	21°45'	36°58'	2.507	1.508	2.003
15:00	17°47'	42°57'	3.117	2.123	2.282
15:30	13°23'	48°26'	4.204	3.145	2.789
16:00	8°36'	53°28'	6.614	5.315	3.937

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]
高さは16.110(m) 測定面高さは2.645(m)
計算高さは13.465(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.614	89.058
8:30	4.204	56.607
9:00	3.117	41.970
9:30	2.507	33.757
10:00	2.129	28.667
10:30	1.884	25.368
11:00	1.730	23.294
11:30	1.644	22.136
12:00	1.616	21.759
12:30	1.644	22.136
13:00	1.730	23.294
13:30	1.884	25.368
14:00	2.129	28.667
14:30	2.507	33.757
15:00	3.117	41.970
15:30	4.204	56.607
16:00	6.614	89.058

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]
高さは12.040(m) 測定面高さは2.645(m)
計算高さは9.395(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.614	62.139
8:30	4.204	39.497
9:00	3.117	29.284
9:30	2.507	23.553
10:00	2.129	20.002
10:30	1.884	17.700
11:00	1.730	16.253
11:30	1.644	15.445
12:00	1.616	15.182
12:30	1.644	15.445
13:00	1.730	16.253
13:30	1.884	17.700
14:00	2.129	20.002
14:30	2.507	23.553
15:00	3.117	29.284
15:30	4.204	39.497
16:00	6.614	62.139

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]
高さは13.293(m) 測定面高さは2.645(m)
計算高さは10.648(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.614	70.426
8:30	4.204	44.764
9:00	3.117	33.190
9:30	2.507	26.695
10:00	2.129	22.670
10:30	1.884	20.061
11:00	1.730	18.421
11:30	1.644	17.505
12:00	1.616	17.207
12:30	1.644	17.505
13:00	1.730	18.421
13:30	1.884	20.061
14:00	2.129	22.670
14:30	2.507	26.695
15:00	3.117	33.190
15:30	4.204	44.764
16:00	6.614	70.426

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]
高さは13.110(m) 測定面高さは2.645(m)
計算高さは10.465(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.614	69.216
8:30	4.204	43.995
9:00	3.117	32.619
9:30	2.507	26.236
10:00	2.129	22.280
10:30	1.884	19.716
11:00	1.730	18.104
11:30	1.644	17.204
12:00	1.616	16.911
12:30	1.644	17.204
13:00	1.730	18.104
13:30	1.884	19.716
14:00	2.129	22.280
14:30	2.507	26.236
15:00	3.117	32.619
15:30	4.204	43.995
16:00	6.614	69.216

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]
高さは12.100(m) 測定面高さは2.645(m)
計算高さは9.455(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.614	62.535
8:30	4.204	39.749
9:00	3.117	29.471
9:30	2.507	23.704
10:00	2.129	20.130
10:30	1.884	17.813
11:00	1.730	16.357
11:30	1.644	15.544
12:00	1.616	15.279
12:30	1.644	15.544
13:00	1.730	16.357
13:30	1.884	17.813
14:00	2.129	20.130
14:30	2.507	23.704
15:00	3.117	29.471
15:30	4.204	39.749
16:00	6.614	62.535

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]
高さは10.860(m) 測定面高さは2.645(m)
計算高さは8.215(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.614	54.334
8:30	4.204	34.536
9:00	3.117	25.606
9:30	2.507	20.595
10:00	2.129	17.490
10:30	1.884	15.477
11:00	1.730	14.212
11:30	1.644	13.505
12:00	1.616	13.275
12:30	1.644	13.505
13:00	1.730	14.212
13:30	1.884	15.477
14:00	2.129	17.490
14:30	2.507	20.595
15:00	3.117	25.606
15:30	4.204	34.536
16:00	6.614	54.334

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]
高さは9.910(m) 測定面高さは2.645(m)
計算高さは7.265(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.614	48.051
8:30	4.204	30.542
9:00	3.117	22.645
9:30	2.507	18.213
10:00	2.129	15.467
10:30	1.884	13.687
11:00	1.730	12.568
11:30	1.644	11.944
12:00	1.616	11.740
12:30	1.644	11.944
13:00	1.730	12.568
13:30	1.884	13.687
14:00	2.129	15.467
14:30	2.507	18.213
15:00	3.117	22.645
15:30	4.204	30.542
16:00	6.614	48.051

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]
高さは8.690(m) 測定面高さは2.645(m)
計算高さは6.045(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.614	39.982
8:30	4.204	25.413
9:00	3.117	18.842
9:30	2.507	15.155
10:00	2.129	12.870
10:30	1.884	11.389
11:00	1.730	10.458
11:30	1.644	9.938
12:00	1.616	9.769
12:30	1.644	9.938
13:00	1.730	10.458
13:30	1.884	11.389
14:00	2.129	12.870
14:30	2.507	15.155
15:00	3.117	18.842
15:30	4.204	25.413
16:00	6.614	39.982

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]
高さは8.290(m) 測定面高さは2.645(m)
計算高さは5.645(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.614	37.336
8:30	4.204	23.732
9:00	3.117	17.595
9:30	2.507	14.152
10:00	2.129	12.018
10:30	1.884	10.635
11:00	1.730	9.766
11:30	1.644	9.280
12:00	1.616	9.122
12:30	1.644	9.280
13:00	1.730	9.766
13:30	1.884	10.635
14:00	2.129	12.018
14:30	2.507	14.152
15:00	3.117	17.595
15:30	4.204	23.732
16:00	6.614	37.336

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]
高さは6.870(m) 測定面高さは2.645(m)
計算高さは4.225(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.614	27.944
8:30	4.204	17.762
9:00	3.117	13.169
9:30	2.507	10.592
10:00	2.129	8.995
10:30	1.884	7.960
11:00	1.730	7.309
11:30	1.644	6.946
12:00	1.616	6.828
12:30	1.644	6.946
13:00	1.730	7.309
13:30	1.884	7.960
14:00	2.129	8.995
14:30	2.507	10.592
15:00	3.117	13.169
15:30	4.204	17.762
16:00	6.614	27.944

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]
高さは5.860(m) 測定面高さは2.645(m)
計算高さは3.215(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.614	21.264
8:30	4.204	13.516
9:00	3.117	10.021
9:30	2.507	8.060
10:00	2.129	6.845
10:30	1.884	6.057
11:00	1.730	5.562
11:30	1.644	5.285
12:00	1.616	5.195
12:30	1.644	5.285
13:00	1.730	5.562
13:30	1.884	6.057
14:00	2.129	6.845
14:30	2.507	8.060
15:00	3.117	10.021
15:30	4.204	13.516
16:00	6.614	21.264

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]
高さは5.590(m) 測定面高さは2.645(m)
計算高さは2.945(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.614	19.478
8:30	4.204	12.381
9:00	3.117	9.180
9:30	2.507	7.383
10:00	2.129	6.270
10:30	1.884	5.548
11:00	1.730	5.095
11:30	1.644	4.842
12:00	1.616	4.759
12:30	1.644	4.842
13:00	1.730	5.095
13:30	1.884	5.548
14:00	2.129	6.270
14:30	2.507	7.383
15:00	3.117	9.180
15:30	4.204	12.381
16:00	6.614	19.478

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]
高さは5.410(m) 測定面高さは2.645(m)
計算高さは2.765(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.614	18.288
8:30	4.204	11.624
9:00	3.117	8.619
9:30	2.507	6.932
10:00	2.129	5.887
10:30	1.884	5.209
11:00	1.730	4.783
11:30	1.644	4.546
12:00	1.616	4.468
12:30	1.644	4.546
13:00	1.730	4.783
13:30	1.884	5.209
14:00	2.129	5.887
14:30	2.507	6.932
15:00	3.117	8.619
15:30	4.204	11.624
16:00	6.614	18.288

日影長さ表 [緯度 = 34.8057'] [冬至]
高さは4.010(m) 測定面高さは2.645(m)
計算高さは1.365(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.614	9.028
8:30	4.204	5.738
9:00	3.117	4.255
9:30	2.507	3.422
10:00	2.129	2.906
10:30	1.884	2.572
11:00	1.730	2.361
11:30	1.644	2.244
12:00	1.616	2.206
12:30	1.644	2.244
13:00	1.730	2.361
13:30	1.884	2.572
14:00	2.129	2.906
14:30	2.507	3.422
15:00	3.117	4.255
15:30	4.204	5.738
16:00	6.614	9.028



設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目1 5－2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	.	.	.
	.	.	.
	.	.	.

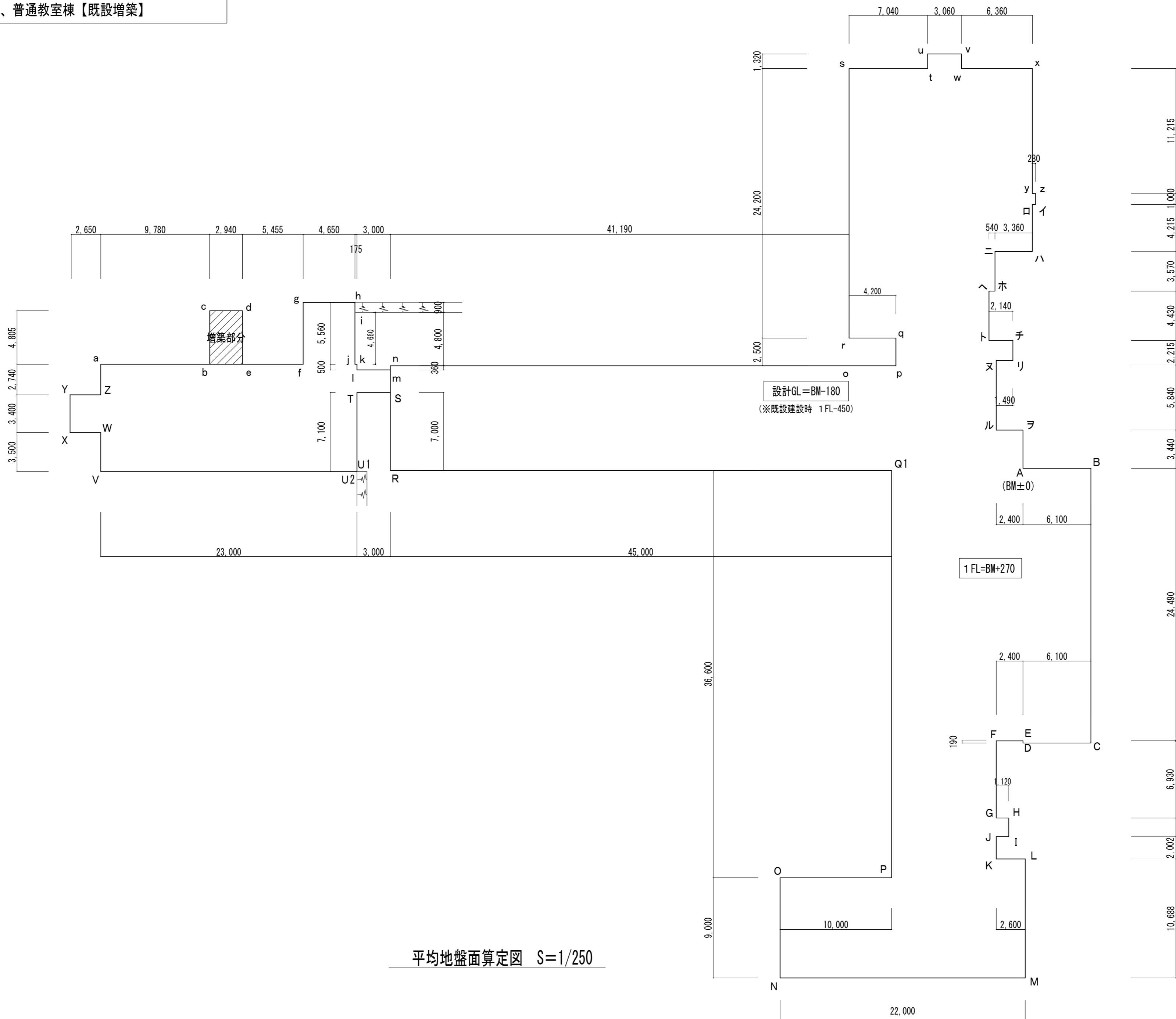
設計番号 N o

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称 縮尺

日 影 図 2	・ S=NS
	・
	・
	・



設計 類 建 築 設 計 事 務 所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	.	.	.
	.	.	.
	.	.	.

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

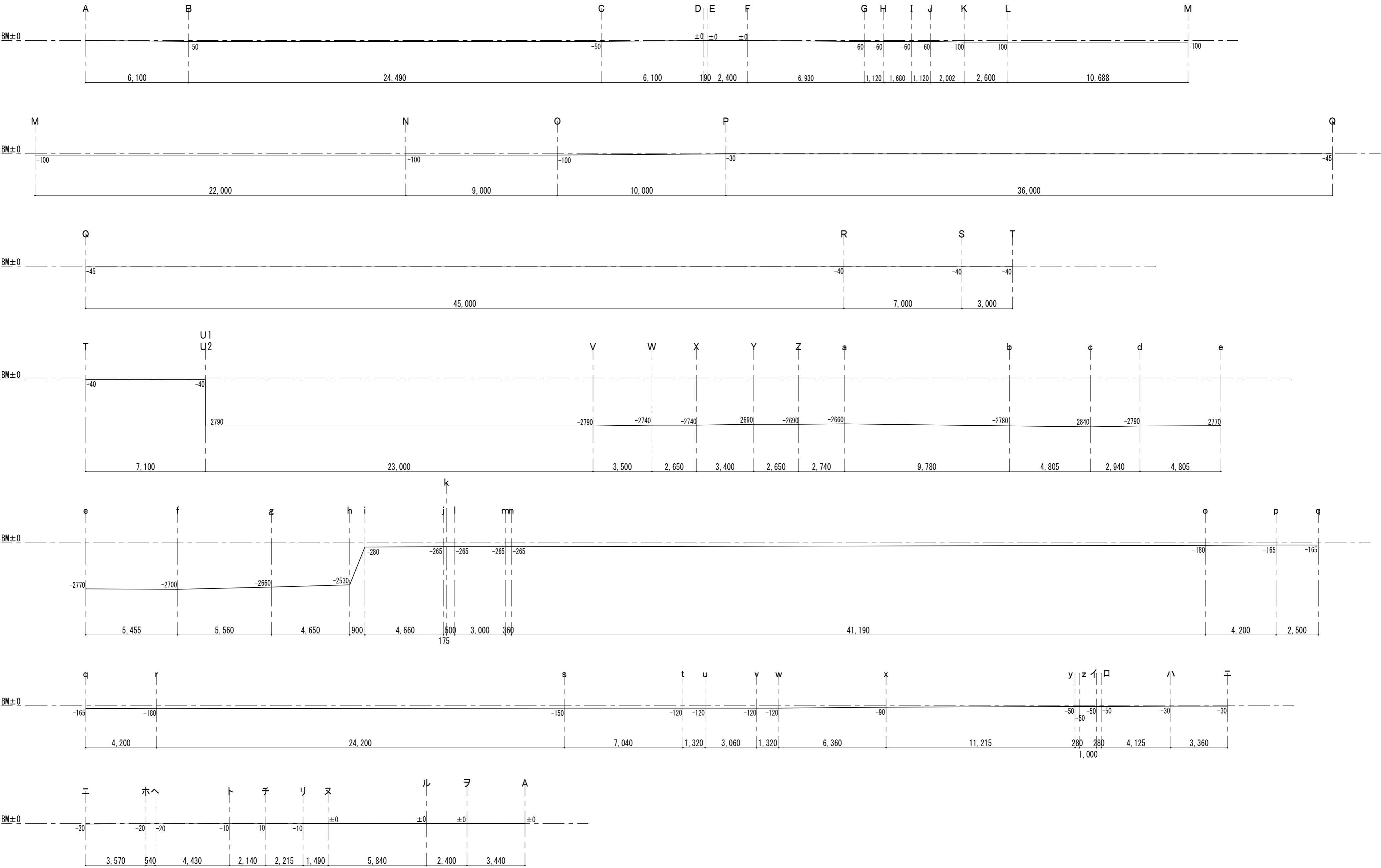
縮尺

平均地盤面計算図 1 【棟別】	S=1/250 (A3:1/353)
.	.
.	.
.	.

図面 No

A-032

原図：A 2



建築物の全周長 431,765 m



設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	.	.	.
	.	.	.
	.	.	.

設計番号 N o

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

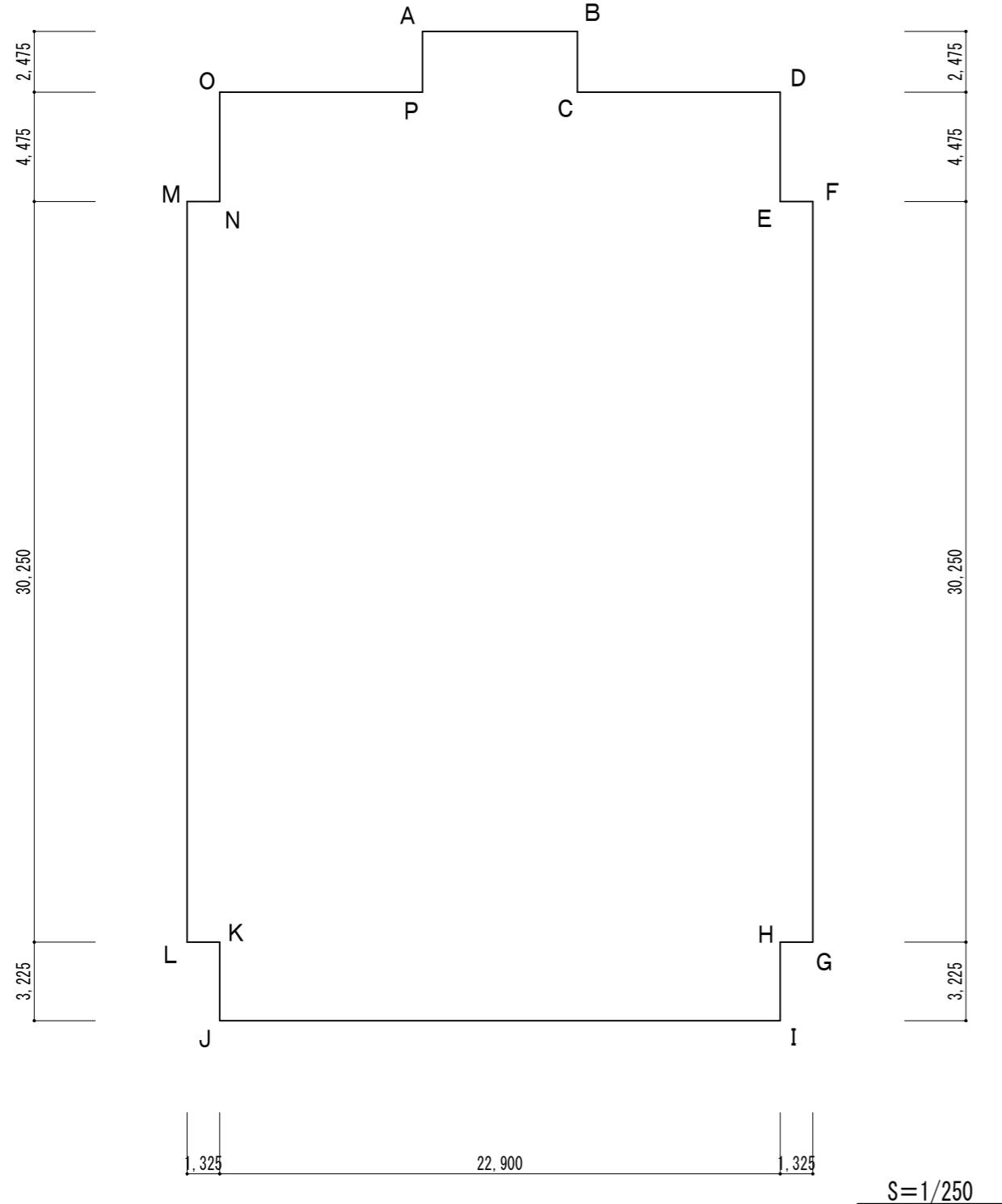
図面名称 縮尺
平均地盤面計算図2【棟別】 S=1/150 (A3:1/212)

図面 No

A-033

原図: A 2

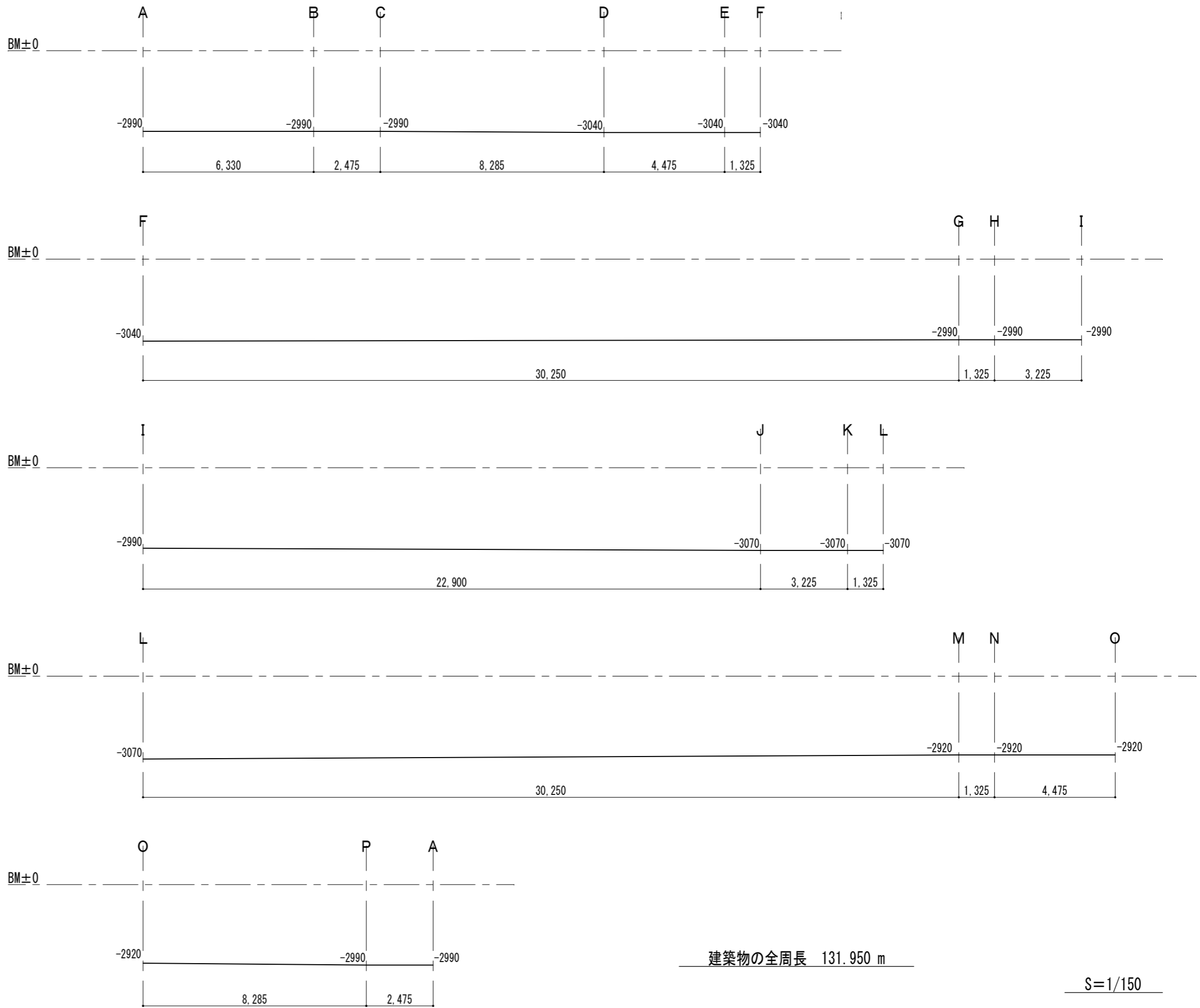
屋内運動場【既設】



建物接点高さ					
地点	高さ	地点	高さ	地点	高さ
A	-2990	G	-2990	M	-2920
B	-2990	H	-2990	N	-2920
C	-2990	I	-2990	O	-2920
D	-3040	J	-3070	P	-2990
E	-3040	K	-3070		
F	-3040	L	-3070		

平均地盤面算定

見付面積合計／建築物の全周長＝ $396.519150 \text{ m}^2 / 131.950 \text{ m} = 3.005071239$
 \therefore 平均地盤面 ＝ BM-3010

見付面積計算表

A – B	$6.330 \times 2.990 = 18.9267$
B – C	$2.475 \times 2.990 = 7.40025$
C – D	$(3.040 + 2.990) \times 8.285 \times 1/2 = 24.979275$
D – E	$4.475 \times 3.040 = 13.604$
E – F	$1.325 \times 3.040 = 4.028$
F – G	$(3.040 + 2.990) \times 30.250 \times 1/2 = 91.20375$
G – H	$1.325 \times 2.990 = 3.96175$
H – I	$3.225 \times 2.990 = 9.64275$

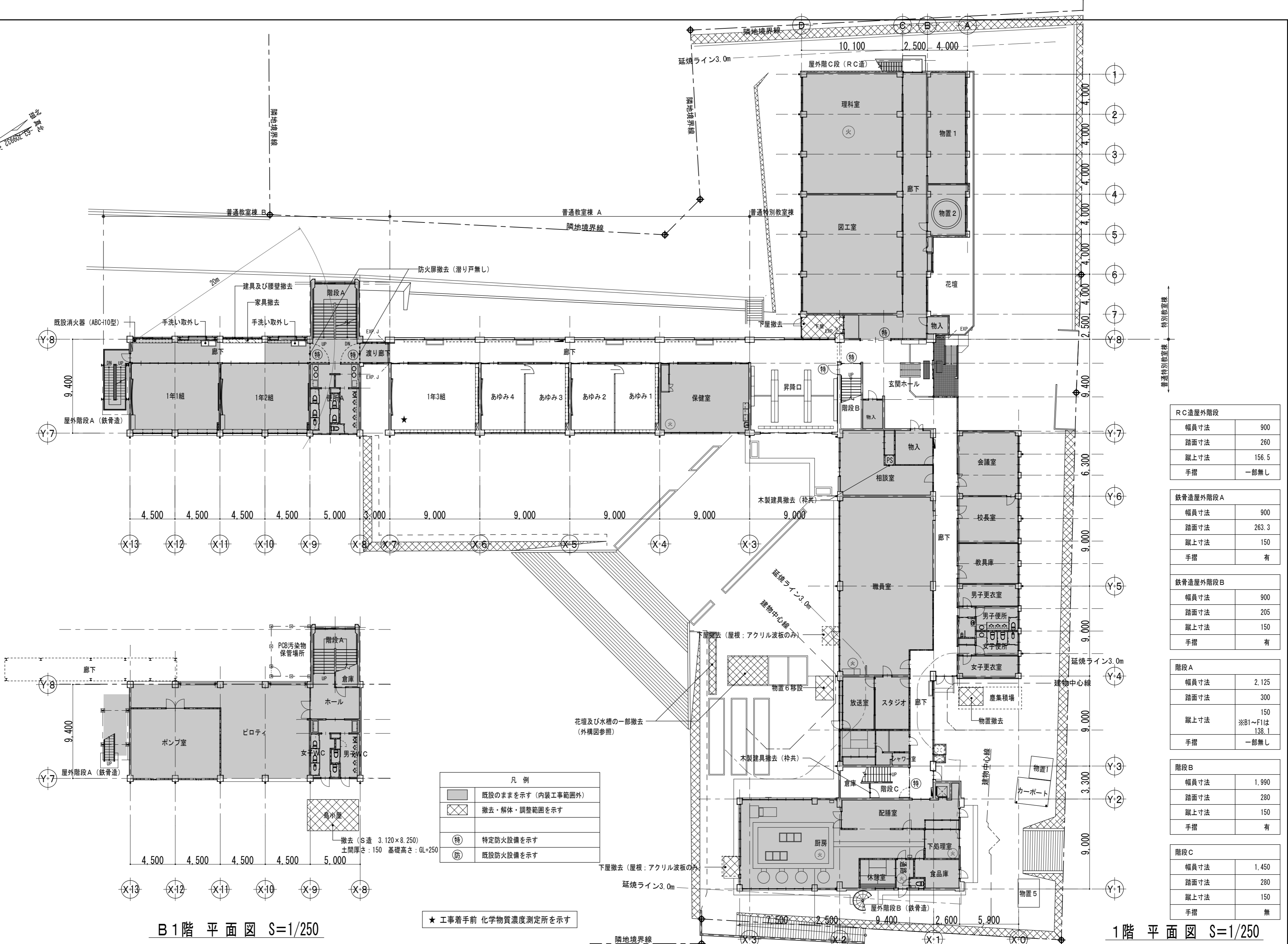
I – J	$(3.070 + 2.990) \times 22.900 \times 1/2 = 69.387$
J – K	$3.225 \times 3.070 = 9.90075$
K – L	$1.325 \times 3.070 = 4.06775$
L – M	$(3.070 + 2.920) \times 30.250 \times 1/2 = 90.59875$
M – N	$1.325 \times 2.920 = 3.869$
N – O	$4.475 \times 2.920 = 13.067$
O – P	$(2.990 + 2.920) \times 8.285 \times 1/2 = 24.482175$
P – A	$2.475 \times 2.990 = 7.40025$

建築物の全周長 131.950 m

$S=1/150$

見付面積合計 396.519150 m²

改修前



R C造屋外階段	
幅員寸法	900
踏面寸法	260
蹴上寸法	156.5
手摺	一部無し

鉄骨造屋外階段A	
幅員寸法	900
踏面寸法	263.3
蹴上寸法	150
手摺	有

鉄骨造屋外階段B	
幅員寸法	900
踏面寸法	205
蹴上寸法	150
手摺	有

階段A	
幅員寸法	2,125
踏面寸法	300
蹴上寸法	150 ※B1～F1は138.1
手摺	一部無し

階段B	
幅員寸法	1,990
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

階段C	
幅員寸法	1,450
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	無

B1階 平面図 S=1/250

1階 平面図 S=1/250



設計 類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士 設計者
一級建築士 第306854号 田中 召剛

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

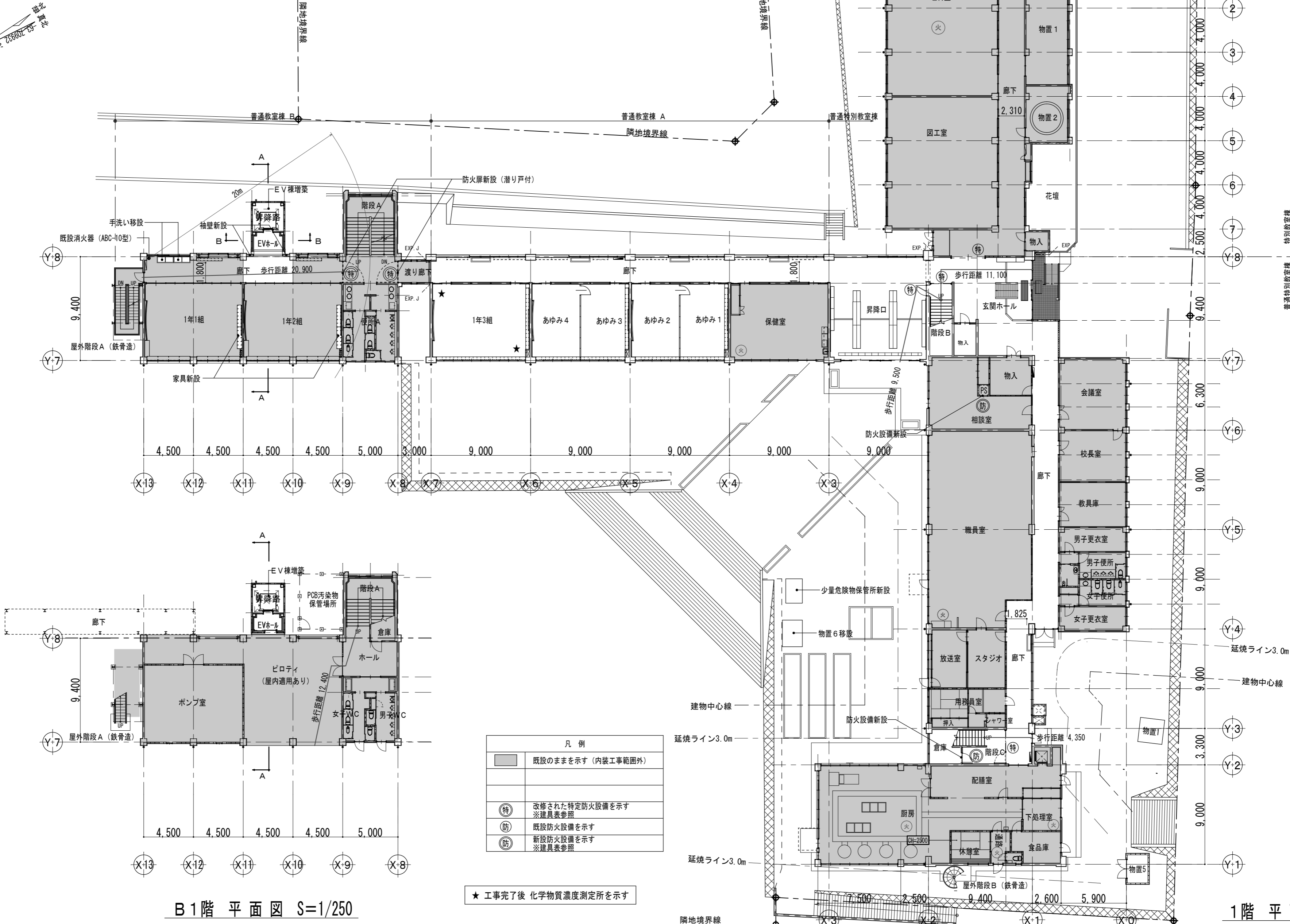
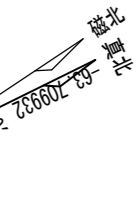
図面 No

B1階 平面図【改修前】 S=1/250 (A3:1/353)
1階 平面図【改修前】

A-038

原因: A 2

改修後



廊下最小有効寸法：1,800

R C造屋外階段	
幅員寸法	900
踏面寸法	260
蹴上寸法	156.5
手摺	有

鉄骨造屋外階段A	
幅員寸法	900
踏面寸法	263.3
蹴上寸法	150
手摺	有

鉄骨造屋外階段B（直達階段としない）	
幅員寸法	900
踏面寸法	205
蹴上寸法	150
手摺	有

階段A	
幅員寸法	2,125
踏面寸法	300
蹴上寸法	150 ※B1～F1は138.1
手摺	有

階段B	
幅員寸法	1,990
踏面寸法	280
蹴上寸法	150

階段C	
幅員寸法	1,450
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

B1階 平面図 S=1/250

1階 平面図 S=1/250

凡 例	
■	既設のままを示す（内装工事範囲外）
○特	改修された特定防火設備を示す ※建具表参照
○防	既設防火設備を示す
○防	新設防火設備を示す ※建具表参照

★ 工事完了後 化学物質濃度測定所を示す



設計 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正			

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

B1階 平面図【改修後】 S=1/250 (A3:1/353)

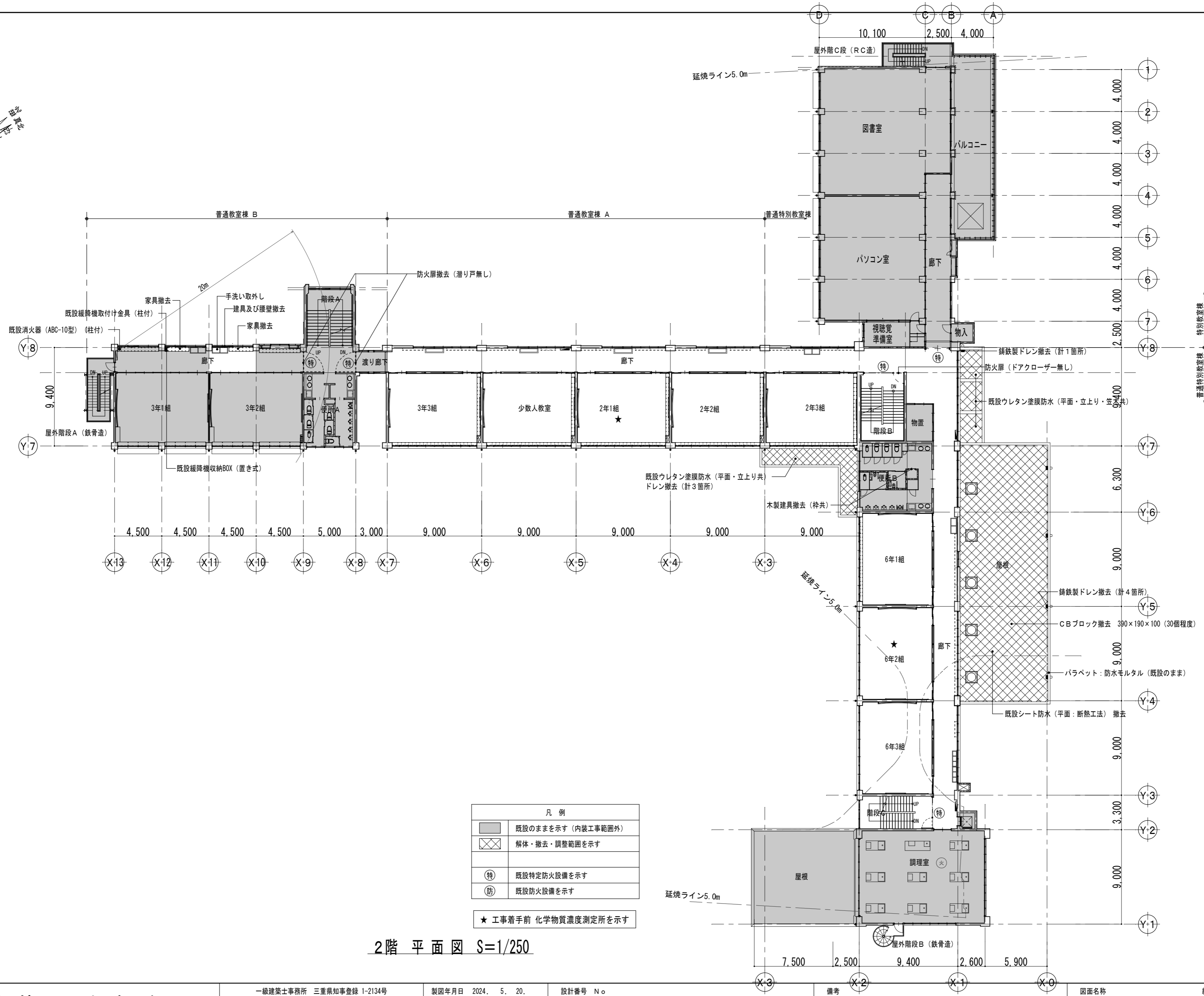
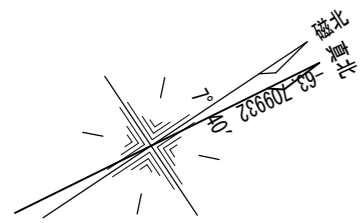
1階 平面図【改修後】

図面 No

A-039

原図：A 2

改修前



RC造屋外階段	
幅員寸法	900
踏面寸法	260
蹴上寸法	156.5
手摺	一部無し

鉄骨造屋外階段 A	
幅員寸法	900
踏面寸法	263.3
蹴上寸法	150
手摺	有

鉄骨造屋外階段 B	
幅員寸法	900
踏面寸法	205
蹴上寸法	150
手摺	有

階段 A	
幅員寸法	2,125
踏面寸法	300
蹴上寸法	150 ※B1~F1は138.1
手摺	一部無し

階段 B	
幅員寸法	1,990
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

階段 C	
幅員寸法	1,450
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	無

凡 例	
	既設のままを示す (内装工事範囲外)
	解体・撤去・調整範囲を示す
	既設特定防火設備を示す
	既設防火設備を示す
★ 工事着手前 化学物質濃度測定所を示す	

2階 平面図 S=1/250



設計 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	

設計番号 N o.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

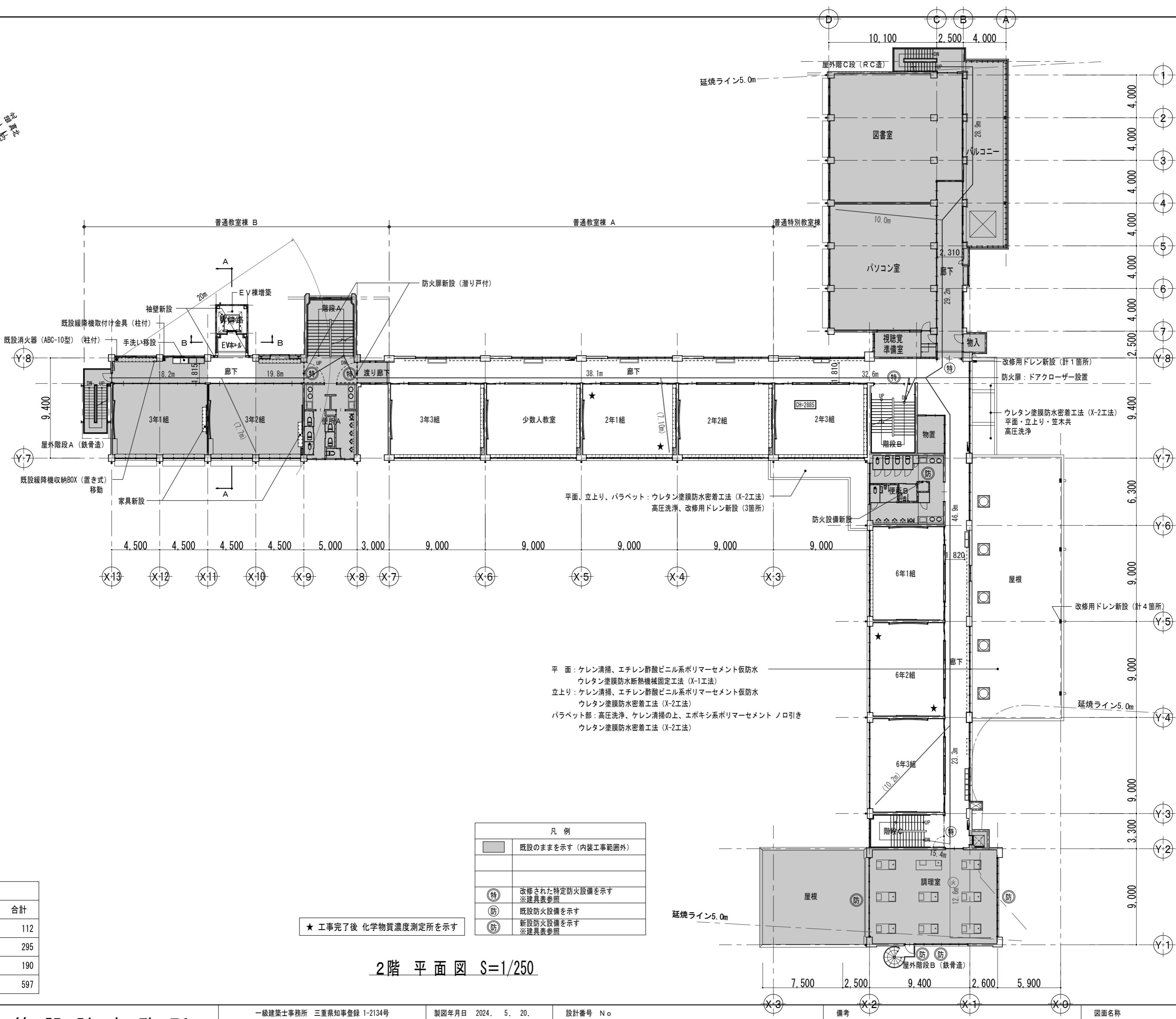
図面名称 縮尺
2階 平面図【改修前】 S=1/250 (A3:1/353)

図面 No

A-040

原因: A 2

改修後



凡 例	
	既設のままを示す (内装工事範囲外)
	改修された特定防火設備を示す ※建具表参照
	既設防火設備を示す
	新設防火設備を示す ※建具表参照

★ 工事完了後 化学物質濃度測定所を示す

2階 平面図 S=1/250

収容人員			
	職員	児童	合計
3階	25	87	112
2階	18	277	295
1階	12	178	190
合計	55	542	597

歩行距離を示す
重複距離を示す

廊下最小有効寸法：1,800

R C造屋外階段	
幅員寸法	900
踏面寸法	260
蹴上寸法	156.5
手摺	有

鉄骨造屋外階段 A	
幅員寸法	900
踏面寸法	263.3
蹴上寸法	150
手摺	有

鉄骨造屋外階段 B (直達階段としない)	
幅員寸法	900
踏面寸法	205
蹴上寸法	150
手摺	有

階段 A	
幅員寸法	2,125
踏面寸法	300
蹴上寸法	150 ※B1~F1は 138.1
手摺	有

階段 B	
幅員寸法	1,990
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

階段 C	
幅員寸法	1,450
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

2階 平面図【改修後】

縮尺

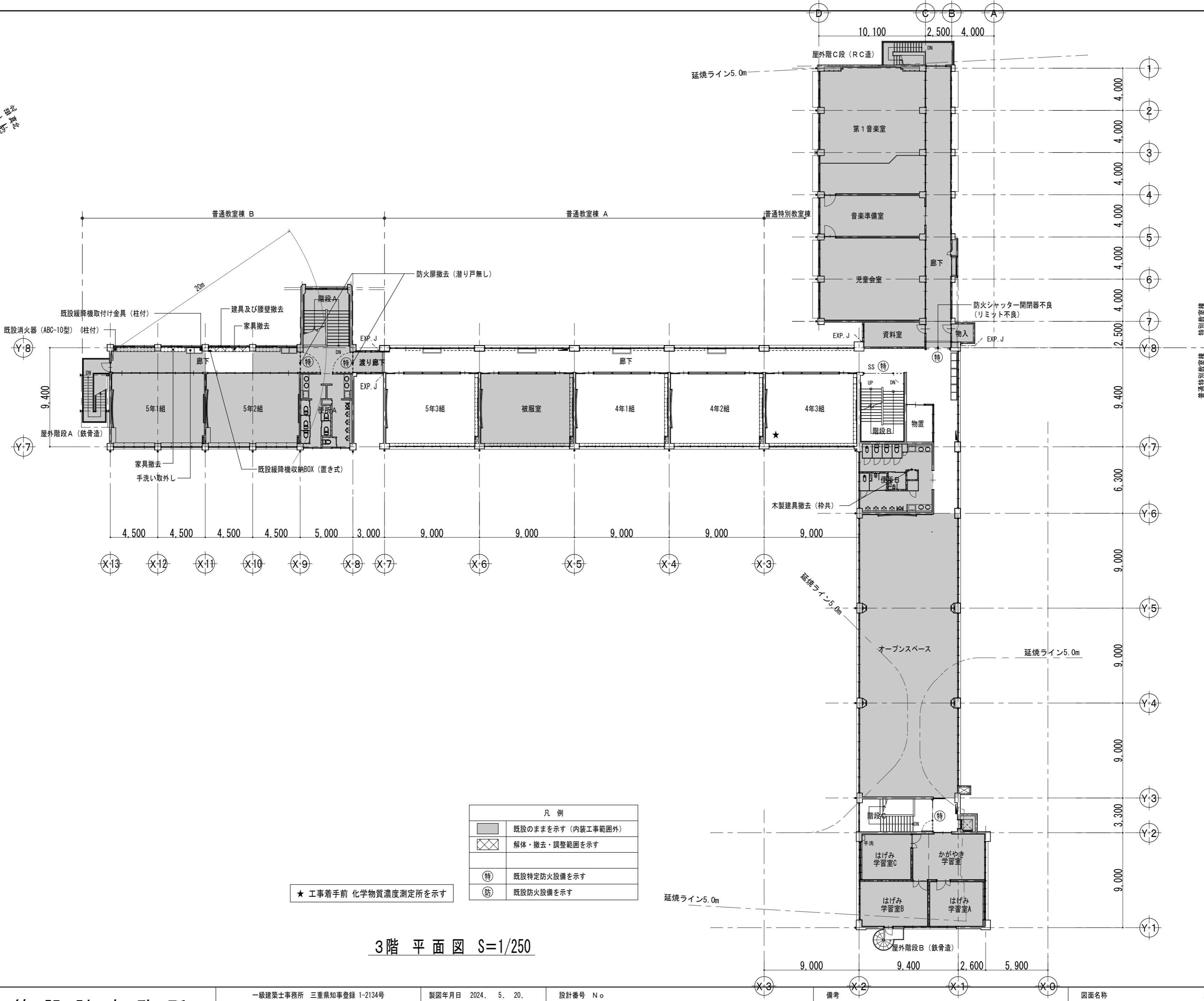
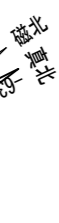
S=1/250 (A3:1/353)

図面 No

A-041

原因: A 2

改修前



★ 工事着手前 化学物質濃度測定所を示す

凡 例	
	既設のままを示す（内装工事範囲外）
	解体・撤去・調整範囲を示す
	既設特定防火設備を示す
	既設防火設備を示す

3階 平面図 S=1/250

R C造屋外階段	
幅員寸法	900
踏面寸法	260
蹴上寸法	156.5
手摺	一部無し

鉄骨造屋外階段A	
幅員寸法	900
踏面寸法	263.3
蹴上寸法	150
手摺	有

鉄骨造屋外階段B	
幅員寸法	900
踏面寸法	205
蹴上寸法	150
手摺	有

階段A	
幅員寸法	2,125
踏面寸法	300
蹴上寸法	150 ※B1～F1は138.1
手摺	一部無し

階段B	
幅員寸法	1,990
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

階段C	
幅員寸法	1,450
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	無



設計 類 建築設計事務所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 N o .

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

3階 平面図【改修前】

縮尺

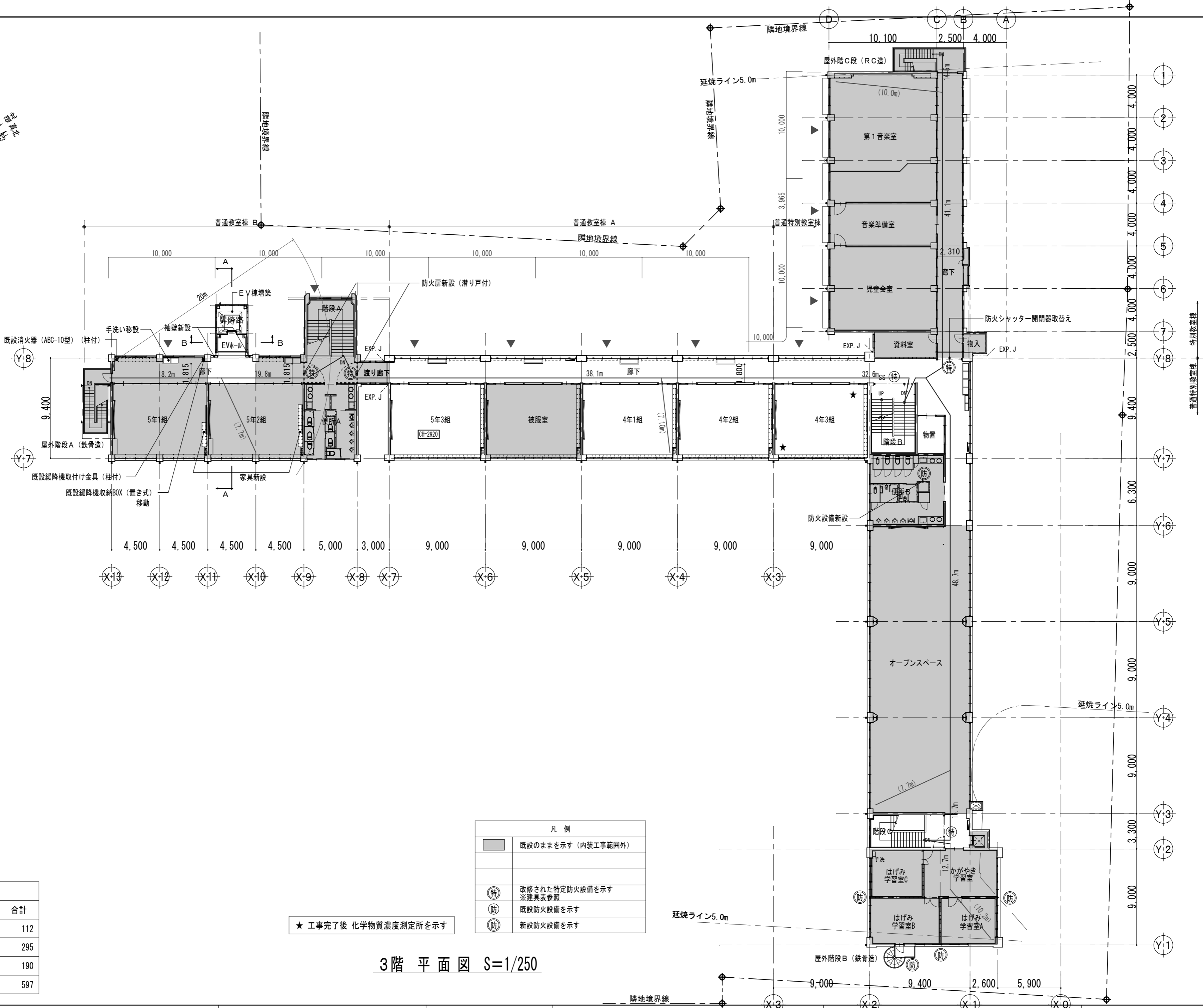
S=1/250 (A3:1/353)

図面 No

A-042

原図: A 2

改修後



- 非常用の代替出入口
- 歩行距離を示す
- 重複距離を示す

廊下最小有効寸法：1,800	
RC造屋外階段	
幅員寸法	900
踏面寸法	260
蹴上寸法	156.5
手摺	有

鉄骨造屋外階段A	
幅員寸法	900
踏面寸法	263.3
蹴上寸法	150
手摺	有

鉄骨造屋外階段B（直通階段としない）	
幅員寸法	900
踏面寸法	205
蹴上寸法	150
手摺	有

階段A	
幅員寸法	2,125
踏面寸法	300
蹴上寸法	150 ※B1～F1は138.1
手摺	有

階段B	
幅員寸法	1,990
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

階段C	
幅員寸法	1,450
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

凡 例	
■	既設のままを示す（内装工事範囲外）
○特	改修された特定防火設備を示す ※建具表参照
○防	既設防火設備を示す
○防	新設防火設備を示す

★ 工事完了後 化学物質濃度測定所を示す

3階 平面図 S=1/250

収容人員			
	職員	児童	合計
3階	25	87	112
2階	18	277	295
1階	12	178	190
合計	55	542	597



設計 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

3階 平面図【改修後】

縮尺

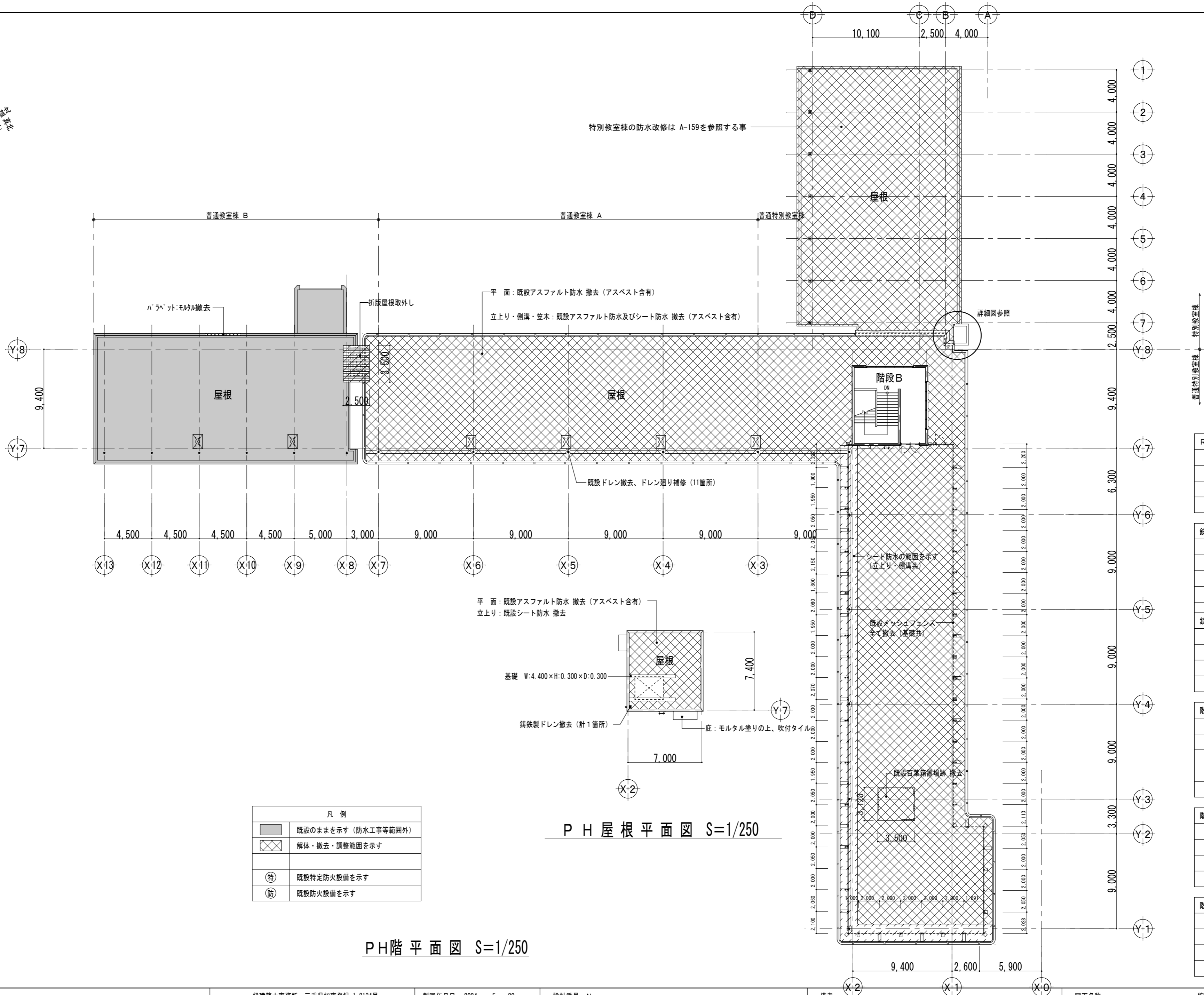
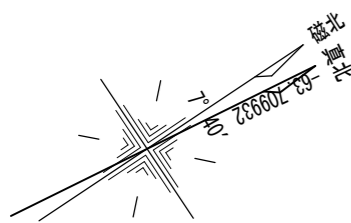
S=1/250 (A3:1/353)

図面 No

A-043

原因：A 2

改修前



凡 例	
	既設のままを示す (防水工事等範囲外)
	解体・撤去・調整範囲を示す
	既設特定防火設備を示す
	既設防火設備を示す

P H 屋 根 平 面 図 S=1/250

P H 階 平 面 図 S=1/250



設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

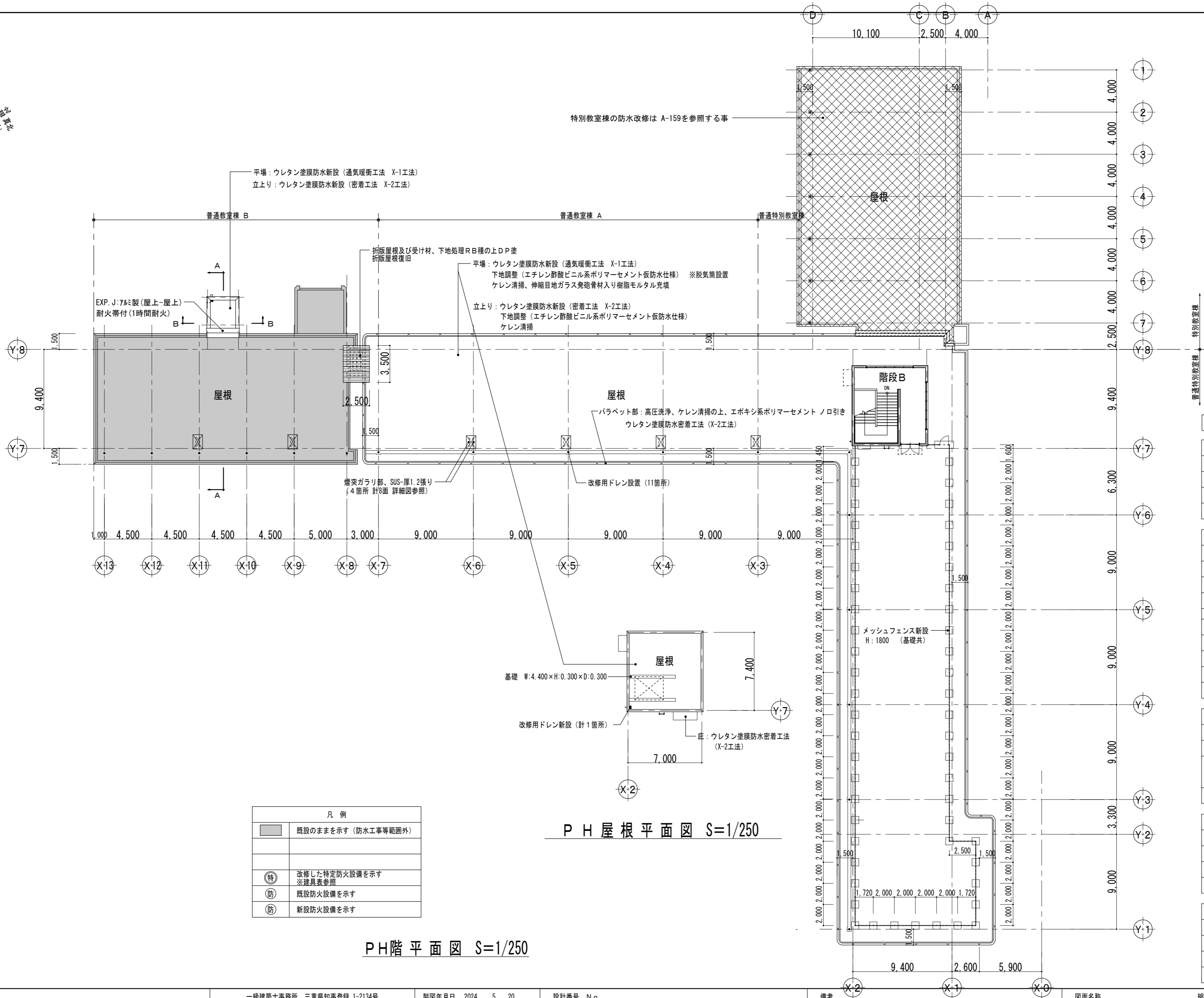
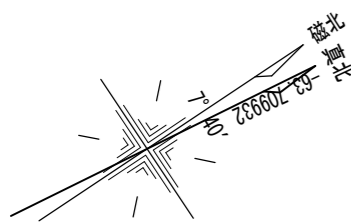
図面 No

P H 階 平 面 図【改修前】	S=1/250 (A3:1/353)
P H 屋 根 平 面 図【改修前】	S=1/250 (A3:1/353)

A-044

原図：A 2

改修後



P H 屋根 平面図 S=1/250

P H 階 平面図 S=1/250

凡 例	
	既設のまますを示す (防水工事等範囲外)
	改修した特定防火設備を示す ※建具表参照
	既設防火設備を示す
	新設防火設備を示す

廊下有効寸法：1,800以上

R C 造屋外階段	
幅員寸法	900
踏面寸法	260
蹴上寸法	156.5
手摺	有

鉄骨造屋外階段 A	
幅員寸法	900
踏面寸法	263.3
蹴上寸法	150
手摺	有

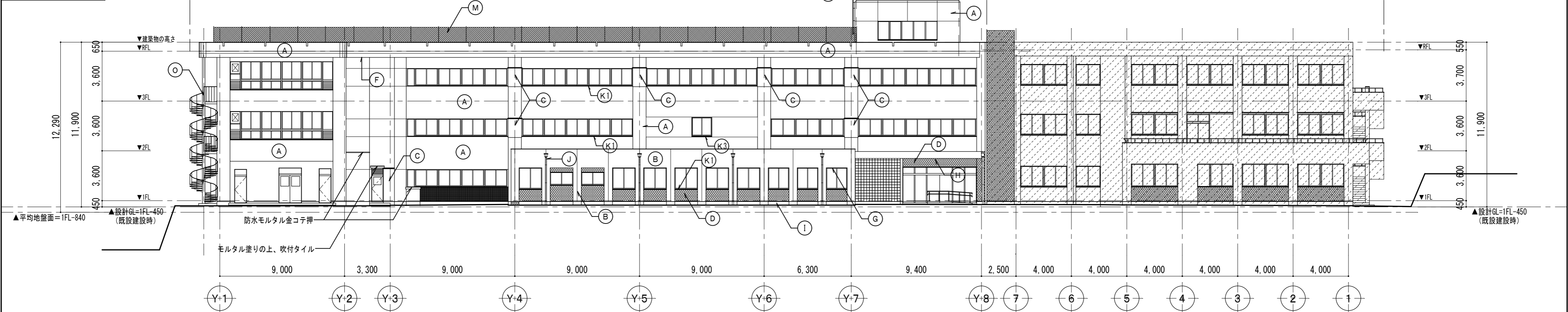
鉄骨造屋外階段 B (直通階段としない)	
幅員寸法	900
踏面寸法	205
蹴上寸法	150
手摺	有

階段 A	
幅員寸法	2,125
踏面寸法	300
蹴上寸法	150 ※B1~F1は 138.1
手摺	有

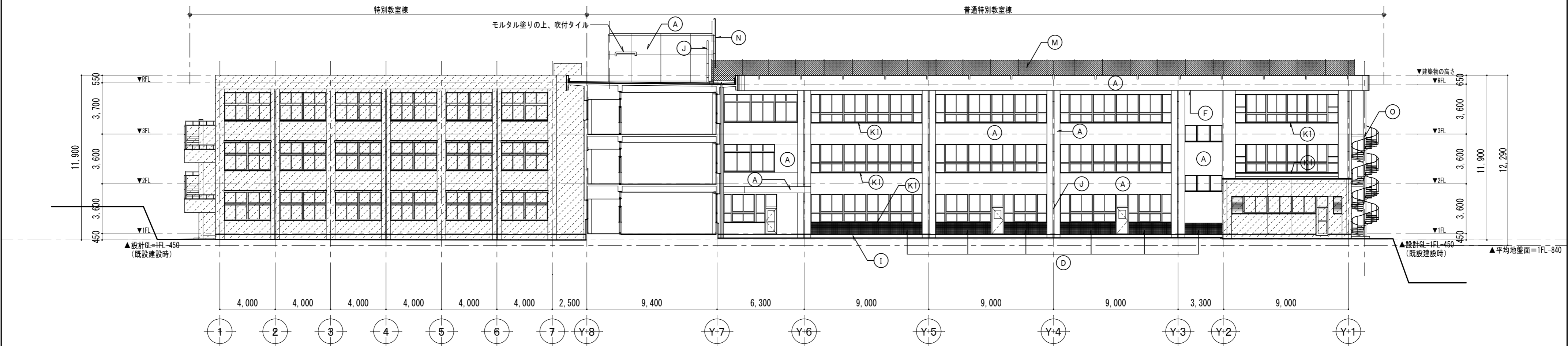
階段 B	
幅員寸法	1,990
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有

階段 C	
幅員寸法	1,450
踏面寸法	280
蹴上寸法	150
手摺	有


改修前



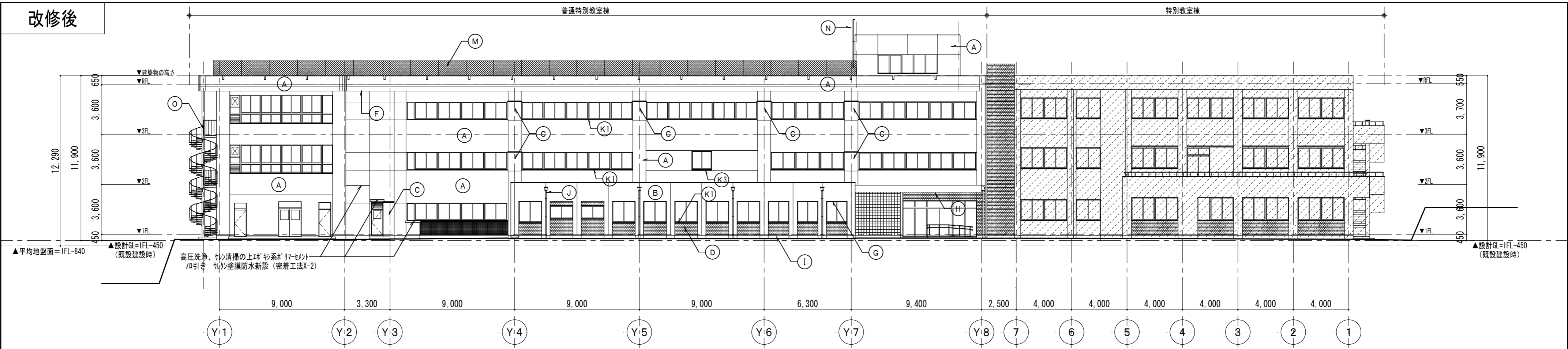
北面 立面图 S=1/200



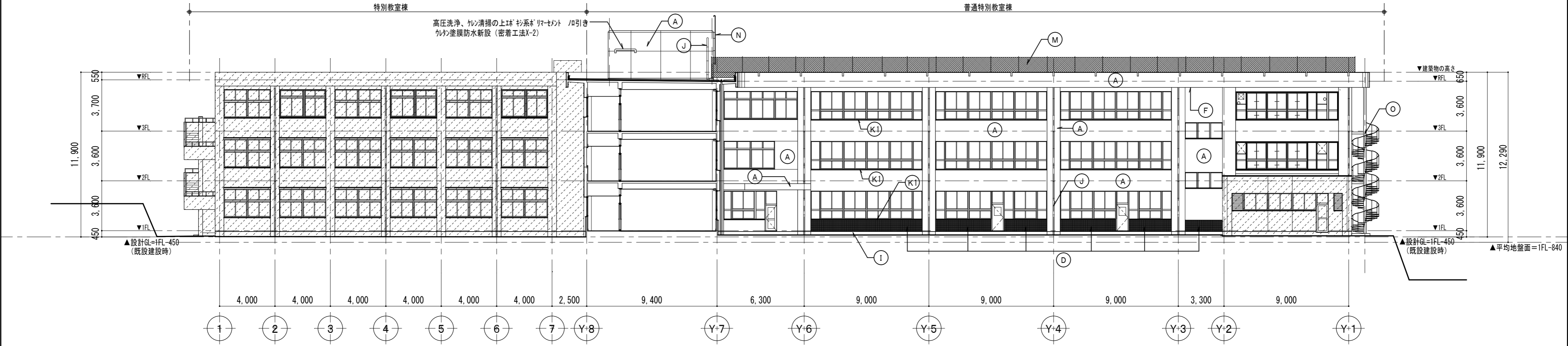
南面 立面图 S=1/200

 外壁改修工事範囲外を示す

■外部改修仕様											■EV 棟外壁仕様				■備考	
(A)	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル	(F)	軒天 底裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付	(K1)			改修前	K1：人研ぎ K2：人研ぎの上、塗膜防水 K3：アルミ	(1)	外壁	A L C t=100下地、複層塗材E(7素)	・サッシ廻りのシーリングについては、撤去の上新設を行う。 ・外壁目地部は、シーリング (PU-2) 新設を行う。 ・外壁改修は、施工数量調査を行う。 ・既設 E×P：J 部についてはシーリング (MS-2) 新設を行う。 ・壺、BOX、銅管等については下地調整 R 種の上 D P 塗りとする。 【施工数量調査】 ・調査項目：クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部 ・調査方法：打診、目視、クラックスケール等 ・報告書：2 部 (補修方法別に調査数量を集計する。) 【外壁クラック補修仕様】 ・1mm以上のひび割れ補修：Uカットシール充填工法 ・1mm未満のひび割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング部のエポキシ樹脂注入工法 (16本/㎡、25ml/穴、25本/㎡、25ml/穴) ・欠損部改修方法：鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填 【外壁軒天底裏吹付】 ・アクリルリシン吹付、吹付タイル (アスベスト含有) ・湿式集塵機付ディスクグラインダーケレン工法 ※各種申請及び届出を行うこと。
		改修後	高圧洗浄、下地調整塗材 (C-1) の上 複層塗材 E 吹付 (フッ素系)			改修後	高圧洗浄、下地調整塗材 (C-1) の上 外装薄塗材 E 吹付					(K2)	窓水切	(2)	外壁	
(B)	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル (アスベスト含有)	(G)	軒天 底裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付 (アスベスト含有)	(K3)		改修後	K1：水洗い K2：高圧洗浄、下地調整剤 (C-1) の上、自閉樹脂塗膜防水 K3：既設のまま	(3)		巾木	コンクリート打放仕上	
		改修後	湿式集塵機付置きディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材 (C-2) の上 複層塗材 E 吹付 (フッ素系)			改修後	湿式集塵機付置きディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材 (C-2) の上 外装薄塗材 E 吹付				(4)	堅壁	塩ビ製 (カラー) 堅壁 φ100 (掘り金物：SUSφ1200)			
(C)	柱 補強鉄板 巻き部	改修前	ポリウレタンエナメル塗装 (2-UE) (鉄板巻き補強部)	(H)	玄関庇 底裏	改修前	銅板製スパンドレル	(M)	屋上 フェンス	改修前	メッシュフェンス 撤去 (基礎共)	(5)	集水枒	塩ビ製 (カラー)		
		改修後	下地処理 R 種の上 D P 塗装			改修後	下地処理 R 種の上 D P 塗り			(6)	EXP. J	アルミ製 (屋上-屋上) 耐火帯付 (1時間耐火)				
(D)	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼り	(I)	巾木	改修前	モルタル塗りこて押え	(N)	屋上 タラップ	改修前	OP 塗り	(7)	EXP. J	アルミ製 (壁-壁) 耐火帯付 (1時間耐火)		
		改修後	水洗い			改修後	水洗い			改修後	下地処理 R 種の上 D P 塗り	(8)	笠木	アルミ笠木 W=350		
(E)	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	(J)	樋	改修前	堅樋：硬質塩ビ管 φ100 養生管：φ125撤去 堅樋：硬質塩ビ管 φ114 飾り樹：塩ビ製撤去	(O)	屋外階段 (鉄骨造)	改修前	OP 塗り					
		改修後	水洗い			改修後	堅樋：硬質塩ビ管 φ100新設 飾り樹：塩ビ製新設			改修後	下地処理 R 種の上 D P 塗り					



北面 立面図 S=1/200

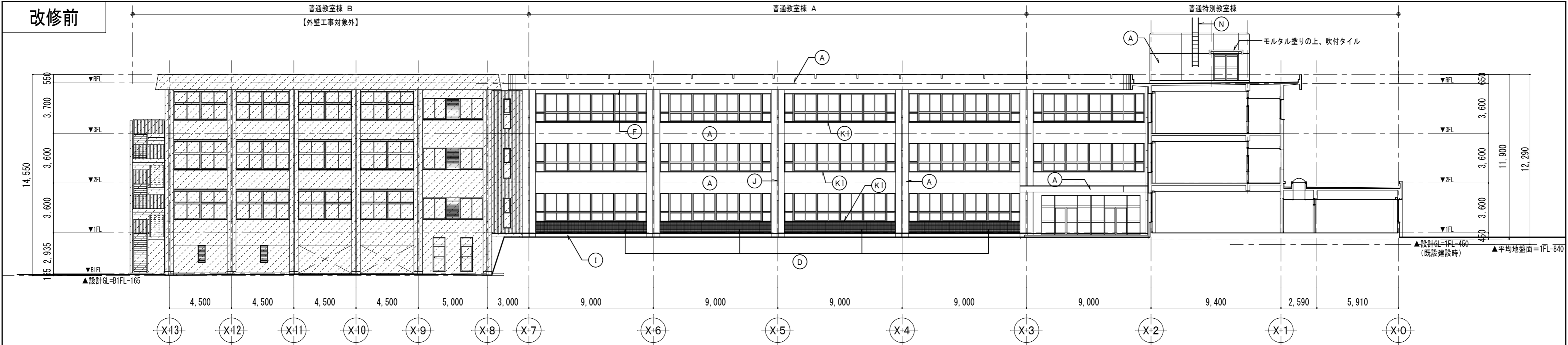


南面 立面図 S=1/200

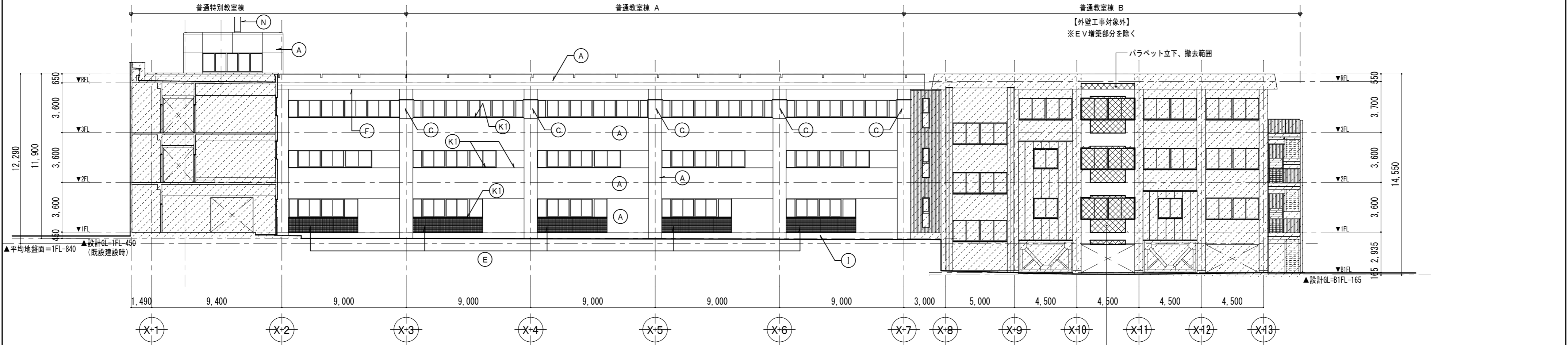
※最高の高さは、パラペット天端とする。その他屋上突出部分は棟筋であるため、令第6号による高さに算しないものとする。

外壁改修工事範囲外を示す

■外部改修仕様										■E V 棟外壁仕様				■備考	
(A)	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル	(F)	軒天庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付	(K1)		改修前	K1：人研ぎ K2：人研ぎの上、塗膜防水 K3：アルミ	(1)	外壁	ALC t=100下地、複層塗材E(7ヶ素)	<div>・サッシ廻りのシーリングについては、撤去の上新設を行う。</div> <div>・外壁目地部は、シーリング (PU-2) 新設を行う。</div> <div>・外壁改修は、施工数量調査を行う。</div> <div>・既設EXP：J部についてはシーリング (MS-2) 新設を行う。</div> <div>・盤、BOX、鋼管等については下地調整RB種の上DP塗りとする。</div> <div>【施工数量調査】</div> <div>・調査項目：クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部</div> <div>・調査方法：打診、目視、クラックスケール等</div> <div>・報告書：2部 (補修方法別に調査数量を集計する。)</div> <div>【外壁クラック補修仕様】</div> <div>・1mm以上のひび割れ補修：Uカットシーل充填工法</div> <div>・1mm未満のひび割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</div> <div>・アンカーピンニング部のエポキシ樹脂注入工法 (16本/m²、25ml/穴、25本/m²、25ml/穴)</div> <div>・欠損部改修方法：鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填</div> <div>【外壁軒天庇裏吹付】</div> <div>・アクリルリシン吹付、吹付タイル (アスベスト含有)</div> <div>・湿式集塵機付ディスクグラインダーケレン工法</div> <div>※各種申請及び届出を行うこと。</div>
		改修後	高圧洗浄、下地調整塗材 (C-1) の上 複層塗材E吹付 (フッ素系)			改修後	高圧洗浄、下地調整塗材 (C-1) の上 外装薄塗材E吹付				K1：人研ぎ K2：人研ぎの上、塗膜防水 K3：アルミ	(2)	外壁	コンクリート t=120打ち、モルタル金こて 複層塗材E(7ヶ素)	
(B)	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル (アスベスト含有)	(G)	軒天庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付 (アスベスト含有)	(K2)	窓水切	改修後	K1：水洗い K2：高圧洗浄、下地調整剤 (C-1) の上、自閉樹脂塗膜防水 K3：既設のまま	(3)	巾木	コンクリート打放仕上	
		改修後	湿式集塵機付ディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材 (C-2) の上 複層塗材E吹付 (フッ素系)			改修後	湿式集塵機付ディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材 (C-2) の上 外装薄塗材E吹付				K1：水洗い K2：高圧洗浄、下地調整剤 (C-1) の上、自閉樹脂塗膜防水 K3：既設のまま	(4)	縦樋	塩ビ製 (カラー) 縦樋φ100 (掘込み物：SUSφ1200)	
(C)	柱 補強鉄板 巻き部	改修前	ポリウレタンエナメル塗装 (2-UE) (鉄板巻き補強部)	(H)	玄関庇 庇裏	改修前	鋼板製スパンドレル	(M)	屋上 フェンス	改修前	メッシュフェンス 撤去 (基礎共)	(5)	集水枥	塩ビ製 (カラー)	
		改修後	下地処理RB種の上 DP塗装			改修後	下地処理RB種の上 DP塗り				メッシュフェンス 新設 (基礎共)	(6)	EXP.J	アルミ製 (屋上-屋上) 耐火帯付 (1時間耐火)	
(D)	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼り	(I)	巾木	改修前	モルタル塗りこて押え	(N)	屋上 タラップ	改修前	OP塗り	(7)	EXP.J	アルミ製 (壁-壁) 耐火帯付 (1時間耐火)	
		改修後	水洗い			改修後	水洗い				下地処理RB種の上 DP塗り	(8)	笠木	アルミ笠木 W=350	
(E)	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	(J)	樋	改修前	縦樋：硬質塩ビ管 φ100撤去 養生管：φ125撤去 縦樋：硬質塩ビ管 φ114撤去 飾り樹：塩ビ製撤去	(O)	屋外階段 (鉄骨造)	改修前	OP塗り				
		改修後	水洗い			改修後	縦樋：硬質塩ビ管 φ100新設 飾り樹：塩ビ製新設				下地処理RB種の上 DP塗り				



東面 立面図 S=1/200



西面 立面図 S=1/200

■外部改修仕様										■EV棟外壁仕様				■備考	
A	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル	F	軒天庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付	K1		改修前	K1：人研ぎ K2：人研ぎの上、塗膜防水 K3：アルミ	1	外壁	ALC t=100下地、複層塗材E(7ヶ素)	・サッシ廻りのシーリングについては、撤去の上新設を行う。 ・外壁目地部は、シーリング (PU-2) 新設を行う。 ・外壁改修は、施工数量調査を行う。 ・既設EXP：J部についてはシーリング (MS-2) 新設を行う。 ・壁、BOX、鋼管等については下地調整RＢ種の上DP塗りとする。 【施工数量調査】 ・調査項目：クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部 ・調査方法：打診、目視、クラックスケール等 ・報告書：2部 (補修方法別に調査数量を集計する。) 【外壁クラック補修仕様】 ・1mm以上のひび割れ補修：Uカットシール充填工法 ・1mm未満のひび割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング部のエポキシ樹脂注入工法 (16本/㎡、25ml/穴、25本/㎡、25ml/穴) ・欠損部改修方法：鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填 【外壁軒天庇裏吹付】 ・アクリルリシン吹付、吹付タイル (アスベスト含有) ・湿式集塵機付ディスクグラインダーケレン工法 ※各種申請及び届出を行うこと。
		改修後	高圧洗浄、下地調整塗材 (C-1) の上 複層塗材E吹付 (フッ素系)			改修後	高圧洗浄、下地調整塗材 (C-1) の上 外装薄塗材E吹付				K3：アルミ	2	外壁	コンクリート t=120打ち、モルタル金こて 複層塗材E(7ヶ素)	
B	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル (アスベスト含有)	G	軒天庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付 (アスベスト含有)	K2	窓水切	改修後	K1：水洗い K2：高圧洗浄、下地調整剤 (C-1) の上、自閉樹脂塗膜防水 K3：既設のまま	3	巾木	コンクリート打放仕上	
		改修後	湿式集塵装置付きディスクグラインダー工法、下地調整塗材 (C-2) の上 複層塗材E吹付 (フッ素系)			改修後	湿式集塵装置付きディスクグラインダー工法、下地調整塗材 (C-2) の上 外装薄塗材E吹付				K3：既設のまま	4	堅樋	塩ビ製 (カラー) 堅樋φ100 (掘み金物：SUS@1200)	
C	柱補強鉄板巻き部	改修前	ポリウレタンエナメル塗装 (2-UE) (鉄板巻き補強部)	H	玄関庇庇裏	改修前	鋼板製スバンドレル	M	屋上フェンス	改修前	メッシュフェンス 撤去 (基礎共)	5	集水枡	塩ビ製 (カラー)	
		改修後	下地処理RＢ種の上 DP塗装			改修後	下地処理RＢ種の上 DP塗り			改修後	メッシュフェンス 新設 (基礎共)	6	EXP. J	アルミ製(屋上-屋上) 耐火帯付(1時間耐火)	
D	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼り	I	巾木	改修前	モルタル塗りこて押え	N	屋上タラップ	改修前	OP塗り	7	EXP. J	アルミ製(壁-壁) 耐火帯付(1時間耐火)	
		改修後	水洗い			改修後	水洗い			改修後	下地処理RＢ種の上 DP塗り	8	笠木	アルミ笠木 W=350	
E	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	J	樋	改修前	堅樋：硬質塩ビ管 φ100撤去 養生管：φ125撤去 飾り樹：硬質塩ビ管 φ114撤去 飾り樹：塩ビ製撤去	O	屋外階段 (鉄骨造)	改修前	OP塗り				
		改修後	水洗い			改修後	堅樋：硬質塩ビ管 φ100新設 飾り樹：塩ビ製新設			改修後	下地処理RＢ種の上 DP塗り				

改修前

東面 立面図 S=1/200

改修後

東面 立面図 S=1/200

■外部改修仕様										■E V 棟外壁仕様				■備考	
A	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル	F	軒天庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付	K1	窓水切	改修前	K1：人研ぎ K2：人研ぎの上、塗膜防水 K3：アルミ	1	外壁	ALC t=100下地、複層塗材E(7ヶ素)	<div>・サッシ廻りのシーリングについては、撤去の上新設を行う。 ・外壁目地部は、シーリング（PU-2）新設を行う。 ・外壁改修は、施工数量調査を行う。 ・既設EXP：J部についてはシーリング（MS-2）新設を行う。 ・盤、BOX、鋼管等については下地調整RB種の上DP塗りとする。 【施工数量調査】 ・調査項目：クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部 ・調査方法：打診、目視、クラックスケール等 ・報告書：2部（補修方法別に調査数量を集計する。） 【外壁クラック補修仕様】 ・1mm以上のひび割れ補修：Uカットシーل充填工法 ・1mm未満のひび割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング部のエポキシ樹脂注入工法 （16本/m²、25ml/穴、25本/m²、25ml/穴） ・欠損部改修方法：鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填 【外壁軒天庇裏吹付】 ・アクリルリシン吹付、吹付タイル（アスベスト含有） ・湿式集塵機付ディスクグラインダーケレン工法 ※各種申請及び届出を行うこと。</div>
		改修後	高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 複層塗材E吹付（フッ素系）			改修後	高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 外装薄塗材E吹付			改修後	K1：水洗い K2：高圧洗浄、下地調整剤（C-1）の上、自閉樹脂塗膜防水 K3：既設のまま	2	外壁	コンクリート t=120打ち、モルタル金こて 複層塗材E(7ヶ素)	
B	柱・壁	改修前	モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有）	G	軒天庇裏	改修前	モルタル塗りの上、アクリルリシン吹付（アスベスト含有）	K2		改修前	K1：水洗い K2：高圧洗浄、下地調整剤（C-1）の上、自閉樹脂塗膜防水 K3：既設のまま	3	巾木	コンクリート打放仕上	
		改修後	湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材（C-2）の上 複層塗材E吹付（フッ素系）			改修後	湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法、下地調整塗材（C-2）の上 外装薄塗材E吹付			改修後	K1：水洗い K2：高圧洗浄、下地調整剤（C-1）の上、自閉樹脂塗膜防水 K3：既設のまま	4	縦樋	塩ビ製（カラー） 縦樋φ100（掴み金物：SUS@1200）	
C	柱 補強鉄板 巻き部	改修前	ポリウレタンエナメル塗装（2-UE） （鉄板巻き補強部）	H	玄関庇 庇裏	改修前	鋼板製スバンドレル	M	屋上 フェンス	改修前	メッシュフェンス 撤去（基礎共）	5	集水枒	塩ビ製（カラー）	
		改修後	下地処理RB種の上 DP塗装			改修後	下地処理RB種の上 DP塗り			改修後	メッシュフェンス 新設（基礎共）	6	EXP.J	アルミ製（屋上-屋上）耐火帯付（1時間耐火）	
D	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼り	I	巾木	改修前	モルタル塗りこて押え	N	屋上 タラップ	改修前	OP塗り	7	EXP.J	アルミ製（壁-壁）耐火帯付（1時間耐火）	
		改修後	水洗い			改修後	水洗い			改修後	下地処理RB種の上 DP塗り	8	笠木	アルミ笠木 W=350	
E	腰壁	改修前	カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	J	樋	改修前	縦樋：硬質塩ビ管 φ100撤去 養生管：φ125撤去 縦樋：硬質塩ビ管 φ114撤去 飾り樹：塩ビ製撤去	O	屋外階段 （鉄骨造）	改修前	OP塗り				
		改修後	水洗い			改修後	縦樋：硬質塩ビ管 φ100新設 飾り樹：塩ビ製新設			改修後	下地処理RB種の上 DP塗り				

設計
監理

類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士 設計者

一級建築士 第306854号 田中 召剛

一級建築士 第306854号 田中 召剛

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

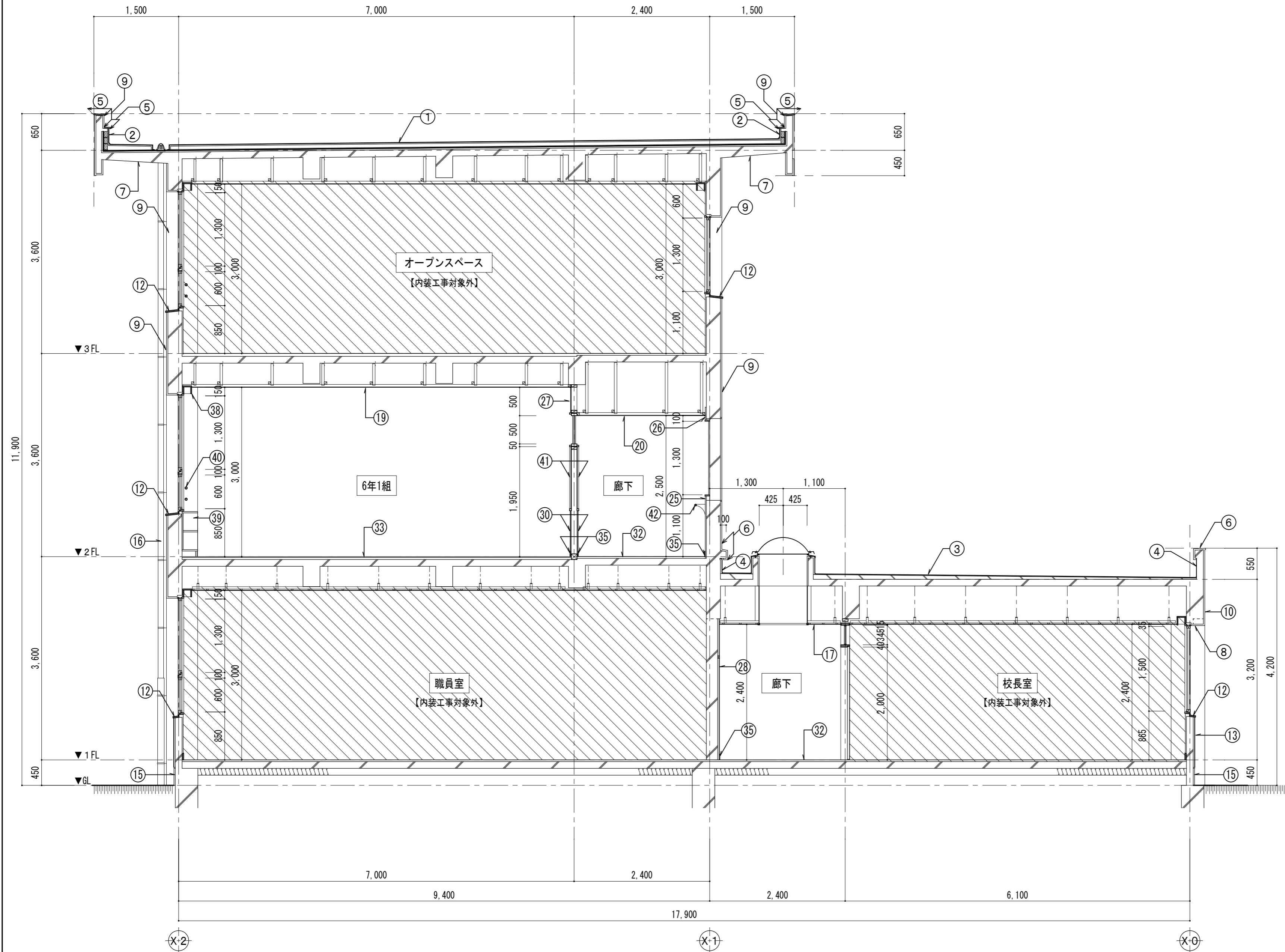
図面名称 縮尺

東立面図 【改修前・後】 S=1/200 (A3:1/282)

図面 No A-050

原因：A 2

改修前



■ 既設仕上 撤去・調整事項		
①	平場：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
②	立上り：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
③	平場：既設シート防水（平面：断熱工法）	【撤去】
④	立上り：既設シート防水	【撤去】
⑤	パラペット笠木：塗布防水	
⑥	パラペット笠木：防水モルタル	
⑦	軒裏：アクリルリシン吹付	
⑧	軒裏：アクリルリシン吹付（アスベスト含有）	
⑨	外壁・柱・庇：モルタル塗りの上、吹付タイル	
⑩	外壁・柱：モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有）	
⑪	柱（鉄板巻き部）：ポリウレタンエナメル塗装（2-UE）	
⑫	窓水切り：人研ぎ	
⑬	腰壁：カラコンモザイクタイル貼り	
⑭	腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	
⑮	巾木：モルタル塗りこて押え	
⑯	縦樋：硬質塩ビ管 φ100、養生管：φ125	【撤去】
⑰	天井：ジョイントボード 厚9張りの上、ラフトン吹付	【撤去】
⑱	天井：吸音テックス 厚9 張り	
⑲	天井：化粧PB 厚9.5 張り	【既設のまま】
⑳	天井：PB 厚9 目透かし張り EP塗	
㉑	天井：PB 厚9 目透かし張り EP塗	【撤去】
㉒	天井：モルタル塗り EP塗	【既設のまま】
㉓	天井：アクリルリシン吹付	【既設のまま】
㉔	階段裏：モルタル 金こて仕上 EP塗り	
㉕	壁：モルタル金こて仕上 EP塗り	
㉖	壁：RC下地、プラスター塗り	
㉗	壁：ラスボード下地、プラスター塗り	
㉘	壁：ラワン合板 厚5.5目透かし張り SOP	
㉙	壁：モルタル金こて仕上 VP塗り	
㉚	腰壁：ラスボード下地、モルタル塗りVP	
㉛	腰壁：RC下地、モルタル塗りVP	
㉜	床：長尺シート貼り	【既設のまま】
㉝	床：ナラフローリングブロックOSW	【既設のまま】
㉞	階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
㉟	巾木：木製 SOP塗り	
㊱	巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
㊲	巾木：人研ぎ	【既設のまま】
㊳	木製カーテンBOX	【既設のまま】
㊴	木製収納家具	【既設のまま】
㊵	転落防止手摺：GP30A VP塗り	【既設のまま】
㊶	掲示板	
㊷	笠掛け金物：GP20A VP塗り	
㊸	木製建具（枠共）	【撤去】
㊹	—	
㊺	—	



設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	

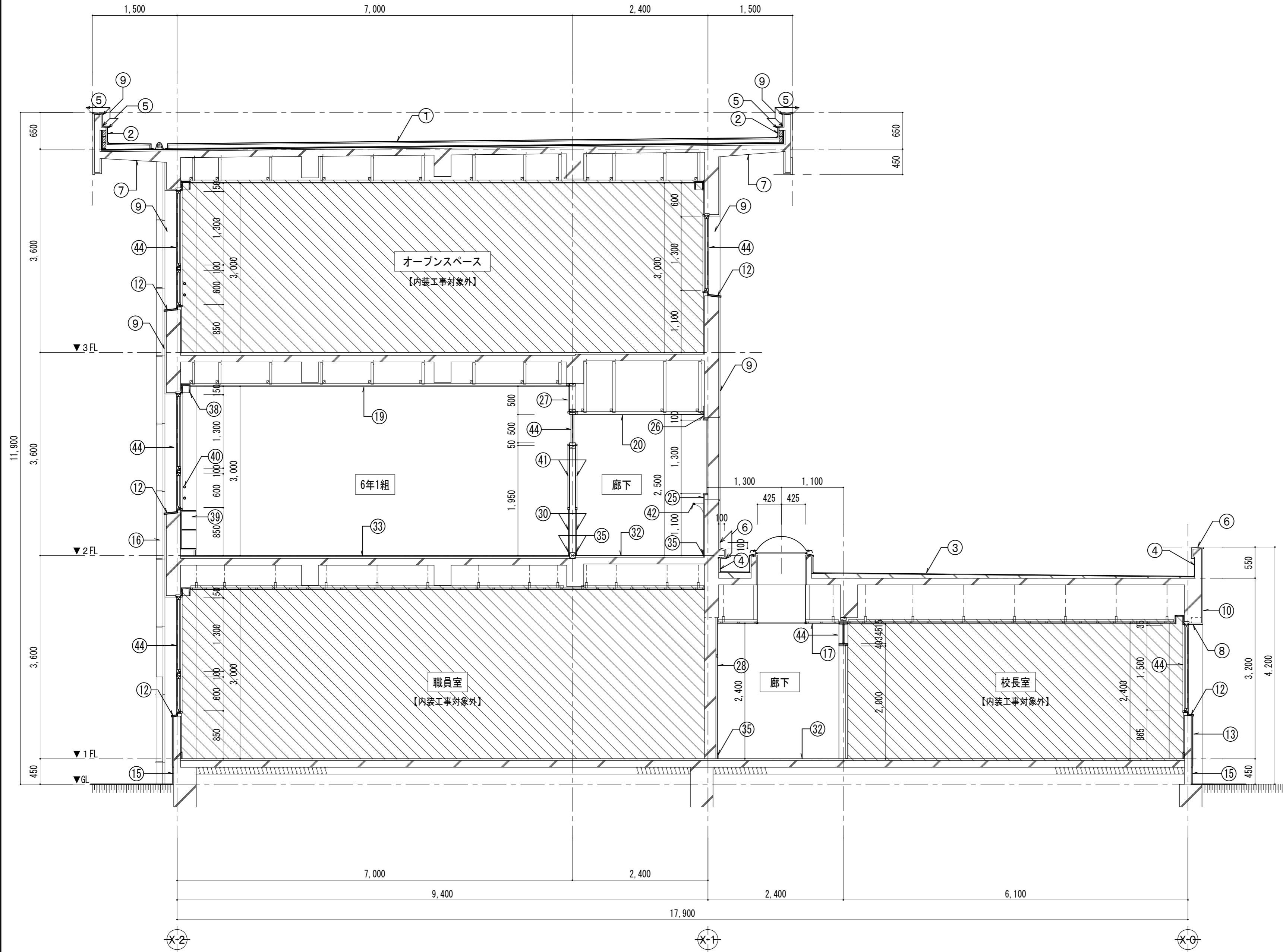
設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

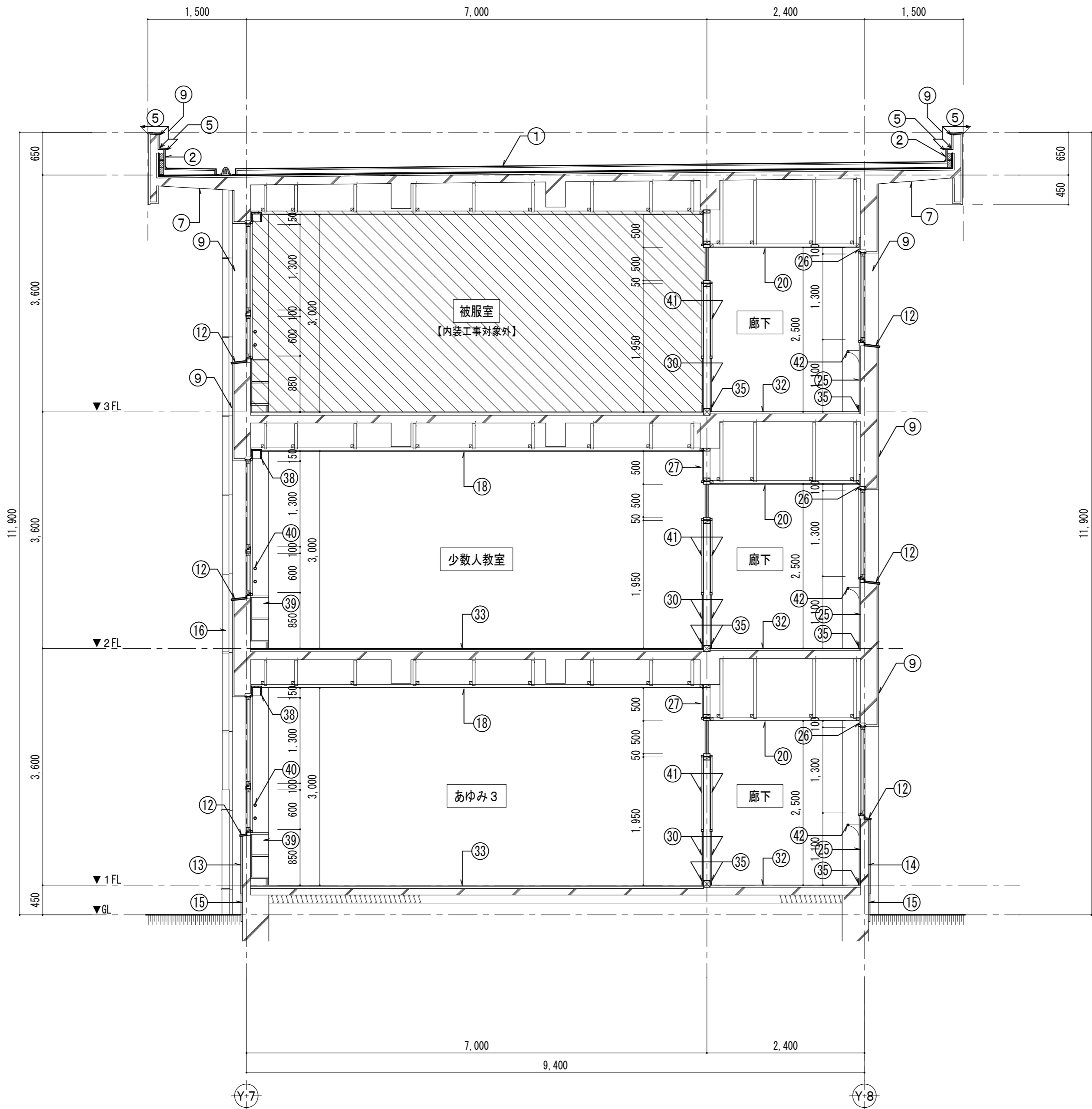
図面名称	縮尺	図面 No
断面詳細図 1 (改修前)	S=1/50	A-051
		原図: A 2

改修後



■ 改修事項	
①	平場：X-1 緩衝工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
②	立上り：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
③	平場：断熱機械固定工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
④	立上り：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑤	パラベット笠木：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑥	パラベット笠木：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑦	軒裏：高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 外装薄塗材E吹付
⑧	軒裏：湿式集塵装置付きディスグラインダーケレン工法、 下地調整塗材（C-2）の上、外装薄塗材E吹付
⑨	外壁・柱・庇：高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 複層塗材E吹付（フッ素系）
⑩	外壁・柱：湿式集塵装置付きディスグラインダーケレン工法、 下地調整塗材（C-2）の上、複層塗材E吹付（フッ素系）
⑪	柱（鉄板巻き部）：下地処理RB種の上、DP塗装 ＜既設＞柱（鉄板巻き部）
⑫	窓水切り：水洗い ＜既設＞人研ぎ
⑬	腰壁：水洗い ＜既設＞カラコンモザイクタイル貼り
⑭	腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル ＜既設＞カラコンモザイクタイル貼り
⑮	巾木：水洗い ＜既設＞モルタル塗りこて押え
⑯	縦樋：硬質塩ビ管 φ100、飾り樹共
⑰	天井：化粧PB 厚9.5 張り
⑱	天井：化粧PB 厚9.5 張り
⑲	天井：化粧PB 厚9.5 張り
⑳	天井：下地処理RC種の上 EP塗り ＜既設＞吸音テックス 厚9 張り
㉑	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉒	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉓	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉔	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉕	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉖	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉗	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉘	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉙	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉚	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉛	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉜	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉝	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉞	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㉟	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊱	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊲	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊳	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊴	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊵	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊶	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊷	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊸	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊹	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊺	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊻	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊼	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊽	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊾	天井：化粧PB 厚9.5 張り
㊿	天井：化粧PB 厚9.5 張り
1	天井：化粧PB 厚9.5 張り
2	天井：化粧PB 厚9.5 張り
3	天井：化粧PB 厚9.5 張り
4	天井：化粧PB 厚9.5 張り
5	天井：化粧PB 厚9.5 張り
6	天井：化粧PB 厚9.5 張り
7	天井：化粧PB 厚9.5 張り
8	天井：化粧PB 厚9.5 張り
9	天井：化粧PB 厚9.5 張り
10	天井：化粧PB 厚9.5 張り
11	天井：化粧PB 厚9.5 張り
12	天井：化粧PB 厚9.5 張り
13	天井：化粧PB 厚9.5 張り
14	天井：化粧PB 厚9.5 張り
15	天井：化粧PB 厚9.5 張り
16	天井：化粧PB 厚9.5 張り
17	天井：化粧PB 厚9.5 張り
18	天井：化粧PB 厚9.5 張り
19	天井：化粧PB 厚9.5 張り
20	天井：化粧PB 厚9.5 張り
21	天井：化粧PB 厚9.5 張り
22	天井：化粧PB 厚9.5 張り
23	天井：化粧PB 厚9.5 張り
24	天井：化粧PB 厚9.5 張り
25	天井：化粧PB 厚9.5 張り
26	天井：化粧PB 厚9.5 張り
27	天井：化粧PB 厚9.5 張り
28	天井：化粧PB 厚9.5 張り
29	天井：化粧PB 厚9.5 張り
30	天井：化粧PB 厚9.5 張り
31	天井：化粧PB 厚9.5 張り
32	天井：化粧PB 厚9.5 張り
33	天井：化粧PB 厚9.5 張り
34	天井：化粧PB 厚9.5 張り
35	天井：化粧PB 厚9.5 張り
36	天井：化粧PB 厚9.5 張り
37	天井：化粧PB 厚9.5 張り
38	天井：化粧PB 厚9.5 張り
39	天井：化粧PB 厚9.5 張り
40	天井：化粧PB 厚9.5 張り
41	天井：化粧PB 厚9.5 張り
42	天井：化粧PB 厚9.5 張り
43	天井：化粧PB 厚9.5 張り
44	天井：化粧PB 厚9.5 張り
45	天井：化粧PB 厚9.5 張り

改修前



■ 既設仕上 撤去・調整事項		
①	平場：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
②	立上り：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
③	平場：既設シート防水（平面：断熱工法）	【撤去】
④	立上り：既設シート防水	【撤去】
⑤	パラペット笠木：塗布防水	
⑥	パラペット笠木：防水モルタル	
⑦	軒裏：アクリルリシン吹付	
⑧	軒裏：アクリルリシン吹付（アスベスト含有）	
⑨	外壁・柱・庇：モルタル塗りの上、吹付タイル	
⑩	外壁・柱：モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有）	
⑪	柱（鉄板巻き部）：ポリウレタンエナメル塗装（2-UE）	
⑫	窓水切り：人研ぎ	
⑬	腰壁：カラコンモザイクタイル貼り	
⑭	腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	
⑮	巾木：モルタル塗りこて押え	
⑯	縦樋：硬質塩ビ管 φ100、養生管：φ125	【撤去】
⑰	天井：ジョイントボード 厚9張りの上、ラフトン吹付	【撤去】
⑱	天井：吸音テックス 厚9 張り	
⑲	天井：化粧PB 厚9.5 張り	【既設のまま】
⑳	天井：PB 厚9 目透かし張り EP 塗	
㉑	天井：PB 厚9 目透かし張り EP 塗	【撤去】
㉒	天井：モルタル塗り EP 塗	【既設のまま】
㉓	天井：アクリルリシン吹付	【既設のまま】
㉔	階段裏：モルタル 金こて仕上 EP 塗り	
㉕	壁：モルタル金こて仕上 EP 塗り	
㉖	壁：RC下地、プラスター塗り	
㉗	壁：ラスボード下地、プラスター塗り	
㉘	壁：ラワン合板 厚5.5目透かし張り SOP	
㉙	壁：モルタル金こて仕上 VP 塗り	
㉚	腰壁：ラスボード下地、モルタル塗りVP	
㉛	腰壁：RC下地、モルタル塗りVP	
㉜	床：長尺シート貼り	【既設のまま】
㉝	床：ナラフローリングブロックOSW	【既設のまま】
㉞	階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
㉟	巾木：木製 SOP 塗り	
㊱	巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
㊲	巾木：人研ぎ	【既設のまま】
㊳	木製カーテンBOX	【既設のまま】
㊴	木製収納家具	【既設のまま】
㊵	転落防止手摺：GP30A VP 塗り	【既設のまま】
㊶	掲示板	
㊷	笠掛け金物：GP20A VP 塗り	
㊸	木製建具（枠共）	【撤去】
㊹	—	
㊺	—	



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

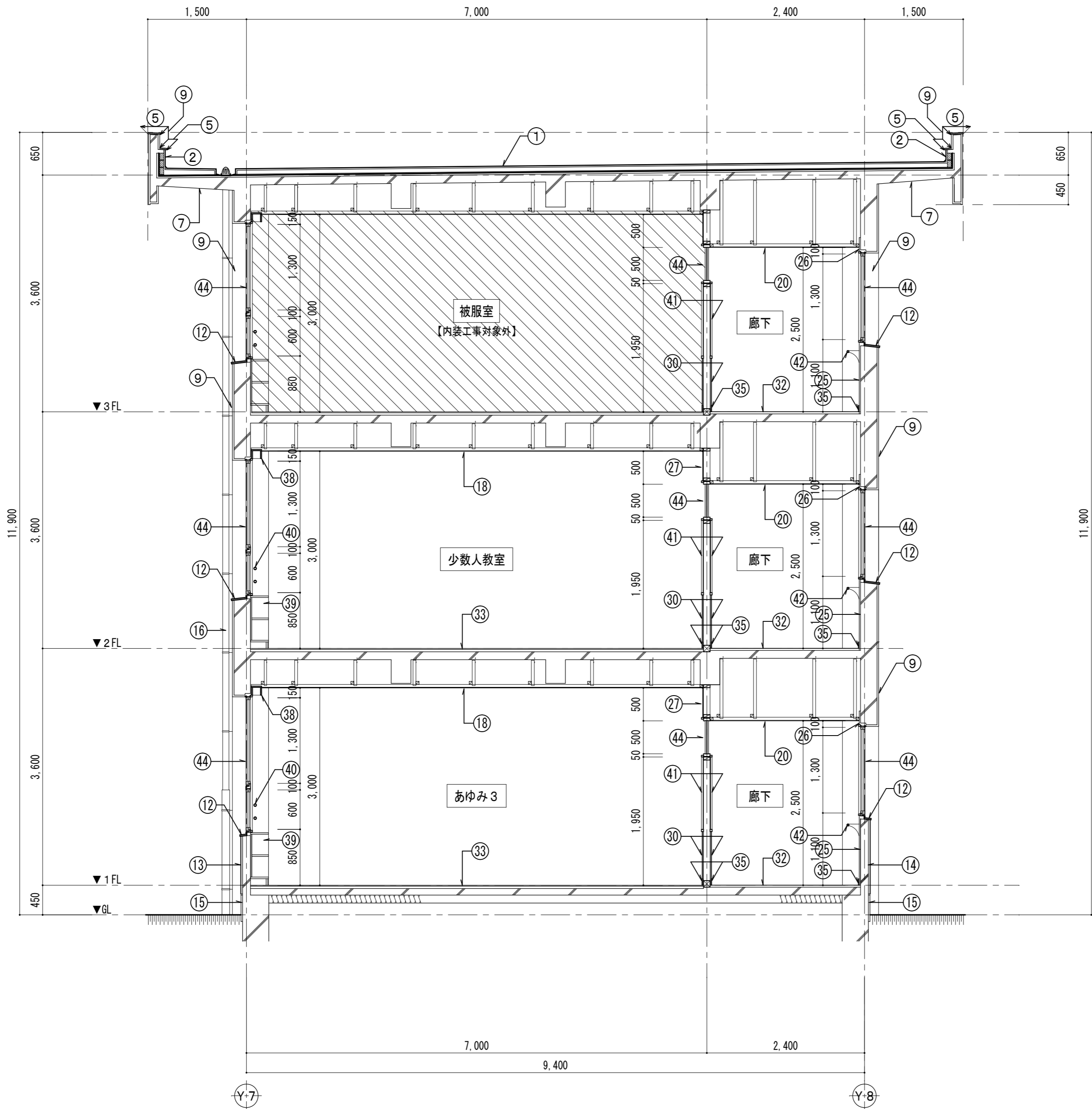
設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称	縮尺	図面 No
断面詳細図 2 (改修前)	S=1/50	A-053
		原因: A 2

改修後



■ 改修事項

①	平場：X-1 緩衝工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
②	立上り：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
③	平場：断熱機械固定工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
④	立上り：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑤	パラベット笠木：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑥	パラベット笠木：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑦	軒裏：高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 外装薄塗材吹付
⑧	軒裏：湿式集塵装置付きディスグラインダーケレン工法、下地調整塗材（C-2）の上、外装薄塗材E吹付
⑨	外壁・柱・庇：高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 複層塗材E吹付（フッ素系）
⑩	外壁・柱：湿式集塵装置付きディスグラインダーケレン工法、下地調整塗材（C-2）の上、複層塗材E吹付（フッ素系）
⑪	柱（鉄板巻き部）：下地処理RB種の上、DP塗装<既設>柱（鉄板巻き部）
⑫	窓水切り：水洗い<既設>人研ぎ
⑬	腰壁：水洗い<既設>カラコンモザイクタイル貼り
⑭	腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル<既設>カラコンモザイクタイル貼り
⑮	巾木：水洗い<既設>モルタル塗りこて押え
⑯	縦樋：硬質塩ビ管 φ100、飾り樹共 【新設】
⑰	天井：化粧PB 厚9.5 張り<既設>LGS下地 【新設】
⑱	天井：下地処理RC種の上 EP塗り<既設>吸音テックス 厚9 張り
⑲	天井：化粧PB 厚9.5 張り 【既設のまま】
⑳	天井：下地処理RC種の上 EP塗り<既設> PB 厚9 目透かし張り
㉑	天井：PB 厚9 目透かし張り EP塗 【新設】
㉒	天井：モルタル塗り EP塗 【既設のまま】
㉓	天井：アクリルリシン吹付 【既設のまま】
㉔	階段裏：下地調整RB種の上 EP塗り<既設>モルタル 金こて仕上 EP塗り
㉕	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉖	壁：プaster面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉗	壁：プaster面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉘	壁：下地処理RB種の上 EP-G塗り
㉙	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉚	腰壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉛	腰壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉜	床：長尺シート貼り 【既設のまま】
㉝	床：ナラフローリングブロックOSW 【既設のまま】
㉞	階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り 【既設のまま】
㉟	木製巾木：下地処理RB種の上 EP-G塗り
㊱	巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り 【既設のまま】
㊲	巾木：人研ぎ 【既設のまま】
㊳	木製カーテンBOX 【既設のまま】
㊴	木製収納家具 【既設のまま】
㊵	転落防止手摺：GP30A VP塗り 【既設のまま】
㊶	掲示板シート張替え（破損箇所がある場合は全面張替え）
㊷	笠掛け金物：下地処理RB種の上 EP-G塗り
㊸	鋼製建具（防火設備）新設 【新設】
㊹	飛散防止フィルム貼り
㊺	――



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

図面 No

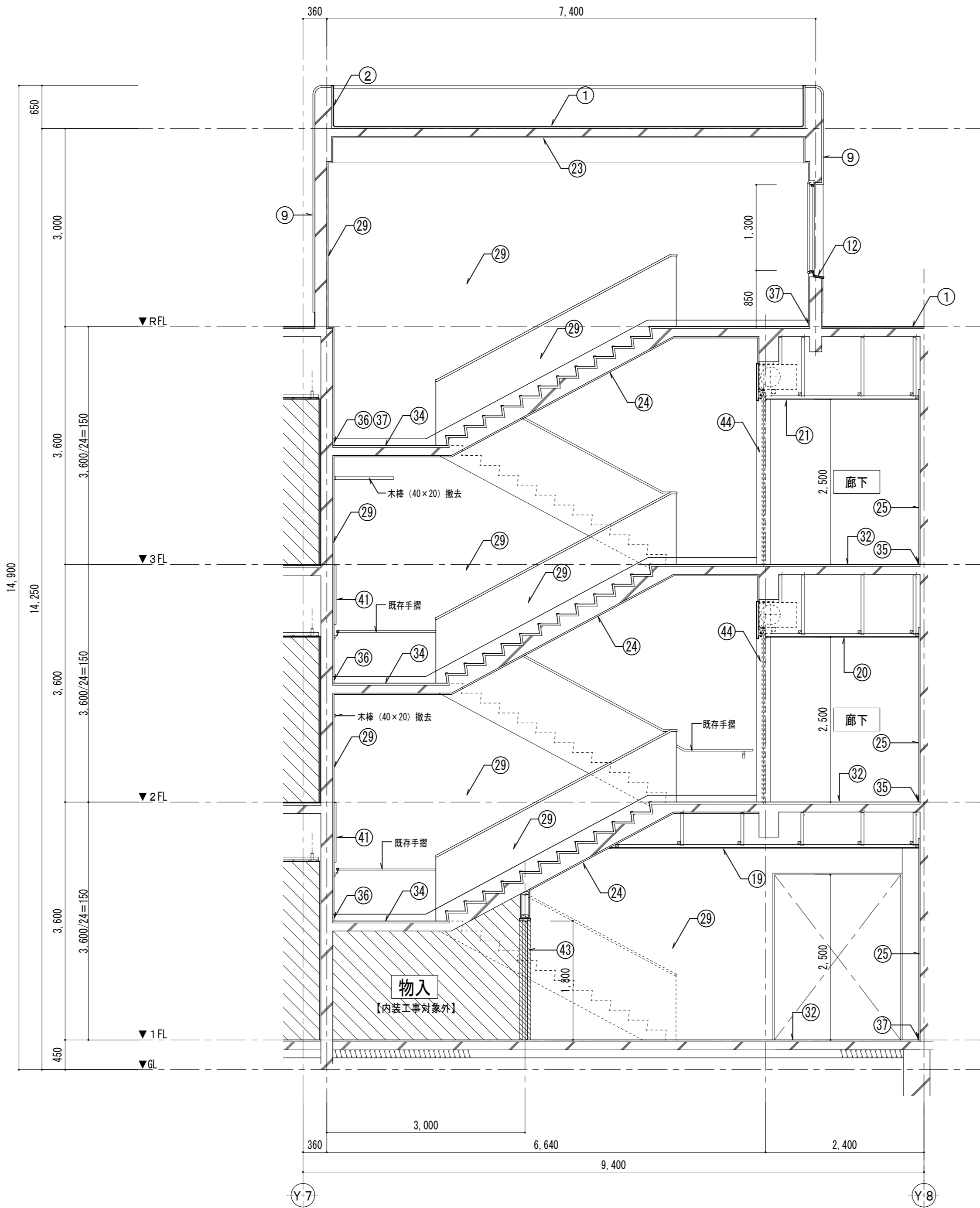
断面詳細図 2 (改修後)

S=1/50

A-054

原因: A 2

改修前



■ 既設仕上 撤去・調整事項		
①	平場：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
②	立上り：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
③	平場：既設シート防水（平面：断熱工法）	【撤去】
④	立上り：既設シート防水	【撤去】
⑤	パラペット笠木：塗布防水	
⑥	パラペット笠木：防水モルタル	
⑦	軒裏：アクリルリシン吹付	
⑧	軒裏：アクリルリシン吹付（アスベスト含有）	
⑨	外壁・柱・庇：モルタル塗りの上、吹付タイル	
⑩	外壁・柱：モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有）	
⑪	柱（鉄板巻き部）：ポリウレタンエナメル塗装（2-UE）	
⑫	窓水切り：人研ぎ	
⑬	腰壁：カラコンモザイクタイル貼り	
⑭	腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	
⑮	巾木：モルタル塗りこて押え	
⑯	縦樋：硬質塩ビ管 φ100、養生管：φ125	【撤去】
⑰	天井：ジョイントボード 厚9張りの上、ラフトン吹付	【撤去】
⑱	天井：吸音テックス 厚9 張り	
⑲	天井：化粧PB 厚9.5 張り	【既設のまま】
⑳	天井：PB 厚9 目透かし張り EP塗	
㉑	天井：PB 厚9 目透かし張り EP塗	【撤去】
㉒	天井：モルタル塗り EP塗	【既設のまま】
㉓	天井：アクリルリシン吹付	【既設のまま】
㉔	階段裏：モルタル 金こて仕上 EP塗り	
㉕	壁：モルタル金こて仕上 EP塗り	
㉖	壁：RC下地、プラスター塗り	
㉗	壁：ラスボード下地、プラスター塗り	
㉘	壁：ラワン合板 厚5.5目透かし張り SOP	
㉙	壁：モルタル金こて仕上 VP塗り	
㉚	腰壁：ラスボード下地、モルタル塗りVP	
㉛	腰壁：RC下地、モルタル塗りVP	
㉜	床：長尺シート貼り	【既設のまま】
㉝	床：ナラフローリングブロックOSW	【既設のまま】
㉞	階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
㉟	巾木：木製 SOP塗り	
㊱	巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
㊲	巾木：人研ぎ	【既設のまま】
㊳	木製カーテンBOX	【既設のまま】
㊴	木製収納家具	【既設のまま】
㊵	転落防止手摺：GP30A VP塗り	【既設のまま】
㊶	掲示板	【一時撤去】
㊷	笠掛け金物：GP20A VP塗り	
㊸	木製建具（枠共）	【撤去】
㊹	建具鉄鋼面：OP塗	
㊺	—	



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

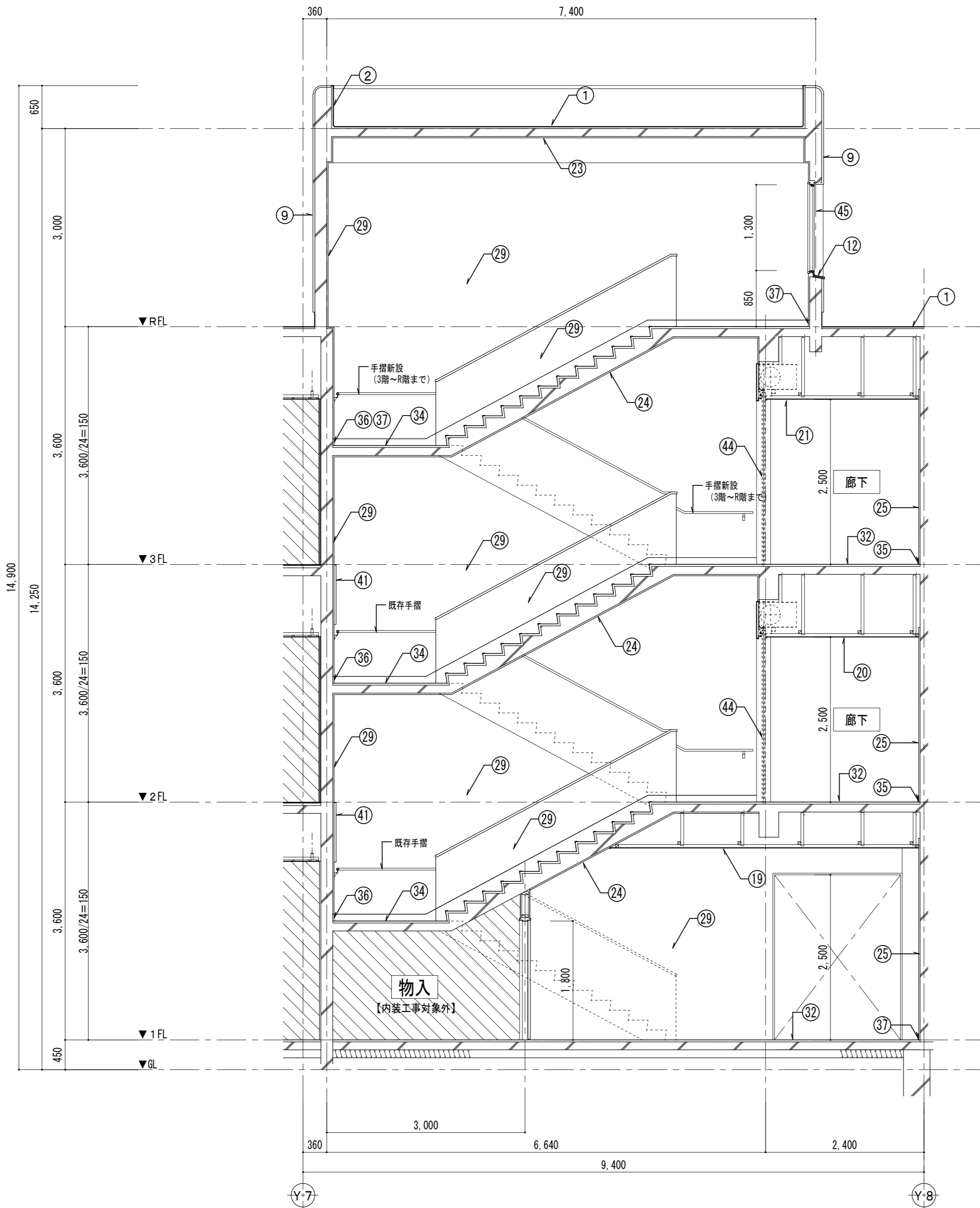
設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称	縮尺	図面 No
断面詳細図 3 (改修前)	S=1/50	A-055
		原図：A 2

改修後



■ 改修事項	
①	平場：X-1 緩衝工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
②	立上り：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
③	平場：断熱機械固定工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
④	立上り：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑤	パラベット笠木：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑥	パラベット笠木：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素）
⑦	軒裏：高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 外装薄塗材E吹付
⑧	軒裏：湿式集塵機付きデ「イカグ」ラインダ-ケシ工法、下地調整塗材（C-2）の上、外装薄塗材E吹付
⑨	外壁・柱・庇：高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 複層塗材E吹付（フッ素系）
⑩	外壁・柱：湿式集塵機付きデ「イカグ」ラインダ-ケシ工法、下地調整塗材（C-2）の上、複層塗材E吹付（フッ素系）
⑪	柱（鉄板巻き部）：下地処理RB種の上、DP塗
⑫	窓水切り：水洗い
⑬	腰壁：水洗い
⑭	腰壁：カラコンモザイクタイル貼り
⑮	巾木：水洗い
⑯	天井：硬質塩ビ管 φ100、飾り樹共
⑰	天井：化粧PB 厚9.5 張り
⑱	天井：化粧PB 厚9.5 張り
⑲	天井：化粧PB 厚9.5 張り
⑳	天井：下地処理RC種の上 EP塗り
㉑	天井：PB 厚9 目透かし張り EP塗
㉒	天井：モルタル塗り EP塗
㉓	天井：アクリルリシン吹付
㉔	階段裏：下地処理RB種の上 EP塗り
㉕	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉖	壁：プラスター面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉗	壁：プラスター面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉘	壁：下地処理RB種の上 EP-G塗り
㉙	壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉚	腰壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉛	腰壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り
㉜	床：長尺シート貼り
㉝	床：ナラフローリングブロックOSW
㉞	階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り
㉟	木製巾木：下地処理RB種の上 EP-G塗り
㊱	巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り
㊲	巾木：人研ぎ
㊳	木製カーテンBOX
㊴	木製収納家具
㊵	転落防止手摺：GP30A VP塗り
㊶	掲示板
㊷	笠掛け金物：下地処理RB種の上 EP-G塗り
㊸	鋼製建具（防火設備）新設
㊹	建具鋼製面：下地調整RB種の上 EP-G塗り
㊺	飛散防止フィルム貼り



設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

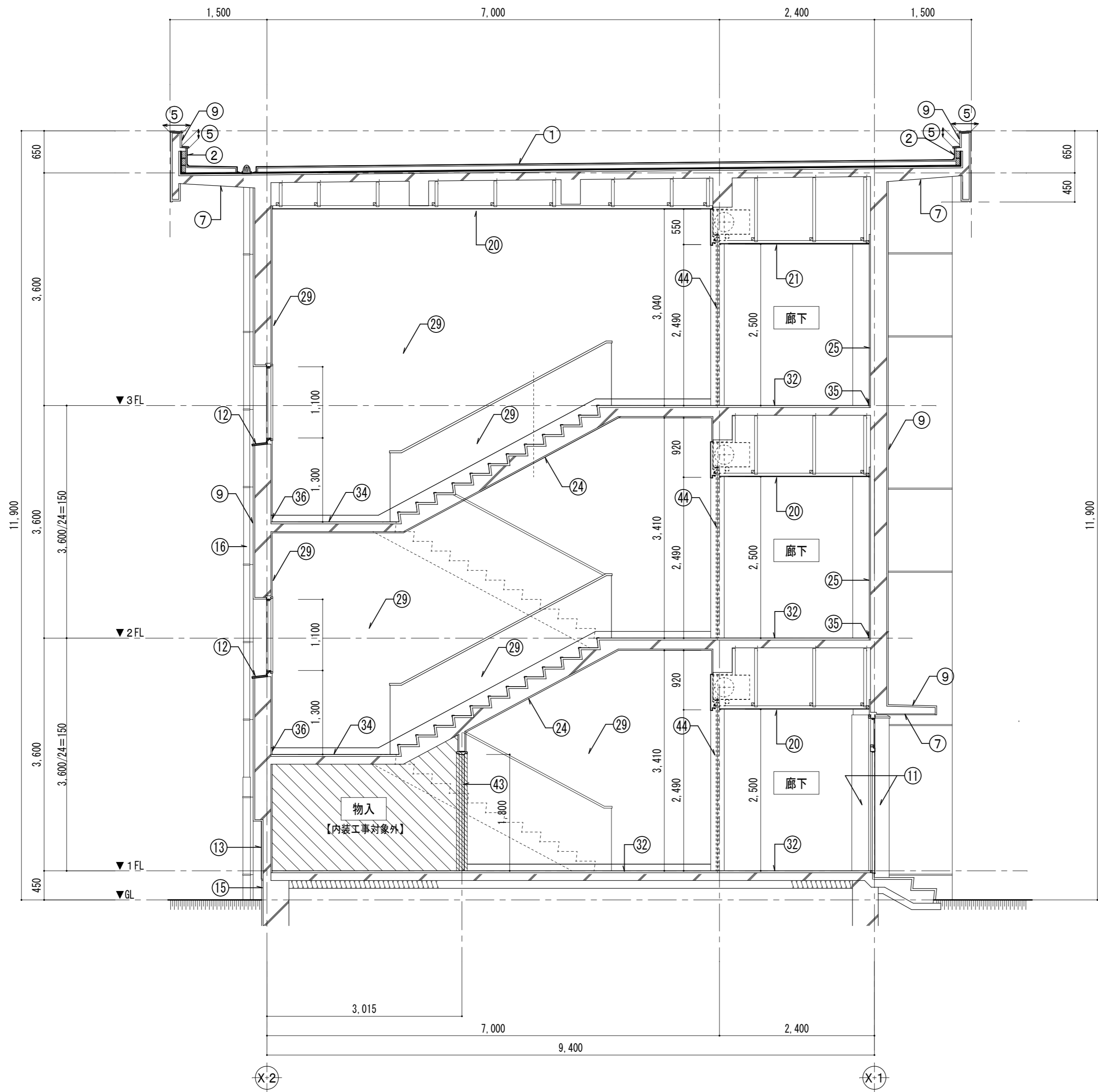
図面 No

断面詳細図 3 (改修後)

S=1/50

A-056

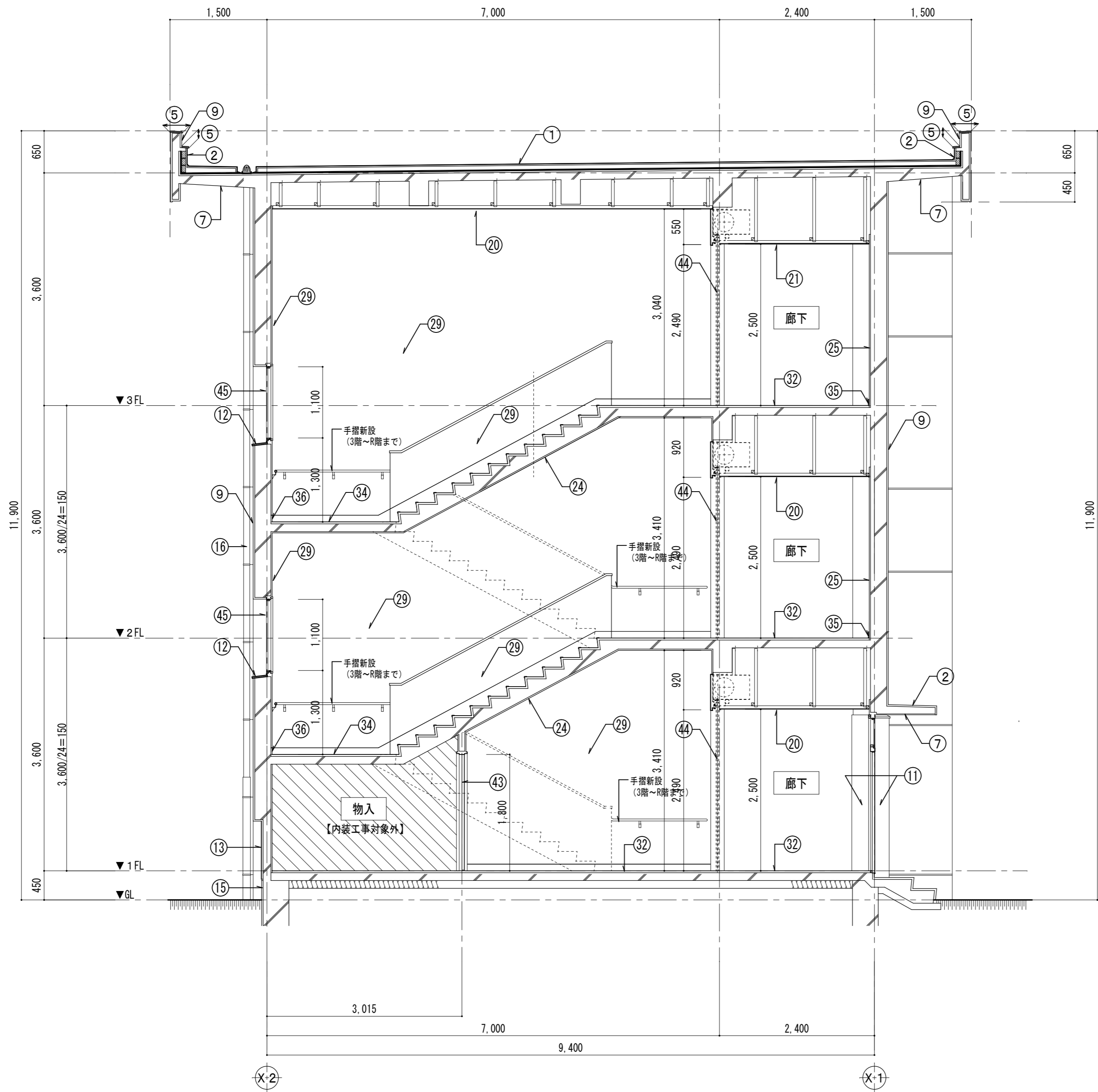
原因: A 2



■ 既設仕上 撤去・調整事項		
①	平場：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
②	立上り：既設アスファルト防水（アスベスト含有）	【撤去】
③	平場：既設シート防水（平面：断熱工法）	【撤去】
④	立上り：既設シート防水	【撤去】
⑤	パラペット笠木：塗布防水	
⑥	パラペット笠木：防水モルタル	
⑦	軒裏：アクリルリシン吹付	
⑧	軒裏：アクリルリシン吹付（アスベスト含有）	
⑨	外壁・柱・庇：モルタル塗りの上、吹付タイル	
⑩	外壁・柱：モルタル塗りの上、吹付タイル（アスベスト含有）	
⑪	柱（鉄板巻き部）：ポリウレタンエナメル塗装（2-UE）	
⑫	窓水切り：人研ぎ	
⑬	腰壁：カラコンモザイクタイル貼り	
⑭	腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル	
⑮	巾木：モルタル塗りこて押え	
⑯	縦樋：硬質塩ビ管 φ100、養生管：φ125	【撤去】
⑰	天井：ジョイントボード 厚9張りの上、ラフトン吹付	【撤去】
⑱	天井：吸音テックス 厚9 張り	
⑲	天井：化粧PB 厚9.5 張り	【既設のまま】
⑳	天井：PB 厚9 目透かし張り EP 塗	
㉑	天井：PB 厚9 目透かし張り EP 塗	【撤去】
㉒	天井：モルタル塗り EP 塗	【既設のまま】
㉓	天井：アクリルリシン吹付	【既設のまま】
㉔	階段裏：モルタル 金こて仕上 EP 塗り	
㉕	壁：モルタル金こて仕上 EP 塗り	
㉖	壁：RC下地、プラスター塗り	
㉗	壁：ラスボード下地、プラスター塗り	
㉘	壁：ラワン合板 厚5.5目透かし張り SOP	
㉙	壁：モルタル金こて仕上 VP 塗り	
㉚	腰壁：ラスボード下地、モルタル塗りVP	
㉛	腰壁：RC下地、モルタル塗りVP	
㉜	床：長尺シート貼り	【既設のまま】
㉝	床：ナラフローリングブロックOSW	【既設のまま】
㉞	階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
㉟	巾木：木製 SOP 塗り	
㊱	巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り	【既設のまま】
㊲	巾木：人研ぎ	【既設のまま】
㊳	木製カーテンBOX	【既設のまま】
㊴	木製収納家具	【既設のまま】
㊵	転落防止手摺：GP30A VP 塗り	【既設のまま】
㊶	掲示板	
㊷	笠掛け金物：GP20A VP 塗り	
㊸	木製建具（枠共）	【撤去】
㊹	建具鉄鋼面：OP 塗	
㊺	—	



改修後



■ 改修事項

- | | |
|---|---|
| ① | 平場：X-1 緩衝工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素） |
| ② | 立上り：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素） |
| ③ | 平場：断熱機械固定工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素） |
| ④ | 立上り：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素） |
| ⑤ | パラベット笠木：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素） |
| ⑥ | パラベット笠木：X-2 密着工法 ウレタンゴム系（上塗材フッ素） |
| ⑦ | 軒裏：高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 外装薄塗材E吹付 |
| ⑧ | 軒裏：湿式集塵機付きデイスケグラインダ-ケルン工法、下地調整塗材（C-2）、外装薄塗材E吹付 |
| ⑨ | 外壁・柱・庇：高圧洗浄、下地調整塗材（C-1）の上 複層塗材E吹付（フッ素系） |
| ⑩ | 外壁・柱：湿式集塵機付きデイスケグラインダ-ケルン工法、下地調整塗材（C-2）の上、複層塗材E吹付（フッ素系） |
| ⑪ | 柱（鉄板巻き部）：下地処理RB種の上、DP塗装 <既設>柱（鉄板巻き部） |
| ⑫ | 窓水切り：水洗い <既設>人研ぎ |
| ⑬ | 腰壁：水洗い <既設>カラコンモザイクタイル貼り |
| ⑭ | 腰壁：カラコンモザイクタイル貼りの上、吹付タイル <既設>カラコンモザイクタイル貼り |
| ⑮ | 巾木：水洗い <既設>モルタル塗りこて押え |
| ⑯ | 縦樋：硬質塩ビ管 φ100、飾り樹共 【新設】 |
| ⑰ | 天井：化粧PB 厚9.5 張り <既設>LGS下地 【新設】 |
| ⑱ | 天井：下地処理RC種の上 EP塗り <既設>吸音テックス 厚9 張り |
| ⑲ | 天井：化粧PB 厚9.5 張り 【既設のまま】 |
| ⑳ | 天井：下地処理RC種の上 EP塗り <既設> PB 厚9 目透かし張り |
| ㉑ | 天井：PB 厚9 目透かし張り EP塗 【新設】 |
| ㉒ | 天井：モルタル塗り EP塗 【既設のまま】 |
| ㉓ | 天井：アクリルリシン吹付 【既設のまま】 |
| ㉔ | 階段裏：下地処理RB種の上 EP塗り <既設>モルタル 金こて仕上 EP塗り |
| ㉕ | 壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り |
| ㉖ | 壁：プラスター面、下地処理RB種の上 EP塗り |
| ㉗ | 壁：プラスター面、下地処理RB種の上 EP塗り |
| ㉘ | 壁：下地処理RB種の上 EP-G塗り |
| ㉙ | 壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り |
| ㉚ | 腰壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り |
| ㉛ | 腰壁：モルタル面、下地処理RB種の上 EP塗り |
| ㉜ | 床：長尺シート貼り 【既設のまま】 |
| ㉝ | 床：ナラフローリングブロックOSW 【既設のまま】 |
| ㉞ | 階段床：モルタル塗りの上、エポキシ樹脂塗り 【既設のまま】 |
| ㉟ | 木製巾木：下地処理RB種の上 EP-G塗り |
| ㊱ | 巾木：人研ぎの上、エポキシ樹脂塗り 【既設のまま】 |
| ㊲ | 巾木：人研ぎ 【既設のまま】 |
| ㊳ | 木製カーテンBOX 【既設のまま】 |
| ㊴ | 木製収納家具 【既設のまま】 |
| ㊵ | 転落防止手摺：GP30A VP塗り 【既設のまま】 |
| ㊶ | 掲示板シート張替え（破損箇所がある場合は全面張替え） |
| ㊷ | 笠掛け金物：下地処理RB種の上 EP-G塗り |
| ㊸ | 鋼製建具（防火設備）新設 【新設】 |
| ㊹ | 建具鋼製面：下地調整RB種の上 EP-G塗り |
| ㊺ | 飛散防止フィルム貼り |



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

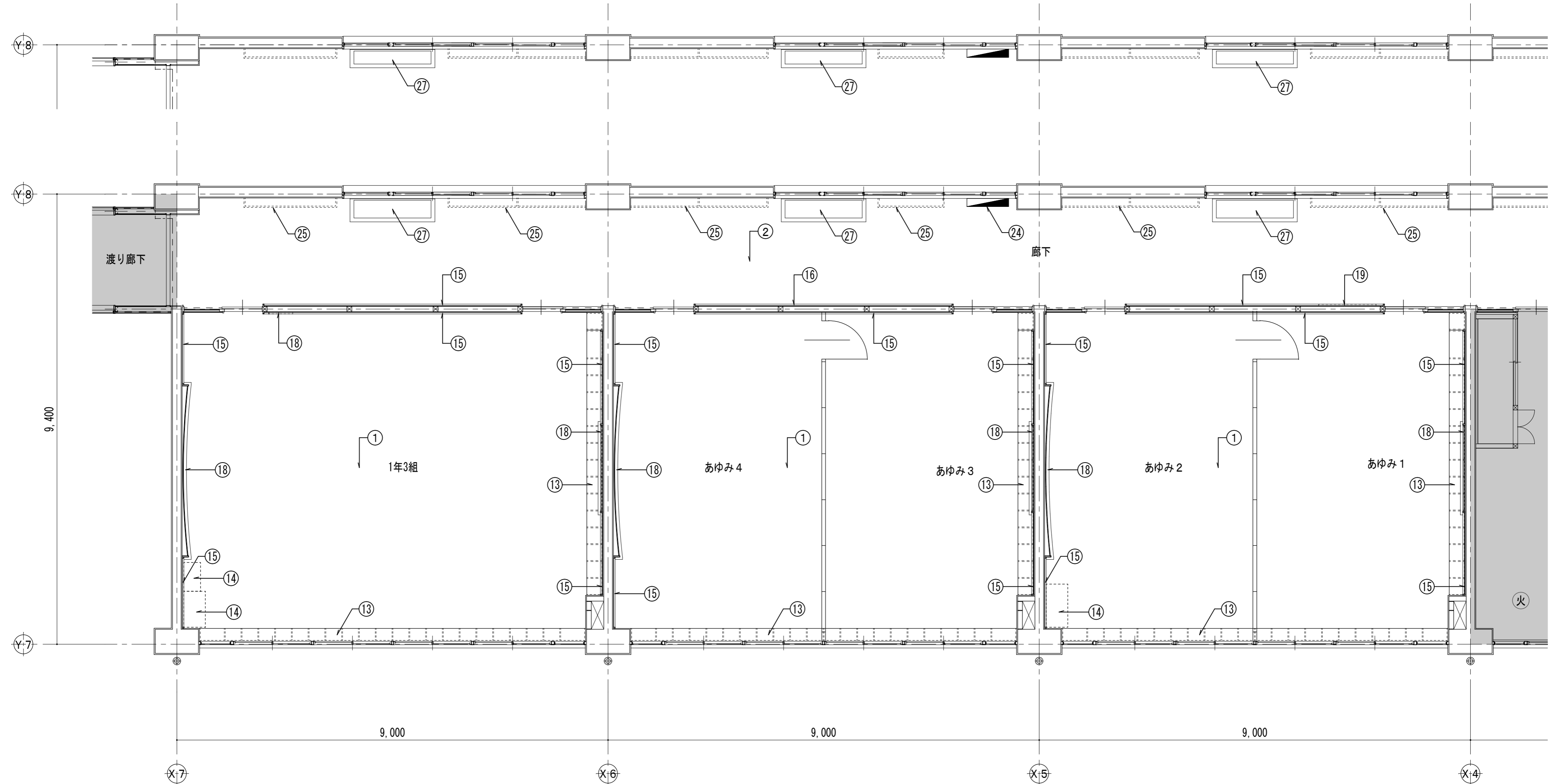
設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

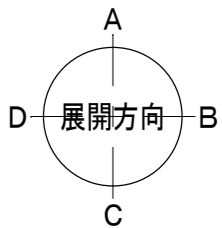
図面名称	縮尺	図面 No
断面詳細図 4 (改修後)	S=1/50	A-058

原因: A 2



■ 仕上表											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①	壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑪	卒業記念作品	——	既存のまま	⑲
床	長尺シート貼り	既存のまま	②	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑫	学校案内板	一時撤去	復旧	⑳
床	100角タイル貼り	既存のまま	③	家具	——	既存のまま	⑬	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	㉑
床	人研ぎ	既存のまま	④	家具	一時撤去	復旧	⑭	屋内消火栓	——	既存のまま	㉒
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤	掲示板	——	既存のまま	⑮	傘掛け	——	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉓
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯	手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉔
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	掲示板	一時撤去	復旧	⑰	手洗い	撤去（人研ぎステンレス巻き）	新設（ステンレス製）	㉕
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	⑧	黒板	——	既存のまま	⑱	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	㉖
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨	黒板	一時撤去	復旧	⑲	その他 備品	一時撤去	復旧	㉗
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑩	卒業記念作品	一時撤去	復旧	㉑	手摺	——	塩ビ手摺新設	㉘
※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											

既存のままを示す (内装工事範囲外)



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

1階 平面詳細図 1

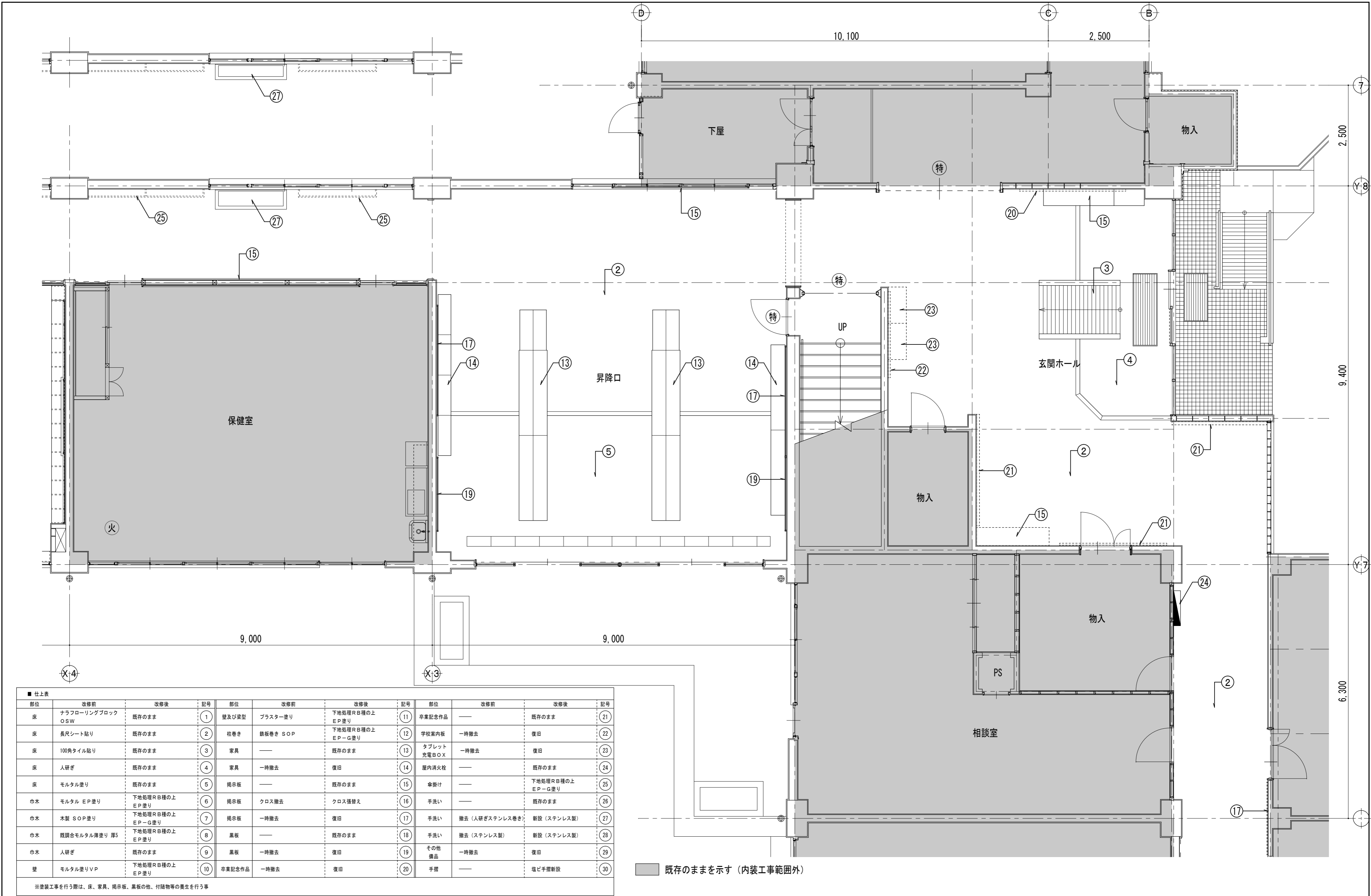
S=1/60 (A3:1/85)

【改修前・改修後】

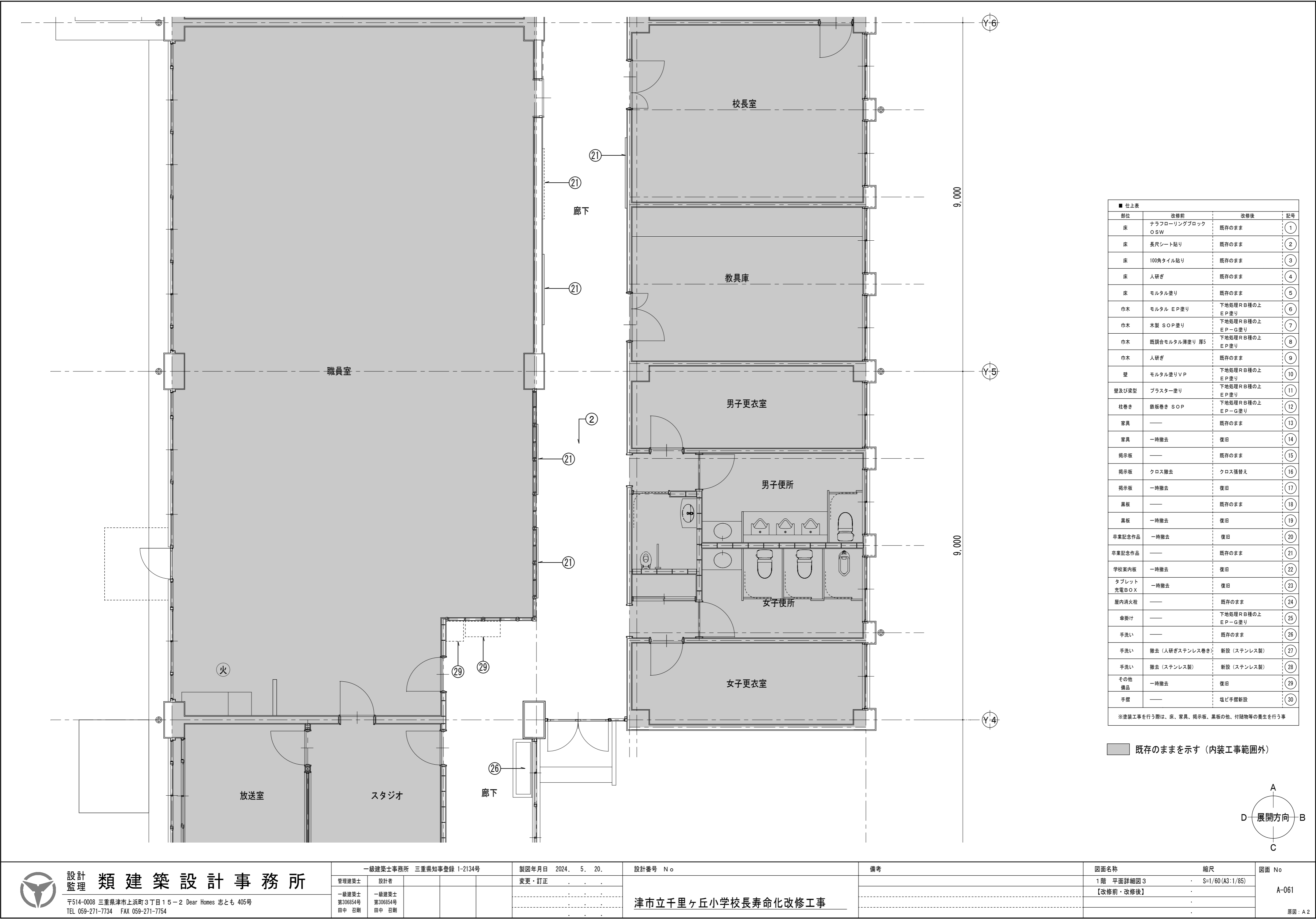
図面 No

A-059

原図: A 2



■ 仕上表											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①	壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑪	卒業記念作品	——	既存のまま	⑲
床	長尺シート貼り	既存のまま	②	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑫	学校案内板	一時撤去	復旧	⑳
床	100角タイル貼り	既存のまま	③	家具	——	既存のまま	⑬	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	㉓
床	人研ぎ	既存のまま	④	家具	一時撤去	復旧	⑭	屋内消火栓	——	既存のまま	㉔
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤	掲示板	——	既存のまま	⑮	傘掛け	——	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉕
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯	手洗い	——	既存のまま	㉖
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	掲示板	一時撤去	復旧	⑰	手洗い	撤去（人研ぎステンレス巻き）	新設（ステンレス製）	㉖
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	⑧	黒板	——	既存のまま	⑱	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	㉗
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨	黒板	一時撤去	復旧	⑲	その他 備品	一時撤去	復旧	㉘
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑩	卒業記念作品	一時撤去	復旧	㉒	手摺	——	塩ビ手摺新設	㉙
※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											



設計 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

1階 平面詳細図 3

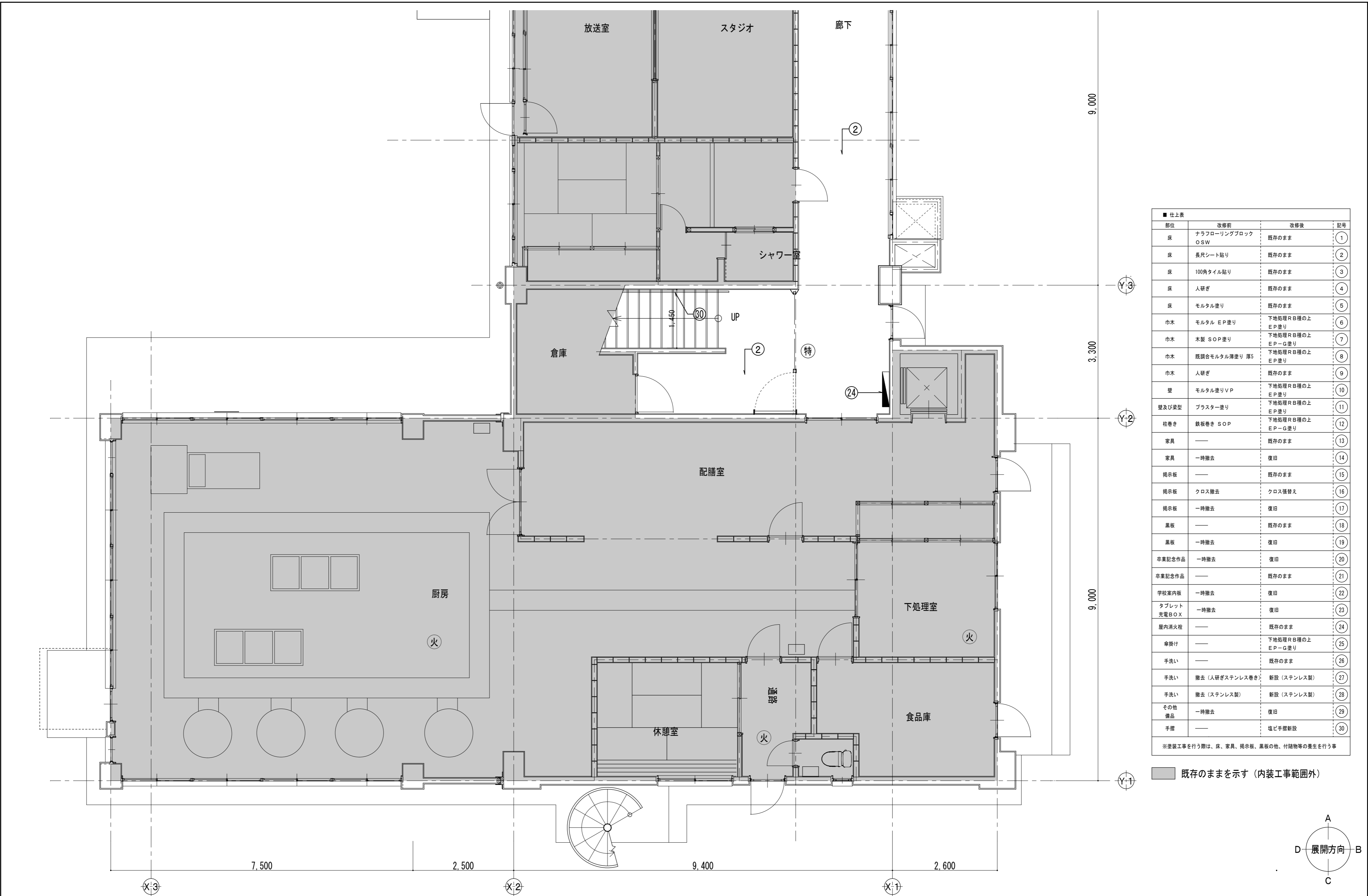
S=1/60 (A3:1/85)

【改修前・改修後】

図面 No

A-061

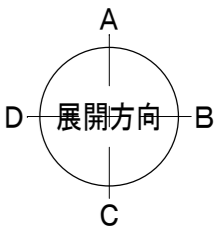
原図: A 2



■ 仕上表			
部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック O SW	既存のまま	①
床	長尺シート貼り	既存のまま	②
床	100角タイル貼り	既存のまま	③
床	人研ぎ	既存のまま	④
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤
巾木	モルタル E P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑥
巾木	木製 S O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	⑦
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑧
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨
壁	モルタル塗り V P	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑩
壁及び梁型	プaster 塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑪
柱巻き	鉄板巻き S O P	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	⑫
家具	—	既存のまま	⑬
家具	一時撤去	復旧	⑭
掲示板	—	既存のまま	⑮
掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯
掲示板	一時撤去	復旧	⑰
黒板	—	既存のまま	⑱
黒板	一時撤去	復旧	⑲
卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑳
卒業記念作品	—	既存のまま	㉑
学校案内板	一時撤去	復旧	㉒
タブレット 充電 B O X	一時撤去	復旧	㉓
屋内消火栓	—	既存のまま	㉔
傘掛け	—	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	㉕
手洗い	—	既存のまま	㉖
手洗い	撤去 (人研ぎステンレス巻き)	新設 (ステンレス製)	㉗
手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉘
その他 備品	一時撤去	復旧	㉙
手摺	—	塩ビ手摺新設	㉚

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

既存のままを示す (内装工事範囲外)



設計 類 建築設計事務所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

1階 平面詳細図 4

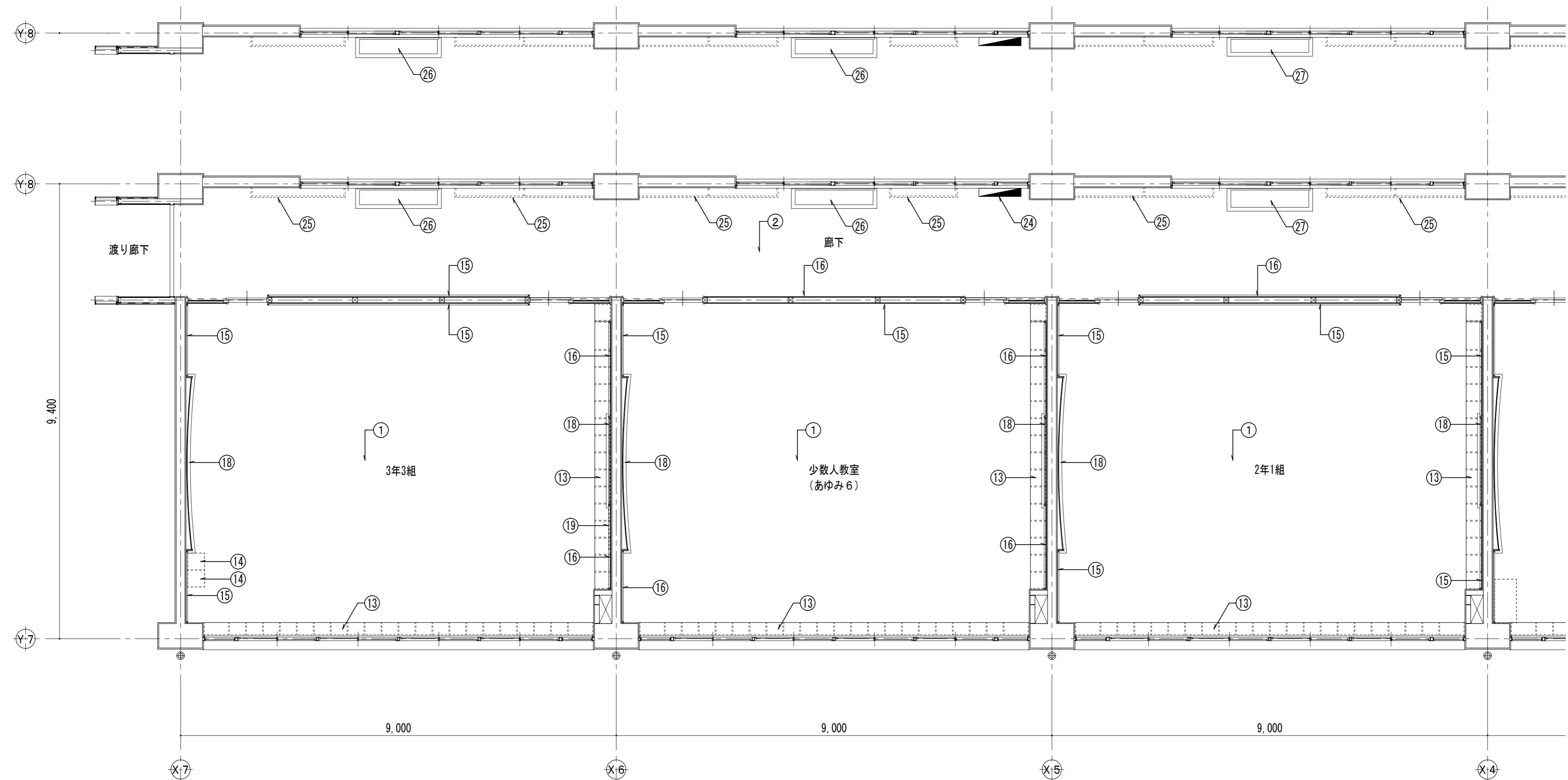
S=1/60 (A3:1/85)

【改修前・改修後】

図面 No

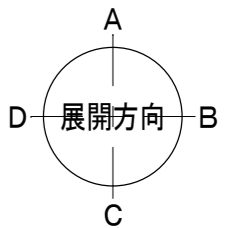
A-062

原図: A 2



■ 仕上表											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①	壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑪	卒業記念作品	——	既存のまま	⑳
床	長尺シート貼り	既存のまま	②	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑫	学校案内板	一時撤去	復旧	㉑
床	100角タイル貼り	既存のまま	③	家具	——	既存のまま	⑬	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	㉒
床	人研ぎ	既存のまま	④	家具	一時撤去	復旧	⑭	屋内消火栓	——	既存のまま	㉓
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤	掲示板	——	既存のまま	⑮	傘掛け	——	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉔
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯	手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉕
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	掲示板	一時撤去	復旧	⑰	手洗い	撤去（人研ぎステンレス巻き）	新設（ステンレス製）	㉖
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	⑧	黒板	——	既存のまま	⑱	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	㉗
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨	黒板	一時撤去	復旧	⑲	その他 備品	一時撤去	復旧	㉘
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑩	卒業記念作品	一時撤去	復旧	㉐	手摺	——	塩ビ手摺新設	㉙
※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											

既存のままを示す (内装工事範囲外)



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正			

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

2階 平面図詳細 1

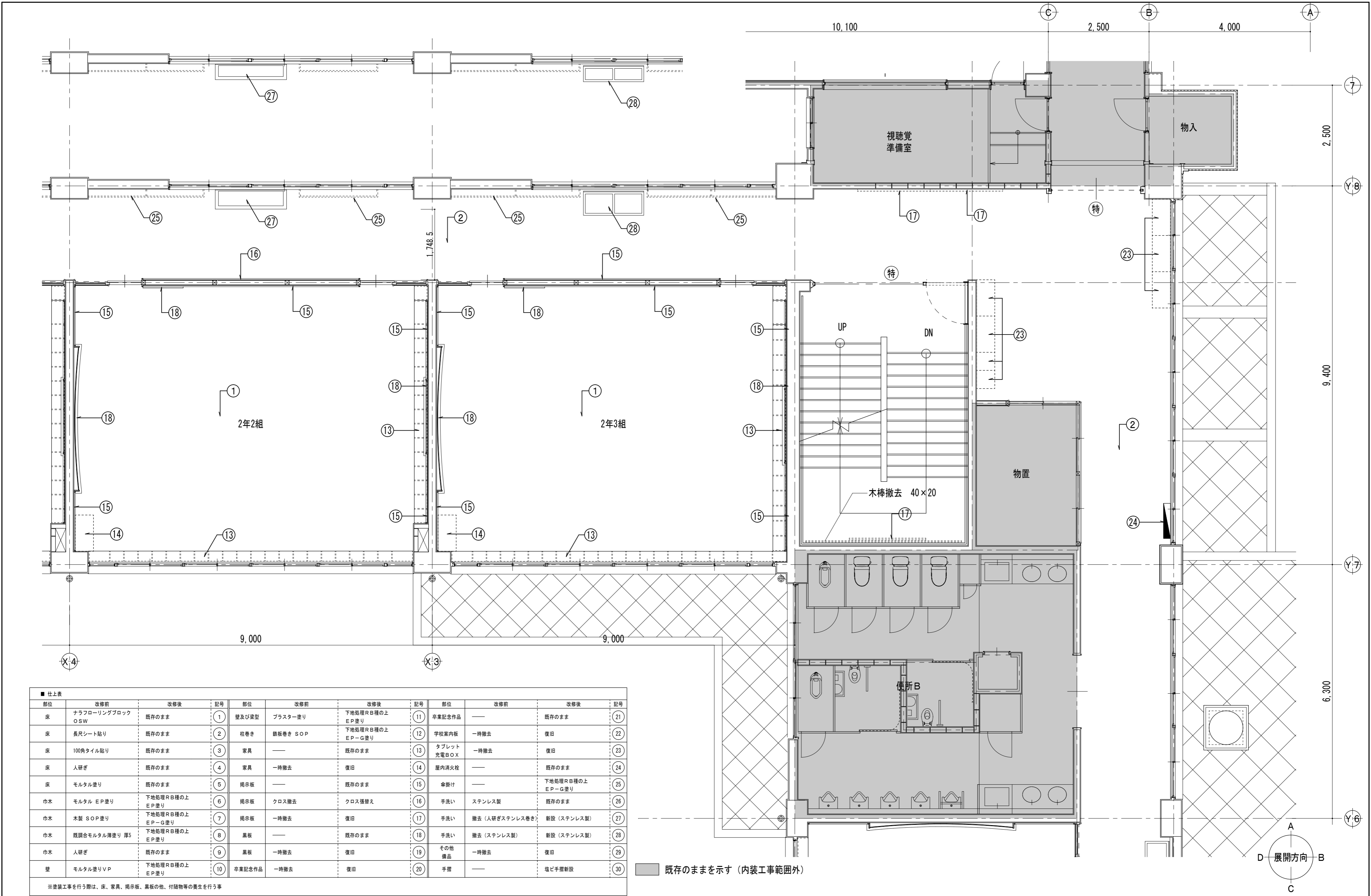
S=1/60 (A3:1/85)

【改修前・改修後】

図面 No

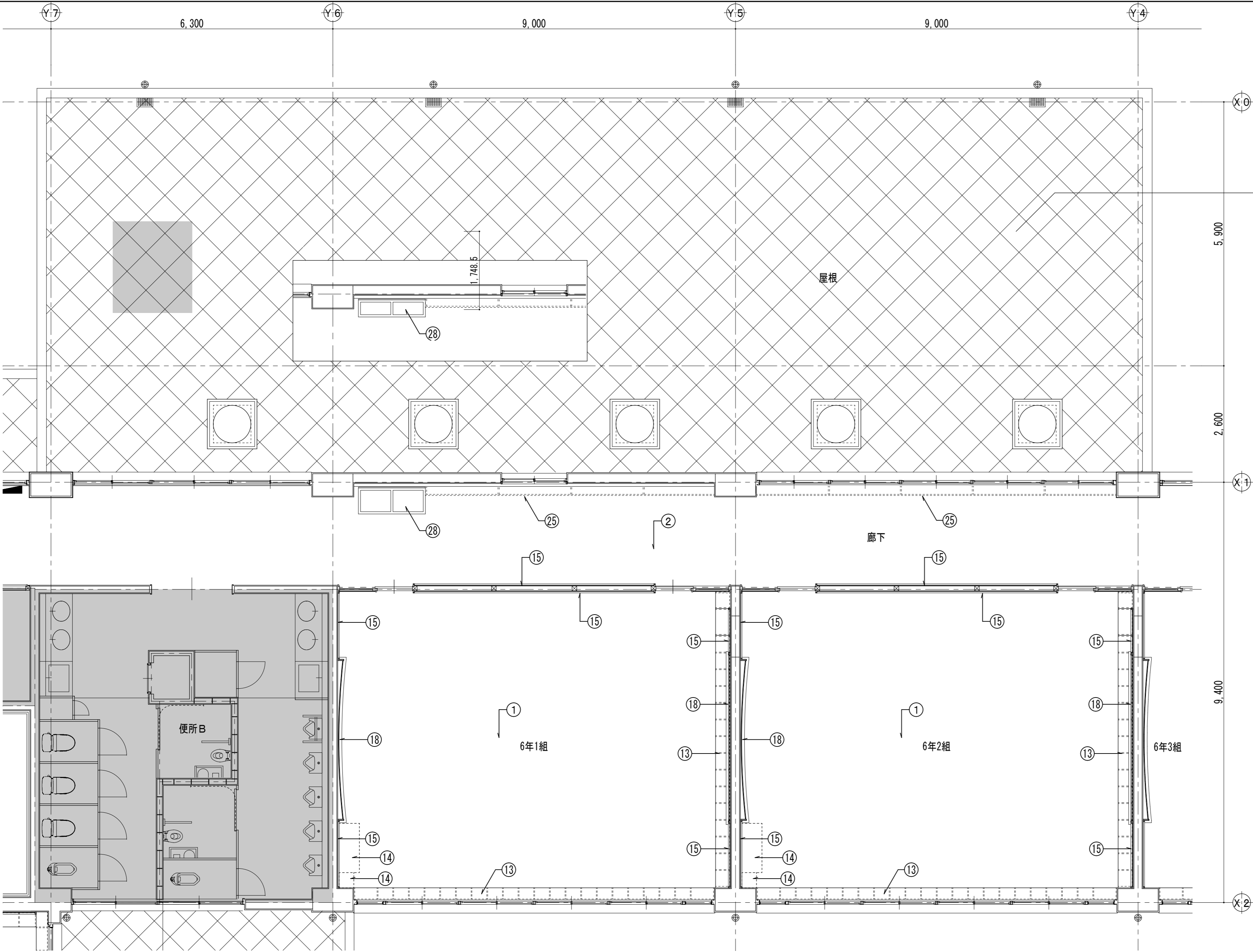
A-063

原図: A 2



■ 仕上表											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①	壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理R B種の上 E P塗り	⑪	卒業記念作品	—	既存のまま	⑳
床	長尺シート貼り	既存のまま	②	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理R B種の上 E P-G塗り	⑫	学校案内板	一時撤去	復旧	㉑
床	100角タイル貼り	既存のまま	③	家具	—	既存のまま	⑬	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	㉒
床	人研ぎ	既存のまま	④	家具	一時撤去	復旧	⑭	屋内消火栓	—	既存のまま	㉓
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤	掲示板	—	既存のまま	⑮	傘掛け	—	下地処理R B種の上 E P-G塗り	㉔
巾木	モルタル E P塗り	下地処理R B種の上 E P塗り	⑥	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯	手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉕
巾木	木製 SOP塗り	下地処理R B種の上 E P-G塗り	⑦	掲示板	一時撤去	復旧	⑰	手洗い	撤去（人研ぎステンレス巻き）	新設（ステンレス製）	㉖
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理R B種の上 E P塗り	⑧	黒板	—	既存のまま	⑱	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	㉗
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨	黒板	一時撤去	復旧	⑲	その他 備品	一時撤去	復旧	㉘
壁	モルタル塗り VP	下地処理R B種の上 E P塗り	⑩	卒業記念作品	一時撤去	復旧	㉚	手摺	—	塩ビ手摺新設	㉛

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

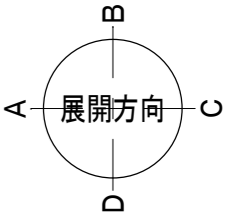


CBブロック 撤去 30個程度

■ 仕上表			
部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①
床	長尺シート貼り	既存のまま	②
床	100角タイル貼り	既存のまま	③
床	人研ぎ	既存のまま	④
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	⑧
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨
壁及び梁型	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑩
柱巻き	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑪
柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑫
家具	—	既存のまま	⑬
家具	一時撤去	復旧	⑭
掲示板	—	既存のまま	⑮
掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯
掲示板	一時撤去	復旧	⑰
黒板	—	既存のまま	⑱
黒板	一時撤去	復旧	⑲
卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑳
卒業記念作品	—	既存のまま	㉑
学校案内板	一時撤去	復旧	㉒
タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	㉓
屋内消火栓	—	既存のまま	㉔
傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉕
手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉖
手洗い	撤去 (人研ぎステンレス巻き)	新設 (ステンレス製)	㉗
手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉘
その他 備品	一時撤去	復旧	㉙
手摺	—	塩ビ手摺新設	㉚

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

既存のままを示す (内装工事範囲外)



設計 類 建築設計事務所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

2階 平面図詳細3

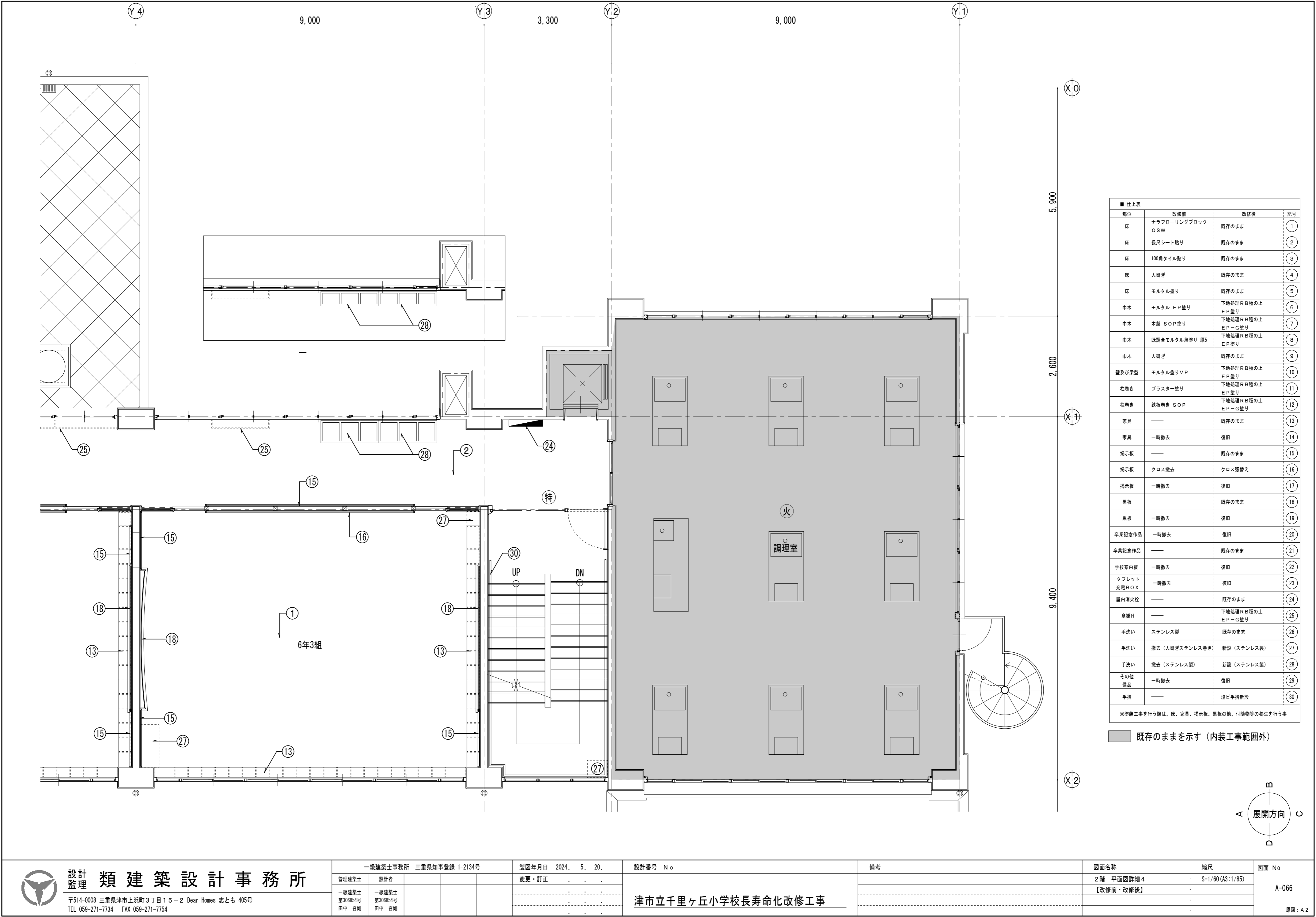
S=1/60 (A3:1/85)

【改修前・改修後】

図面 No

A-065

原図: A 2



設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

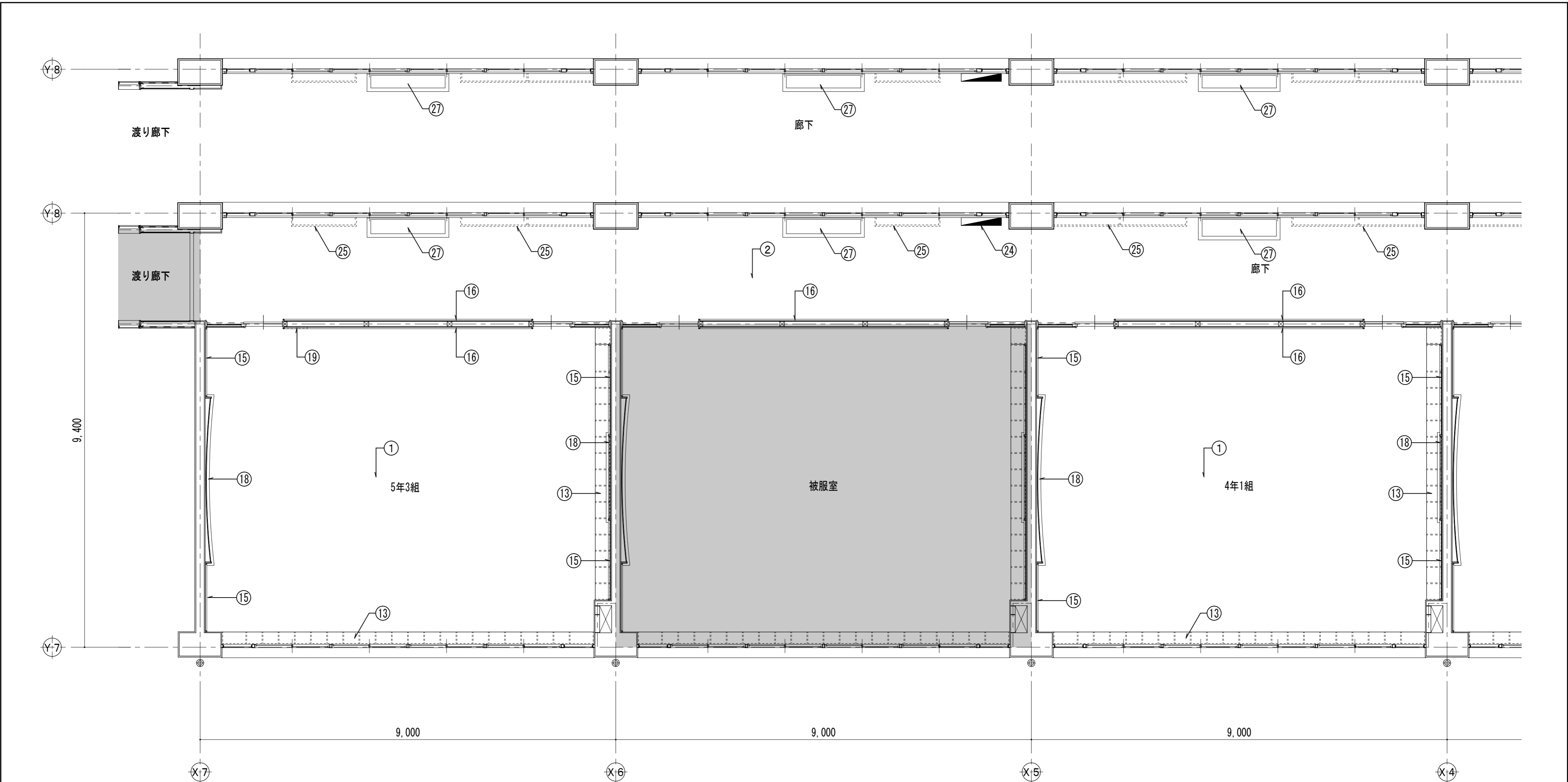
図面名称 縮尺

2階 平面図詳細 4	S=1/60 (A3:1/85)
【改修前・改修後】	

図面 No

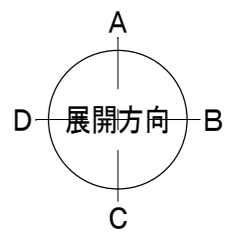
A-066

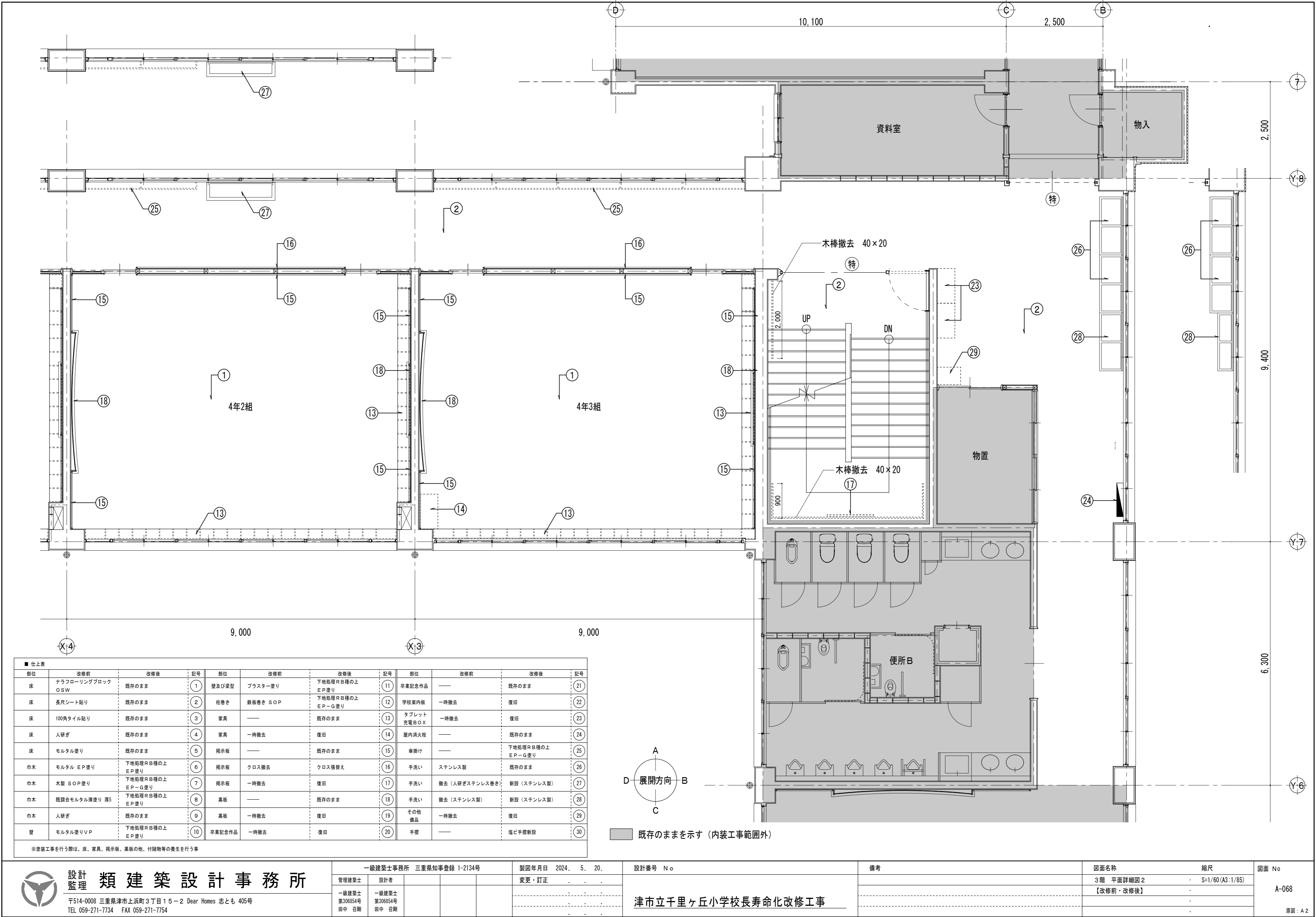
原図: A 2



■ 仕上表											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①	壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ塗り	⑪	卒業記念作品	——	既存のまま	⑳
床	長尺シート貼り	既存のまま	②	柱巻き	鉄板巻き　ＳＯＰ	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ－Ｇ塗り	⑫	学校案内板	一時撤去	復旧	㉑
床	100角タイル貼り	既存のまま	③	家具	——	既存のまま	⑬	タブレット 充電ＢＯＸ	一時撤去	復旧	㉒
床	人研ぎ	既存のまま	④	家具	一時撤去	復旧	⑭	屋内消火栓	——	既存のまま	㉓
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤	掲示板	——	既存のまま	⑮	傘掛け	——	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ－Ｇ塗り	㉔
巾木	モルタル　ＥＰ塗り	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ塗り	⑥	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯	手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉕
巾木	木製　ＳＯＰ塗り	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ－Ｇ塗り	⑦	掲示板	一時撤去	復旧	⑰	手洗い	撤去（人研ぎステンレス巻き）	新設（ステンレス製）	㉖
巾木	既調合モルタル薄塗り　厚5	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ塗り	⑧	黒板	——	既存のまま	⑱	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	㉗
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨	黒板	一時撤去	復旧	⑲	その他 備品	一時撤去	復旧	㉘
壁	モルタル塗り　ＶＰ	下地処理ＲＢ種の上 ＥＰ塗り	⑩	卒業記念作品	一時撤去	復旧	㉚	手摺	——	塩ビ手摺新設	㉙
※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											

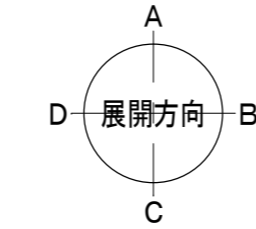
既存のままを示す (内装工事範囲外)



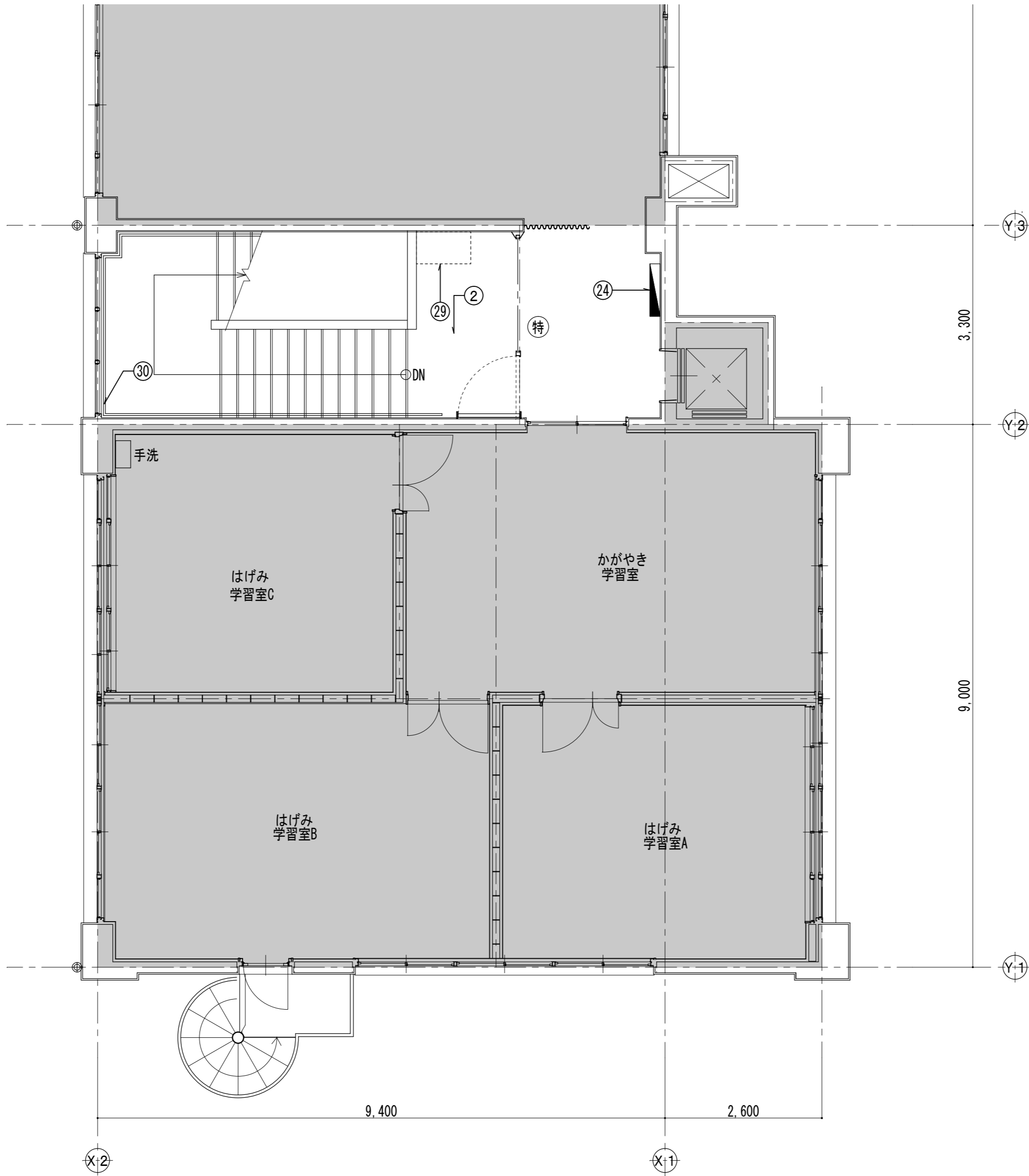


■ 仕上表											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック O S W	既存のまま	①	壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑪	卒業記念作品	—	既存のまま	⑲
床	長尺シート貼り	既存のまま	②	柱巻き	鉄板巻き S O P	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	⑫	学校案内板	一時撤去	復旧	⑳
床	100角タイル貼り	既存のまま	③	家具	—	既存のまま	⑬	タブレット充電 B O X	一時撤去	復旧	㉑
床	人研ぎ	既存のまま	④	家具	一時撤去	復旧	⑭	屋内消火栓	—	既存のまま	㉒
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤	掲示板	—	既存のまま	⑮	傘掛け	—	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	㉓
巾木	モルタル E P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑥	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯	手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉔
巾木	木製 S O P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	⑦	掲示板	一時撤去	復旧	⑰	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス巻き)	新設 (ステンレス製)	㉕
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑧	黒板	—	既存のまま	⑱	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉖
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨	黒板	一時撤去	復旧	⑳	その他備品	一時撤去	復旧	㉗
壁	モルタル塗り V P	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑩	卒業記念作品	一時撤去	復旧	㉘	手摺	—	塩ビ手摺新設	㉙

※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事

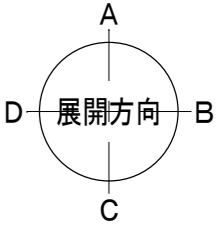


既存のままを示す (内装工事範囲外)



■ 仕上表			
部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①
床	長尺シート貼り	既存のまま	②
床	100角タイル貼り	既存のまま	③
床	人研ぎ	既存のまま	④
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤
巾木	モルタル E P 塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑥
巾木	木製 SOP 塗り	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	⑦
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑧
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨
壁及び梁型	モルタル塗り V P	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑩
柱巻き	プラスター塗り	下地処理 R B 種の上 E P 塗り	⑪
柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	⑫
家具	——	既存のまま	⑬
家具	一時撤去	復旧	⑭
掲示板	——	既存のまま	⑮
掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯
掲示板	一時撤去	復旧	⑰
黒板	——	既存のまま	⑱
黒板	一時撤去	復旧	⑲
卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑳
卒業記念作品	——	既存のまま	㉑
学校案内板	一時撤去	復旧	㉒
タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	㉓
屋内消火栓	——	既存のまま	㉔
傘掛け	——	下地処理 R B 種の上 E P - G 塗り	㉕
手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉖
手洗い	撤去 (人研ぎステンレス巻き)	新設 (ステンレス製)	㉗
手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉘
その他 備品	一時撤去	復旧	㉙
手摺	——	塩ビ手摺新設	㉚
※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事			

既存のままを示す (内装工事範囲外)



設計 類 建築設計事務所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正				

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

3階 平面詳細図 3

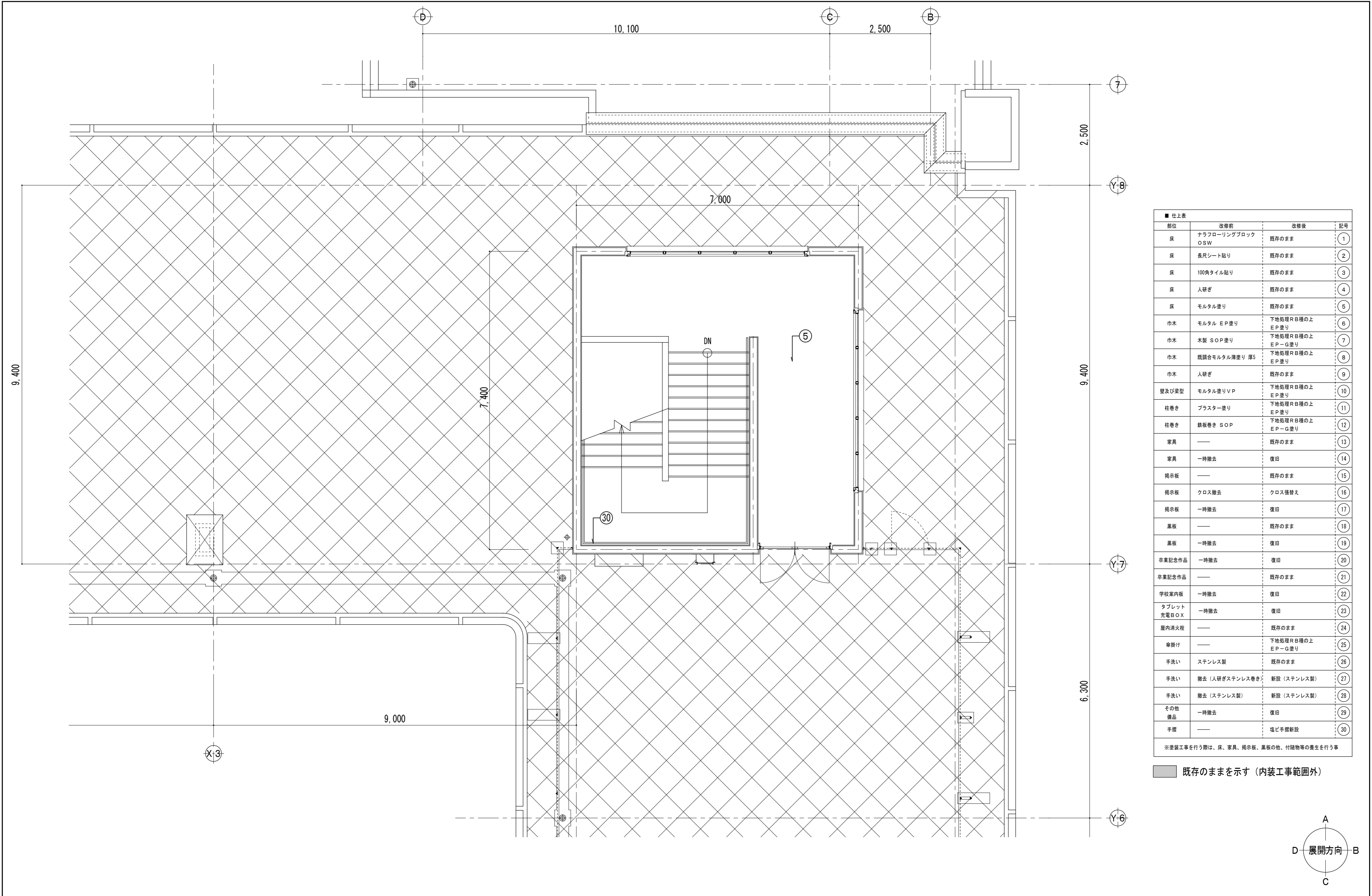
S=1/60 (A3:1/85)

【改修前・改修後】

図面 No

A-069

原図: A 2



■ 仕上表			
部位	改修前	改修後	記号
床	ナラフローリングブロック OSW	既存のまま	①
床	長尺シート貼り	既存のまま	②
床	100角タイル貼り	既存のまま	③
床	人研ぎ	既存のまま	④
床	モルタル塗り	既存のまま	⑤
巾木	モルタル EP 塗り	下地処理RB種の上 EP 塗り	⑥
巾木	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	⑦
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP 塗り	⑧
巾木	人研ぎ	既存のまま	⑨
壁及び梁型	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP 塗り	⑩
柱巻き	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP 塗り	⑪
柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	⑫
家具	—	既存のまま	⑬
家具	一時撤去	復旧	⑭
掲示板	—	既存のまま	⑮
掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑯
掲示板	一時撤去	復旧	⑰
黒板	—	既存のまま	⑱
黒板	一時撤去	復旧	⑲
卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑳
卒業記念作品	—	既存のまま	㉑
学校案内板	一時撤去	復旧	㉒
タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	㉓
屋内消火栓	—	既存のまま	㉔
傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	㉕
手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉖
手洗い	撤去 (人研ぎステンレス巻き)	新設 (ステンレス製)	㉗
手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉘
その他 備品	一時撤去	復旧	㉙
手摺	—	塩ビ手摺新設	㉚
※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事			

既存のままを示す (内装工事範囲外)



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者			
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛			

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

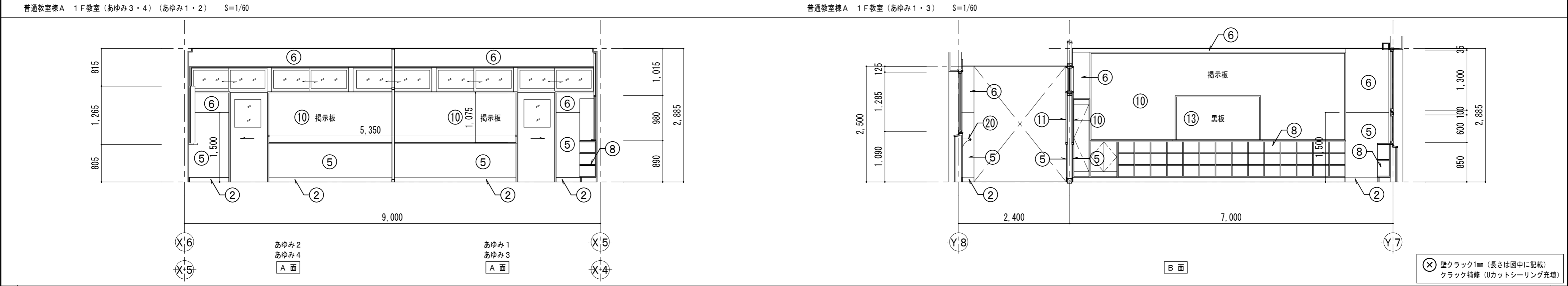
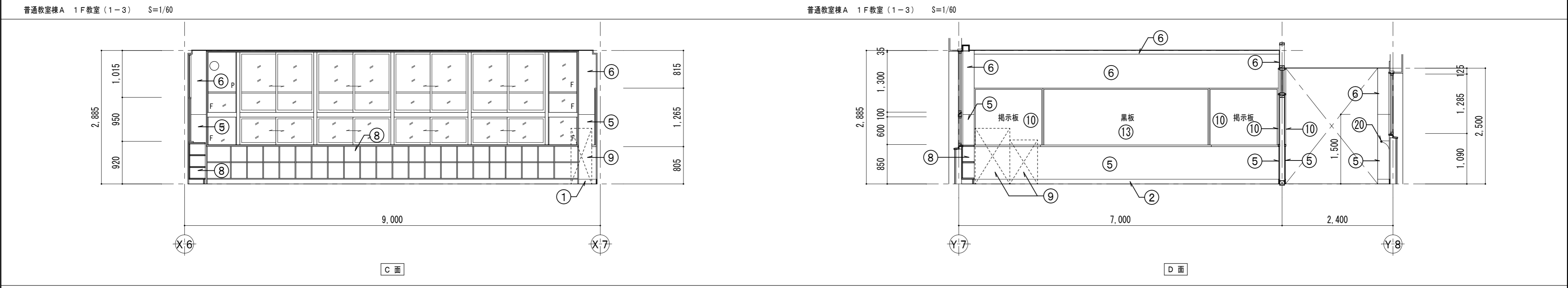
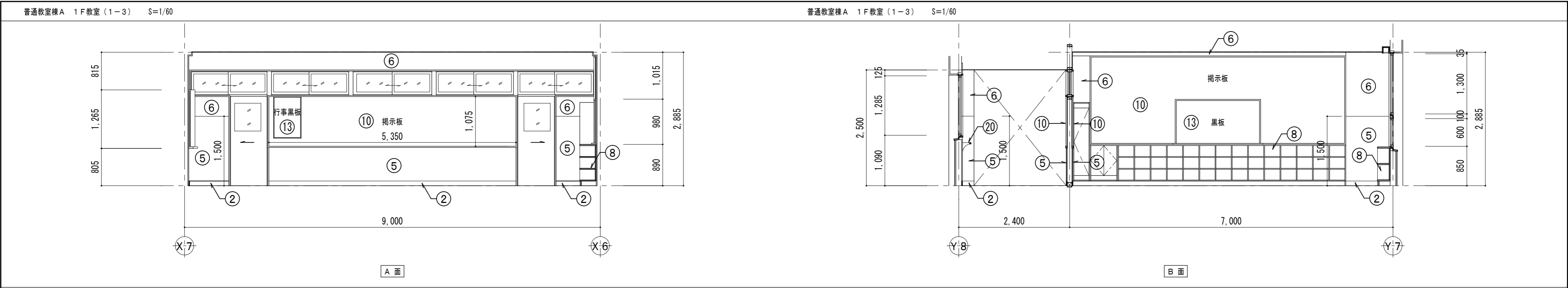
縮尺

P H 階 平面詳細図1 【改修前・後】 S=1/60 (A3:1/85)

図面 No

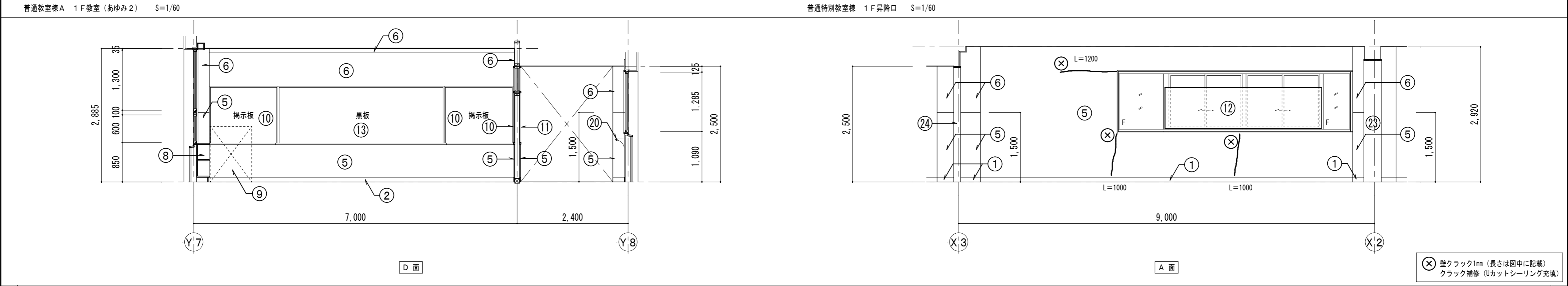
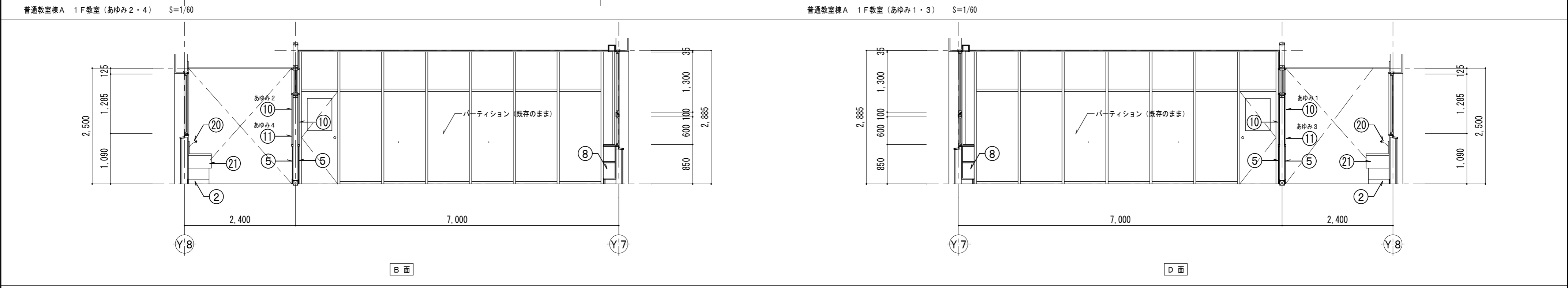
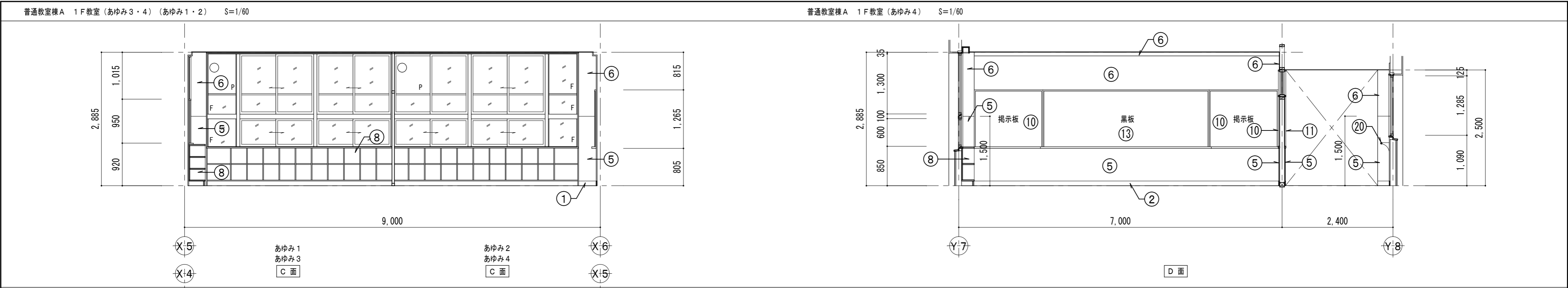
A-070

原図: A 2

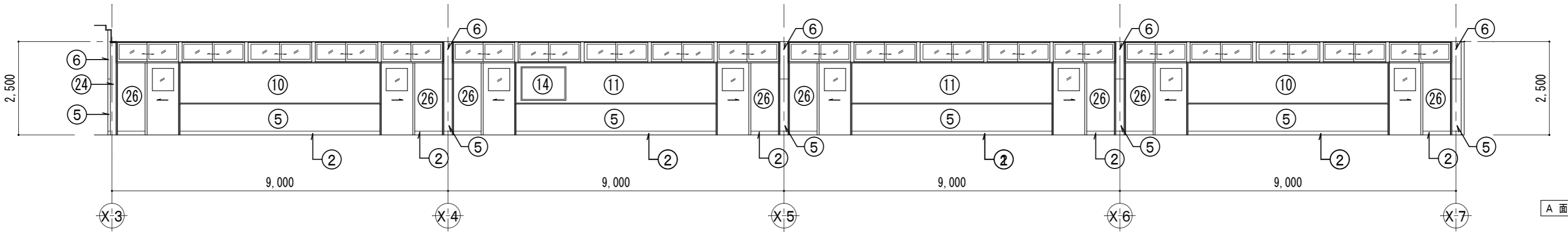
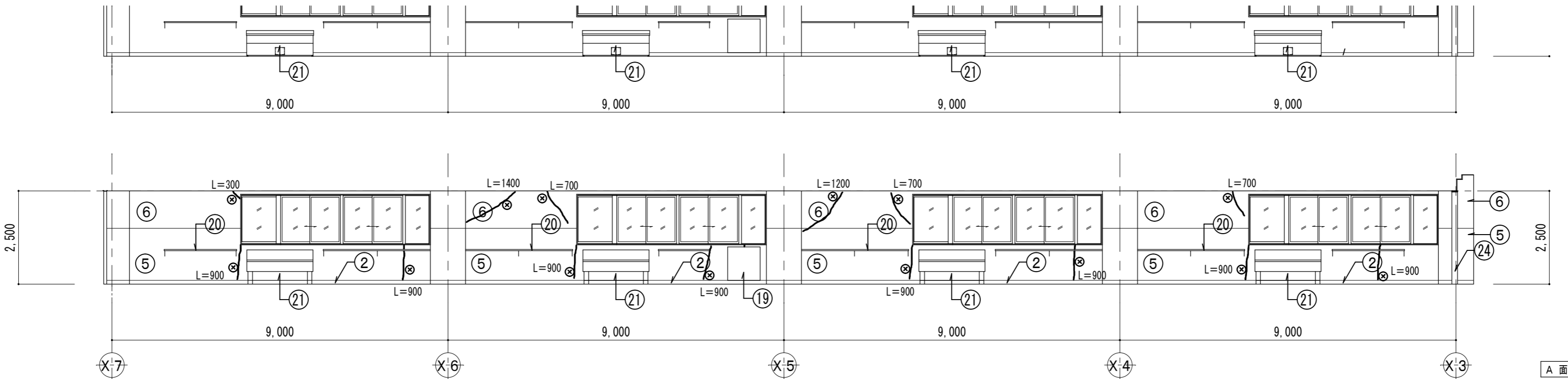
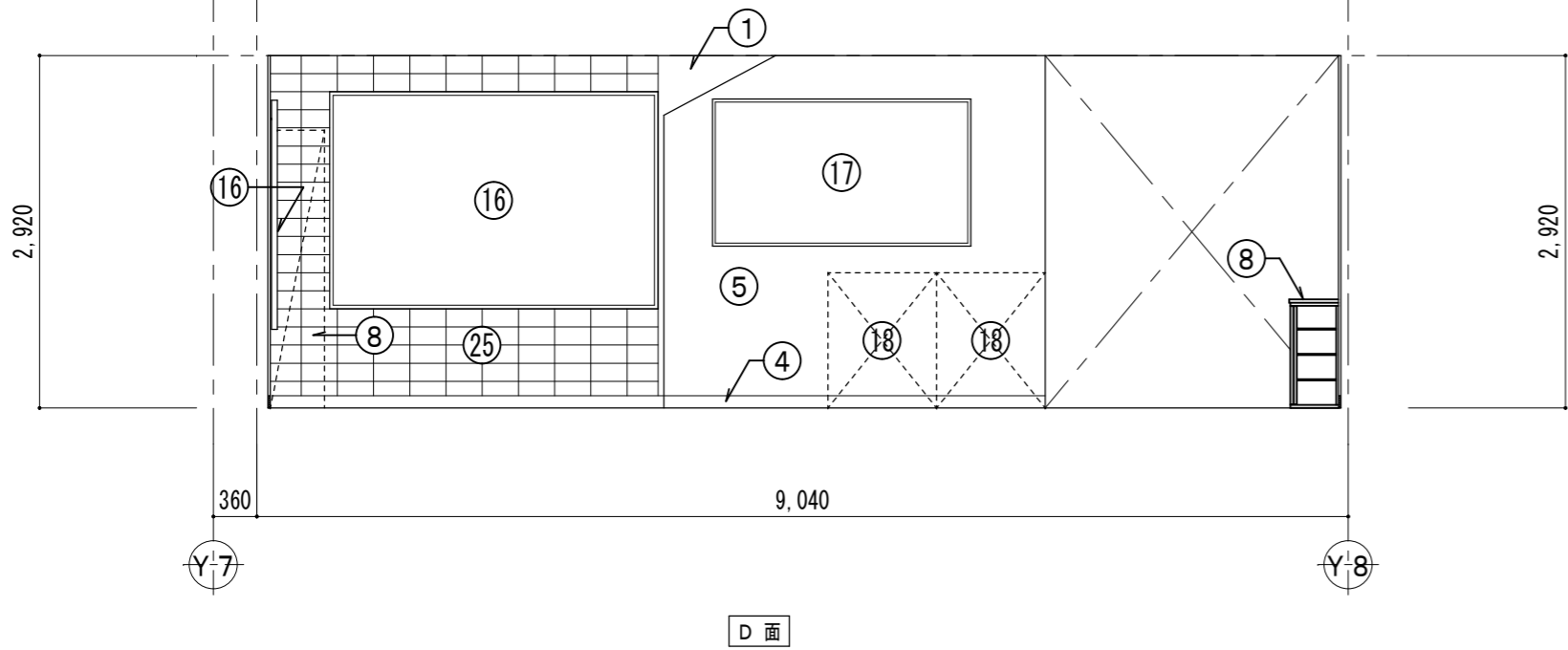


■ 仕上表													※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事												
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号		
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RＢ種の上 EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RＢ種の上 EP-G塗り	⑦	黒板	――	既存のまま	⑬	屋内消火栓	――	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RＢ種の上 EP-G塗り	⑳		
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RＢ種の上 EP-G塗り	②	家具	――	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	――	下地処理RＢ種の上 EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RＢ種の上 EP-G塗り	②⑥	アコーディオン カーテン	一時撤去（鉄骨受材 共）	復旧	③②		
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RＢ種の上 EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 （人研ぎステンレス包み）	新設（ステンレス製）	⑳	壁	ラワン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RＢ種の上 EP-G塗り	②⑦	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RＢ種の上 EP-G塗り	③③		
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	――	既存のまま	⑩	卒業記念作品	――	既存のまま	⑮	その他 備品	一時撤去	復旧	⑰	木間仕切り （壁部）	難燃ベニア厚5.5 張り OP塗り	下地処理RＢ種の上 EP-G塗り	②⑧	手洗い	ステンレス製	既存のまま	③④		
壁	モルタル塗りVP	下地処理RＢ種の上 EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	⑲	木間仕切り （枠組材）	ラワン材 OP塗り	下地処理RＢ種の上 EP-G塗り	②⑨	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	③⑤		
壁及び梁型	ブラスター塗り	下地処理RＢ種の上 EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RＢ種の上 EP-G塗り	⑲	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	③①	手洗い	撤去 （人研ぎステンレス包み）	既存のまま	③⑤		

<div>設計 監理</div> <div>類 建築設計事務所</div> <div>〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754</div>	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号			製図年月日 2024. 5. 20.		設計番号 No.		備考		図面名称 縮尺		図面 No A-071 原因: A 2
	管理建築士	設計者		変更・訂正 . . .		津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事				1階 展開図 1 S=1/60 (A3:1/85)		
	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛						【改修前・改修後】				



■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP 塗り	下地処理 R B 種の上 EP 塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理 R B 種の上 EP-G 塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP 塗り	下地処理 R B 種の上 EP-G 塗り	①
巾木	木製 SOP 塗り	下地処理 R B 種の上 EP-G 塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理 R B 種の上 EP-G 塗り	②	壁	耐水ベニヤ 厚 6 OP 塗り	下地処理 R B 種の上 EP-G 塗り	②	アコーディオンカーテン	一時撤去（鉄骨受材 共）	復旧	②
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚 5	下地処理 R B 種の上 EP 塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去（人研ぎステンレス包み）	新設（ステンレス製）	⑮	壁	ラウン合板 厚 5.5 SOP 塗り	下地処理 R B 種の上 EP-G 塗り	⑦	建具	鉄鋼面 OP 塗り	下地処理 R B 種の上 EP-G 塗り	③
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	⑯	木間仕切り（壁部）	難燃ベニヤ厚 5.5 張り OP 塗り	下地処理 R B 種の上 EP-G 塗り	⑧	手洗い	ステンレス製	既存のまま	④
壁	モルタル塗り VP	下地処理 R B 種の上 EP 塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	⑰	木間仕切り（枠組材）	ラウン材 OP 塗り	下地処理 R B 種の上 EP-G 塗り	⑨	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	⑤
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理 R B 種の上 EP 塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電 BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP 塗り	下地処理 R B 種の上 EP-G 塗り	⑲	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	⑩	手洗い	撤去（人研ぎステンレス包み）	既存のまま	⑤



⊗ 壁クラック1mm (長さは図中に記載)
クラック補修 (Uカットシーリング充填)

■ 仕上表																		※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事					
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP 塗り	下地処理RB種の上 EP 塗り	1	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	7	黒板	—	既存のまま	13	屋内消火栓	—	既存のまま	19	壁	タイル貼り	既存のまま	25	見切り縁	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	31
巾木	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	2	家具	—	既存のまま	8	黒板	一時撤去	復旧	14	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	20	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	26	アコーディオンカーテン	一時撤去 (鉄骨受材 共)	復旧	32
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP 塗り	3	家具	一時撤去	復旧	9	卒業記念作品	一時撤去	復旧	15	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	21	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	27	建具	鉄鋼面 OP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	33
巾木	人研ぎ	既存のまま	4	掲示板	—	既存のまま	10	卒業記念作品	—	既存のまま	16	その他 備品	一時撤去	復旧	22	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5 張り OP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	28	手洗い	ステンレス製	既存のまま	34
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP 塗り	5	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	11	学校案内板	一時撤去	復旧	17	三方枠	人研ぎ	既存のまま	23	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 OP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	29	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	35
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP 塗り	6	掲示板	一時撤去	復旧	12	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	18	三方枠	木製 SOP 塗り	下地処理RB種の上 EP-G 塗り	24	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	30	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	35



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正		

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

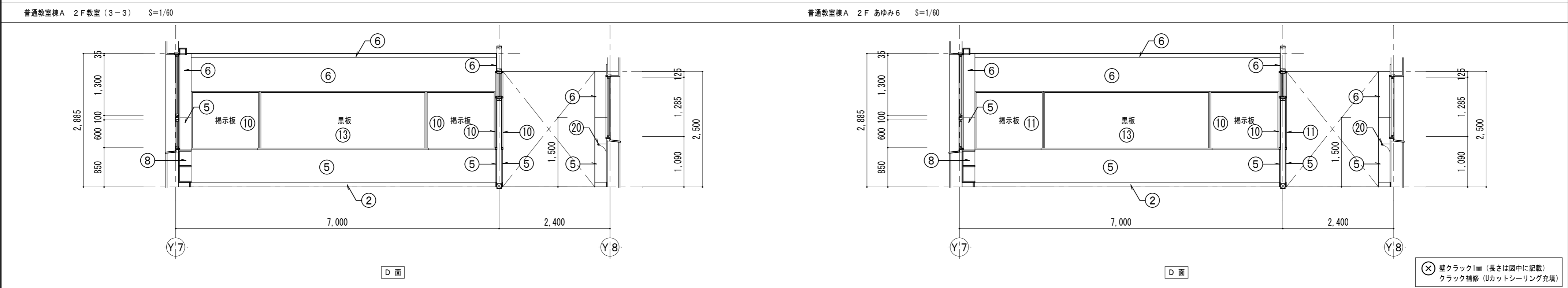
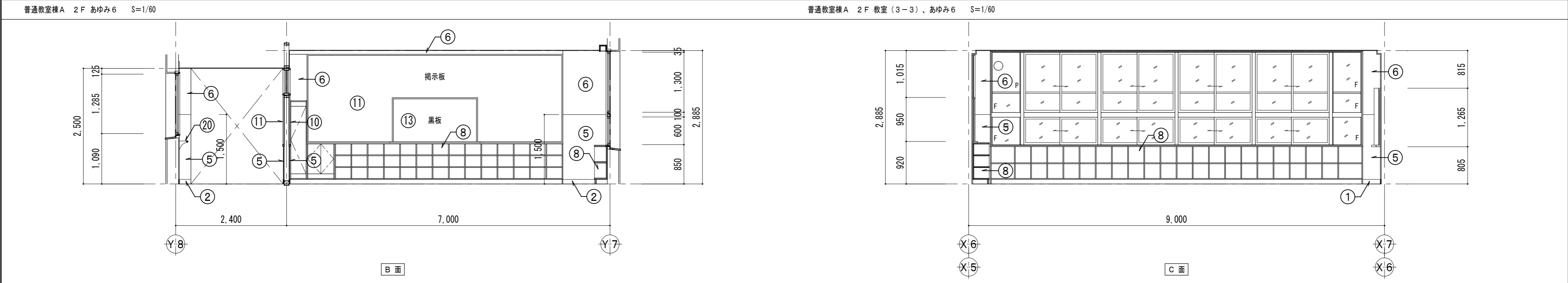
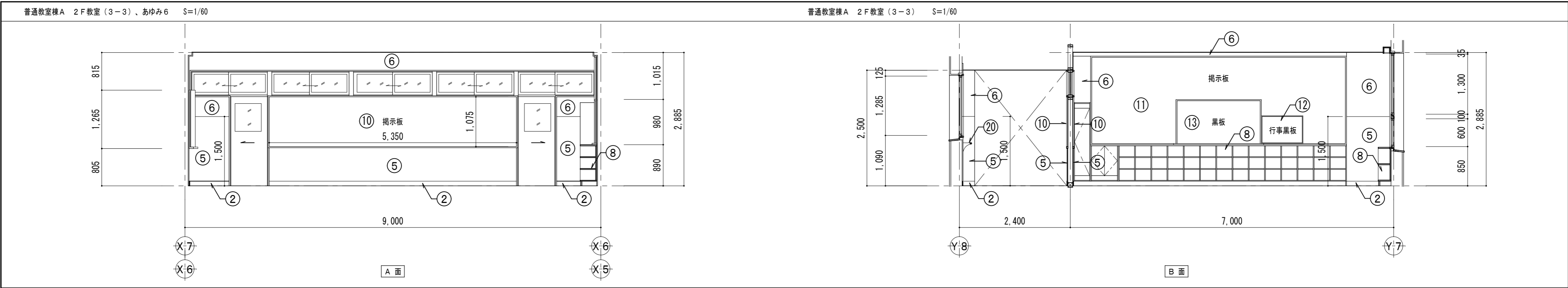
図面名称

縮尺

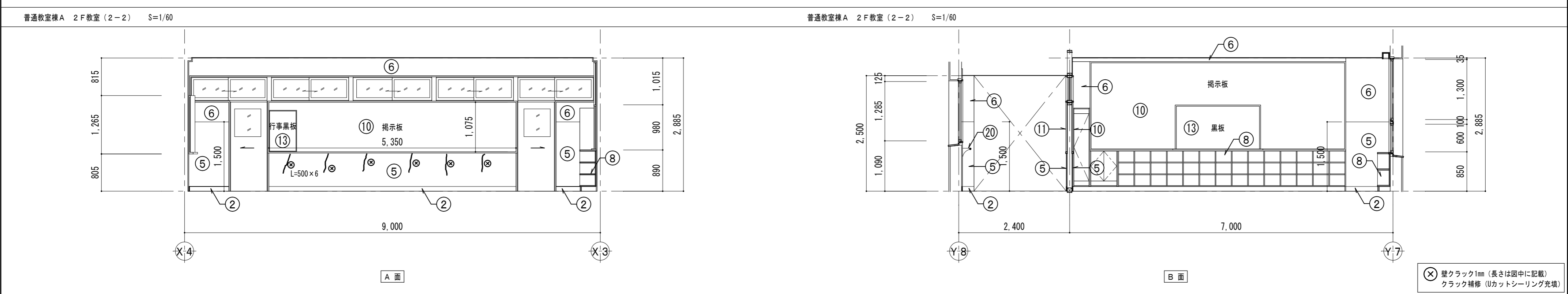
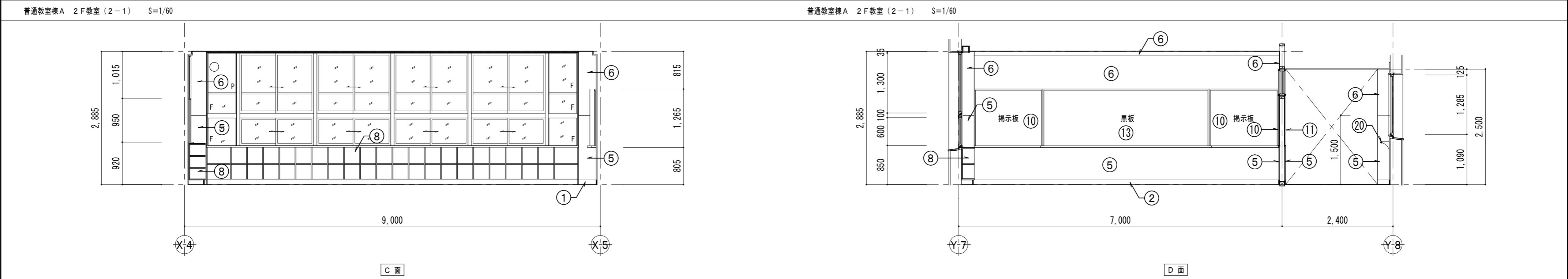
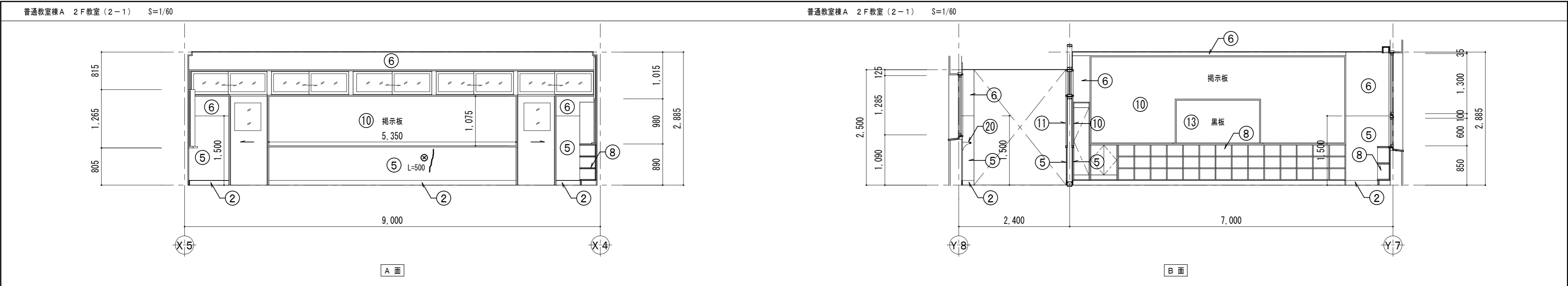
図面 No

1階 展開図4	S=1/60 (A3:1/85)	A-074
【改修前・改修後】	.	
.	.	
.	.	

原図: A 2

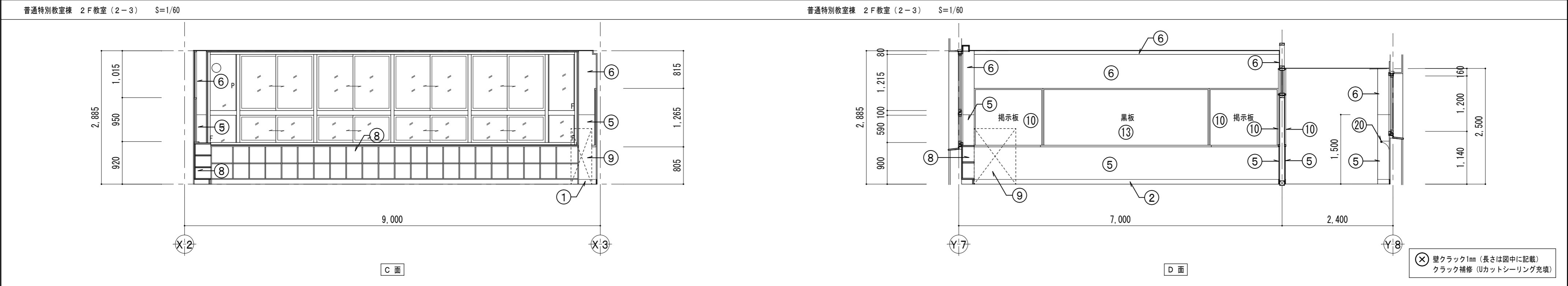
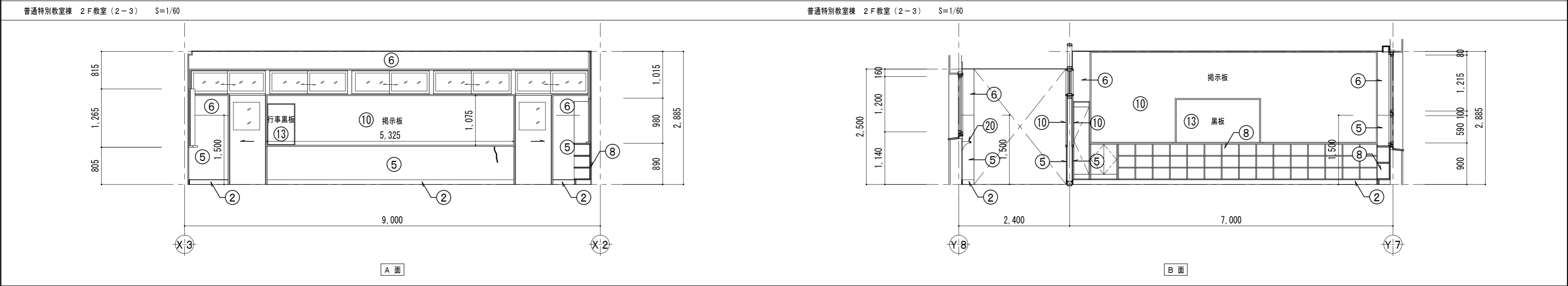
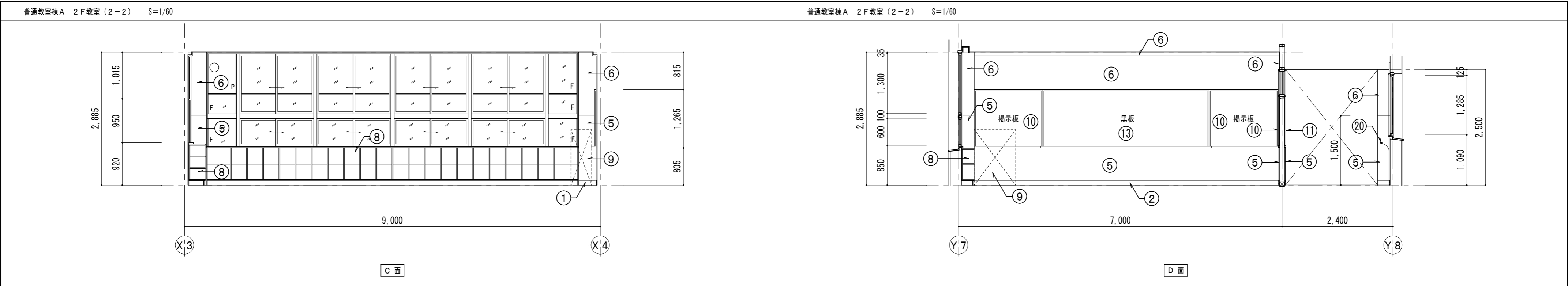


■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	③①
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑮	アコーディオンカーテン	一時撤去（鉄骨受材 共）	復旧	③②
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去（人研ぎステンレス包み）	新設（ステンレス製）	⑳	壁	ラワン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑮	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	③③
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑮	その他 備品	一時撤去	復旧	⑳	木間仕切り（壁部）	難燃ベニヤ厚5.5張り OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑮	手洗い	ステンレス製	既存のまま	③④
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	⑳	木間仕切り（枠組材）	ラワン材 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑮	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	③⑤
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑳	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	⑳	手洗い	撤去（人研ぎステンレス包み）	既存のまま	③⑤




⊗ 壁クラック1mm (長さは図中に記載)
クラック補修 (Uカットシーリング充填)

■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	①
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②	アコーディオンカーテン	一時撤去 (鉄骨受材 共)	復旧	③
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	㉑	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	④
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	㉒	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5張り OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑧	手洗い	ステンレス製	既存のまま	⑤
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	㉓	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑨	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	⑥
壁及び梁型	プaster塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉔	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	⑩	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	⑦

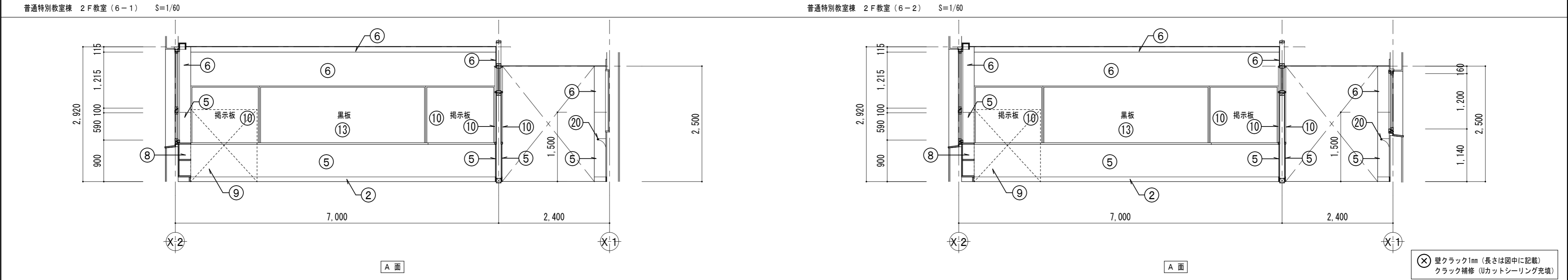
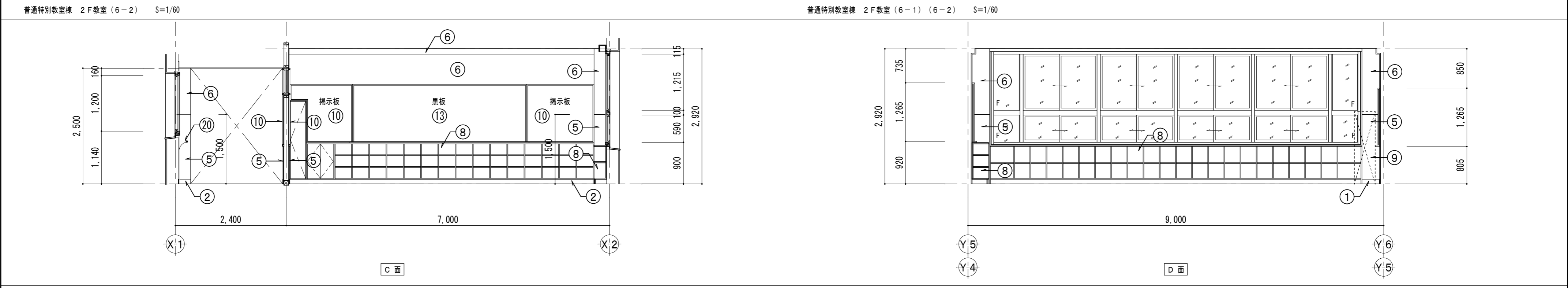
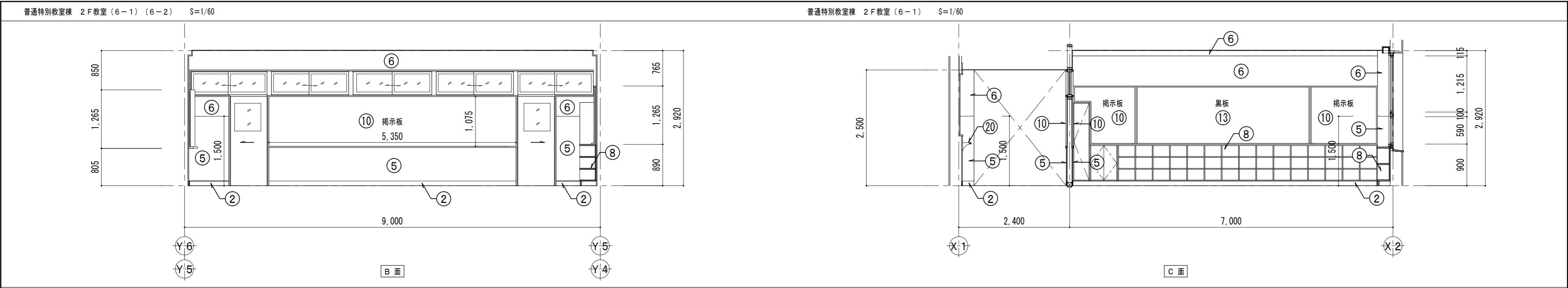


■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑦	黒板	――	既存のまま	⑬	屋内消火栓	――	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑳
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②	家具	――	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	――	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑲	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑮	アコーディオンカーテン	一時撤去 (鉄骨受材 共)	復旧	㉑
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理RB種の上EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	㉒	壁	ラワン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	㉒	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	㉓
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	――	既存のまま	⑩	卒業記念作品	――	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	㉓	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5 張りOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	㉓	手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉔
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	㉔	木間仕切り (枠組材)	ラワン材 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	㉔	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉕
壁及び梁型	プaster塗り	下地処理RB種の上EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	㉕	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	㉕	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	㉖

	設計 監理 〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号			製図年月日 2024. 5. 20.		設計番号 No.	備考	図面名称		縮尺		図面 No.
		管理建築士	設計者		変更・訂正				2階 展開図3 (改修前・後)		S=1/60 (A3:1/85)		
		一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛						【改修前・改修後】				

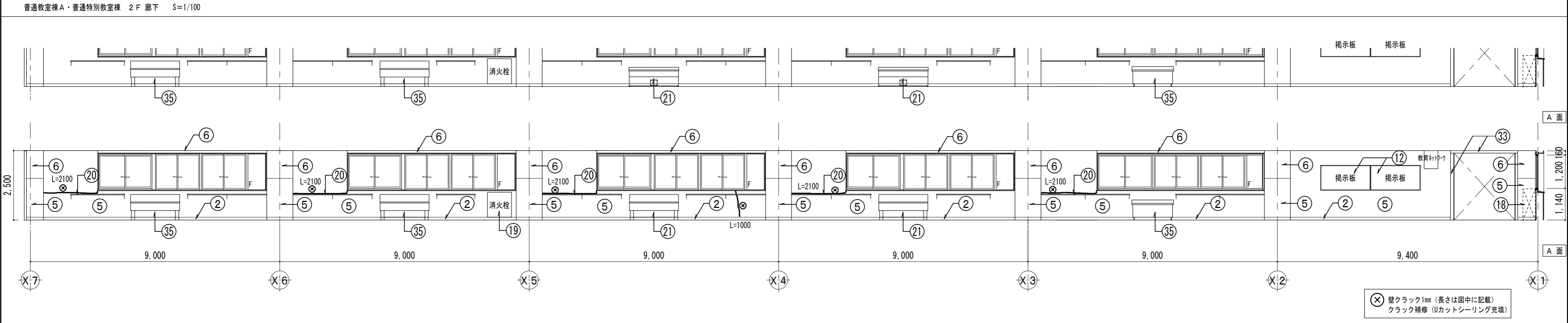
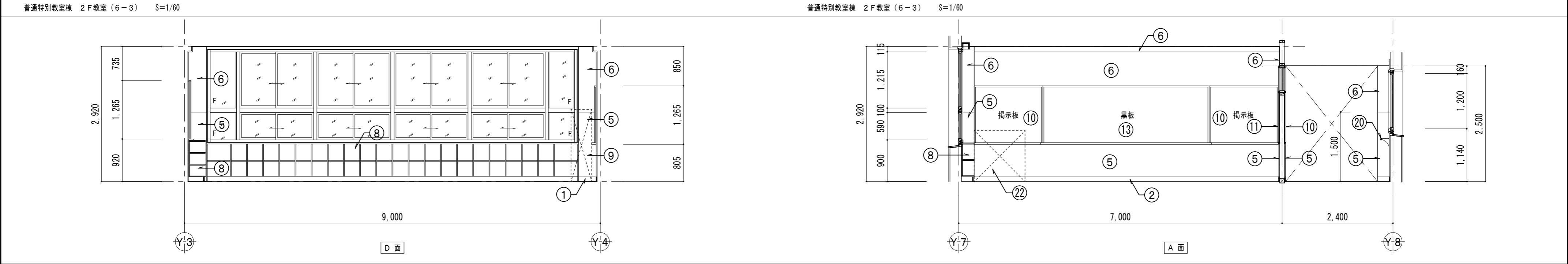
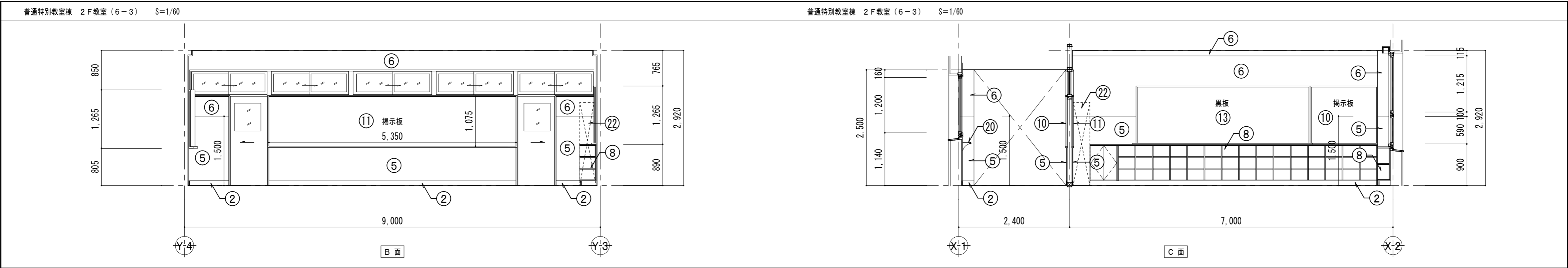
津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

原因: A 2



⊗ 壁クラック1mm（長さは図中に記載）
クラック補修（Uカットシーリング充填）

■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	③①
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑥	アコーディオンカーテン	一時撤去（鉄骨受材 共）	復旧	③②
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去（人研ぎステンレス包み）	新設（ステンレス製）	⑳	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑦	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	③③
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	②②	木間仕切り（壁部）	難燃ベニア厚5.5張り OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑧	手洗い	ステンレス製	既存のまま	③④
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	②③	木間仕切り（枠組材）	ラウン材 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑨	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	③⑤
壁及び梁型	プaster塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②④	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	③①	手洗い	撤去（人研ぎステンレス包み）	既存のまま	③⑤



■ 仕上表										※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事									
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑮
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	㉑	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑮
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑯	その他 備品	一時撤去	復旧	⑯	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5 張り OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑮
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	㉓	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑮
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット 充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉔	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	⑮

普通特別教室棟 2 F 物置前廊下 S=1/100

普通特別教室棟 2 F 教室前廊下 S=1/100

The drawing is a longitudinal section of a corridor. It shows a series of structural columns and beams. There are two fire extinguishers labeled '消火栓'. The dimensions of the sections are given in meters: 9.400, 6.300, 9.000, 9.000, 9.000, and 3.300. There are also circular markers with the number 35 inside, likely indicating specific structural or material details.

Section	Length (m)
Section 1	9.400
Section 2	6.300
Section 3	9.000
Section 4	9.000
Section 5	9.000
Section 6	3.300

The drawing shows a longitudinal section of a building. On the left, a detailed view of a window is shown with dimensions 1,140 (height) and 5,000 (width). The main section is a long corridor with various rooms and features. Dimensions are provided for different segments: 9,400, 6,300, 9,000, 9,000, 9,000, and 3,300. Structural grid lines are labeled Y'8, Y'7, Y'6, Y'5, Y'4, Y'3, and Y'2. Room numbers (e.g., 5, 6, 7, 18, 20, 35) and door numbers (e.g., 19, 4) are indicated. A fire extinguisher (消火栓) and a door (DW) are also shown. A detailed view of a window is shown on the left with dimensions 1,140 and 5,000.

普通特別教室棟 2F 教室前 廊下 S=1/100

普通特別教室棟 2F 教室前 廊下 S=1/100

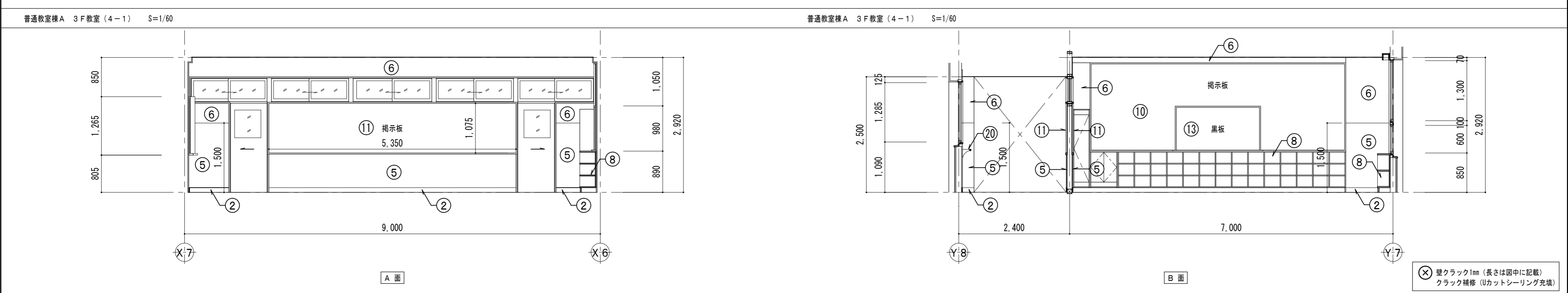
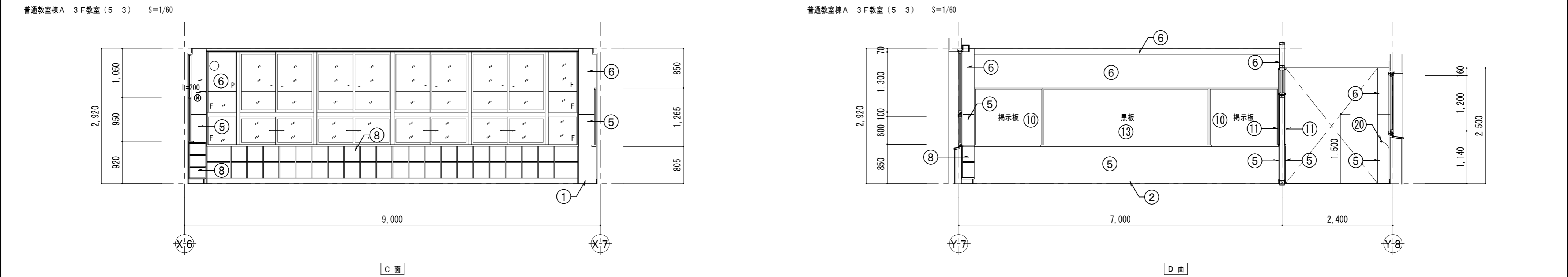
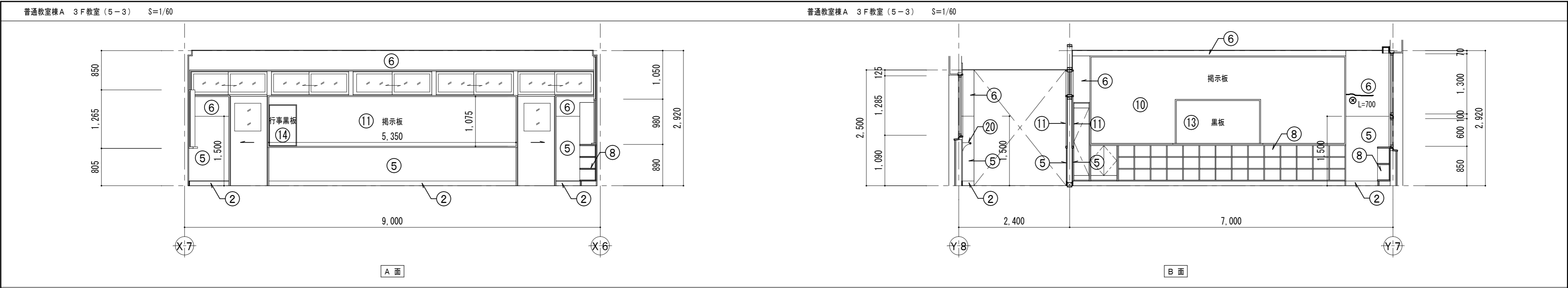
C 面

D 面

× 壁クラック1mm (長さは図中に記載)
クラック補修 (Uカットシーリング充填)

⊗ 壁クラック1mm（長さは図中に記載）
クラック補修（Uカットシーリング充填）

■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	②⑤	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	③①
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②⑥	アコーディオンカーテン	一時撤去(鉄骨受材 共)	復旧	③②
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理RB種の上EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い (人研ぎステンレス包み)	撤去	新設(ステンレス製)	⑳	壁	ラワン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②⑦	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	③③
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	②②	木間仕切り(壁部)	難燃ベニヤ厚5.5 張りOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②⑧	手洗い	ステンレス製	既存のまま	③④
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	②③	木間仕切り(枠組材)	ラワン材 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②⑨	手洗い	撤去(ステンレス製)	新設(ステンレス製)	③⑤
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②④	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	③⑩	手洗い	撤去(人研ぎステンレス包み)	既存のまま	③⑤



⊗ 壁クラック1mm (長さは図中に記載)
クラック補修 (Uカットシーリング充填)

■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑬	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑳
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑭	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑮	アコーディオンカーテン	一時撤去 (鉄骨受材 共)	復旧	㉑
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	㉒	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑯	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉓
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	㉔	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5張り OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉕	手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉖
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	㉗	三方枠	人研ぎ	既存のまま	㉗	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉘	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉙
壁及び梁型	プaster塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	㉘	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉘	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	㉙	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	㉚

設計
監理

類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士 設計者

一級建築士 第306854号 田中 召剛

一級建築士 第306854号 田中 召剛

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

3階 展開図1 (改修前・後)

【改修前・改修後】

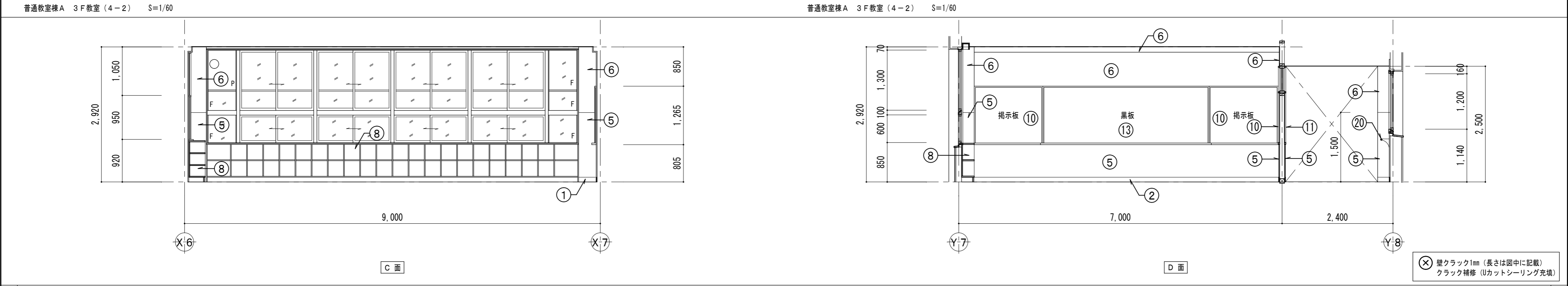
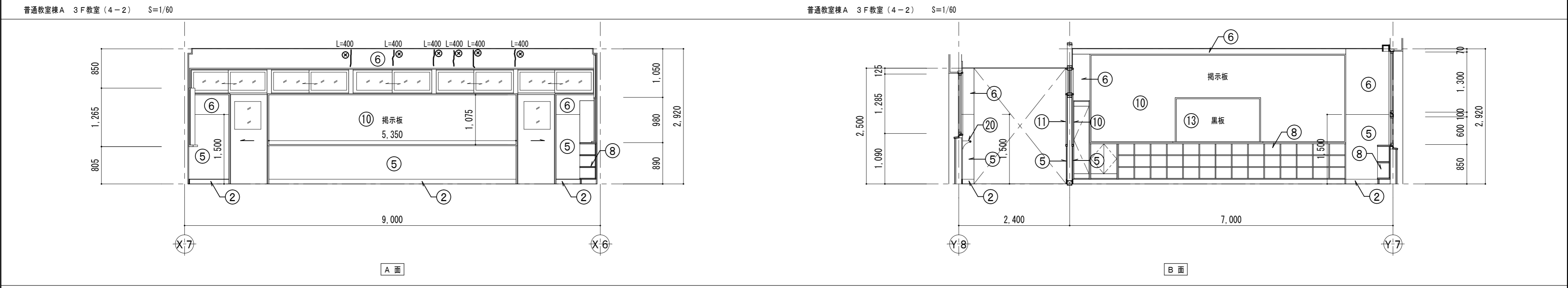
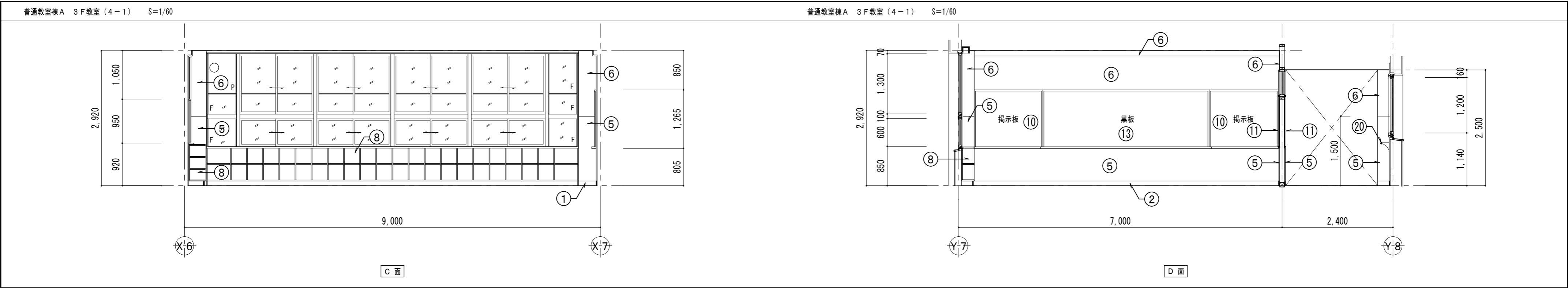
縮尺

S=1/60 (A3:1/85)

図面 No

A-082

原図: A2



⊗ 壁クラック1mm (長さは図中に記載)
クラック補修 (Uカットシーリング充填)

■ 仕上表												※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事											
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	③①
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑥	アコーデオンカーテン	一時撤去 (鉄骨受材 共)	復旧	③②
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	⑳	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑦	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	③③
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	⑰	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5張り OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑧	手洗い	ステンレス製	既存のまま	③④
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	⑳	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②⑨	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	③⑤
壁及び梁型	プaster塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑲	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	③⑩	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	③⑤

設計監理 類建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士 設計者

一級建築士 第306854号 田中 召剛

一級建築士 第306854号 田中 召剛

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称 縮尺

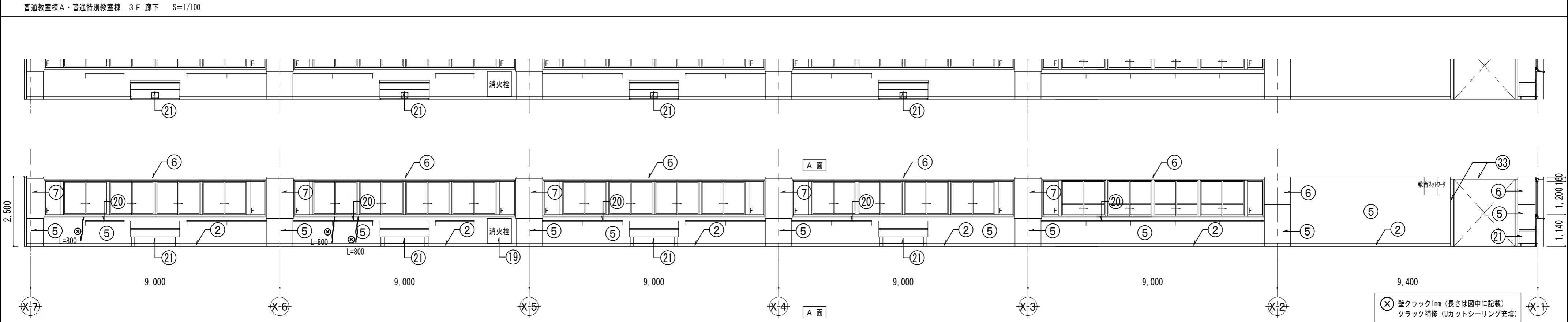
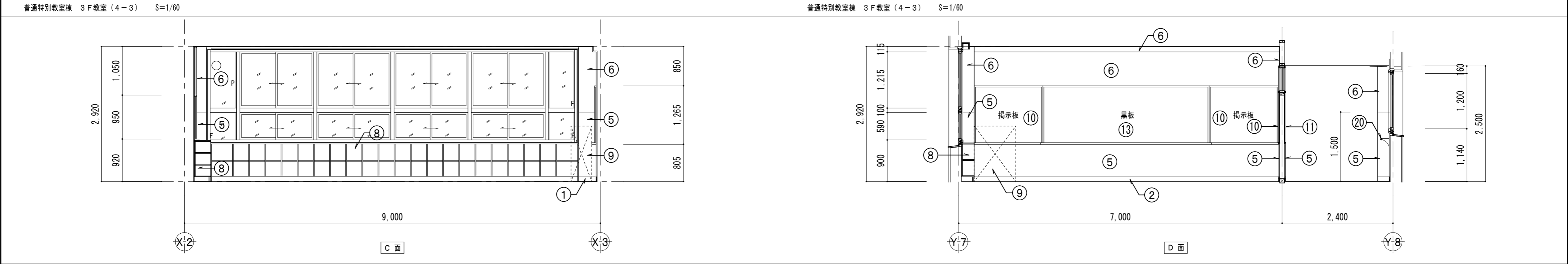
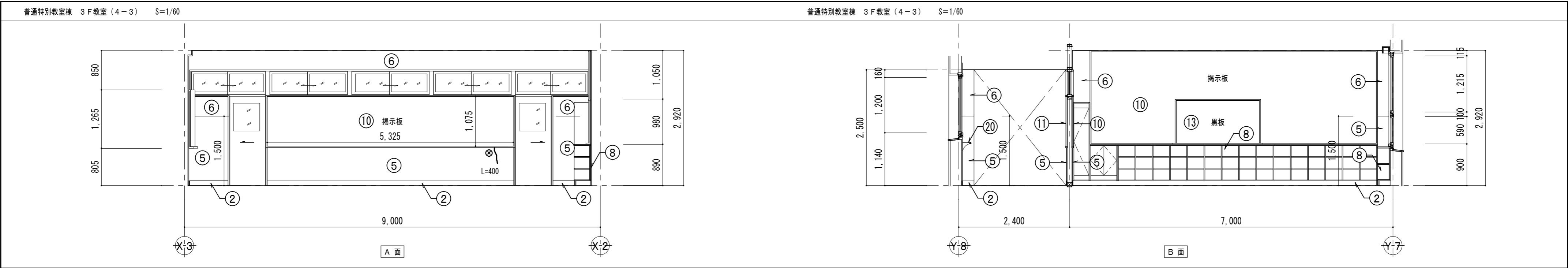
3階 展開図2 (改修前・後) S=1/60 (A3:1/85)

【改修前・改修後】

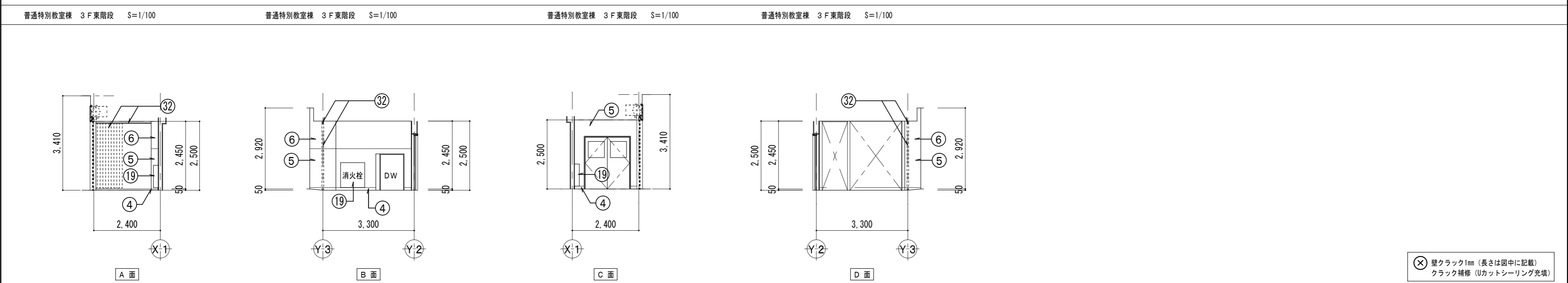
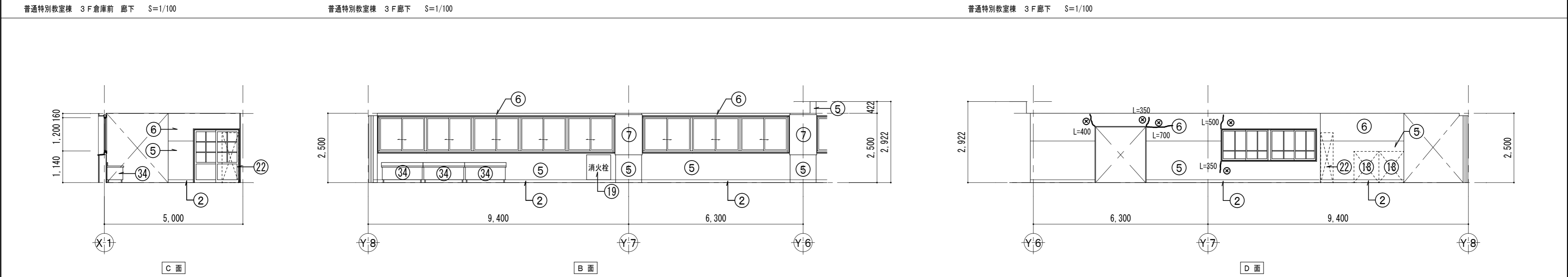
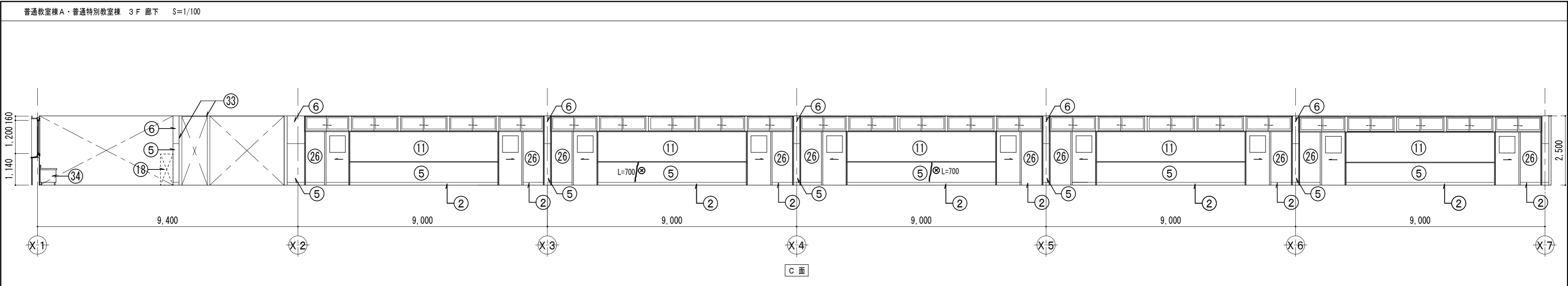
図面 No

A-083

原図: A 2



■ 仕上表																		※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事					
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑦	黒板	—	既存のまま	⑬	屋内消火栓	—	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑳
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	②	家具	—	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	—	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	⑮	アコーディオンカーテン	一時撤去 (鉄骨受材 共)	復旧	㉑
巾木	既調合モルタル 薄塗り 厚5	下地処理RB種の上 EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	新設 (ステンレス製)	㉑	壁	ラウン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉑	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉑
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	—	既存のまま	⑩	卒業記念作品	—	既存のまま	⑮	その他備品	一時撤去	復旧	㉑	木間仕切り (壁部)	難燃ベニア厚5.5張り OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉑	手洗い	ステンレス製	既存のまま	㉑
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上 EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	㉑	木間仕切り (枠組材)	ラウン材 OP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉑	手洗い	撤去 (ステンレス製)	新設 (ステンレス製)	㉑
壁及び梁型	プaster塗り	下地処理RB種の上 EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上 EP-G塗り	㉑	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	㉑	手洗い	撤去 (人研ぎステンレス包み)	既存のまま	㉑



⊗ 壁クラック1mm（長さは図中に記載）
クラック補修（Uカットシーリング充填）

■ 仕上表																※塗装工事を行う際は、床、家具、掲示板、黒板の他、付随物等の養生を行う事									
部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号	部位	改修前	改修後	記号		
巾木	モルタル EP塗り	下地処理RB種の上EP塗り	①	柱巻き	鉄板巻き SOP	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑦	黒板	——	既存のまま	⑬	屋内消火栓	——	既存のまま	⑰	壁	タイル貼り	既存のまま	⑮	見切り縁	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	①		
巾木	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②	家具	——	既存のまま	⑧	黒板	一時撤去	復旧	⑭	傘掛け	——	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑳	壁	耐水ベニヤ 厚6 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	②	アコーディオンカーテン	一時撤去（鉄骨受材 共）	復旧	②		
巾木	既調合モルタル薄塗り 厚5	下地処理RB種の上EP塗り	③	家具	一時撤去	復旧	⑨	卒業記念作品	一時撤去	復旧	⑮	手洗い	撤去（人研ぎステンレス包み）	新設（ステンレス製）	㉑	壁	ラワン合板 厚5.5 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑦	建具	鉄鋼面 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	③		
巾木	人研ぎ	既存のまま	④	掲示板	——	既存のまま	⑩	卒業記念作品	——	既存のまま	⑯	その他備品	一時撤去	復旧	㉒	木間仕切り（壁部）	難燃ベニヤ厚5.5 張りOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑧	手洗い	ステンレス製	既存のまま	④		
壁	モルタル塗りVP	下地処理RB種の上EP塗り	⑤	掲示板	クロス撤去	クロス張替え	⑪	学校案内板	一時撤去	復旧	⑰	三方枠	人研ぎ	既存のまま	㉓	木間仕切り（枠組材）	ラワン材 OP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	⑨	手洗い	撤去（ステンレス製）	新設（ステンレス製）	⑤		
壁及び梁型	プラスター塗り	下地処理RB種の上EP塗り	⑥	掲示板	一時撤去	復旧	⑫	タブレット充電BOX	一時撤去	復旧	⑱	三方枠	木製 SOP塗り	下地処理RB種の上EP-G塗り	㉔	建具	プリント合板フラッシュ	既存のまま	⑩	手洗い	撤去（人研ぎステンレス包み）	既存のまま	⑤		



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称 縮尺

3階 展開図4（改修前・後） S=1/60(A3:1/85)

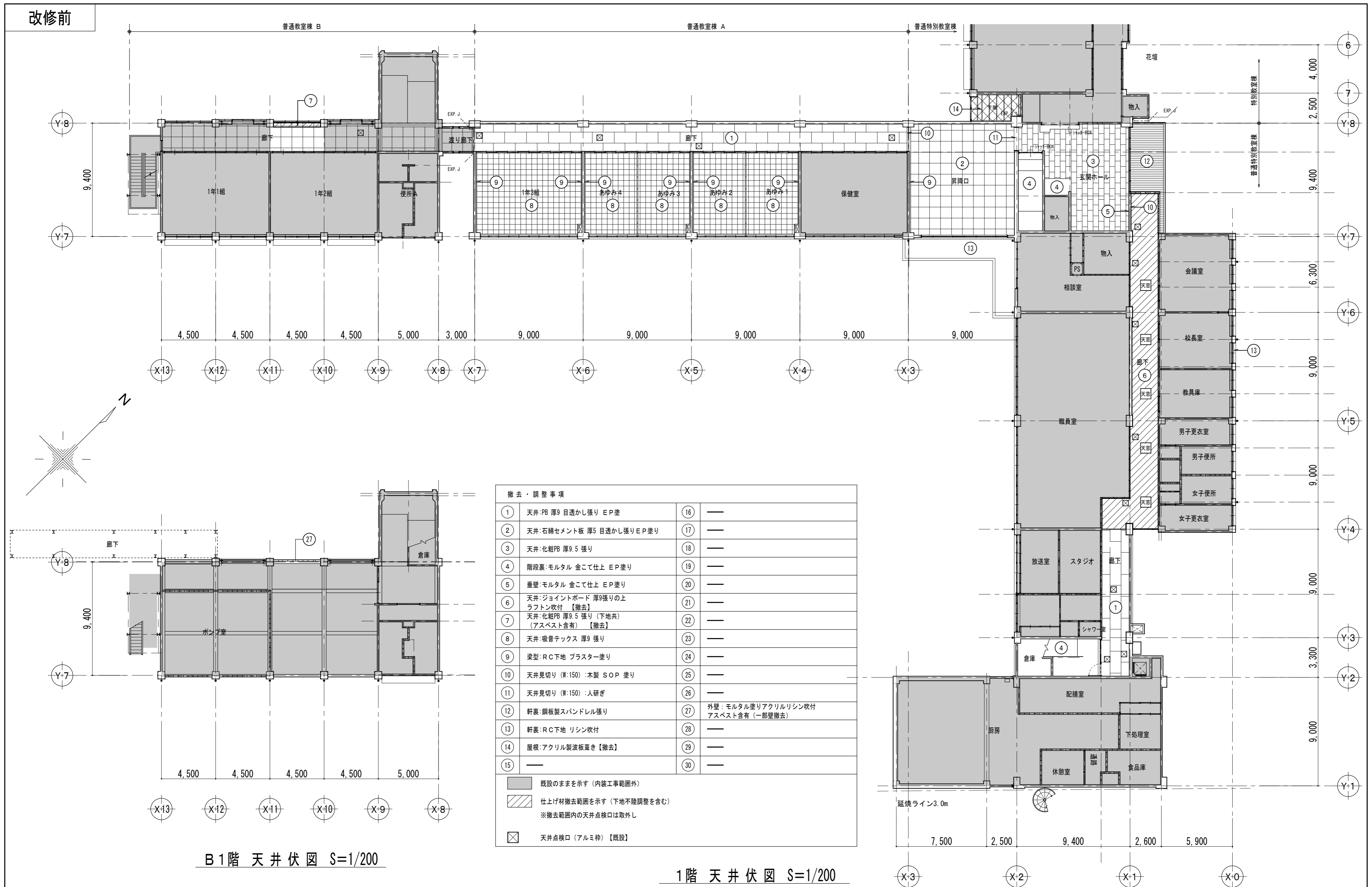
【改修前・改修後】

図面 No

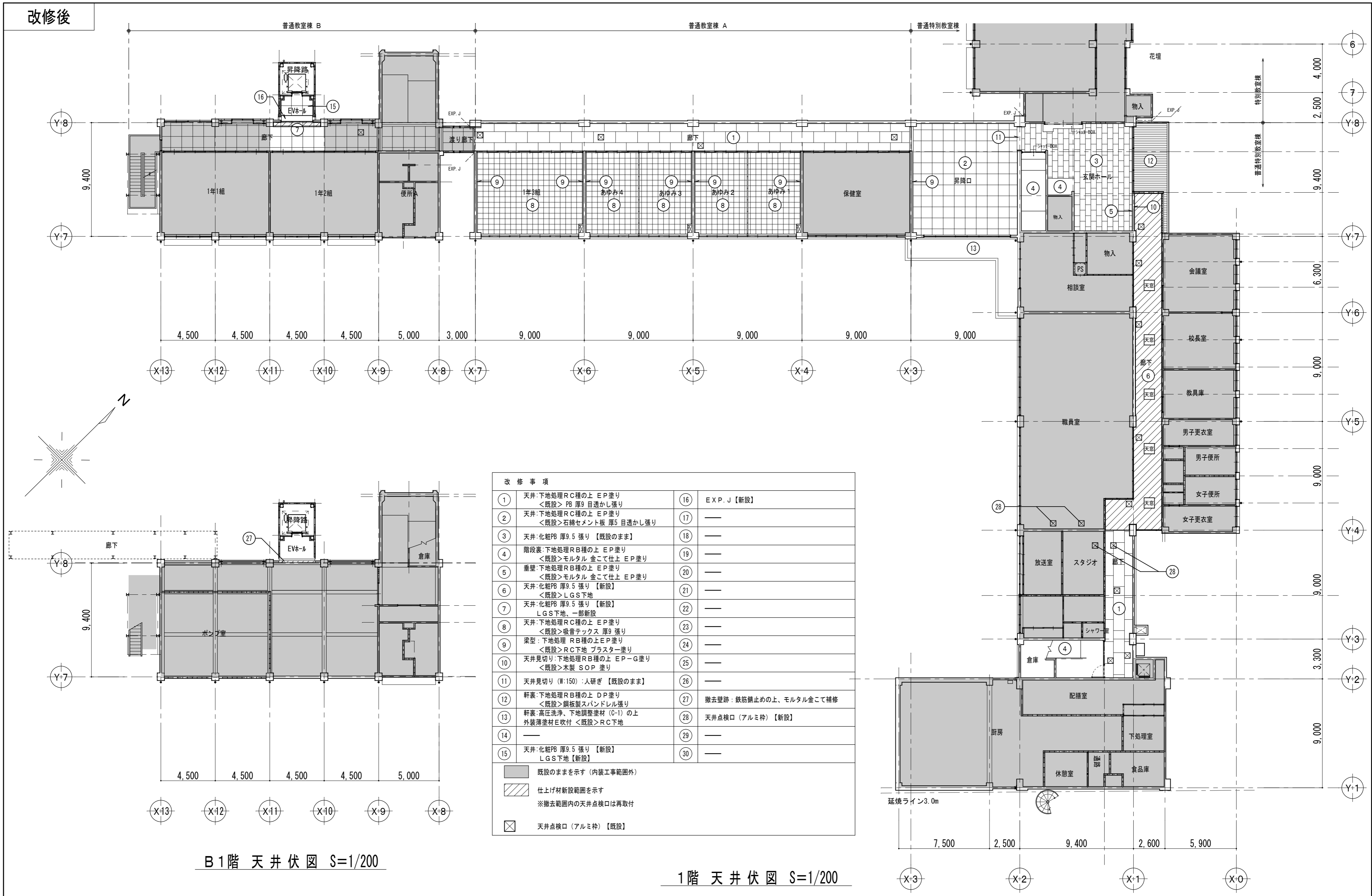
A-085

原図：A 2

改修前



改修後



B1階 天井伏図 S=1/200

1階 天井伏図 S=1/200



設計 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

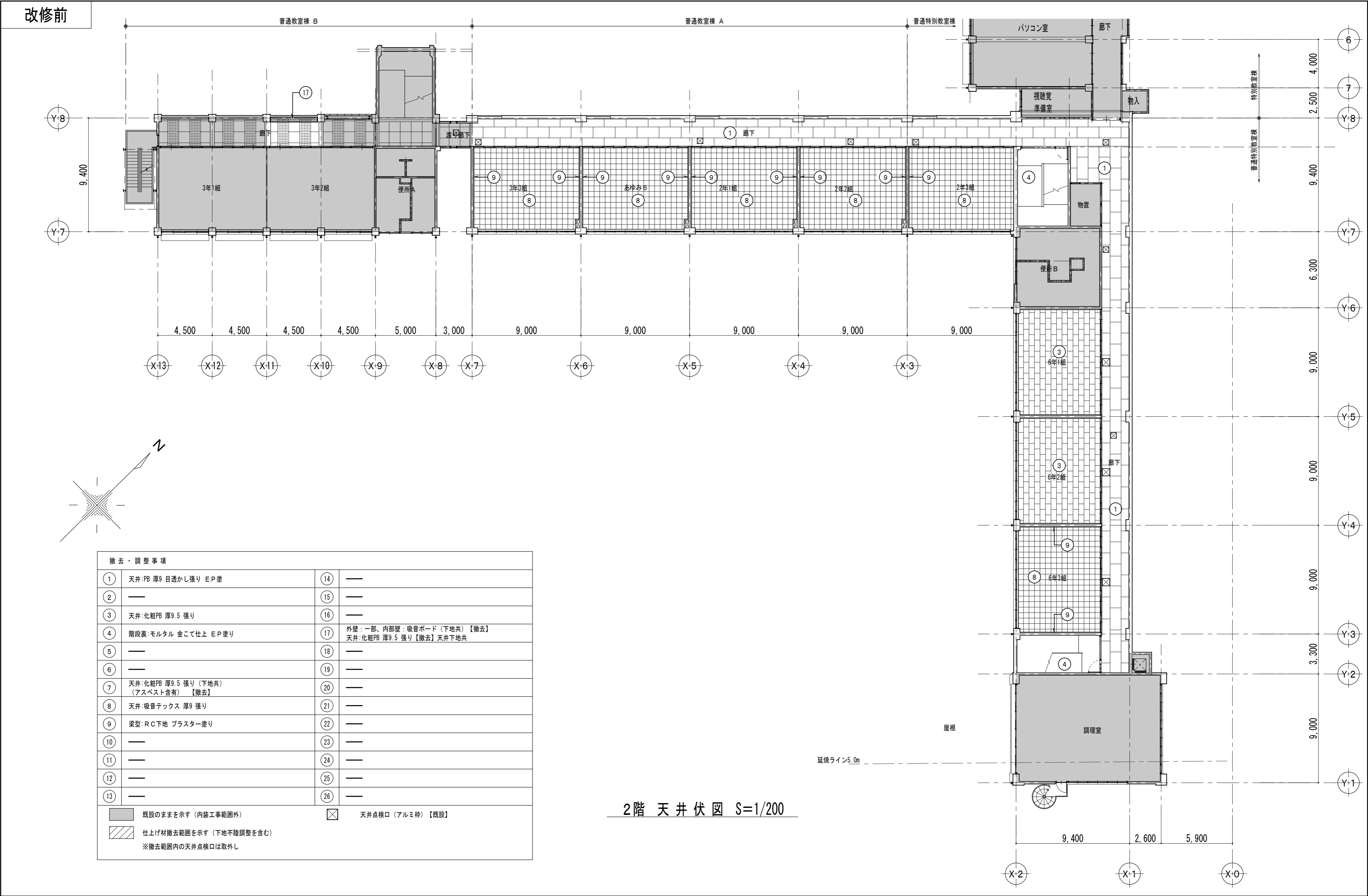
縮尺

B1・1階 天井伏図【改修後】 S=1/200

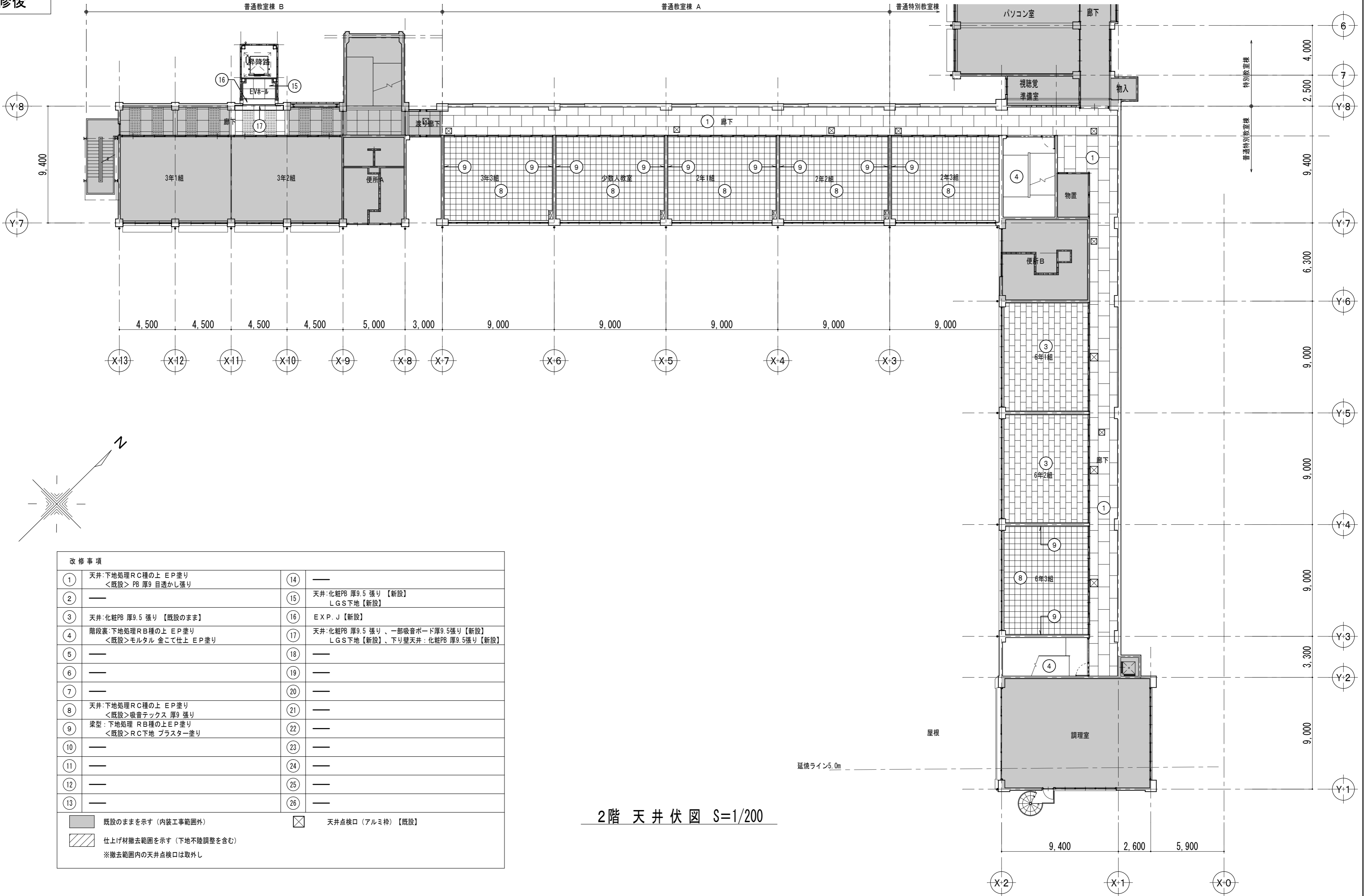
図面 No

A-087

原図: A2



改修後



改修事項			
①	天井:下地処理RC種の上 EP塗り ＜既設＞PB 厚9 目透かし張り	⑭	――
②	――	⑮	天井:化粧PB 厚9.5 張り 【新設】 LGS下地 【新設】
③	天井:化粧PB 厚9.5 張り 【既設のまま】	⑯	EXP.J 【新設】
④	階段裏:下地処理RB種の上 EP塗り ＜既設＞モルタル 金こて仕上 EP塗り	⑰	天井:化粧PB 厚9.5 張り、一部吸音ボード厚9.5張り 【新設】 LGS下地 【新設】、下り壁天井:化粧PB 厚9.5張り 【新設】
⑤	――	⑱	――
⑥	――	⑲	――
⑦	――	⑳	――
⑧	天井:下地処理RC種の上 EP塗り ＜既設＞吸音テックス 厚9 張り	㉑	――
⑨	梁型:下地処理 RB種の上EP塗り ＜既設＞RC下地 プラスター塗り	㉒	――
⑩	――	㉓	――
⑪	――	㉔	――
⑫	――	㉕	――
⑬	――	㉖	――
■ 既設のままを示す(内装工事範囲外)		☒ 天井点検口(アルミ枠) 【既設】	
▨ 仕上げ材撤去範囲を示す(下地不陸調整を含む) ※撤去範囲内の天井点検口は取外し			

2階 天井伏図 S=1/200



設計 監理 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

2階 天井伏図【改修後】

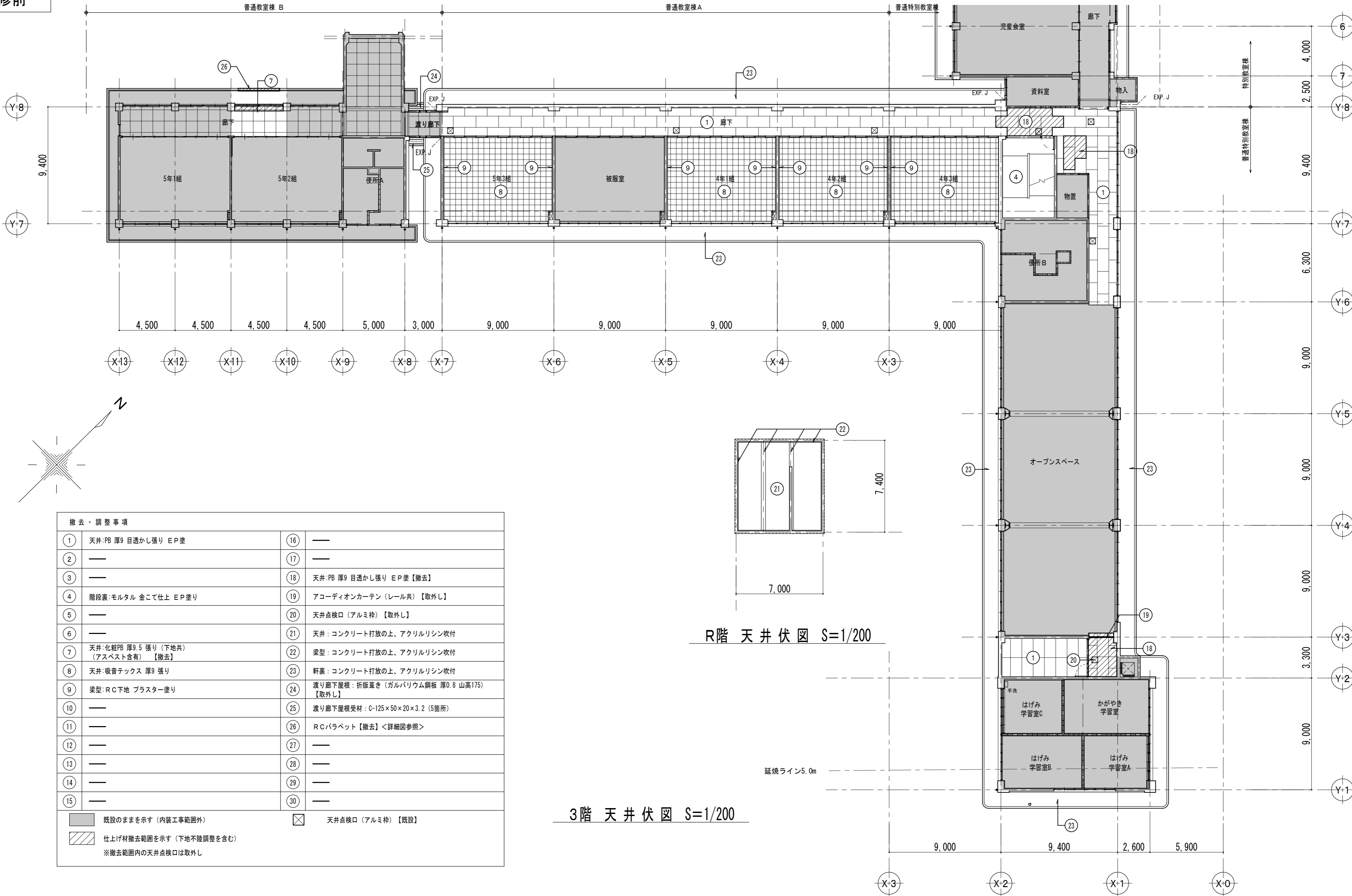
S=1/200

図面 No

A-089

原図: A2

改修前



撤去・調整事項			
①	天井:PB 厚9 目透かし張り EP 塗	⑩	---
②	---	⑪	---
③	---	⑫	---
④	階段裏:モルタル 金こて仕上 EP 塗り	⑬	---
⑤	---	⑭	---
⑥	---	⑮	---
⑦	天井:化粧PB 厚9.5 張り (下地共) (アスベスト含有) 【撤去】	⑯	天井:PB 厚9 目透かし張り EP 塗【撤去】
⑧	天井:吸音テックス 厚9 張り	⑰	---
⑨	梁型:RC下地 プラスター塗り	⑱	アコーディオンカーテン (レール共) 【取外し】
⑩	---	⑲	---
⑪	---	⑳	天井点検口 (アルミ枠) 【取外し】
⑫	---	㉑	天井:コンクリート打放の上、アクリルリシン吹付
⑬	---	㉒	梁型:コンクリート打放の上、アクリルリシン吹付
⑭	---	㉓	軒裏:コンクリート打放の上、アクリルリシン吹付
⑮	---	㉔	渡り廊下屋根:折板葺き (ガルバリウム鋼板 厚0.8 山高175) 【取外し】
⑯	---	㉕	渡り廊下屋根受材: C-125×50×20×3.2 (5箇所)
⑰	---	㉖	RCバラベツト 【撤去】 <詳細図参照>
⑱	---	㉗	---
⑲	---	㉘	---
㉑	---	㉙	---
㉒	---	㉚	---
■ 既設のままを示す (内装工事範囲外)		☒	天井点検口 (アルミ枠) 【既設】
▨ 仕上げ材撤去範囲を示す (下地不陸調整を含む)		※撤去範囲内の天井点検口は取外し	



設計 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

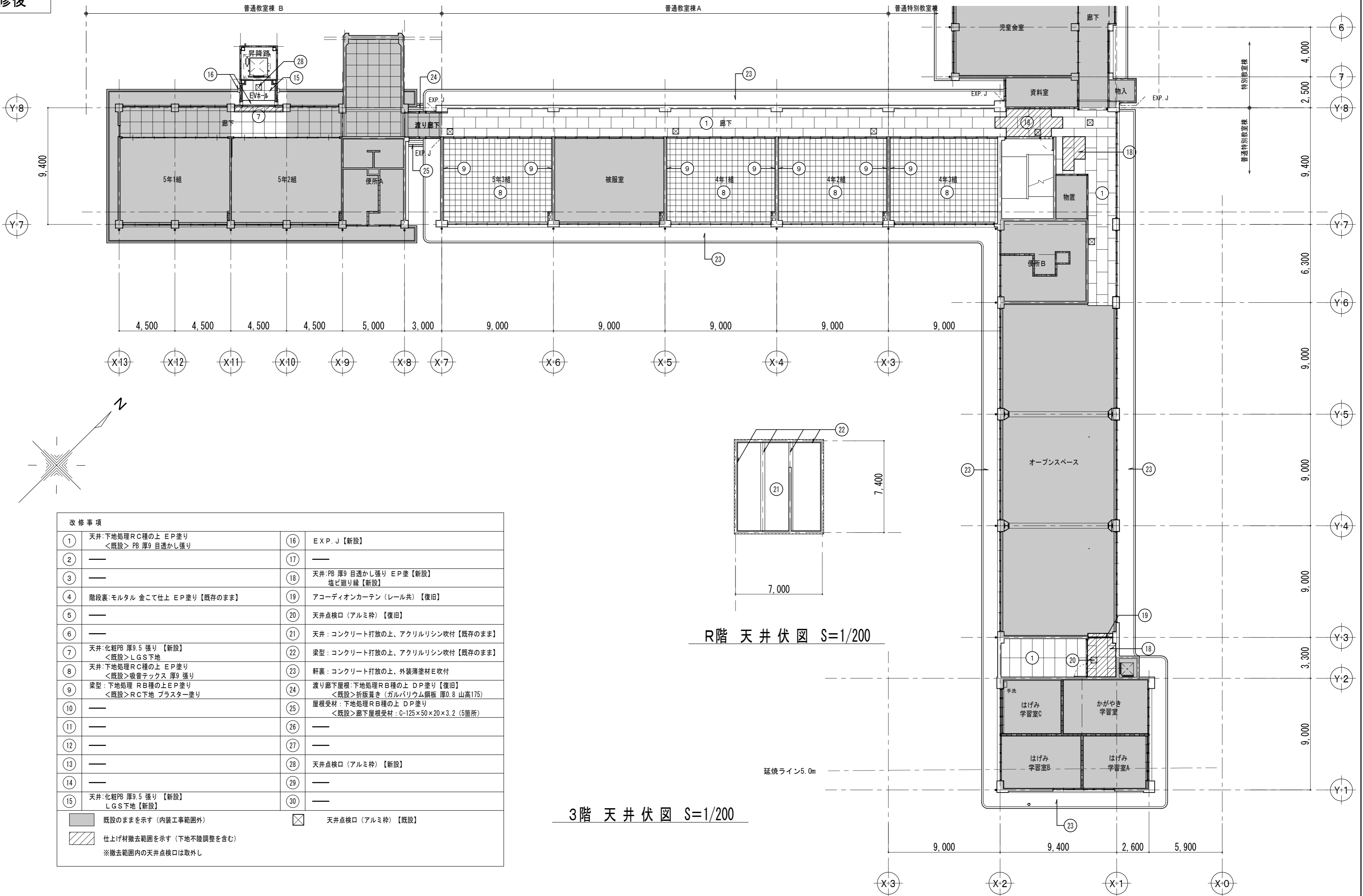
3階・PH 天井伏図【改修前】 S=1/200

図面 No

A-090

原図: A2

改修後



改修事項			
①	天井:下地処理RC種の上 EP塗り ＜既設＞PB 厚9 目透かし張り	⑩	天井:化粧PB 厚9.5 張り 【新設】 LGS下地 【新設】
②	――	⑪	天井:下地処理RC種の上 EP塗り ＜既設＞吸音テックス 厚9 張り
③	――	⑫	天井:下地処理 RC種の上EP塗り ＜既設＞RC下地 プラスター塗り
④	階段裏:モルタル 金こて仕上 EP塗り 【既存のまま】	⑬	――
⑤	――	⑭	――
⑥	――	⑮	――
⑦	天井:化粧PB 厚9.5 張り 【新設】 ＜既設＞LGS下地	⑯	天井:化粧PB 厚9.5 張り 【新設】 LGS下地 【新設】
⑧	天井:下地処理RC種の上 EP塗り ＜既設＞吸音テックス 厚9 張り	⑰	――
⑨	梁型:下地処理 RB種の上EP塗り ＜既設＞RC下地 プラスター塗り	⑱	――
⑩	――	⑲	――
⑪	――	⑳	――
⑫	――	㉑	――
⑬	――	㉒	――
⑭	――	㉓	――
⑮	天井:化粧PB 厚9.5 張り 【新設】 LGS下地 【新設】	㉔	天井点検口 (アルミ枠) 【新設】
⑯	――	㉕	――
⑰	――	㉖	――
⑱	――	㉗	――
㉑	――	㉘	――
㉒	――	㉙	――
㉓	――	㉚	――
㉔	――	㉛	――
㉕	――	㉜	――
㉖	――	㉝	――
㉗	――	㉞	――
㉘	――	㉟	――
㉙	――	㊱	――
㊱	――	㊲	――

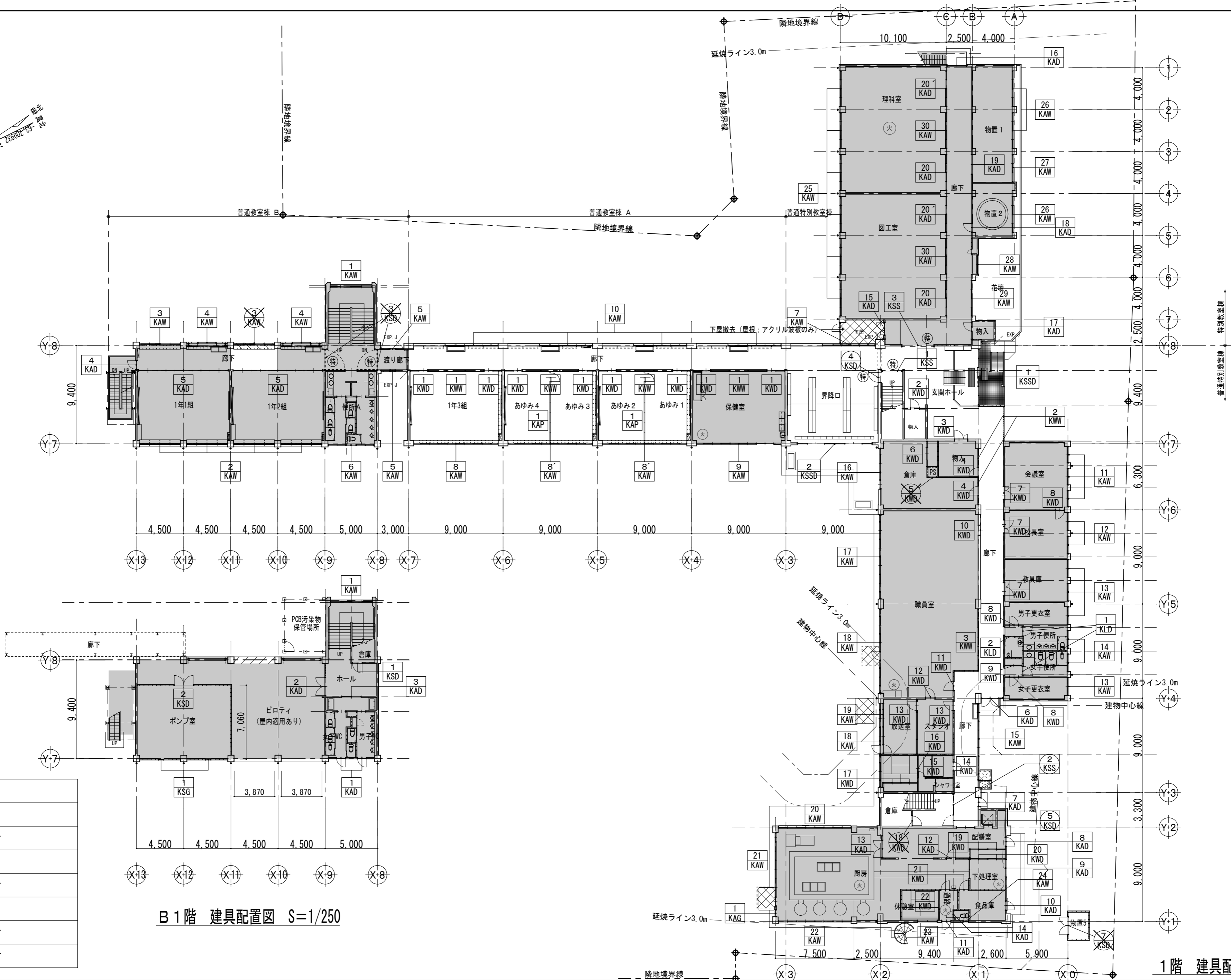
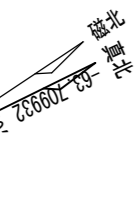
既設のままを示す (内装工事範囲外)

仕上げ材撤去範囲を示す (下地不陸調整を含む)

※撤去範囲内の天井点検口は取外し

天井点検口 (アルミ枠) 【既設】

改修前

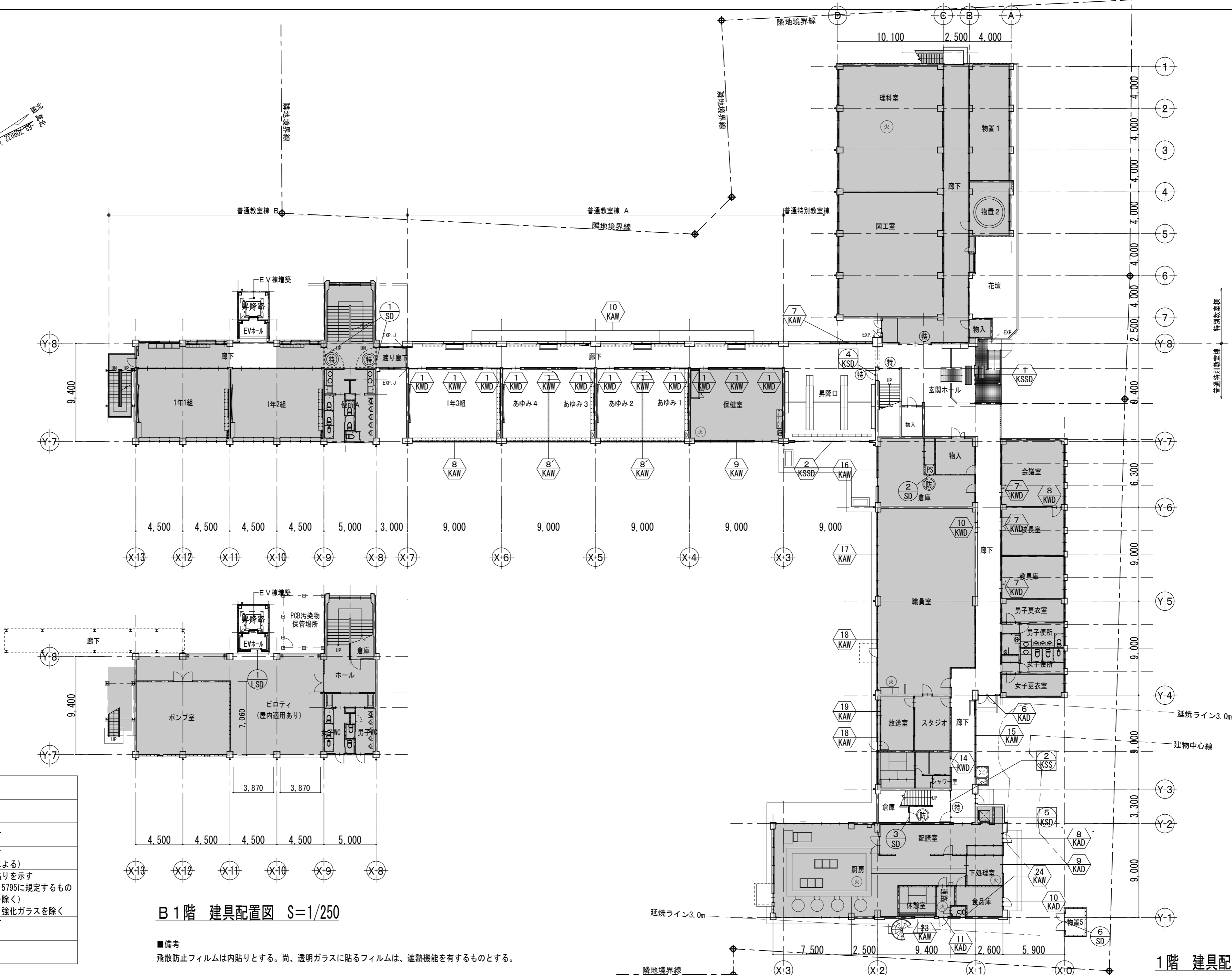


B 1階 建具配置図 S=1/250

1階 建具配置図 S=1/250

凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	既設建具改修を示す
	特定防火設備を示す
	既設防火設備を示す

改修後



凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具改修を示す (既設カバー工法による)
	飛散防止フィルム貼りを示す ※フィルムはJIS A 5795に規定するもの (OPマーク表示を除く)
	※網入り・線入り・強化ガラスを除く
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す

B 1 階 建具配置図 S=1/250

■備考
飛散防止フィルムは内貼りとする。尚、透明ガラスに貼るフィルムは、遮熱機能を有するものとする。

1 階 建具配置図 S=1/250



設計 類 建築設計事務所

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正			

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

図面名称

縮尺

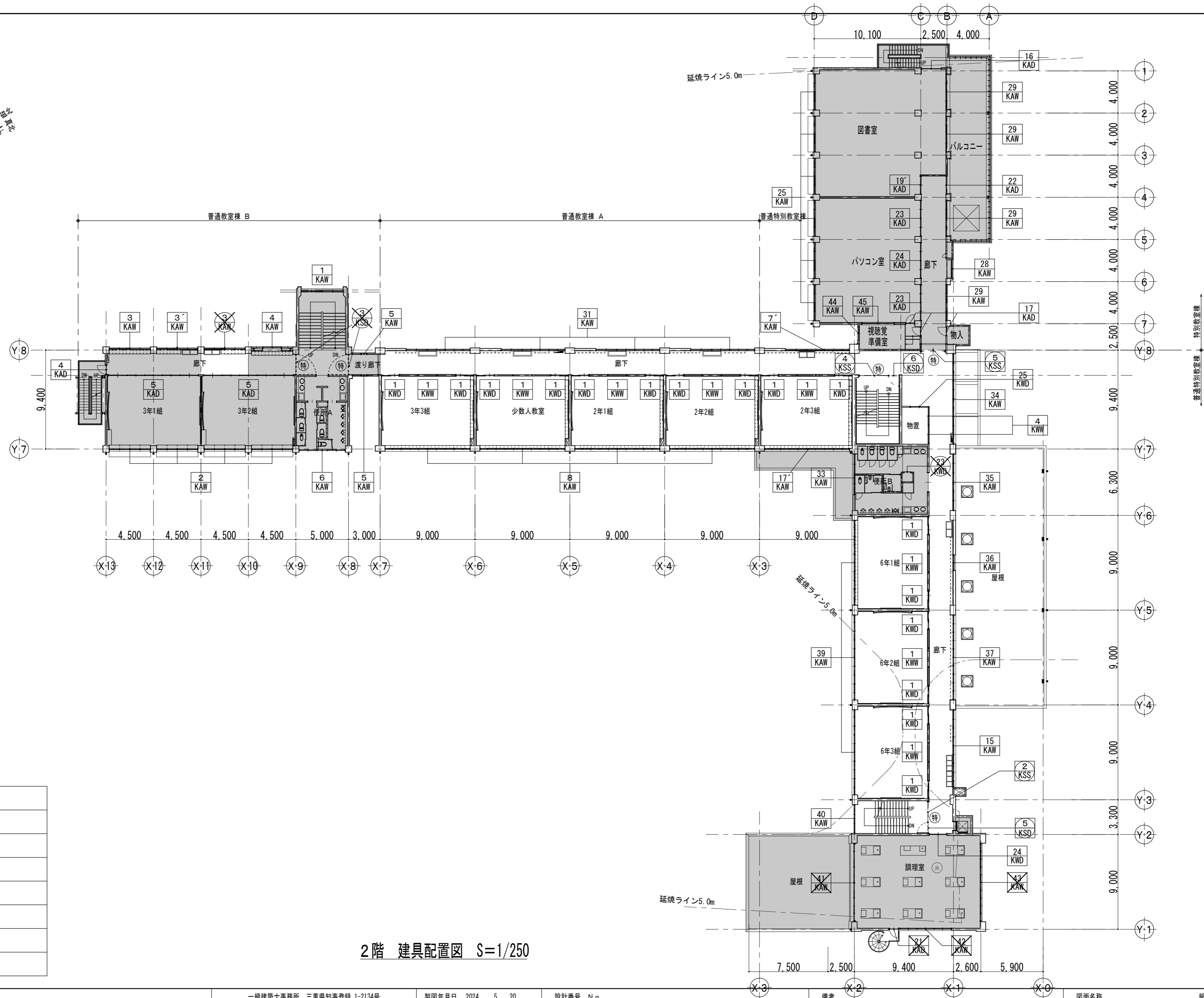
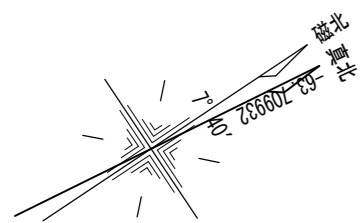
B 1・1 階 建具配置図【改修後】 S=1/250 (A3:1/353)

図面 No

A-093


原図: A 2

改修前

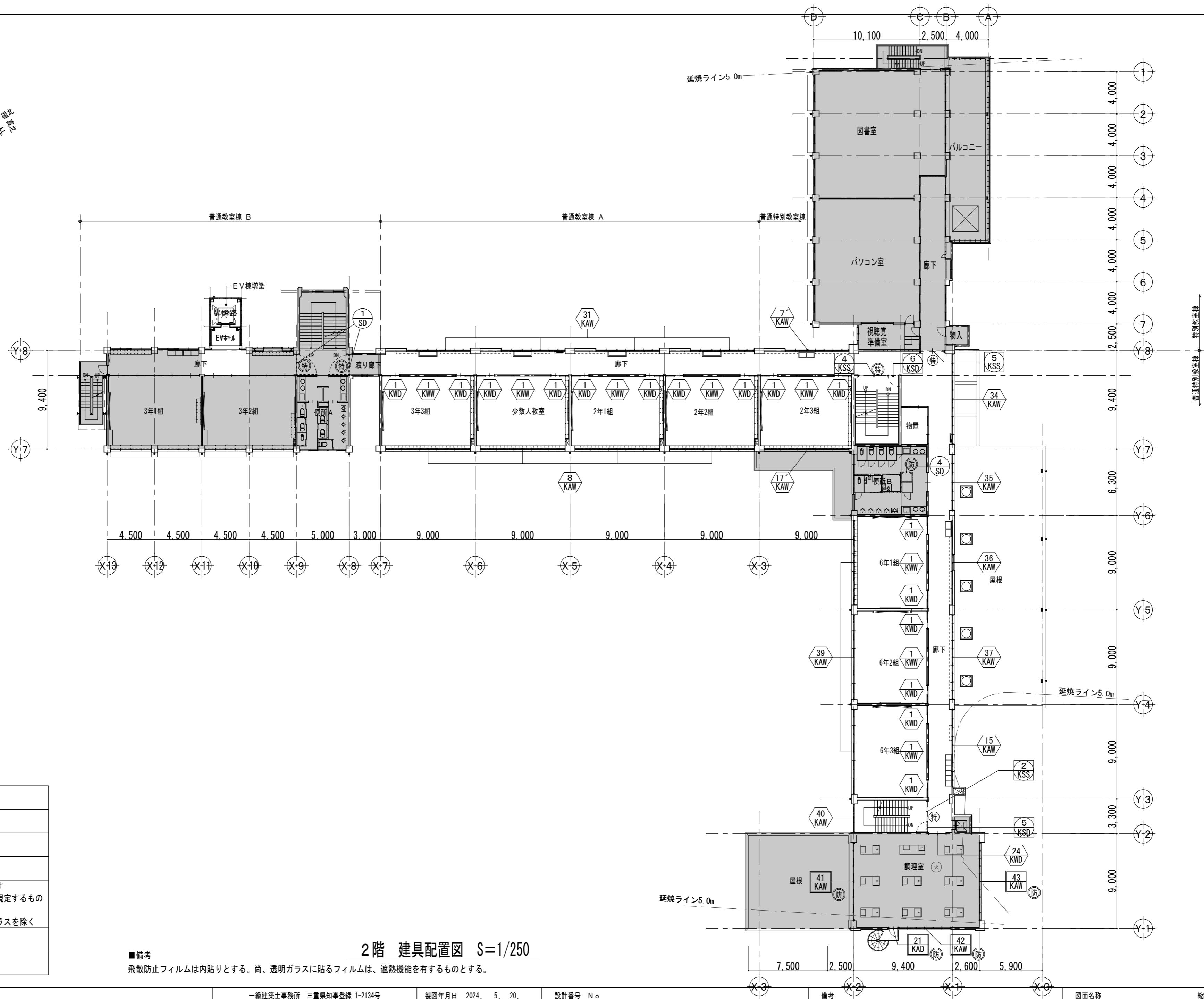
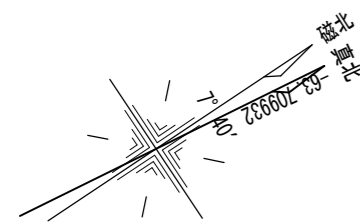








2階 建具配置図 S=1/250

凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	既設建具改修を示す
	特定防火設備を示す (遮煙性能無し)
	既設防火設備を示す

<div></div> <div>設計 監理</div> <div>類 建 築 設 計 事 務 所</div> <div>〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754</div>	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 N o	備考	図面名称	縮尺	図面 No
	管理建築士	設計者			変更・訂正			2階 建具配置図【改修前】	S=1/250 (A3:1/353)	A-094 原因: A 2
	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛				津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事				

改修後



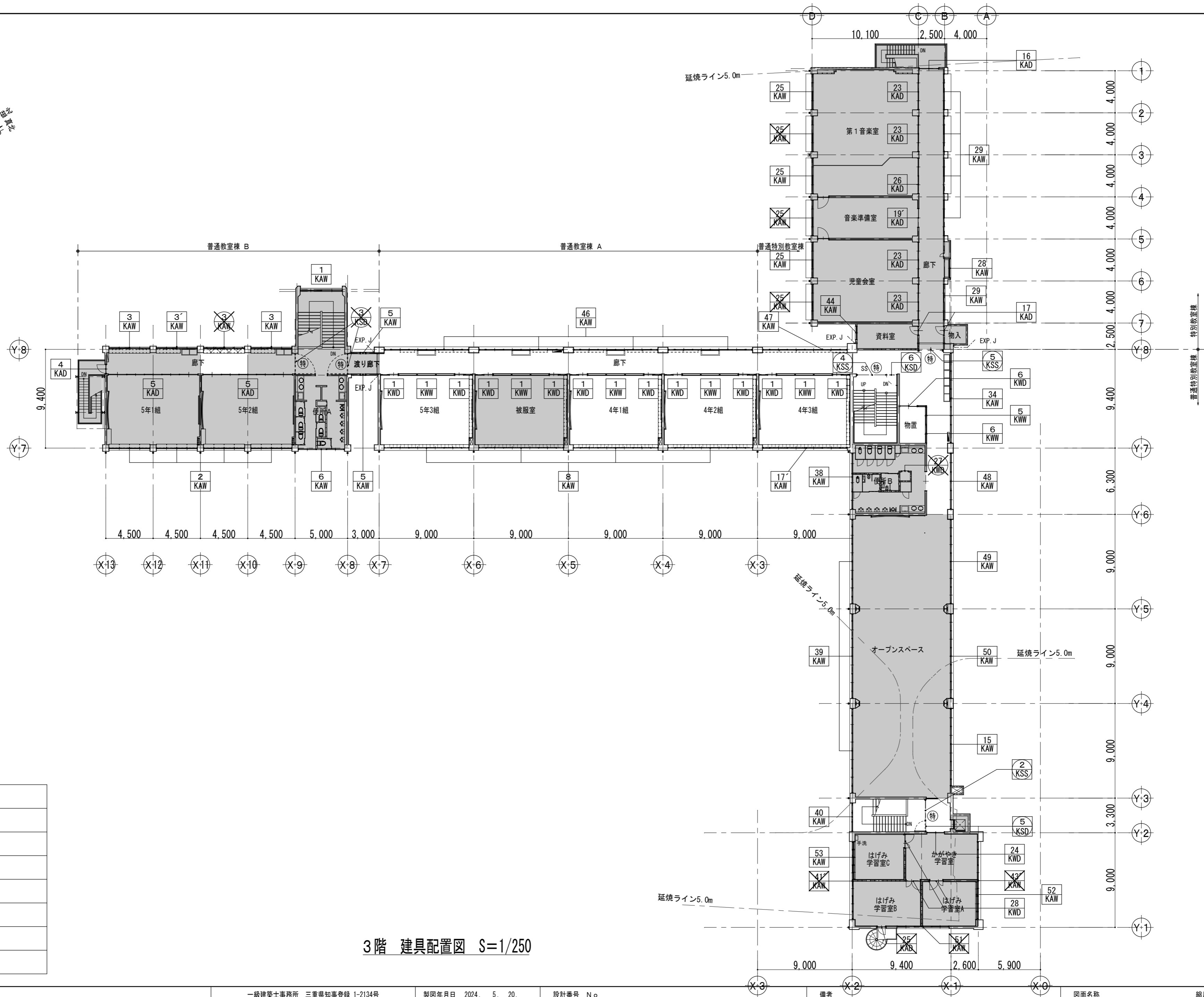
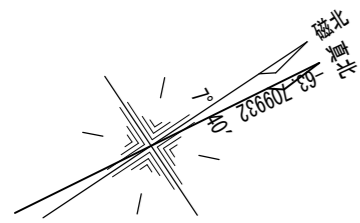
凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具改修を示す (既設カバー工法による)
	飛散防止フィルム貼りを示す ※フィルムはJIS A 5795に規定するもの (CPマーク表示を除く) ※網入り・線入り・強化ガラスを除く
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す

■備考

飛散防止フィルムは内貼りとする。尚、透明ガラスに貼るフィルムは、遮熱機能を有するものとする。

2階 建具配置図 S=1/250

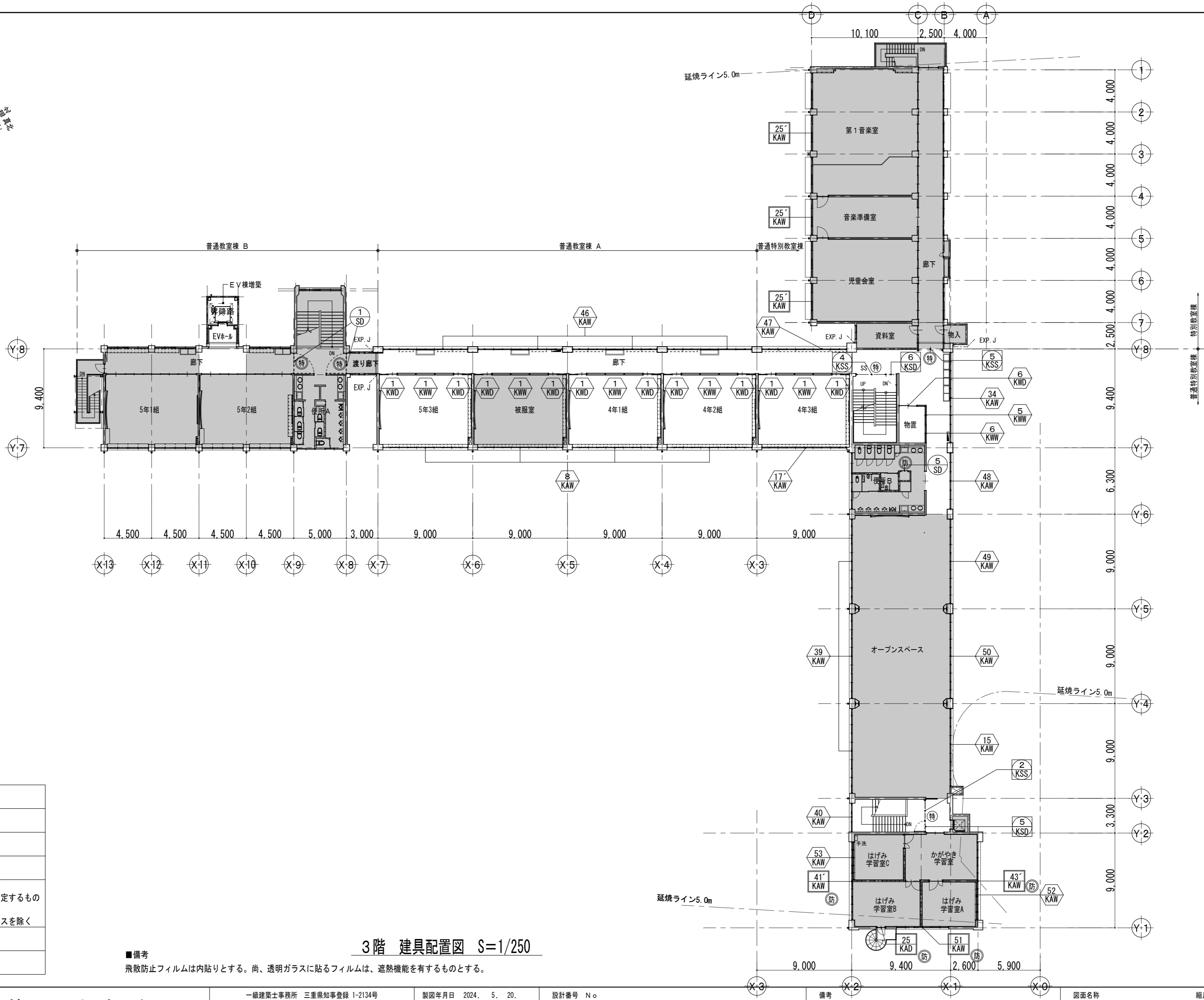
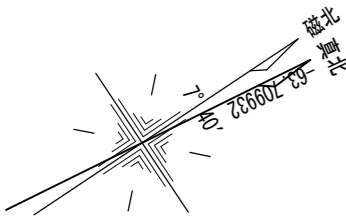
改修前



3階 建具配置図 S=1/250

凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	既設建具改修を示す
	特定防火設備を示す (遮煙性能無し)
	既設防火設備を示す

改修後



3階 建具配置図 S=1/250

備考
飛散防止フィルムは内貼りとする。尚、透明ガラスに貼るフィルムは、遮熱機能を有するものとする。

凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具改修を示す (既設カバー工法による)
	飛散防止フィルム貼りを示す ※フィルムはJIS A 5795に規定するもの (OPマーク表示を除く) ※網入り・線入り・強化ガラスを除く
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す



設計 類 建築設計事務所
監理

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号
TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754

一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号

管理建築士	設計者		
一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛		

製図年月日 2024. 5. 20.

変更・訂正	

設計番号 No.

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

備考

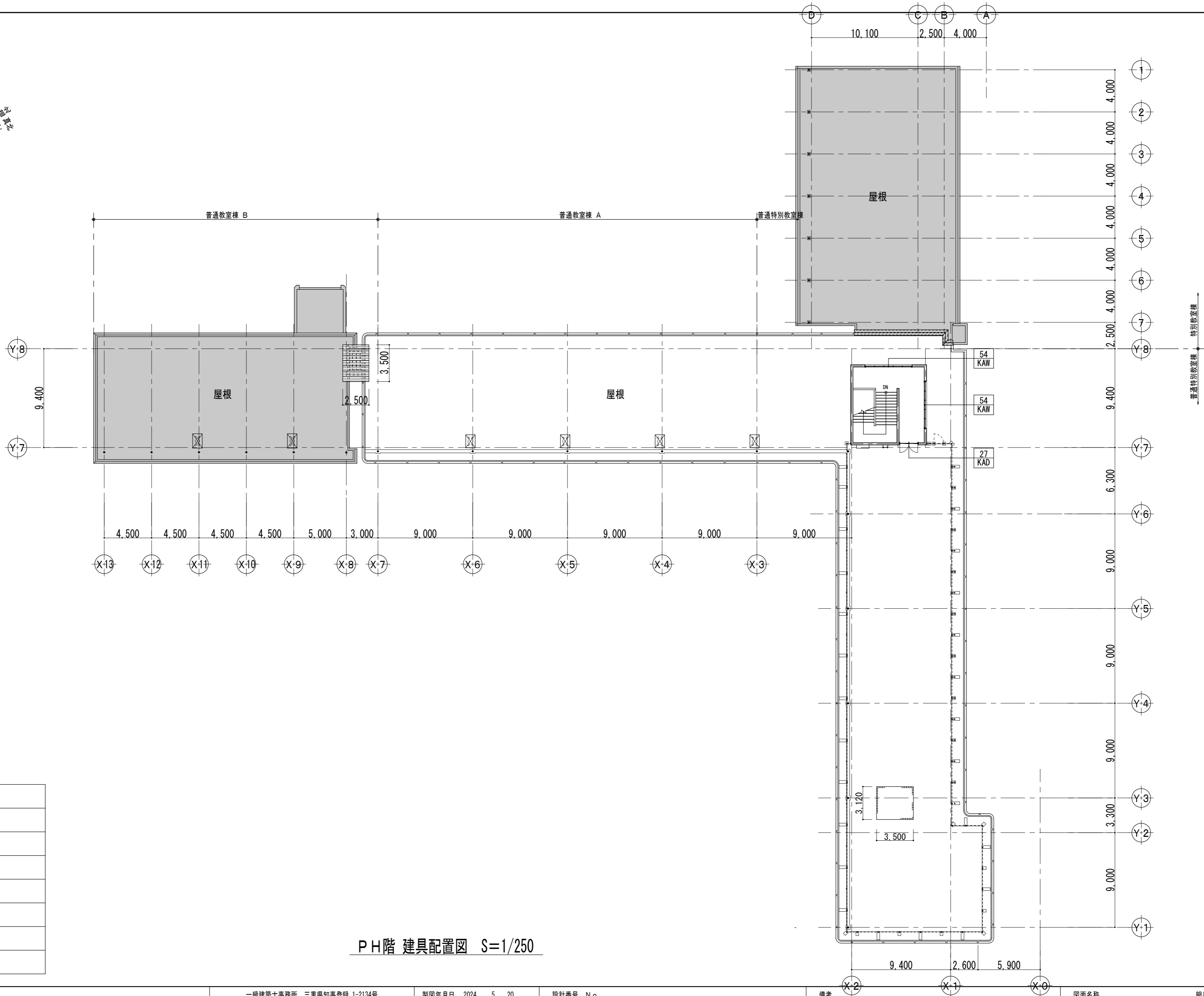
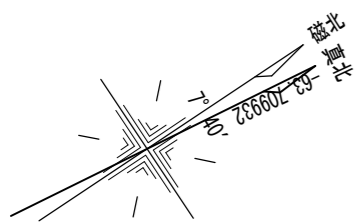
図面名称 縮尺
3階 建具配置図【改修後】 S=1/250 (A3:1/353)

図面 No

A-097


原図: A 2

改修前

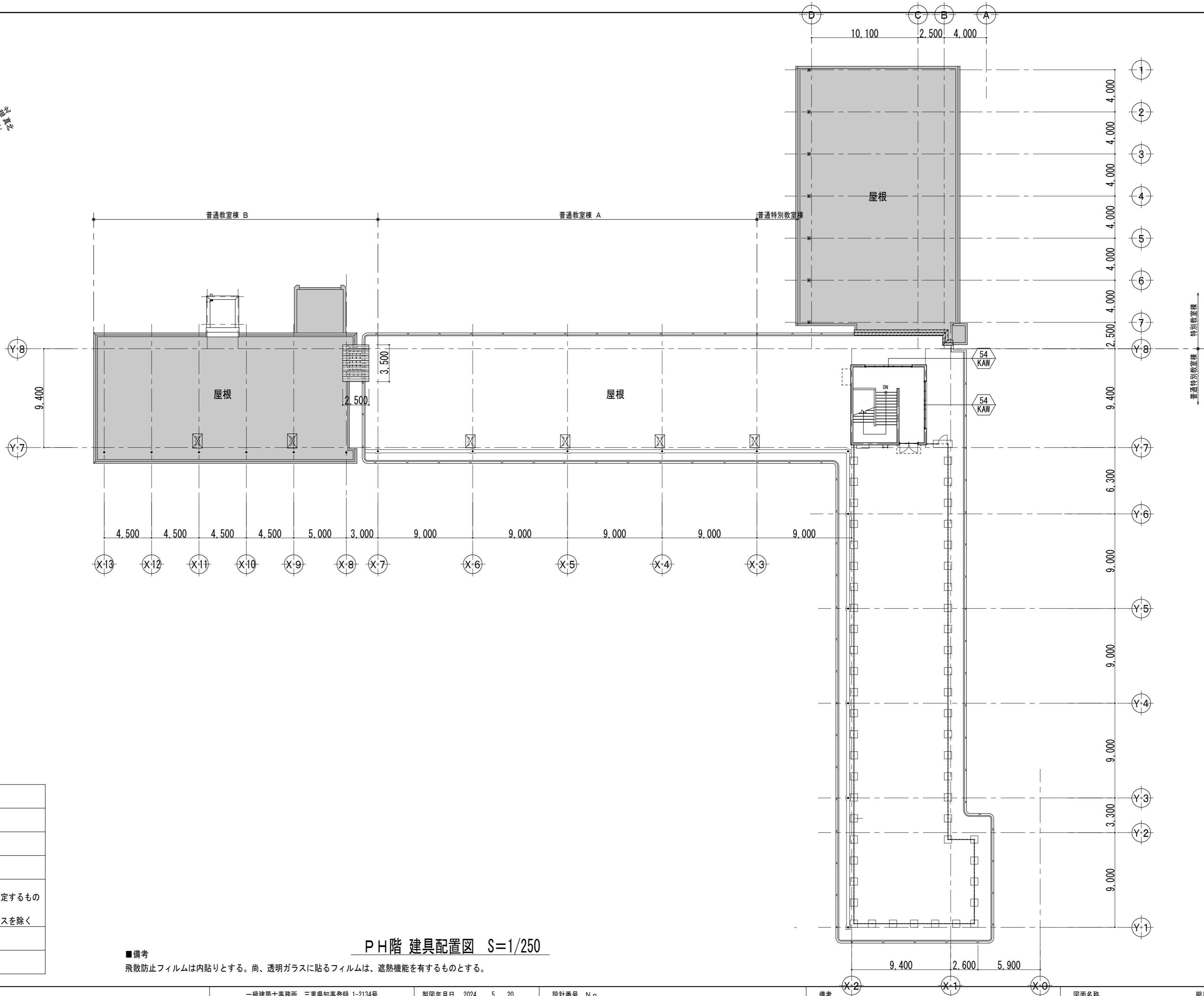
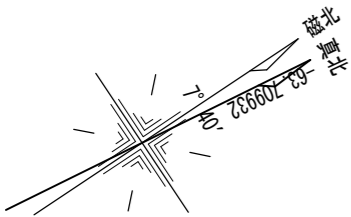


PH階 建具配置図 S=1/250

凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	既設建具改修を示す
	特定防火設備を示す (遮煙性能無し)
	既設防火設備を示す

<div></div> <div>設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所</div> <div>〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754</div>	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 No.	備考	図面名称	縮尺	図面 No
	管理建築士	設計者			変更・訂正			P H 階 建具配置図【改修前】	S=1/250 (A3:1/353)	A-098
	一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛				津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事			S=1/250 (A3:1/353)	


改修後



PH階 建具配置図 S=1/250

■備考
飛散防止フィルムは内貼りとする。尚、透明ガラスに貼るフィルムは、遮熱機能を有するものとする。

凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具改修を示す (既設カバー工法による)
	飛散防止フィルム貼りを示す ※フィルムはJIS A 5795に規定するもの (OPマーク表示を除く) ※網入り・線入り・強化ガラスを除く
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す

	設計 監理 類 建 築 設 計 事 務 所	一級建築士事務所 三重県知事登録 1-2134号				製図年月日 2024. 5. 20.	設計番号 No.	備考	図面名称	縮尺	図面 No. A-099 原図: A 2
		管理建築士	設計者			変更・訂正			P H 階 建具配置図【改修後】	S=1/250 (A3:1/353)	
		一級建築士 第306854号 田中 召剛	一級建築士 第306854号 田中 召剛								
		〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目15-2 Dear Homes 志とも 405号 TEL 059-271-7734 FAX 059-271-7754				津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事					